

東京スクーリング(10月期)第1期 開講講座一覧

講座コード	科目名	開講単位数	担当教員名	科目コード	科目名	対面授業代替措置	併用	配当学年	備考
KAA1	歴史学	2	林 亮	B11100	歴史学	オンデマンド		1年	
KAA2	イギリス文学史 I	2	常名 朗央	N20100	イギリス文学史 I	オンデマンド		※	・文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
KAA3	英語学演習 I～III	1	桑山 啓子	N401S0	英語学演習 I	オンデマンド	×	3年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
KAA4	東洋史演習 I・II	1	綿貫 哲郎	Q403S0	東洋史演習 I	ZOOM	×	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				Q403S0	東洋史演習 II				
KAA5	租税論	2	鵜藤 俊英	R31700	租税論	オンデマンド		2年	
KAA6	貨幣経済論	2	続橋 孝行	R31900	貨幣経済論	オンデマンド		2年	
KAA7	商品学	2	金崎 賢希	S30300	商品学	オンデマンド		2年	
KAA8	教育の社会学	2	広田 照幸	T20100	教育の社会学	課題探求	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。

※「教育の社会学」の「課題探求」型では、ZOOMは利用しません。課題学習を中心として行います。

東京スクーリング(10月期)第2期 開講講座一覧

講座コード	講座名	開講単位数	担当教員名	科目コード	科目名	対面授業代替措置	併用	配当学年	備考
KAB1	英語 I ~ IV	1	町田 純子	C10100	英語 I	ZOOM		1年	・ I ~ IV のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III			2年	
				C10400	英語 IV				
KAB2	体育実技 I・II	1	高橋 正則	J101S0	体育実技 I	オンデマンド	×	1年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・ I, II のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				J102S0	体育実技 II				
KAB3	国語学演習 I ~ III	1	荻野 綱男	M401S0	国語学演習 I	ZOOM	×	3年	・文学専攻(国文学)のみ申込可。 ・ I ~ III のいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				M402S0	国語学演習 II				
				M403S0	国語学演習 III				
KAB4	スピーチコミュニケーション I	1	アレックス ブラウン	N30900	スピーチコミュニケーション I	オンデマンド		2年	
KAB5	英米文学特殊講義	2	北原 安治	N31200	英米文学特殊講義	オンデマンド		2年	
KAB6	哲学基礎講読	2	石井 友人	P20100	哲学基礎講読	オンデマンド		※	・哲学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
KAB7	日本経済論	2	佐久間 隆	R31000	日本経済論	ZOOM		2年	
KAB8	国語科教育法III	2	鈴木 雅裕	T30100	国語科教育法III	ZOOM	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
KAB9	英語科教育法IV	2	市川 泰弘	T30400	英語科教育法IV	ZOOM	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
KABA	博物館資料保存論	2	佐野 千絵	Y20700	博物館資料保存論	オンデマンド	×	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。

◆授業概要

人々がどのように政治に参加したのか、そしてその「くに」や地域の歴史に関与したのかをテーマとし、西洋の歴史を概観し、また古代から近現代にかけての各時代における政治参加の具体的な形を検討することで、現代のEUに代表される「ヨーロッパ」という社会の成り立ちについて授業を行う。

◆学修到達目標

ヨーロッパにおいて、近代的国民国家が形成される以前の時代を含め、それぞれの時代でどのような形で政治が行われ、社会の意思決定が進められていたのかを述べることができるようになる。そして、ヨーロッパ全体の大きな歴史の流れを把握し、現在のヨーロッパ全体に関わる諸問題について評価することができるようになる。

◆授業方法**・オンデマンド**

授業動画と動画に対応した参考ペーパーによって、授業を行う。小テストの解答をもって理解の程度を確認する。不明点については質問を随時受け付ける。授業期間後に小テストの正答を配布するので、それまでに回答する必要があることに注意すること。

・対面授業

講義形式で行う。オンデマンド授業により基礎的な理解ができている前提で講義を行うので、必ず対面授業までに、動画をひととおり視聴し、また小テストを解答して理解しておくこと。1日目と2日目の各日で授業内容のまとめや質疑応答の時間を設ける。各日とも授業内試験を行い理解の程度を確認する。授業期間後に試験の講評を配布する。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

オンデマンド授業で出される小テストは評価対象であるのですべて解答すること（全体の50%）。対面授業では、各日の最後の時間に実施する授業内試験が評価対象となる（全体の50%）。オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価する。すべて出席していることを前提として評価する。

◆教科書

資料配布 (Classroom) オンデマンド授業では、授業動画の補助として参考ペーパー (PDF) を配布する。

その他 対面授業では、授業レジメを当日配布する。

◆参考書

なし。

◆授業相談先 (連絡先)

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>動画 1 の内容：西洋の歴史の概要のうち「古代」として、古代地中海世界（ギリシア・ローマ）の歴史的展開を説明する。</p> <p>動画 2 の内容：西洋の歴史の概要のうち「中世」として、中世前期（フランク王国）および中世フランス王国を中心としたヨーロッパ世界の歴史的展開を説明する。</p> <p>動画 3 の内容：西洋の歴史の概要のうち「近世」として、初期近世（ルネサンス・宗教改革）および近世フランス王国を中心としたヨーロッパ世界の歴史的展開を説明する。</p> <p>動画 4 の内容：西洋の歴史の概要のうち「近代」として、フランス革命以降のフランスを中心とした 19 世紀ヨーロッパ世界の歴史的展開を説明する。</p> <p>動画 5 の内容：西洋の歴史の概要のうち「現代」として、第一次世界大戦以降のフランスを中心とした 20 世紀ヨーロッパ世界の歴史的展開を説明する。</p> <p>*動画は大きく 5 つに分かれている。ただし動画を見やすくするため、ひとつの動画を分割する場合がありますので、動画の本数全体は 5 つとは限らない。動画それぞれには説明や番号をつけて掲示するので、順番に視聴すること。</p>
事 前 学 修	それぞれの動画に対応した参考ペーパーを読んで、内容を把握しておくこと。
事 後 学 修	それぞれの動画に対応した小テストの解答を踏まえ、授業動画や参考ペーパーなどを振り返り、改めて授業内容を整理しておくこと。

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「アテネ帝国」「古代ローマ市民権」「中世都市と身分制議会」「近世フランスにおける「社団」」の4つの講義を行う。 ・講義後、まとめと質疑応答の時間を設ける。 ・講義内容の理解の確認として、授業内試験を行う。
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「フランス革命とハイチ革命」「近代フランスにおける女性の参政権」「ヒトラー政権の独裁確立」「冷戦期の東欧」の4つの講義を行う。 ・講義後、まとめと質疑応答の時間を設ける。 ・講義内容の理解の確認として、授業内試験を行う。
事 前 学 修		<p>オンデマンド授業の内容（西洋史の概要）を理解している前提で講義を行うので、内容をしっかり整理しておくこと。</p>
事 後 学 修		<p>全体的な西洋史の概要に対して、講義で解説した個別具体的な事例がどのように位置付けられるのか（意味を持つのか）、「政治参加の歴史」というテーマに沿った形で、整理しまとめること。</p>

講座内容（シラバス）

〔イギリス文学史Ⅰ〕

常名 朗央

◆**授業概要** 前半はオンライン開催で Zoom を用い、後半は対面授業を行います。毎回担当者が、各時代を代表する一作品選び、作品解説とイギリス文学との関連、さらに作品にある政治的、宗教的な背景を同時に学んでいきます。各講義の終わりに次回取り扱う作品の説明をします。指定したテキスト（作品）の内容を把握しておいてください。興味を持った作品は是非翻訳本で読むようにしてください。

◆**学修到達目標** 古代ギリシャ文学、シェイクスピア、オースティンなどの作品（翻訳）を抜粋して読むことで、19世紀までのイギリス文学史を欧州文学史的視点から時系列で理解できるようになる。さらに、各時代の主要作品を原文と日本語訳数点を対訳、考察することによって、各文学作品を時代背景や小説技法の観点から解釈、評価が出来るようになる。

◆**授業方法**

・オンデマンド

指定した作品解説と影響を与えたイギリス文学作品との比較を行い、同時に時代背景との関連を検討していきます。前半のオンライン講義ではギリシャ・ローマ神話とアーサー王伝説について詳細に解説します。

・対面授業

小説や哲学書がイギリスの近代化に伴い誕生しました。対面講義では17世紀以降のイギリス文学史を作品ごとに着目して解説します。現代も読まれる有名な作品を扱いたいと思います。

◆**履修条件** なし

◆**成績評価基準** 試験とレポート提出により総合的に判断します。

◆**教科書** [資料配布 \(Classroom\)](#) 対面講義では当日プリントを配布します。

◆**参考書** 丸沼『イギリス名詩選』平井正穂編 岩波文庫 1990

丸沼『イギリス文学史』川崎寿彦著 成美堂 1986

◆**授業相談（連絡先）**：Classroom 上にて行う

◆**授業計画〔各90分〕**

・オンデマンド

授業内容	アイスキュロスとシェリーの描く「プロメテウス」神話。 アプレイウス『黄金のロバ』と花を飾る文化。 アーサー王伝説と『ガウェイン卿と緑の騎士』。 ルネサンスとその後の影響について。 ダンテ・ペトラルカ・ボッカチオとイギリス詩人との関わり チョーサー『カンタベリー物語』と『ファブリオ』に見る民衆文化
事前学修	イギリス文学は、ギリシャ・ローマ神話や多くの英雄伝説等の影響を受けて発展しました。オンライン講義では、イギリス文学の誕生に寄与した神話や英雄譚から数作品を扱い解説をします。関心のある神話の物語をまとめておきましょう。
事後学修	講義で解説した作品から気に入ったものを選んでいただき、是非読むようにしてください。どの作品でも入手は容易です。

・対面授業（参考）

1日目	授業内容	近世になってイギリス文学史にも変化が生じるようになりました。韻文（詩）のみの文章形態から散文で文章が書かれ、芝居の発展や、英国ソネット、哲学書まで様々なジャンルが生まれ進化していきました。1日目の対面講義では、トマス・モアの『ユートピア』、シェイクスピアから2作品（『お気に召すまま』、『シンペリン』）、ジョン・ミルトンのソネット、ホップス『リヴァイアサン』を扱います。
2日目	授業内容	18世紀に入り、エンターテインメント性を帯びた小説が数多く生まれました。経済状況と社会背景を織り交ぜながら作品解説を行います。2日目の対面講義では、デフォー『ロビンソン・クルーソー』、オースティン『分別と多感』、ルイス・キャロル『鏡の国のアリス』、ディケンズ『骨董屋』を取り扱います。
	事前学修	イギリス文学から1～2作品を選んでレポートを書いていただきますので、興味のある作品を読んでおくとよいでしょう。特に思いつかない場合は、シェイクスピアでしたら歴史劇（『ヘンリー6世』、『リチャード3世』等）やロマンス劇（『冬物語』、『テンペスト』等）、小説ならオースティンやジョージ・エリオットなどの女性作家作品、19世紀以降でしたらディケンズやワイルドの小品でもよいでしょう。何か読んでもらえればと思います。
	事後学修	レポート用に、取り扱う作品を決めて、作品の人物相関図を作り内容を整理して、加えて時代背景や社会状況等、必要な情報を集めてまとめてください。講義終了後にも質問を受け付けていますので、講義を通じて自分がどの作品に興味がありレポートのテーマにするかを決めてください。勿論、講義で扱った作品は出来るだけ読んでいただければと思います。

◆授業概要

「英語」という言語を扱って研究をするのが「英語学」であるが、このスクーリングでは英語学の一分野である「英語史」を扱う。グローバル化が進み、「英語」は世界の公用語になったといっても過言ではない。その「英語」がどのようにして今使われているような形になったのか、英語がイングランドにもたらされてから英語が成立するまでをテキストを通して見ていく。テキストは前半の 1. Mother Tongue (pp.9 - 64)を読む。

◆学修到達目標

5世紀にアングロサクソン民族がイングランドに侵入してから、彼らの使用していた言語「英語」がどのように変化して今に至るのかを学び、説明することが出来る。特に英語史の3つの大きな時代の中で英語がどのような特徴を持っていたのか、文字、発音、文法面から説明できる。

◆授業方法**・オンデマンド**

授業動画は第1日目（第1回）から順番に視聴すること。英語がどのように変化していったのか説明を良く聴いて理解すること。テキストは飛ばすところもあるので動画の説明を良く聴いてほしい。内容を理解できない場合には何度か繰り返して動画を視聴すること。イングランドの歴史と並行して英語の歴史をよく理解するようにしてほしい。動画の視聴を終えたら課題に取り組んで提出すること。

・対面授業

オンデマンド授業で学んだことを整理して、対面授業で読む要諦になっているテキストの英文を前もってよく読んでおく。わからないところは参考書などを使用して調べる。対面授業ではオンデマンド授業で読んだテキストの続きを読み進める。授業の中では一人ずつ割り当てた個所の英文を音読してから英文の内容をまとめたものを発表、コメントなどがあれば発表に加える。（コメントは自分の担当部分の英文の内容について参考書などで調べて追加説明をするもの）

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

対面授業最終日の最後の1時間で試験を行う。(50%)。課題は全て Google classroom に掲載された課題は全て提出すること。(30%)そして対面授業の時に一人1回ずつテキストの英文について和訳や解説などの発表をしてもらう。(20%)オンデマンド授業と対面授業の両方に全て出席していることを前提として評価する。オンデマンド授業では動画の視聴と課題の期限内の提出で出席とする。

◆教科書

市販本 『BBC: The Story of English』 マッカラン、クラン、マックニール共著 菅原光穂編
注 英宝社

◆参考書

なし。

◆授業相談先（連絡先）

質問や連絡はメールかGoogle classroomのコメントでお願いします。メールアドレスは
Kuwayama.keiko2020@nihon-u.ac.jp です。

1日1回は確認する予定ですが、他大学、他学部の授業の合間にメールを確認するため、時間指定が出来ません。時間がかかることもありますが、必ず返信はしますのでお待ちください。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>① 授業についての説明（授業全般の進め方、成績評価、課題について、など）</p> <p>② テキスト：pp. 9 - 12 / ③pp. 19 - 23</p> <p>④pp. 23 - 26 / ⑤pp. 31 - 33</p> <p>⑥pp. 33 - 36</p> <p>（注意） pp. 12 - 19 (The Celts), pp. 26 - 31 (The Words of Gods) は時間的な関係から扱いません。</p> <p>詳しい予定と対面授業で各自担当する場所についてはスクーリングが開講前に Google classroom に掲載する予定です。</p>
事 前 学 修	<p>動画の視聴前にテキストの英文をわからない語を辞書で調べて読んでおく。内容がわからないところは参考書などを読んで調べる。</p>
事 後 学 修	<p>動画を視聴後にテキストを見ながら、見た動画の内容をノートにまとめる。英語の変化をイングランドで起こった事件と並列させてまとめる。</p> <p>わからないところをノートに書きだし、Google classroom のコメントまたはメールで質問するか、対面授業で質問出来るようにしておく。</p>

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	(午前) ①pp. 36 - 39 ②pp. 39 - 43 (午後) ③pp. 43 - 46 ④pp. 47- 50 ⑤本日の復習
2 日 目	授 業 内 容	(午前) ①pp. 51-55 ②pp. 55 - 58 (午後) ③pp. 58 - 64 ④対面 2 日目で読んだところの復習 ⑤試験
事 前 学 修		テキストをよく読み、わからないところは参考書などで調べて対面授業で読む pp. 36 - 64 を予め読んでおくこと。時代ごとに内容をノートにまとめておくこと。
事 後 学 修		事前学修で予習したことが授業での解説と違っているところや間違えたところをよく復習する。テキストや参考書などをよく見なおすこと。わからないところは参考書などを調べたりする。

◆授業概要

主に「東洋史」（特に中国史）の卒業論文を書く学生は、日本語だけでなく中国語の論文を参照したいものです。中国語の文章にじっくり取り組み日本語に翻訳する機会はめったにない貴重な経験ではないでしょうか。1人だと挫折しがちですが、数名の仲間とともに中国語論文読みに挑戦してみませんか？ テキストとする中国語の論文については、中国の前近代史または中国民族史に関するものを予定しています。

◆学修到達目標

卒業論文で中国語の論文を参照したいという学生を対象に、中国語で書かれた論文を読むための最低限のスキルを身につけます。時間をかけて中国語の論文を日本語に翻訳する作業をつうじて、よく使われる中国語の文法やフレーズなどを会得すれば、日本語の論文だけでなく中国語の論文を理解することで卒業論文や教職教材に幅が広がります。

◆授業方法**・オンデマンド**

オンデマンドでは、Google Classroom を使って辞書の引き方や翻訳の基礎などを学びます。辞書と言っても、中国語辞書の場合は文字（漢字）の部首で引くものと文字（漢字）の音で引くものの2種類がありますが、これらを含めて紹介をします。またアクティブ・ラーニングで、短い文章を翻訳したり、文体の整った文章の翻訳を学びます。

・対面授業

ほかの学生とグループを組み、オンデマンドでは一人でこなしていた翻訳をグループ全員で精査する作業を組み込みます。翻訳には、「完全な正解」はありませんが「間違い」は存在します。辞書的な訳語でなく、歴史的な専門用語を踏まえた翻訳を目指します。そしてグループとしての訳を作り発表してもらいます。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

授業参画度（60%）・発表（40%）。最終試験はおこないませんが、対面授業時は、必ず中国語辞書を用意し持参してください。

◆教科書

資料配布 (Classroom) 事前にプリントを配布します。中国語辞典（中日辞典）を必ず用意してください。中国語辞典を買うならば愛知大学中日大辞典編纂処編『中日大辞典』（大修館書店）の初版本が望ましいです。手に入らなければ、例文がたくさん載っている辞書を用意して下さい。コンパクトな辞書は、この授業には役に立ちません。

◆参考書

市販本 松丸道雄ほか [編] 『シリーズ世界歴史大系・中国史 4 巻：明－清』（山川出版社、1999 年）【購入義務はありません】

市販本 岡田英弘・神田信夫・松村潤 『紫禁城の栄光：明・清全史』（講談社学術文庫、2006 年）【購入義務はありません】

市販本 石橋崇雄 『大清帝国への道』（講談社学術文庫、2011 年）【購入義務はありません】

◆授業相談先（連絡先）

watanuki.tetsuro2020@nihon-u.ac.jp

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	①中国史論文の探し方 ②中国語辞書の使い方 ③中国語翻訳のやり方 ④中国語を翻訳してみよう（短文）・解答例 ⑤中国語を翻訳してみよう（定型文）・解答例
事 前 学 修	資料など配布物を読んで、不明な用語やキーワードについてはネットで構わないので調べておく。なおネット検索の場合は、検索結果の上部だけでなく複数の結果を確認し、違いがあれば、そちらも調べておく。
事 後 学 修	必ず日本語訳した内容を再確認してください。翻訳作業では、翻訳のやりっぱなし（再確認なし）がいちばん怖いことだからです。再確認がないと、翻訳での上達がないと言っても過言ではないからです。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	①グループ翻訳作業、②グループ発表、③翻訳内容をリライト。この①～③を繰り返す。なおグループ分けは教員がおこなう。
2 日 目	授 業 内 容	①グループ翻訳作業、②グループ発表、③翻訳内容をリライト。この①～③を繰り返す。なおグループ分けは教員がおこなう。
事 前 学 修		資料を読んで、中国語の不明な用語や歴史上の不明なキーワードについて、ネットで構わないので調べておく。なおネット検索の場合は、検索結果の上部だけでなく複数の結果を確認し、違いがあれば、そちらも調べておく。
事 後 学 修		グループでのリライト後に、必ず日本語訳した内容を再確認しておいてください。翻訳作業では、翻訳のやりっぱなしがいちばん怖いことだからです。再確認しないと、翻訳での上達は望めないかもしれません。

◆授業概要

日本の国家財政の収入源は、概ね税金である。国の財政状態を把握、理解し、そこにある問題点を解決する方法を検討するのが、本講座の目的である。本講座では、税理士の権利として国に対し税制の建議をし続けてきた経験に基づき、実際に施行されている租税制度を基に研究する。初学者にも理解できるようにわかりやすい補助教材や資料を用いて、具体的なテーマを設定の上、実社会でも問題とされている内容を基に授業を進めていくアクティブラーニング型講座である。

◆学修到達目標

まず、今の日本の財政の状態が今後の国の在り方にどのように影響するのかを理解し、そこにある問題点を指摘・説明できるようになる。次に、その問題点を解決するために必要と考えられる租税制度を提案できるようになる。さらに、その問題点を解決するために現行の租税制度をどのように改善すべきかを指摘できるようになる。加えて、あるべき租税制度を創案することができるようになる。

◆授業方法**・オンデマンド**

第1回から第5回 財政の現状、税の仕組みと比較すべき社会保障制度について。資料としての動画を視聴して、レジュメの指示に従って問題点を検討する。レジュメにある課題について、リアクションペーパーとして自分の意見を回答する。(レジュメは全回分載せるので注意のこと)

第6回から第15回 財政の現状について解説する。収入源である税制度について、概要を解説する。税の基本的考え方について解説する。租税回避行為について解説する。生活保護について解説する。財政状態の健全化に向けて、どのようにすべきか(理想を追っても政府が実現しなければ意味が薄い)を検討する。解説するにあたり、疑問はClassroomを通して質問すること。なお、レジュメ・資料はClassroomにて指示する。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

レポート 70%、リアクションペーパー 20%、授業参画度 10%。

◆教科書

市販本 『よくわかる税法入門(最新版)』三木義一編著 有斐閣

◆参考書

なし。

◆授業相談先(連絡先)

Classroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 日本の財政の問題を把握し、所得税の所得について考える 2 所得税を納める者の特定 3 所得を計算する上で必要となる経費について考える 4 所得の種類と分類する意味について考える 5 税負担の調整としての所得控除、税控除について考える
事 前 学 修	各回のテーマを基に教科書から予備知識を身に付けて置く
事 後 学 修	各回のレジュメの最後に「課題」が課されている。その課題についてネット検索して情報を集め、各回の授業で得た考えを基に意見をまとめて、各回の課題の回答を記述する

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 法人は誰のものか、課税問題。 2 法人でもないのに、法人税課税の謎。 3 経済が与える法人税への影響。 4 法人税の計算構造 5 消費税の益税問題。
2 日 目	授 業 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1 消費税の軽減税率とインボイス。 2 経済が与える消費税への影響。 3 消費税と社会保障の一体改革。 4 相続税について。 5 確認テストとまとめ。
事 前 学 修	各回のテーマを基に教科書から予備知識を身に付けて置く	
事 後 学 修	各回に課題があるが、最終回のまとめで、確認テストのレポート提出がある。当該レポートや各回の課題は必ず控えを作成し、事後学修として、再検証してみる	

◆授業概要

貨幣と国内総生産（GDP）の関係について学習します。具体的には、日銀が行う貨幣供給の増加がGDPに与えるインパクトについて分析します。また、現在、注目されている「現代貨幣理論」についても学習します。

◆学修到達目標

景気悪化の原因が貨幣量の不足にあることを理解し、景気の現状と将来の景気予測をできるようにすることが目標です

◆授業方法**・オンデマンド**

授業動画（約 30 分）および小テスト（60 分）を実施します。

・対面授業

授業は黒板を使って説明を行っていきます。しかし、教師が一方的に授業を進めることはしません。ときおり、学生からの質問を受けますし、逆に教師から学生に対して質問して課題の理解を深めたいと思っております。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

小テスト（50%）と期末テスト（50%）で成績を評価します。

◆教科書

市販本 『マクロ経済学と貨幣』 藤本訓利・関谷喜三郎・八千代出版・2012年

◆参考書

必要に応じて資料を配布します。

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	①家計、生産者、国の関係について学習する。②株式会社組織のメリットについて学習する。 ③GDP(国内総生産)とは何かについて学習する。④三面等価の法則について学習する。 ⑤GDPの決定について学習する。⑥利子率の決定と投資の関係について学習する。 ⑦日銀と民間銀行の関係について学習する。⑧貨幣と国内総生産の関係について学習する。 ⑨小テストを実施する。
事 前 学 修	教科書1-35ページ、51-65ページ、99-115ページを事前に読んでおくこと。また、内閣府の統計データにアクセスしてGDPデータを事前に取得しておくこと。
事 後 学 修	とくにGDPの決定、利子率と投資の関係、貨幣とGDPの関係について復習して理解を深めておくこと。

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	① IS 曲線の導出とシフトについて学習する。② LM 曲線の導出とシフトについて学習する。③ IS 曲線と LM 曲線を使って GDP の決定について学習する。
2 日 目	授 業 内 容	① IS 曲線と LM 曲線を使って財政政策の効果について学習する。② IS 曲線と LM 曲線を使って金融政策の効果について学習する。③ 現代貨幣理論について学習する
事 前 学 修	教科書 115-141 ページを事前に読んでおくこと。また、日銀にアクセスして短観を事前に取得しておくこと。	
事 後 学 修	IS 曲線と LM 曲線の特徴および財政政策と金融政策の有効性についてしっかり復習しておくこと。	

◆授業概要

5月のスクーリングでは、マーケティング、商品展開の基本について講義しました。10月のスクーリングでは、それを発展応用するという意味から、グローバル市場におけるマーケティング、商品展開について講義します。ビジネスの観点からみれば、日本企業は高い技術力を誇っているが、海外市場であまり多くの利益をあげていない。人事管理などいくつかの原因が考えられるが、海外での収益が伸びないのは、現地の消費者に「必要な」モノやサービスを提供していないことも1つ。言い換えれば、異文化社会における消費者行動とマーケティングを理解していないため。そこで、このたびの講義は国際的な視点を意識した商品展開、グローバル・マーケティングについて講義します。

◆学修到達目標

- ・グローバル化の意味とそれが企業経営にもたらす機会と脅威
- ・国ごとに異なる事業環境の違いを活かし、企業の利益につなげるマーケティング戦略
- ・グローバル・マーケティング戦略を実行する組織

について、理解を深めることを目標とします。

◆授業方法**・オンデマンド**

月曜日から金曜日まで、各日1コマ分にあたる講義を行います (google classroom 上でオンデマンド形式)。土日曜日は対面授業の代わりに、引き続きオンデマンドで講義を行います。各日5コマ分にあたる講義を行います。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

授業中および後に作成するレポート (100%) レポート課題については3-4回課します。授業内容を反映しているかと併せて、自分で調べ考え論理的に答えを導き出しているかを見ます。

◆教科書

市販本 『1からのグローバル・マーケティング』 小田部正明ほか 碩学舎 2017年

◆参考書

市販本 小田部正明、K. ヘルセン『国際マーケティング』碩学舎、2010年

市販本 イアン・アーロン他『グローバル戦略市場戦略』白桃書房、2017年。

市販本 大石芳裕 『実践的グローバル・マーケティング』 ミネルヴァ書房、2017年。

市販本 マリーケ・デ・モーイ 『グローバル・マーケティング・コミュニケーション』 千倉書房、2016年。

◆授業相談先 (連絡先)

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	第1回 グローバル化する世界と企業経営の課題、グローバルマーケティングとは 第2回 ラーチーゴー日本のケース 第3回 グローバル・マーケティングの概要 第4回 グローバルな文化環境（1） 第5回 グローバルな文化環境（2）
事 前 学 修	事前学修として、教科書「1からのグローバル・マーケティング」の第1－3章を読むこと。
事 後 学 修	事後学修は講義中に課題を指示する。レポート課題を1つ出す予定です。

・オンライン授業（11日，12日）

1 日 目	授 業 内 容	第6－7回 グローバル・マーケティングリサーチ 第8－10回グローバル市場におけるSTP なお、今回は土曜日はオンラインで行います。（コロナ感染症対策のため）
2 日 目	授 業 内 容	第11回 グローバル・マーケティング戦略 第12回－14回グローバル・マーケティングミックス・プログラム なお、今回は日曜日はオンラインで行います。（コロナ感染症対策のため）
事 前 学 修		土曜日講義の事前学修として、教科書「1からのグローバル・マーケティング」の第4－6章を読むこと。また、日曜日講義の事前学修として。同じく第7，9，11，12章を読むこと。
事 後 学 修		事後学修は講義中に課題を指示する。レポート課題を2つ出す予定です。

◆授業概要

最初に教育社会学がどんな学問なのかを略述し、学校の社会化機能、選抜機能、収容機能の整理を中心に、学校を見ていく視点を理解させる。次いで、学校を巡る近年の様々な状況の変化を歴史とデータとの両面から考え、考えるべき理論的諸課題を理解させる。その次に、子供の生活の変化を踏まえた指導上の課題を、特に指導の困難性の性格についてデータや事例をもとに考えさせたうえで、考えるべき理論的課題を理解させる。次いで、近年の教育政策の動向と教育について説明し、考えるべき理論的課題を理解させる。次いで、地域との連携、学校安全の問題や諸外国の教育事情や教育改革の動向について、自分の視点で考えられるよう課題を与え、考えるべき理論的課題を理解させる。

◆学修到達目標

現代教育のさまざまなトピックを社会学的な視点から考察することで、教育を広い社会的文脈に位置づけて理解できるようになることをめざす。近現代社会における学校の性格や社会的役割を多面的に理解し、学校で生起している諸問題を理解し、適切な情報の吟味、学校経営や指導の考え方ができるようになる。

◆授業方法**・オンデマンド**

受講者は、社会の変化の中での教育の役割について、いろいろと考えをめぐらせながら講義を受講してもらいたい。それゆえ、授業の3倍程度の時間をかけて、あらかじめ参考図書や新聞・雑誌などを通して予習をしておくことが求められる。また、政治や法、経済・外交など、広い知識や関心を持つ者ほど得るものが大きいはずである。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

課題が示してあるので、それに基づいて受講者が取り組んで提出した提出物が評価の対象になる。提出物の評価（100%）。

◆教科書

様々な種類の資料を配布しながら講義を行う。

◆参考書

市販本 広田照幸『教育改革のやめ方——考える教師、頼れる行政のための視点』（2019年、世織書房）

市販本 須藤康介『教育問題の「常識」を問い直す——いじめ・不登校から家族・学歴まで』（2017年、明星大学出版部）

市販本 広田照幸『ヒューマニティーズ 教育学』（2009年、岩波書店）

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>前半の8回は、教育社会学の性格や特徴をふまえた後に、教育をどう見るか、学校をどう見るか、子供や家庭をどう見るか、地域社会をどう見るか、近年の教育政策をどう見るか、今後の社会変動と教育との関連をどう見るかなどを、Zoom 動画教材で説明し、各自はさらにシラバス詳細版に示された課題に取り組んで、成果物を提出する。</p> <p>後半の7回は、指定文献を精読した上で、課題に取り組み、知識や関心を発展させ、それをふまえて考える作業を行い、成果物を提出する。</p>
事 前 学 修	<p>所定の各主題について、自分なりに情報を集めたり、文献に目を通したりして、基礎的な理解をしておく。参考文献に掲げた本に目を通しておくなど、それぞれの受講者で必要なものを考え、事前に学修しておくことが期待される。動画をもとにした回も、課題探求型の回も、2時間程度のかかりの時間をかけた作業が必要になる。</p>
事 後 学 修	<p>授業で出てきた主題や事項、概念や理論に関して、文献やWEB 情報を集め、さらに深い理解を作っていく。できれば、日常的に接する教育の諸主題について、授業で出てきた理論や概念を用いて、自分なりに言語化して思考に使っていくことが期待される。</p>

◆授業概要

英語の言語運用能力を習得する為に、Reading を中心とした英文を速く、正確に理解できるよう英文読解力を身に付けます。文章構造や段落構成、段落展開を踏まえた直読直解、大意把握、サマリーの仕方等に慣れます。同時に grammar や listening の基礎を理解し運用できるようにします。

◆学修到達目標

- ・英語の文の構造を正しくとらえながら、その内容を理解し、説明することができる。
- ・英語の物語、ニュース、論説などを最初から最後まで読み通し、概要をつかむことができる。
- ・英語のパラグラフの構成をよく理解し、英語の文章を読むとき、書くときに応用することができる。
- ・基本的な発話音声のルールのもとに語彙を身に付け、使いこなすことができる。”

◆授業方法**・オンデマンド**

Google フォームの解答用紙に毎週の課題を記入し提出してください。点数化され戻ります。

・対面授業

教科書の Reading 中心に task ベースで、ペアーやグループワークを採り入れ、直読直解するやり方で読み進めます。各段落の中心となる話題文を探すことで要旨を把握します。

◆履修条件

令和2年度昼間スクーリング（前期）『英語』令和3年度夏季スクーリング『英語 J』（町田純子）とは積み重ね不可。

◆成績評価基準

全出席を前提に発表、授業への参画度（15%）課題13回（65%）まとめの課題（20%）により総合的に評価します。

◆教科書

『Dear Learners 』英語の世界へ踏み出そう 永本義弘、町田純子、八木茂那子、Ian Ellsworth、南雲堂 2020

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Gメールにて対応いたします。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>授業の進め方、評価方法を説明をする。シラバス内容を確認の上授業に臨み、授業計画を確認する。ガイダンスのおさらいをする。</p> <p>5 文型を理解し、応用できる。</p> <p>Unit1 Sowing Seeds of Peace, Education & Hope-Malala を理解し、問題を解答できる。</p> <p>Unit2 Sowing Seeds of Food Savings-OzHarvest Market を理解し、問題を解答できる。</p> <p>Unit 3 Sowing Seeds of Safety-An Eye on Crime を理解し、問題を解答できる。</p> <p>Unit4 Sowing Seeds of Work-Work Balance を理解し、問題を解答できる。</p> <p>Unit 5 Sowing Seeds of Exercise-Sport BMX and Urban Fun? を理解し、問題を解答できる。</p>
事 前 学 修	テキストを購入して備える。Unit1~5 Warm Up の問題を解いてくる
事 後 学 修	Unit1~5 の語彙を確認し、Reading の要約を書いてみる。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	Unit 6 Sowing Seeds of Happiness-Happiness Unit 7 Sowing Seeds of Entertainment-Sports and Games Unit 8 Sowing Seeds of Health- Medical Science Unit 9 Sowing Seeds of Psychology-Resilience を理解し、問題を解答できる。
2 日 目	授 業 内 容	Unit10 Sowing Seeds of Facts: Efforts to Flag Fake-news Unit11 Sowing Seeds of Intelligence- Brain Development Unit12 Sowing Seeds of Friendship-Yosegaki Hinomaru Unit 13 Sowing Seeds of Humanity-A Hero を理解し、問題を解答できる。まとめの試験を解答できる。
事 前 学 修		Warm Up の問題を解いてくる。

事後学修	Unit1~Unit13 までの復習をする。
------	------------------------

◆授業概要

現代の高齢社会では、健康を維持・増進するためには、適度な運動習慣を生活習慣に取り込むことが求められる。そこで、まず自己の体力の現状を把握し、身体運動の継続的な必要性について認識を高める。そして、年齢や体力レベルに応じた運動参加への具体的方法を理解し、スポーツ実践に取り組むとともに、それらを通して他者とコミュニケーションを活発に図ることで社会的スキルも養う。そのためにも、1日20分以上の連続歩行や軽い柔軟運動の実施を心がけ、日頃からコンディションの維持が大切となる。特に、トレーニングコーチ（日本オリンピック委員会強化スタッフまたはスポーツメンタルトレーニング指導士など）として体力トレーニングやメンタルトレーニングの指導実績を生かし、実践的で効果的な健康教育に関する知識を授業に反映させている。

◆学修到達目標

多くの運動やスポーツの実践を通して、その楽しさや、理論的背景に基づいて具体的方法を学び、自らが身体活動を継続して実施することの重要性を認識できるようになる。

◆授業方法**・オンデマンド**

全15回で構成されて授業は、それぞれ運動課題と研究課題から成っている。運動課題では、実際に行う運動について動画資料を確認しながら実施し、その結果についてClassroom上で回答し、振り返る。また、研究課題については、指示された資料を閲覧後、Classroom上で感想を述べたり、クイズに解答することで振り返りを促す。また、授業の最後には最終レポートを求める。

・対面授業

なし

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

授業への取り組み（運動課題30%、研究課題30%）、最終レポート40%（自己の体力に合った運動への理解と遂行を含む）によって総合的に評価します。

◆教科書

なし

◆参考書

『大学生のための最新健康・スポーツ科学』 日本大学文理学部体育学研究室編、八千代出版、2019年

◆授業相談先（連絡先）

初回授業時に伝える。

◆授業計画
・オンデマンド

<p>授 業 内 容</p>	<p>”第1日目 第1回<実技課題>上体起こしテスト、<研究課題>テスト結果の客観的評価 第2回<実技課題>ドロイン、<研究課題>スポーツの歴史調査 第3回<実技課題>閉眼片足立ち、<研究課題>熱中症予防について” ”第2日目 第4回<実技課題>スロートレーニング1（ワイドスクワット・クランチ・プッシュアップ）、<研究課題>メタボリックシンドロームについて 第5回<実技課題>スロートレーニング2（足踏み、首周辺・上腕二頭筋・肩甲骨周りの運動）、<研究課題>スポーツ権について 第6回<実技課題>スロートレーニング3（上記1・2のコンバインド）、<研究課題>スポーツ事故について” ”第3日目 第7回<実技課題>プランク、<研究課題>自覚的運動強度について 第8回<実技課題>有酸素運動、<研究課題>有酸素運動について 第9回<実技課題>タオルストレッチ、<研究課題>一次救命処置、AED設置場所調査” ”第4日目 第10回<実技課題>スクワットエクササイズ、<研究課題>朝食の重要性について 第11回<実技課題>座位運動、<研究課題>ストレスとその過程 第12回<実技課題>有酸素運動、<研究課題>運動好きと運動嫌い” ”第5日目 第13回<実技課題>10回立ち上がりテスト、オーバーヘッドバランススクワット、<研究課題>ストレスの生理的メカニズムと健康被害 第14回<実技課題>立ち上がり能力テスト、筋力アップエクササイズ、<研究課題>呼吸調整法によるリラクセーション 第15回<実技課題>ラジオ体操第三、<研究課題>授業の振り返り”</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>セルフコンディショニングを徹底し、心身のコンディションの維持に留意しておくこと（計75分）。また、授業計画にある運動課題や研究課題の内容について、インターネット等を活用して事前に調査しておくこと（各5分計75分）。</p>
<p>事 後 学 修</p>	<p>運動課題実施後には、振り返りとして運動習慣化できる可能性を検討するとともに、ストレッチや柔軟運動などの整理運動を徹底しておくこと（各運動課題10分計150分）。</p>

・ 対面授業（参考）

1	授 業 内 容	なし
日 目		
2	授 業 内 容	なし
日 目		
事 前 学 修		なし
事 後 学 修		なし

◆授業概要

言語研究において、クロス表はごく一般的な表であるが、それをきちんと解析することは、あまり行われていない。この授業では、 χ^2 二乗検定と交互平均法の二つの手法を学び、それぞれ計算法を理解するとともに、実際に計算してみる。その上で、さまざまな日本語研究の実例に応用してみて、クロス表をどのように考えたらいいかを検討する。

◆学修到達目標

χ^2 二乗検定と交互平均法について、自分で手計算で計算できるようになるとともに、荻野の提供するプログラムを用いた計算もできるようになる。その上で、日本語学の各種論文を探し、そこに出てくるクロス表に二つの手法を適用することによって、データをどのように見たらいいか（論文中とは別の新しい見方ができるのか）が考えられるようになる。

◆授業方法**・オンデマンド**

荻野が各手法について説明するとともに、受講者は宿題を解くことを通じてそれぞれの手法の計算法を具体的に体得する。

・対面授業

受講者がレポート課題の中間発表を行う。受講者は、任意の日本語学（国語学）の論文を選び、論文中に出てくるクロス表（およびそれと同等の表）に二つの手法を適用して、その結果を基に、クロス表が何を物語っているのかを明らかにする。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

レポート 80%、課題（宿題） 10%、中間発表 10%

◆教科書

なし。

◆参考書

市販本 計量国語学会 『データで学ぶ日本語学入門』 朝倉書店 2017年 第1版

市販本 荻野綱男・田野村忠温 『質問調査法と統計処理 (講座 ITと日本語研究 第8巻)』
明治書院 2012年 第1版

その他 荻野綱男他 『日本語の計量研究法 (日本語学 Vol.20 No.5 4月臨時増刊号)』 明治
書院 2001年 第1版

◆授業相談先 (連絡先)

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

<p>授 業 内 容</p>	<p>第1回 インTRODクシヨンとレポートの書き方 授業全体としてどんなことを行い、何を学ぶのか、解説する。 第2回 クロス表のχ二乗検定の基本 χ二乗検定の考え方、計算法を解説し、手計算での計算法とプログラムによる計算法を紹介する。 第3回 クロス表のχ二乗検定の応用例 言語研究のデータに応用するとどういふ結果になるかを紹介する。 第4回 交互平均法の基本 交互平均法の考え方、計算法を解説し、手計算での計算法とプログラムによる計算法を紹介する。 第5回 交互平均法の応用例 言語研究のデータに応用するとどういふ結果になるかを紹介する。 *動画ではなく、音声で授業を行う。配布プリントがある。</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>クロス表は2次元に数値が配置された数表である。クロス表が使われている日本語学の論文を探しておく必要がある。その論文で何を論じ、論文の著者がクロス表から何を読み取っているかを把握しておく。</p>
<p>事 後 学 修</p>	<p>何回かの課題（宿題）があるので、受講者は必ず提出すること。</p>

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	毎回1コマ当たり2人が中間発表を行う。取り上げる論文は発表者が自由に選択する。論文の内容は、日本語学（国語学）の範囲のものとするが、日本語に関連していれば何でもよいので、日本語教育や、社会言語学、対照言語学、心理言語学などの論文でもよい。
2 日 目	授 業 内 容	1日目と同様とする。履修者の数が少ない場合は、荻野が交互平均法を敬語のデータに適用した研究結果を紹介する。
事 前 学 修	発表者はレジュメを用意する。自分が選んだ論文の記載内容を適宜要約するとともに、自分が χ 二乗検定や交互平均法をどのように適用したか、その結果何がわかったか、論文中に書かれていることと何が同じで何が異なるかなどをまとめること。	
事 後 学 修	各発表者がクロス表をどのように分析したかをとらえ直し、自分の言葉でまとめ直す。また、自分の発表に対して返されたコメントを咀嚼し、内容を追加・改訂し、さらによいものにしてレポートとして提出する。	

◆授業概要

This course offers students an opportunity to communicate with other students in an open setting. We will model various language structures throughout the course and practice using the target language with other groups.

◆学修到達目標

Our overall objective is to accelerate students' progress in speaking and prepare for everyday communication. We also aim to master various grammatical structures and phrasal verb usage with a focus on fluency.

◆授業方法

Speech Communication 1 is a topic based course that presents objectives in a fun and interactive manner. The teacher will provide hand-outs as the course progresses and you will have the chance to practice the material with various members in the class.

◆履修条件

The course is open to all students. Activities are set at a pre-intermediate level. All students are expected to try their best to use English at all times.

◆成績評価基準

Grades are based on class work and participation (70%). A speaking test and a writing test. (30%).

◆教科書

なし

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	Orientation and Icebreakers. Role plays and sentence structure with a fitness theme. Role play, Things I like Doing. Study Regular vs. Irregular verbs. Create a survey and ask 4 students.
事 前 学 修	Prepare a 10 sentence student profile including hobbies and interests. Write 10 activities that people do to keep fit in Japan. Make 3 questions about one's daily routines. Prepare to talk about your daily routines.
事 後 学 修	The teacher will give you some activities where you can follow-up with what was practiced in class, such fill in the blank regarding sound systems and pronunciation. After you have completed your survey, you will be required to write a report about your findings.

・オンデマンド授業

1 日 目	授 業 内 容	Vocabulary and Language practice for story #1 entitled The Story of The Kelly Gang. Create 2 story generators 'A' and 'B'. Create new groups for ShowTime. Read and practice the script "Eat, Drink and Be Merry". ShowTime in small groups. Complete your active listening worksheets.
2 日 目	授 業 内 容	Showtime in large groups. Brainstorm vocabulary and apply words and phrases to people you know. Comparitives vs Superlatives. Check the vocabulary meanings and their opposites. Test review; complete your checklist. A Final Exam and a Speaking Test will be held on the last day.
事 前 学 修	Read over 'Important Firsts'. Prepare for QuizTime! Write 2 multiple choice questions for your fellow students. Prepare to discuss your favorite restaurants. Prepare your Restaurant Review. Prepare a self-description for the unit, Appearance and Personality. Read over the role play, "My Family". Review the previous topics and prepare for the final tests.	
事 後 学 修	Finish both stories A&B and prepare to present them to your group. Review the grammar for the last 2 lessons. Finish the activity (Can, Could, Would) and have command over these usages. Read over, "Extraordinary Restaurants". Review notes on Appearance and Personality. Make 10 sentences with the previous vocabulary and prepare to verbalize them. Review all units in order to be ready for the final tests.	

◆授業概要

シェイクスピアの詩型である「弱強5歩脚の無韻詩（ブランクヴェース）」の基本を学び、当時のエリザベス女王の時代のカトリックとプロテスタントの闘争の歴史を学び、それが作品にどのような影響を及ぼしているかなどを学ぶ。四大悲劇のあらすじと名せりふを原典から学ぶ。四大悲劇の『ハムレット』『リア王』『マクベス』『オセロ』はどの翻訳本でも良いので読んでおくこと。新訳は角川文庫の河合祥一郎の訳本である。またケネス・ブラナーの1996年2枚組のDVD『ハムレット』は完全版なのでおすすめ。ただ時代背景が19世紀に設定されている。『シェイクスピア 映画大全集』（DVD10枚組 BCP-057）が2千円くらいで買えるので参考にすればよい。『蜷川幸雄とシェイクスピア』 角川書店 2015 もおすすめ。

◆学修到達目標

シェイクスピアの作品に親しみ、映像を視聴して、時代背景や文化などを総合的に学習して全体的基本理解を得ることができる。

◆授業方法**・オンデマンド**

オンデマンド講義のテキスト講読は書画カメラを使い文法を確認しながら和訳して解説していく。オンデマンドの場合課題が出るので、期限までに必ずGoogle・クラスルームに提出する。遅れは不受理。期限時間ギリギリに出すとGoogle・クラスルームのソフトの仕様で受け付けないので注意。課題の解答と解説は次回の講義の映像に含める。映像を多用する。蜷川幸雄のシェイクスピア劇もみせる。通信のテキストを使い、シェイクスピアの章(pp. 163~199)を解説しながら進めていくが、オンデマンドと対面を合わせて目安として pp. 163~173 まで読めれば良いと思う。尚最後の部分の『アントニーとクレオパトラ』は省略の予定。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。

・対面授業

対面講義はシェイクスピア関連の映像をみせる。通信のテキストを使い、シェイクスピアの章(pp. 163~199)を解説しながら進めていくが、オンデマンドと対面を合わせて。目安として pp. 163~173 まで読めれば良いと思う。尚最後の部分の『アントニーとクレオパトラ』は省略の予定。その代わり代表作『ハムレット』を併読する。やさしい現代英語に書き直したものではなく原典を読む。『ハムレット』は講義中にプリント配布予定。『ハムレット』は通信のテキストと関係のあるところを読む。講義当日配布の『ハムレット』の原典は英文が難しいので、原典から和訳などの試験は出さない。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。

◆履修条件

令和2年度東京スクーリング（11月期）『英米文学特殊講義』（北原安治）とは積み重ね不可。

◆成績評価基準

オンデマンド講義の課題をすべて必ず出すこと。遅れは不受理。授業への取り組みや小テストなどの総合評価。遅刻せずに皆出席すること。試験は持ち込みなしの限定箇所の英文和訳と小論文。小論文は『ハムレット』について各自でテーマを見つけて論じる, 000 字以上書く。ひとつのテーマ（たとえば「復讐の遅延」）で 1, 000 字以上書いてもよいし、複数のテーマ（たとえば「復讐の遅延」500 字「ハムレットのオイディプス・コンプレックス」500 字）で書いてもよい。持ち込みなしの 100 分試験。『ハムレット』の主要登場人物名は日本語で問題文のあとにヒントとして印刷しておく。

◆教科書

通材 『英米文学概説 0086 English Literature 英文ラーナー』
通信教育部教材。下記の英宝社の翻訳あり。

◆参考書

市販本 （講義では使いません）『英文学をどう読むか』（1969 年）[絶版] L. D. ラーナー（著），
深瀬 基寛（翻訳） 英宝社

市販本 （講義では使いません）シェイクスピア『ハムレット』（NHK テレビテキスト 100 分 de
名著）河合祥一郎（著）

市販本 （講義では使いません）謎解き『ハムレット』：名作のあかし（ちくま学芸文庫）河合
祥一郎（著）

市販本 （講義では使いません）『7人のシェイクスピア』（コミック）ハロルド作石（著）講
談社、Kindle 版あり

市販本 （講義では使いません）『ハムレット』（岩波文庫）（2002）野島 秀勝（翻訳）

◆授業相談先（連絡先）

fra3in5@yahoo.co.jp

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>韻律の基本理解としてテキストの75ページから77ページまで英文を読みながら解説する。</p> <p>オンデマンドと対面合わせてテキストの163ページから177ページまで読む予定。</p> <p>講義該当箇所の英文のS, V, Oなどの基本文型の指摘と和訳。</p> <p>各演出家あるいは映画監督によるシェイクスピアの劇や映画の視聴。</p> <p>『ハムレット』の原典講読。</p>
事 前 学 修	<p>『英文学をどう読むか』（1969年）[絶版]L. D. ラーナー（著）、深瀬基寛（翻訳）英宝社を図書館で借りてきて該当箇所を予習する。シェイクスピア『ハムレット』（NHK テレビテキスト100分 de 名著）河合祥一郎（著）や「謎解き『ハムレット』：名作のあかし」（ちくま学芸文庫）河合祥一郎（著）などを読み全体的な理解をしておく。</p> <p>『英詩を味わう—韻律美の構造』1997 深井龍雄（著）などを読み、韻律について予習をする。</p>
事 後 学 修	<p>オンデマンド講義はGoogle・クラスルームで課題が出るので、Google・クラスルームの課題の提出の仕方を確認しておく。提出時間ギリギリに出すと、ソフトの仕様で不受理になるので、時間に余裕をもって提出すること。課題は毎回必ず出すこと。オンデマンド講義を受けた後は基本文法を確認して、事前に予習で不明なところや和訳が間違ったところなどを復習する。課題の解答と解説は次回の講義映像に含める。</p>

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	オンデマンド講義の続きからテキストを読んでいく。『英文学をどう読むか』（1969年）[絶版]を図書館で借りてきて該当箇所を予習する。シェイクスピア『ハムレット』（NHKテレビテキスト100分 de 名著）河合祥一郎（著）や「謎解き『ハムレット』：名作のあかし」（ちくま学芸文庫）河合祥一郎（著）などを読み全体的な理解をしておく。『英詩を味わう—韻律美の構造』1997 深井龍雄（著）などを読み、韻律について予習をする。対面2日目の持ち込み不可筆記試験の準備。
2 日 目	授 業 内 容	対面1日目の続きからテキストを読んでいく。各劇や映画などの映像資料を見せる。『ハムレット』の手に入りやすい文庫の和訳は多数出ているので、時間に余裕のある方は図書館で借りて読み比べればよい。小田島雄志訳(1983)松岡和子訳(1996)野島秀勝訳(2002)河合祥一郎訳(2003)安西徹雄訳（2010）。対面2日目は持ち込み不可の筆記試験がある。文法問題と小論文で合わせて100分の予定。
事 前 学 修		『英文学をどう読むか』（1969年）[絶版]L.D.ラーナー（著）、深瀬基寛（翻訳）英宝社を図書館で借りてきて該当箇所を予習する。シェイクスピア『ハムレット』（NHKテレビテキスト100分 de 名著）河合祥一郎（著）や「謎解き『ハムレット』：名作のあかし」（ちくま学芸文庫）河合祥一郎（著）などを読み全体的な理解をしておく。『英詩を味わう—韻律美の構造』1997 深井龍雄（著）などを読み、韻律について予習をする。
事 後 学 修		対面講義を受けた後は5文型や関係詞、前置詞、仮定法、節、句などの基本文法を確認して、事前に予習で不明なところや和訳が間違ったところなどを復習する。卒論でシェイクスピアを扱う学生は早めに作品を決めて図書館で資料を読んでおく。シェイクスピアの舞台公演がある場合は実際の芝居を見るように心がける。

◆授業概要

デカルト『情念論』を読んでいます。デカルトは心身二元論が有名ですが、『情念論』では、心身合一が主題となり、精神と身体が浸透し、交錯することで生じる感情や欲求の多様な在り様が描き出されます。情念は、身体から影響される魂の受動として分析されますが、では、魂には能動としての情念はあるのでしょうか？ 理性の哲学者であるデカルトが、理性と感情、精神と身体という両極の間で揺れ動くものとしての人間をどのように捉えたのかを考えていきます。

◆学修到達目標

『情念論』と幾つかのテキストを読む事を通して、西洋哲学の基本用語と問題意識を学び、哲学書を独力で読んでいくための訓練をすることを目的とします。また、併せて、近代黎明期の感情論を通して、西欧的な人間観の一端に触れられればと思います。

◆授業方法

・オンデマンド

教科書と配布プリントにより講義形式で行います。細部より、内容把握を優先して、大づかみに読んでいきたいと思えます。尚、授業計画では『情念論』の内容が網羅的に記載されていますが、実際の講読では、ここからいくつかのトピックを選択することになります（講読の進度によっては授業計画を変更することもある）。

・対面授業（参考）

教科書と配布プリントにより講義形式で行います。可能であれば、例年通り、質疑応答を取り入れ、受講生からの積極的な参加を期待します。また、授業の一部は、教科書を離れて、思想史的な背景説明や他の哲学者の感情論との比較にさく予定です。それ以外はオンデマンドと同じです（講読の進度によっては授業計画を変更することもある）。

◆履修条件

令和2年度東京スクーリング（10月期）『哲学基礎講読』（担当者：石井友人）とは積み重ね不可。

◆成績評価基準

全出席を前提として、中間課題(50%)、最終課題(50%)により総合的に評価する（両課題とも提出することが評価の前提）。

◆教科書

市販本 デカルト『情念論』谷川多佳子訳、岩波文庫

資料配布 (googleclassroom) 配布プリント

◆参考書

市販本 デカルト『方法序説』谷川多佳子訳、岩波文庫

市販本 スピノザ『エチカ』畠中尚志訳、岩波文庫

特に第三部第四部が感情論になっています。

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>※ 以下の記載は、オンデマンド授業のおおよその内容であり、動画の回数と呼応するものではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス（シラバスの説明）。 ・心身二元論について、心身合一について、『デカルト＝エリザベト往復書簡』を読む。 ・『情念論』の原題 Les Passions de l' âme は「魂の受動」の意味だが、まず精神と身体相互の影響関係が論じられる。動物精気など、基盤になる身体の生理学的な説明を読んでいく。 ・精神の二つの機能。意志（能動）と知覚（受動）。精神において情念（passion）と呼ばれる受動について。また感覚と情念との違いについて。 ・理性と情念との関係。何が情念への支配を可能にするのか。
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・デカルト哲学の基本的な枠組みについて調べておくこと。また、講義では『情念論』全体に目を通すことはできないので、講義が始まる前に通読しておくことが望ましい。 ・オンデマンド授業の範囲は、おおよそ『情念論』第1部に相当します。
事 後 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・あらためて身体にしか属さないものと精神にしか属さないものについてまとめておくこと。 ・精神における能動と受動の区別、また感覚と情念との違いについて確認しておくこと。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・対面1日目の範囲はおおよそ『情念論』第2部に相当します。 ・基本情念の説明に入る。いくつの基本情念があるのか？「驚き」について。 ・残りの基本情念について(1) それらの特徴について。 ・残りの基本情念について(2) 表情、顔色、涙、笑いなど、情念の身体における表れについて。 ・残りの基本情念について(3) それらの効用について。 「欲望」の統御の重要性について。
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・対面2日目の範囲はおおよそ『情念論』第3部に相当します。 ・特殊情念について「高邁」の情念について(1) 「高邁」と徳、「高邁」の分析は本書の最も重要な部分である。 能動的な情念はあり得るだろうか？ ・「高邁」の情念について(2) また、それ以外の幾つかの特殊情念を取り上げて 考察する。 ・人は情念に対し何ができるのか。
事 前 学 修	<p>※以下の記載は対面1日目に関わるものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情念の分類についてまとめておくこと。 ・「驚き」は、後の「高邁」とも関係する重要な情念である。 説明できるようにしておくことが望ましい。 ・「驚き」と他の基本情念との違いについて確認しておくこと。 ・生存に関わる以外の効用についてもまとめておくこと。 ・対面2日目に扱う「高邁」とも関わるため、情念の統御の問題について、よく考えておいてほしい。 	
事 後 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・心身問題について、現代の哲学者の本を読んでみること。 ・『情念論』における魂の受動性と能動性についてまとめてみる こと。 ・高邁とは何か、自分なりに考えてみる。また、能動的な情念が可能か考えてみること。 ・『情念論』全体を通読してみる。また、スピノザの『エチカ』など、他の哲学者による感情の分析にも目を通し、比較してみる。 	

◆授業概要

日本経済を理解するためには、経済理論の基礎の上に、具体の経済問題、経済政策、経済制度や統計データなどについて学ぶ必要があります。また、常に国際比較の視点を忘れないことも重要です。この授業では、基礎の範囲内にはなりますが、限られた時間のなかでできるだけ幅広い問題を取りあげます。

噛み砕いた解説を心がけますが、だからといって複雑な問題を避けるのではありません。私自身が多くの中央省庁で勤務した経験を活かして、みなさんの興味をひく今話題になっている経済問題をできるかぎり取り上げます。

◆学修到達目標

この講義では、基礎の範囲内ではありますが、日本経済について幅広い知識を修得します。これにより次の2点を目指します。

1. 日本経済における身近な経済問題から国レベルの経済政策にいたるまでポイントが何かを経済学的に説明できる。
2. 日本経済の実情や将来展望について知り、企画や政策を立案する際にそれらを踏まえて検討することができる。

◆授業方法**・オンデマンド**

Classroom で各回、2~3本の動画と小テストを計5回配信します。配布資料として動画で参照した資料のpdfや出典を示すリンク集などが加わる場合があります。小テストの正解の提示と解説は対面授業の際に行います。質問はクラスのストリームまたは授業でのコメントで受け付け、回答は返信で行います。小テストは評価に加えるので必ずすべて回答すること。

・対面授業

内容に応じていくつかの節に分けてパワーポイントをスクリーンに表示しながら講義を行います。各節ごとに質疑応答の時間を設け、そのなかで私の方から質問したり、クイズを出したりもします。各回の最後には小テストを実施し、終了後に解説をします。配布資料としてパワーポイントで参照した資料のpdfや出典を示すリンク集などが加わる場合があります。これらはいずれもClassroomを通じて行いますが、フィードバックは授業内に口頭や板書で行います。2日目の最後の授業では、いくつかの課題の中から選んでレポートを作成してもらい、その後、ディスカッションと全体の講評を行います。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

オンデマンド5回と2日目の最終回を除く対面授業9回の計14回行う小テストは評価対象なのですべて回答してください(40%)。対面授業2日目の最後の回に授業内レポートの提出を求めます(50%)。授業への参画度は授業内のクイズや私からの質問への回答状況により評価します(10%)。すべて出席していることを前提として評価します(オンデマンド授業の場合、小テストの提出が出席を兼ねます)。

◆教科書

市販本 「日本経済図説(第5版)」 宮崎・本庄・田谷著 岩波新書1878 岩波書店 2021年刊

◆参考書

市販本 「人口負荷社会」 小峰隆夫著 日経プレミアムシリーズ086 2010年刊

市販本 「21世紀の長期停滞論」 福田慎一著 平凡社新書863 2018年刊

市販本 「平成の経済政策はどう決められたか アベノミクスの源流をさぐる」 土居丈朗編著 中公選書107 2020年刊

市販本 「日本の構造 50の統計データで読む国のかたち」 橘木俊詔著 講談社現代新書2609 2021年刊

◆授業相談先(連絡先)

Classroomのクラスに開設するMeetを使って双方向で行います。希望する方はsakuma.takashi@nihon-u.ac.jp宛メールで相談日時の候補をいくつか連絡してください。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>1 回目は「ガイダンスと導入」で2本の動画からなります。最初の動画は全体のガイダンスです。シラバスに基づいて各回の事前学修、授業の進め方と事後学修、そして、評価方法などについて説明します。次の動画から授業内容に入ります。「国」経済とは何か、それをどうという視点に立って分析するのか解説します。</p> <p>2 回目は「日本の経済発展」で2本の動画からなります。最初の動画では超長期的経済成長と開発経済学の視点から日本経済の特徴を押えます。次の動画では貨幣経済、市場経済が広まった江戸時代後期から日本経済がおおよそどのような経過で発展してきたかを振り返ります。</p> <p>3 回目は「日本経済の基礎的条件」で2本の動画からなります。最初の動画では日本の国土、人口を他の国々と比較します。次の動画ではそれらが日本経済にとって持つ意味を考えます。</p> <p>4 回目は「日本の制度部門と経済循環」で2本の動画からなります。最初の動画ではGDP統計の核となる付加価値の概念および家計、企業、政府、海外の部門分けについて説明します。次の動画ではGDP統計に基づいて日本の経済循環を体系的にとらえ、その特徴を探ります。</p> <p>5 回目は「日本の産業」で3本の動画からなります。最初の動画で産業の分類と経済発展にともなう産業構造変化の一般的傾向（ペティ・クラークの法則）について説明します。次の動画で環境・資源とのかかわりの深い日本の食生活とその基礎である農業について考え、日本の第一次産業が抱える諸課題をみます。3本目の動画で日本の産業構成やリーディング産業がどのように変遷してきたかをたどります。</p>
事 前 学 修	<p>ガイダンスで各回について提示する教科書の予習範囲に目を通し、知らない用語等があったら書き出して経済学事典や現代用語の基礎知識などのレファランス、または、省庁、研究機関、金融機関などがネット上で提供する解説記事などで調べてください。</p>
事 後 学 修	<p>初回はシラバスとノート、その後はノートを読み返し、ノートの足りない部分を教科書と配布資料または録画を参照して補ってください。その上で小テストを受けて授業内容の理解度をチェックしてください。小テストが受けられるのは対面授業の前日までで、それを過ぎると受けられなくなります。</p>

・ 対面授業（参考）

<p>1</p> <p>日 授 業 内 容</p> <p>目</p>	<p>はじめにオンデマンドでの学修を振り返り，5回分の小テストについて解説します。「日本の企業経営」は2節からなり，日本の企業経営の特徴について説明した上で，経営環境の変化にともなって生じた日本的企業経営の変化をみます。「日本の雇用・労働」は2節からなり，日本の雇用慣行や就業形態が形成されてきた過程をたどってから，非正規雇用の増加，労働力人口の減少など労働市場における近年の変化をみます。「日本の景気循環」は2節からなり，景気の局面の分け方と景気の拡大・後退にともない経済指標がどう動くのかについて説明してから，戦後日本における景気循環の特徴をみていきます。「日本の金融市場と金融当局の役割」は2節からなり，金融の基本概念と資金循環表の見方について説明した上で，資金循環表を用いて主な金融資産と関係する金融機関，部門間での資金の流れを概観し，欧米における資金循環と比較します。</p>
<p>2</p> <p>日 授 業 内 容</p> <p>目</p>	<p>「日本の行政組織と財政」は2節からなり，国と地方公共団体の役割分担，主な国の行政機関について学んでから，資金の流れからみた公的部門の財政の現状を理解します。「日本の地域経済」は2節からなり，人口や産業の集積がどのように日本の国土に分布しているかをみた上で，地方分権への対応，人口の減少など地域が抱える課題について検討します。「日本の対外経済関係」は2節からなり，貿易，直接投資などにおける主要国との関係，貿易の品目構成にみられる変化をみるとともに，通貨，貿易に関し世界経済に占める日本の位置と国際経済秩序とのかかわりについて学びます。「日本の暮らしと豊かさ」は2節からなり，暮らしの豊かさの捉え方について時代とともに生じた変化を説明し，それを踏まえて，日本における物質的生活水準，教育・文化，福祉などの「生活の質」について経済発展の成果の観点から検討を加え，OECDの幸福度調査のデータで国際比較を試みます。最後の回では，いくつかの課題を提示し，その中から選択した課題についてレポートを作成してもらいます。その後のディスカッションと全体を振り返っての講評を行います。</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>ガイダンスで各回について提示する教科書の予習範囲に目を通し，知らない用語等があったら書き出して経済学事典や現代用語の基礎知識などのレファランス，または，省庁，研究機関，金融機関などがネット上で提供する解説記事などで調べてください。</p>

事後学修	対面授業の1日目は、ノートを読み返し、ノートの足りない部分を教科書または配布資料を参照して補ってください。2日目が終了したら、1日目と同じくノートを読み返し、ノートの足りない部分を教科書と授業資料を参照して補った上で、教科書のX章を読み、その中で関心を持ったテーマについて自身の視点で考察を加えたものを400字程度のメモにまとめてください。参考書から少なくとも1冊は通読してください。
------	--

◆授業概要

平成29年告示の小・中学校学習指導要領、平成30年度告示の高等学校学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業改善が求められている。本授業では、そうした新学習指導要領に基づいた授業を考えていくことを目的とする。その際、中高一貫校の教員としての経験を踏まえ、模擬授業を通じて実践的な力を身に付けられるようにしていく。

◆学修到達目標

- ・学習指導要領で求められている国語科教育の理念を理解することができる。
- ・実際の授業を行うにあたって、基礎的な知識や技術を身に付けることができる。
- ・国語科教員として求められる能力を理解し、養成することができる。

◆授業方法**・オンデマンド**

新学習指導要領の内容に関する動画（40～50分程度）を各授業回ごとに配信する。受講者はそれを視聴した上で、各自ポイントをまとめておく。また、課題を設定するので、各自動画を視聴後に取り組む。

・対面授業

講義・演習形式で行う。オンデマンド授業で課題に設定する授業案に基づいた、模擬授業を中心に進めていく。受講生全員がそれぞれの模擬授業に対しリアクションペーパーに記入、その上で、フィードバックを行う。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

動画の視聴状況・対面授業でのリアクションペーパー等を授業参画度とみなす（30%）。模擬授業の準備と取り組み（40%）、指導案の作成（30%）を合わせて、最終的に評価する。

◆教科書

資料配布（Classroom） 授業内で適宜資料を配布する。

◆参考書

市販本 『中学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 国語編』文部科学省 東洋館出版 2018年

市販本 『高等学校学習指導要領（平成30年度告示）解説 国語編』文部科学省 東洋館出版 2019年

その他、授業内で適宜紹介する。

◆授業相談先（連絡先）

メールにて受け付ける。 suzuki.masahiro53@nihon-u.ac.jp

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	平成29・30年に告示された学習指導要領に関する講義を中心に行う。各授業回ごとに、①改訂の要点、②新指導要領における国語科の内容、③各科目の具体的な内容を確認していく。また、対面授業では模擬授業を実施するが、そのために必要となる指導案の作成や、教材研究についての説明を行う。
事 前 学 修	各授業回で該当する新学習指導要領の内容を読み、どのようなものであるかを自分なりにまとめておく。併せて、関連する内容を自主的に調べてみる。
事 後 学 修	授業で扱った内容、および新学習指導要領内容を見直して、まとめておく。模擬授業に向けての、教材研究、指導案の作成を行う。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	オンデマンド授業、及び事前・事後学習の内容を踏まえて、実際に模擬授業を行う。各自、15～20分程度の内容で行う予定である。また、各模擬授業に対して、受講生はリアクションペーパーを作成する。受講生および担当教員との討議を行いつつ、フィードバックを行っていく。
2 日 目	授 業 内 容	前日と同様に、15～20分程度の内容で行う。最終回では、課題物の説明と共に、模擬授業全体を含めた、総括を行う。
事 前 学 修		オンライン授業での内容をまとめ直しておく。模擬授業を行うにあたっての教材研究、指導案作成、授業資料作成を行う。
事 後 学 修		リアクションペーパー等のフィードバックを踏まえ、模擬授業内容のブラッシュアップを行う。課題物の作成を行う。

◆授業概要

本講義では英語を教える目的を見据え、日本の英語教育の現状を踏まえながら、いままで提案されてきた第2言語習得理論を概観し、英語以外の言語での成果をみながらそれぞれの理論が実際の英語教育にどのように生かすことができるかを考察していく。

◆学修到達目標

本講義の目標は、1) 第2言語習得理論の概要を理解し、2) これらの理論が実際の英語教育へどのように生かすことができるかをまとめ、3) 具体的方策を考えて行くことである。さらに個々の内容は当然学生・生徒のモチベーション・能力の違いによって変化していくものであるから、その変化に対応できる能力および対応の基盤となる英語力を修得し、様々な教えるための方策を作成できるようになることを目指す。

◆授業方法**・オンデマンド**

テーマに関わる資料を読み、テキストを参照しながら2つの課題に関するレポート（各課題、A4版に明朝体 10.5ポイントで1ページ分）としてまとめる。

・対面授業

テーマを設定し、グループディスカッションを行います。各グループでの議論をまとめ、代表者に発表をしてもらいます。発表後に総括としての講評をおこない、重要ポイントを指摘します。テーマに関する資料は事前あるいは当日配布し、決められた時間で内容をまとめ、議論を進めて行きます。各テーマごとにその日の最後にレポートを作成、提出してもらいます。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

講義内でのディスカッション・発表(30%)、レポートなど(70%)で総合的に判断します。詳細は第1回目の講義で説明します。特にディスカッションでの Participation は重要となります。

◆教科書

資料を作成し、Classroom 内で配布します。

◆参考書

市販本 『行動志向の英語科教育の基礎と実践－教師は成長する－』 JACET 教育問題研究会編 三修社 2017 年

市販本 『英語授業改善のための処方箋：マクロに考えマイクロに対処する』 金谷憲著 大修館書店

市販本 Brown, H.D. Teaching by Principles - An Interactive Approach to Language Pedagogy (4th Edition) Longman

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	日本の英語教育の歴史を概観し、他分野（行動心理学、認知主義心理学、人間学的心理学）の役割を検討しながら、これからの日本における英語教育を考える。また新しいパラダイムにおける外国語教授法とはどのようなものであるかを考える。上記の内容について、事前に配付した資料を熟読し、こちらから示す課題に対して自分の意見をまとめレポートして提出する。
事 前 学 修	こちらから配布する資料を読み、参考文献を参照しながら、それぞれのポイントをまとめておく。
事 後 学 修	こちらから提示した課題のレポートを読み直し、参考文献及び資料の重要部分を確認しておく。

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	午前中は従来提案されてきた教授法（文法訳読法、オーラルメソッド、ナチュラルアプローチ他）を概観し、それぞれの特徴とその対象について比較・検討する。また近年注目を浴びている task-based/situation-based アプローチなども検討しながら、配付した資料を読み、各グループでテーマを定めてディスカッションを行う。午後は、さまざまな指導方法を小学校における英語教育の中でどのように活用していくのかを考える。あらかじめ配付した資料を読み、各グループでテーマを定めてディスカッションを行う。最後に午前・午後のテーマに即した課題を示し、レポートを作成し提出する。
2 日 目	授 業 内 容	午前中は従来提案されてきた教授法（文法訳読法、オーラルメソッド、ナチュラルアプローチ他）指導方法を中学校における英語教育の中でどのように活用していくのかを考える。あらかじめ配付した資料を読み、各グループでテーマを定めてディスカッションを行う。午後は、さまざまな指導方法を高等学校における英語教育の中でどのように活用していくのかを考える。あらかじめ配付した資料を読み、各グループでテーマを定めてディスカッションを行う。最後に午前・午後のテーマに即した課題を示し、レポートを作成し提出する。
事 前 学 修	こちらから配布する資料を読み、参考文献を参照しながら、それぞれのポイントをまとめておく。	
事 後 学 修	こちらから提示した課題のレポートを読み直し、参考文献及び資料の重要部分を確認しておく。	

◆授業概要

博物館・美術館では実物資料を展示で活用するとともに、保存をしている。賢明な利活用を行うためには博物館資料を常に良好な保存環境下で管理しなければならない。その方法について、博物館美術館環境についての調査・助言および改善計画立案の経験を持つ教員が、実務経験をもとに、基礎知識や博物館の実践について授業を行う。

◆学修到達目標

博物館・美術館に収蔵された資料は公共財の側面を持つ。それらを保存し活用するためには、常に博物館資料を良い状態であるように管理することが求められる。その達成のため、博物館資料の材料と構造、劣化要因と受けやすい被害の様相を説明することができ、博物館の場で調査を実践でき、劣化防止対策を企画立案できるようになることを目標とする。

◆授業方法**・オンデマンド**

動画1から動画5まで、PowerPointによる録画授業を行う（約10分のビデオを3～4本）。授業動画の間に約15分のノート整理の時間を取り、動画をすべて見終わった段階で、Classroom内に掲示した小テストを受験し、提出する。小テストは合わせて4回行い、習得度を評価する対象とする。動画2の回は、それぞれに興味を持つ文化財について、材料・構造・製作技術について調べてまとめる課題を出す。受講者への連絡はClassroom内で行う。リアクションペーパーで提出された質問で、受講者全員に知らせる内容がある場合には、Classroom内で全員に対してフィードバックする。

・対面授業

PowerPointによる授業を行う。教科書に沿った解説を行い、スライドの資料配布はしない予定である。質問は逐次、教室内で受け付ける。

1日目には、もし持ち込めるノートパソコンなどがあれば、エクセルを使って温湿度データを統計処理し、評価する方法を学ぶことができる（バッテリーは十分に充電しておくこと）。ない場合には、実演の様子から学ぶ。

2日目には昆虫の写真が出てくるスライドがあるので、直前に教室内で周知するが、動画1内で知らせる連絡先に、1日目の講義日おり以前に、虫が苦手であることを連絡すること。

習得度を評価するため、2日目の授業の最後に約30分の試験を行う。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

授業終了時に実施する試験によって成績評価を行う。

◆教科書

通材 『博物館資料保存論 Y20700』 通信教育教材（教材コード 000477）

◆参考書

市販本 『文化財の保存環境』 東京文化財研究所編、中央公論美術出版、2011年

市販本 『図解 日本画用語事典』 東京藝術大学大学院文化財保存学専攻日本画教室編 東京美術 2007年

市販本 『画材の博物誌』 森田恒之 中央公論美術出版 1994年

市販本 『油絵を解剖する－油絵からみた日本洋画史』 歌田真介 NHK ブックス 2002年

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>動画 1 の内容： ガイダンスとして授業方法、課題についてなど、これから授業を受けるにあたって必要な事柄についての説明を行う。また、なぜ資料保存を行わなければならないのか、その目的と意義を解説する。</p> <p>動画 2 の内容： 博物館資料の製作技術について、日本画、油絵、紙について解説し、どのような材料が使われ、どのような構造を持ち、それぞれの劣化の起こりやすさについて考える。</p> <p>動画 3 の内容： 劣化・損傷の要因について学び、劣化メカニズムを知ることによってどのように保存対策を立案できるか考える。また博物館の職業倫理について理解する。</p> <p>動画 4 の内容： 博物館におけるリスク管理について、防災、防犯、取り扱い、温湿度管理、照明制御、空気汚染の低減、昆虫・カビ等生物被害防止の重要性について理解する。</p> <p>動画 5 の内容： 自然災害等による博物館被害とレスキュー活動の全体像について、いくつかの事例をもとに、考え方と取り組み方を理解する。</p> <p>*動画は大きく 5 つに分かれている。ただし動画を見やすくするため、ひとつの動画を 10 分から 20 分程度に編集しているので、動画の本数全体は 5 つではない。動画それぞれには説明や番号をつけて掲示するので、順番に視聴すること。</p>
事 前 学 修	<p>*事前学修は、授業動画それぞれの内容に対応している。</p> <p>以下の事前学修は、調べることが中心である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておく。 ・これまで自分が、どのような文化財、作品、資料、動植物標本をどのようなやり方で保存・保護しようとしてきたか、考えをまとめておく。これは資料の保存の仕方について説明がなされる動画を視聴した際に、普段の自分の考え方と比較できるようにするための準備である。 <p>以下の事前学修は課題テキストを読むことが中心である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『文化財保存環境学』の目次に目を通す。 ・『文化財保存環境学』序文と第 11 章 (pp. 185-195)、第 12 章 (pp. 196-201) までを読んでおく。 ・『文化財保存環境学』第 8 章 (pp. 146-162)、第 9 章 (pp. 163-169) までを読んでおく。

事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で取り上げなかった文化財の製作技法、動植物標本の作り方について調べ、保存する上で問題になりそうな点をまとめておく。 ・文化財保護の歴史、行政の政策の方向性について、文化庁ホームページをよく読み、要点をまとめておく。 ・不明な点があったら、何がわからないか明確にしたうえでメールで質問する。メールの送り先は初回の動画内で示す。
------	---

・対面授業（参考）

1	授業内容	<p>『文化財保存環境学』第1章（pp. 6-16）、第2章（pp. 17-44）、第3章（pp. 45-70）をまとめ、解説する。</p> <p>第1章、第2章は合わせて3回分（1回90分で270分程度）をあて、そのうち1回分はグラフを書くなどの実習を含める。持ち込めるノートパソコンなどがあれば、エクセルを使って温湿度データを統計処理し、評価する方法を学ぶ（バッテリーは十分に充電しておくこと）。ない場合には、実演の様子から学ぶ。</p> <p>第3章は合わせて2回分（1回90分で180分程度）をあて、照明の基礎と、資料の保護、博物館の照明計画などを理解する。積算照度の計算など、簡単な作業を含む。</p>
目		授業の進度に合わせて、場合によっては変更する。
2	授業内容	<p>『文化財保存環境学』第4章（pp. 74-93）、第5章（pp94-119）、第6章（pp120-129）をまとめ、解説する。</p> <p>第4章は、合わせて2回分（1回90分で180分程度）をあて、大気汚染と室内空気汚染について、被害の様相、基礎的な知識と監視方法、対策について学ぶ。</p> <p>第5章は、合わせて2.5回分（1回90分で225分程度）をあて、昆虫、カビを中心に小動物まで資料保存の上で注意すべき生物被害について解説し、対策について理解する。監視方法については、結果のまとめ方と評価についても取り扱う。授業スライドにいくつか虫の写真が出ることもあり、直前のスライドで予告するが、苦手な場合には初回の動画内で示したメール宛に連絡をされたい。</p> <p>授業終了時に30分程度の試験を行う。</p>
目		授業の進度に合わせて、場合によっては変更する。

<p>事前学修</p>	<p>*事前学修は、対面1日目の前までに行うことを想定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面1日目に扱う『文化財保存環境学』第1章 (pp. 6-16)、第2章 (pp. 17-44)、第3章 (pp. 45-70) を読む。 ・対面2日目に扱う『文化財保存環境学』第4章 (pp. 74-93)、第5章 (pp94-119) を読む。 ・オンデマンド授業で扱ったリスク管理の仕方についての説明を踏まえ、劣化要因それぞれについて、回避・遮断方法、監視方法、対策をまとめておく。
<p>事後学修</p>	<p>*事後学修は、対面2日目を終えた後に行うことを想定している。 *対面1日目終了後の事後学修は負担が大きいと考えられるので、ノートの振り返りなどに留めて構わない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で取り上げた箇所を改めてもう一度読み、事前学修でまとめたものとの相違点を確認する。 ・授業の続きとして『文化財保存環境学』第6章 (pp120-129)、第7章 (pp. 130-145)、第10章 (pp170-182) を学び、被害の様相、監視方法と対策についてまとめる。

東京スクーリング(11月期)第1期

講座コード	科目名	開講単位数	担当教員名	科目コード	科目名	併用	対面授業代替措置	配当学年	備考
KBA1	哲学	2	成田 正人	B10700	哲学		オンデマンド	1年	
KBA2	民法 I	2	山田 孝紀	K20200	民法 I		オンデマンド	※	・法律学科のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
KBA3	英文法	2	小澤 賢司	N20200	英文法		ZOOM	※	文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可。それ以外は2学年以上申込可。
KBA4	英米事情 II	2	鈴木 ふさ子	N31600	英米事情 II	×	ZOOM	2年	スクーリング1講座の合格で単位完成する科目です。
KBA5	日本史演習 I・II	1	坂口 太助	Q401S0	日本史演習 I	×	ZOOM	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・I, IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				Q402S0	日本史演習 II				
KBA6	経済史総論	2	飯島 正義	R20200	経済史総論		ZOOM	※	・経済学部は1学年以上申込可。 ・それ以外は2学年以上申込可。
KBA7	地方財政論	2	斎藤 英明	R31600	地方財政論		オンデマンド	2年	
KBA8	自然地理学概論	2	柴原 俊昭	T22300	自然地理学概論		オンデマンド	2年	

東京スクーリング(11月期)第2期

講座コード	科目名	開講単位数	担当教員名	科目コード	科目名	併用	対面授業代替措置	配当学年	備考
KBB1	英語 I～IV	1	中村 則子	C10100	英語 I		オンデマンド	1年	・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III			2年	
				C10400	英語 IV				
KBB2	国語学講義	2	加藤 陽子	M30400	国語学講義		オンデマンド	2年	
KBB3	英米文学概説/英語文学概説	2	猪野 恵也	N20300	英米文学概説		オンデマンド	※	・文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可, それ以外は2学年以上申込可。 ・平成30年度以前入学学生のみ履修可。 ・文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可, それ以外は2学年以上申込可。 ・令和元年度以降入学学生のみ履修可。
				N20400	英語文学概説				
KBB4	英語史	2	齊藤 雄介	N30300	英語史		ZOOM	2年	
KBB5	西洋思想史 II	2	石井 友人	P30600	西洋思想史 II		オンデマンド	2年	
KBB6	経済学概論	2	続橋 孝行	R20300	経済学概論		ZOOM	※	・経済学部は1学年以上申込可。 ・それ以外は2学年以上申込可。

◆授業概要

代表的な哲学者の思想や議論を学習するだけでなく、自分たち自身で対話や論述を通して哲学を実践します。もちろん、哲学の基本的なやり方を学ぶには、哲学史上の有名な問題や学説の理解に努めなければなりません。しかし、それだけでは哲学する力は育たないので、この授業では実際に哲学することが求められます。他の人と対話を重ね、自ら批判的に思考を続けることで、自分で世界や人生を哲学する力が養われるでしょう。

◆学修到達目標

この授業の目標は、第一に、哲学史上の有名な問題や議論を、歴史的な背景や論理的な構造まで含めて、しっかり理解し考察できるようになることです。また、第二に、各人が惹かれる世界や人生の問題を哲学的に対話し論述することで、哲学の基本的なやり方を身に付け、自ら哲学することの楽しさを実感できるようになることです。

◆授業方法

・オンデマンド

まずは資料を読んでください。次に講義スライドで資料の論点や解釈を確認してください。用語や歴史も簡単に説明します。また、資料への疑問や反論などを書いて提出してください。優れたものは授業で取り上げます。

・オンラインまたはオンデマンド

まずは資料を輪読します。次に問題の論点や議論の解釈を確認します。用語や歴史も必要なら説明します。また、問題の解決や議論の問題を皆で話し合います。ときどき各人の問いや考えなどを書いて提出してもらいます。

◆履修条件

令和2年度、令和3年度夏期スクーリング「哲学」（成田正人）とは積み重ね不可です。

◆成績評価基準

対面授業の最後に実施する論述試験（60%）と課題の評価や対話への貢献を含む授業参画度（40%）で総合的に評価します。毎回の出席を前提します。（オンデマンドでは動画の閲覧や課題の提出が出席を兼ねます。）

◆教科書

哲学の古典などからの引用をまとめた資料をPDFファイルで配布します。

◆参考書

特に指定しませんが、授業内で適宜紹介します。

◆授業相談先（連絡先）

Google Classroom上で行います。

2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・時間と変化：変化のない時間？時間は無限に分割できるのか？時間を通して同じものとは？ ・時間の様相：現在とは何か？記憶とは何か？過去は変えられるか？時間は実在するか？ ・帰納と因果：原因とは何か？なぜ原因は結果を生むのか？なぜ自然の歩みは変わらないのか？ ・帰納と規則：なぜ一般化できるのか？規則はどこにあるのか？帰納の問題はどこにあるのか？ ・総括と試験：授業の総括をしてから、論述試験を実施します。
事 前 学 修		<ul style="list-style-type: none"> ・授業1日目の事前学習では、まずは資料にまとめられた哲学書の引用を精読し、各引用で何がどのように論じられているのかをよく考えておいてください。できれば、そのときに生じた疑問や反論などは書き留めておいてください。また、自分が惹かれる世界や人生の謎を（対話の主題として他の人と共有できるように）考えておいてください。 ・対面授業2日目の事前学習では、まずは資料にまとめられた哲学書の引用を精読し、各引用で何がどのように論じられているのかをよく考えておいてください。できれば、そのときに生じた疑問や反論などは書き留めておいてください。また、論述試験に備えて、自分の問いを哲学的に展開できるように準備しておいてください。
事 後 学 修		<ul style="list-style-type: none"> ・授業1日目の事後学習では、授業で話し合ったことを活かして、さらに存在や心について考えて（書き出して）みてください。また、（非学術的な）哲学対話に興味をもった人は、哲学カフェについて調べてみるとよいかもしれません。 ・授業2日目の事後学習では、授業で話し合ったことを活かして、さらに時間や帰納について考えて（書き出して）みてください。そして、できれば、自分の問いを哲学的に探求し続けてください。

◆授業概要

私法の一般法である民法は、法律科目の中でも重要な法の1つであり、商法などの他の私法分野における法律を学ぶ際にも必須です。この民法の内、民法総則とは、物権法・債権法等の財産法分野に加え、家族法分野に共通してかかわる重要な部分です。具体的には、誰が権利をもつことができるのか（権利の主体）、権利がどのような原因で取得されたり、消滅したりするのか（法律行為、時効）などをみていきます。

◆学修到達目標

- ①民法総則に関する基本用語および概念を理解し、適切に用いることができる。
- ②民法総則における諸制度・諸規定について、なぜそのような制度や規定が設けられた趣旨（制度趣旨）を理解し、説明できる。
- ③授業で学修した知識に基づいて、事例から民法総則の争点を見つけ、当該争点に関する判例や学説を踏まえたうえで、論理的で妥当な結論となる解決策を示すことができる。

◆授業方法

・オンデマンド（全日程）

配布レジュメに沿って授業を進めます。レジュメの内容を動画（You Tube の限定公開）にて解説します。民法総則では抽象的な概念が多いため、具体的な設例（簡単な教科書事例や判例の事案を簡略化した設例）に即して説明します。レジュメには空欄があるが、受講生は空欄を補充するだけでなく、事例の関係図を書いたり、大事な部分についてメモを取ったりして授業に取り組む姿勢が求められます。

◆履修条件

なし。（動画を視聴する際には、六法を必ず手元に置き、六法の条文を確認するよう指示があった際には、条文を確認すること。）

◆成績評価基準

動画の確認課題 40%、レポート（事例問題・択一式問題） 60%

◆教科書

担当者のレジュメに沿って授業を進めます。

山本敬三監修 香川＝竹中＝山城『民法Ⅰ 総則』（有斐閣、2021年）の購入を推奨します。ただし、授業内で教科書を頻繁にみるわけではないので、参考書に挙げる教科書でもかまいません（各自の学修目的に応じて、授業を復習したり、課題に取り組む際のために、どれでも良いので一冊教科書を購入しましょう（ネットにあふれた法律情報は誤っていることが多いので、教科書で正確な知識を確認してください）

◆参考書

【以下全て市販本】

- ・原田＝寺川＝吉永『民法総則〔補訂版〕』（日本評論社、2018年） 難易度…易しめ
 - ・田井義信監修 大中編『ユーリカ民法1 民法入門・総則』（法律文化社、2019年） 難易度…上記原田『民法総則』よりは詳細だが、記述内容は易しい。
 - ・中田＝後藤＝鹿野『新プリメール民法1』（法律文化社、第2版、2020年） 難易度…中級
 - ・佐久間毅『民法の基礎1 民法総則』（有斐閣、2020年） 難易度…中級～上級
- 購入の必要はありませんが、民法を詳細に学修したい人は、潮見＝道垣内編『民法判例百選』（有斐閣、第8版、2018年）の判例と解説を読んでみてください。

◆授業相談先（連絡先）

yamada.takanori@nihon-u.ac.jp まで連絡をしてください。なお、質問の際には、通信教育部の民法Iの受講者であることを明記してください。（法学部の学生からも質問を受けることがあり、混乱を防ぐため）

◆授業計画

・オンデマンド（全日程）

授 業 内 容	<p>ガイダンスとして授業方法、課題について説明する。その後、民法の基本事項（民法とはどのような法か、民法の体系、民法における民法総則の位置づけ）について解説する。</p> <p>権利能力・意思能力・行為能力について説明する。制限行為能力制度について具体的な事例を基に制度趣旨・制度の内容を確認する。最後に、事例問題の書き方の基本を修得する。</p> <p>法律行為①…意思表示・法律行為の意義を説明したのち、法律行為の各論的問題に入っていく。具体的には、心裡留保、通謀虚偽表示と民法94条2項類推適用、錯誤（意思欠缺錯誤と基礎事情錯誤）、詐欺・詐欺取消しと第三者などの論点を詳しく解説していく。</p> <p>法律行為②…法律行為の内容規制について説明していく。具体的には、取締規定と効力規定、公序良俗をみていく。その後、法律行為の無効・取消し、条件・期限について扱う。</p> <p>代理…まず代理制度がなぜ必要なのか、代理の種類を確認する。その上で、代理が有効に成立するための要件（有権代理）をみる。次に、代理の成立要件を欠く無権代理が行われた場合の諸問題を説明する（無権代理の基本・無権代理と相続など）。最後に、無権代理が行われても、例外的に有権代理として扱われる表見代理について、その制度の必要性・表見代理の</p>
---------	---

	<p>種類、各表見代理の要件を具体的事例を通して確認していく。</p> <p>時効制度…時効制度の概要を確認した後、なぜ時効が存在するのか代表的な理由を確認する。次に、取得時効の成立要件と効果、消滅時効の成立要件と効果について、それぞれ具体的な事例をもとに確認していく。なお、法人については時間の関係上、詳細を扱わない予定である。</p> <p>*ひとつの動画を20分から30分程度に編集しています。動画それぞれには説明や番号をつけて掲示するので、順番に視聴してください。動画を視聴した後で、確認問題に取り組み、復習に努めてください。</p>
事前学習	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておく。 ・教科書の該当ページを読む。教科書として、山本敬三監修・香川＝竹中＝山城著『民法1 総則』（有斐閣、2021年）を推奨する。ただし、時間がない場合は、事前学習は必ずしも行わなくても大丈夫です。その分、事後学習に時間をかけてください。
事後学習	<p>レジュメ・教科書を用いて授業で学んだ箇所を復習する。そのうえで、Google Classroomの確認問題に取り組む。</p>

◆授業概要

無味乾燥な暗記から脱却し、「使える英文法」の修得を目指します。

◆学修到達目標

本授業では、以下の到達目標を設定します。

- ①これまでに学習してきた（暗記してきたであろう）英文法のいくつかの焦点を当て、その働きと有機的な関連性について理解し、活用することができる。
- ②「英文学（英語学）」を専攻するものとして知っておかなければならない英文法の知識・素質を身につけ、それらをわかりやすい言葉で説明することができる。

◆授業方法

・オンデマンド

Google Classroom 上に公開される授業動画を視聴し、期限までに課題を提出してください。授業内容で不明な点がある場合、Google Classroom 上に質問を受け付ける場所を用意しておきますので、そちらに書き込んでください。

・オンラインまたはオンデマンド

オンデマンドでの学修を前提に、授業計画に示してある文法項目について解説と実践を通して学んでいきます。ただし、受講者の様子（理解度）を見ながら進めていきますので、授業計画はあくまで‘目安’とお考え下さい（変更が生じた場合はその際あらためてお伝えします）。

◆履修条件

令和3年度夜間スクーリング（春期）『英文法』（小澤賢司）とは積み重ね不可

◆成績評価基準

オンデマンド授業課題（25%）、授業参画度（25%）、最終課題（50%）
※オンデマンド授業課題を提出していることを前提に総合的に評価する。

◆教科書

資料を配布します。

◆参考書

市販本 『英文法解説』 江川泰一郎，第三版，金子書房，1991年

市販本 『英文法ビフォー&アフター（普及版）』 豊永彰，南雲堂，2009年

市販本 『ジーニアス総合英語』 中邑光男・山岡憲史・柏野健次，大修館書店，2017年

◆授業相談先（連絡先）

Google Classroom 上、あるいは Google フォームにて質問を受け付けます。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	授業概要の説明、なぜ英文法が必要か 動詞の見極め：自動詞と他動詞 押さえておくべき英文法項目 品詞と文法（4大品詞）、文の構成要素（語・句・節）、相当語句 主語・述語・目的語・補語
事 前 学 修	①本授業のシラバスをよく確認しておくこと ②授業日初日の数日前までに Google Classroom の登録を済ませておくこと（Google Classroom への入り方、使い方等がわからなければ教務課へ連絡） ③Classroom の構成を確認し、配布資料がある場合、動画視聴前に入手（ダウンロード）しておくこと
事 後 学 修	② 各回のオンデマンド授業動画を最低2回は視聴しておくこと ②不明な点や動画に不備があると思われる場合は、Classroom 上で質問すること

・オンラインまたはオンデマンド

1 日 授 業 内 容 目	①オンデマンド授業のおさらい ②以下の4つの品詞について、実践問題を通して理解を深める。 (a) 形容詞：1. 名詞修飾系品詞、2. 名詞を直接的に修飾する、3. 名詞を間接的に修飾する（その1）、4. 名詞を間接的に修飾する（その2）、5. 形容詞と同じような働きをするもの (b) 前置詞：1. 前置詞とは、2. 名詞を修飾する、3. 主に動詞、文全体を修飾する、4. ここで冷静に (c) 不定詞：1. 不定詞とは、2. 名詞を修飾する、3. なぜ不定詞（や前置詞）は後置修飾しかできないのか、4. 1つの訳に固執しない、5. ここで冷静に (d) 分詞：1. 分詞とは、2. 名詞を修飾する
2 日 授 業 内 容 目	①初日の続き ②以下の4つの品詞について、実践問題を通して理解を深める (a) 関係代名詞：1. 関係代名詞とは、2. 名詞を修飾する、3. 関係代名詞の使い方（その1）、4. 関係代名詞の使い方（その2）、5. 関係代名詞の使い方（その3） (b) 不定詞：1. 不定詞とは、2. 不定詞の副詞的用法、3. 1つの訳に固執しない、4. It is ... for 人 to do. vs. It is ... of 人 to do.、5. too ... to do (c) 分詞：1. 分詞とは、2. 分詞の副詞的用法

事前学修	<ul style="list-style-type: none">① Google Classroom から資料を入手（ダウンロード）しておくこと② 準備をしっかりとって授業に臨むこと（各回のオンデマンド授業動画を何度も視聴しておくこと）
事後学修	<ul style="list-style-type: none">① 授業内容を復習し、日々の英語学習・英語実践に活かすこと② 最終試験の解答に窮したものがあれば、それについて自学自修すること

◆授業概要

美術と言えば、フランス、イタリアをイメージする方が多いと思われそうですが、最近ではイギリス美術にも注目が集まっています。この講座ではイギリス美術における文学の影響についての知識を身に着け、イギリス美術について文学の観点から鑑賞します。また、世紀末芸術において〈宿命の女〉が流行した背景について絵画と文学の両面からアプローチしていきます。文学作品の該当部分の抜粋を読み、関連する美術作品について説明をします。

◆学修到達目標

美術と言えば、フランス、イタリアをイメージする方が多いと思われそうですが、最近ではイギリス美術にも注目が集まっています。この講座ではイギリス美術における文学の影響についての知識を身に着け、イギリス美術について文学の観点から論じることができるようになることを目標とします。また、世紀末芸術において〈宿命の女〉が流行した理由などを分析し、イギリスの世紀末の時代思潮について考えをまとめることができるようになることを目標としています。

◆授業方法

・オンデマンド

イギリス美術における文学の影響を文学作品の該当部分を読み、絵画を鑑賞し、その理解をテスト付き課題で確認します。絵画と文学との関連性、絵画から受ける印象などをコメントしていただいたりもします。

・オンラインまたはオンデマンド

イギリス美術における文学の影響を文学作品の該当部分を読み、絵画を鑑賞しながら、学んでいきます。受講者の皆さん同士で文学との関連性、絵画から受ける印象などを話し合っていただき、コメントしていただいたりします。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

テスト付課題（30%）、最終試験（60%）、積極的な参画度（10%）

◆教科書

資料配布（Classroom）

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行います。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●イントロダクション(ヴィクトリア時代のイギリスについて歴史的な出来事や時代思潮など基本事項の説明) ●〈文学と絵画〉文学作品：アーサー王伝説やシェイクスピア、キーツ、テニソンの作品 絵画：ラファエル前派など ●〈社会問題を反映した文学と絵画〉文学作品：ワイルドの童話「幸福な王子」 絵画：レッドグレイヴ、ウォリスなど
事 前 学 修	初回授業までにイギリス絵画の特徴を調べておくこと。事前配布のプリントのシェイクスピアやキーツ、テニソンの詩、ワイルドの童話「幸福な王子」を辞書および、注釈や翻訳本(両方とも参考書の欄を参照のこと)にあたり、丹念に読んでおいて下さい。
事 後 学 修	授業で読んだ文学作品と絵画の作者や内容を整理して、知識を確実なものにする。文学作品と絵画の関連について自分の意見をまとめておく。テスト付き課題の復習をする。

・オンラインまたはオンデマンド

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●世紀末文学と美術の特徴を概観 ●〈宿命の女〉①首を切る女ーサロメ 文学作品：ワイルドの『サロメ』、絵画：オーブリー・ビアズリーの挿絵 ●三島由紀夫に影響を与えたビアズリーのサロメ像と世紀末
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ●〈宿命の女〉②水中のエロスー人魚 文学作品：ワイルドの童話「漁師とその魂」 絵画：バーン＝ジョーンズ、ウォーターハウス ●授業のまとめ(これまで学んだことを総括的に復習し、整理します。) ●最終試験

事前学修	事前配布のプリントのワイルドの『サロメ』、「漁師とその魂」を辞書および、注釈や翻訳本（両方とも参考書の欄を参照のこと）にあたり、丹念に読んでおいて下さい。
事後学修	授業で読んだ文学作品と絵画の作者や内容を整理して、知識を確実なものにする。文学作品と絵画の関連について自分の意見をまとめておく。テスト付き課題の復習をする。全体の復習をする。

◆授業概要

歴史を学ぶためには様々な文献・史料を読むことが重要である。本講義は、ジャーナリスト・石橋湛山（1884～1973。政治家としても著名）の評論を題材として日本近代史の文献・史料の読み方、より深く内容を把握するための調べ方を学ぶことを目標とし、同時に史料から浮かび上がる近代日本の特徴等を考えていく。

なお、2018（平成30）年度夏季・坂口担当「日本史演習Ⅰ・Ⅱ」と同内容のため受講希望者は注意すること。

◆学修到達目標

1、ある文献・史料について、ただ「読む」だけではなく、その内容について自ら調べ、確認して本当の意味でその文献・史料を「読む（読み込む・読み解く）」ことができるようになる。

2、「1」に基づき、文献・史料から歴史上の出来事について自ら「考える」ことができるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

受講者の報告が中心の授業であり、（オンデマンドまたはオンライン）授業までに報告用資料を作成することが必要となる。受講者確定後、報告する形式の授業は初めてという受講者を想定し、事前に教科書の担当ページと報告用資料の作成方法を記したプリントを配布するとともにその解説動画を配信する（Google Classroomを使用）。

・オンラインまたはオンデマンド

受講者による報告と、それを受けての質疑応答・議論を実施する。

教員も授業内でコメントを行うが、あくまで中心は報告者＝受講者となる。また理解を深めるために映像資料を視聴することもある。

◆履修条件 なし

◆成績評価基準

報告50%、平常点（授業参画度）50%。試験は実施しない。報告と、他の受講者の報告を受けての質疑応答・議論への参画度から評価する。なお、毎回出席することが前提となる。

◆教科書

市販本『石橋湛山評論集』 松尾尊允編 岩波文庫 1984年 受講者は必ず購入すること。

◆参考書

市販本『石橋湛山 リベラリストの真髓』 増田弘 中公新書 1995年

教科書の「解説」に加え本書にも目を通しておくと石橋湛山について理解が深まる。

◆授業相談先（連絡先）

受講者確定後、各受講者に教科書担当ページ・相談用メールアドレスを記載したプリントと、「報告用プリント作成のてびき」を配布する。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>授業5回分として5本の動画を配信する。</p> <p>動画1：ガイダンスとして授業の目的や進め方、評価方法等について説明する。また演習授業（報告）が初めてという受講者を想定し、「演習授業とは何か」について解説する。</p> <p>動画2：報告用資料（レジュメ）作成のポイントについて解説する。</p> <p>動画3：動画2をふまえ、文献（史料）の読み方・調べ方等について解説する。</p> <p>動画4：教科書の著者である石橋湛山について解説する。</p> <p>動画5：教科書『石橋湛山評論集』の特徴について解説する。</p>
事 前 学 修	<p>受講者確定後、動画配信に先立ち報告用資料作成の方法を記したプリントを配布する。</p> <p>受講者はプリントをもとに指定された教科書のページについて報告用資料の作成をできるかぎり進め、そのうえで動画を視聴すること。</p> <p>なお、受講者数にもよるが「報告用資料はA3用紙2～3枚、報告時間は20～30分、質疑応答時間は10～15分」が1つの目安となる（あくまで目安、受講者数によって増減がある）。</p>
事 後 学 修	<p>動画の解説をふまえ、追加・修正を行うなどして報告用資料を完成させて対面授業に臨むこと。</p> <p>対面授業では報告後に質疑応答の時間を設けるので、そのことも想定しておくこと。（質問に答えられるよう、報告用資料作成のために使用した文献や、インターネットサイトをプリントアウトしたものを可能な範囲で持参して授業に出席することが望ましい。）</p>

・オンラインまたはオンデマンド授業

1 日 目	授 業 内 容	<p>冒頭に事前配信のプリント・動画の内容確認を兼ねて簡単なガイダンスを行い、その後受講者の報告・質疑応答へと移っていく。</p> <p>受講者数によって異なる場合もあるが、1日目はおおむね大正時代に書かれた評論を扱い、文献・史料の読み方、さらに深く読むための調べ方を学ぶ。同時に石橋の評論から浮かび上がるその時代の日本の特徴・問題点などを考えていく。</p>
-------------	---------	--

2 日 目	授 業 内 容	<p>2日目も受講者の報告とそれを受けての質疑応答・議論を中心に授業を進めていく。</p> <p>受講者数によっては異なることもあるが、おおむね昭和初期以降に書かれた評論を扱い、文献・史料の読み方、さらに深く読むための調べ方を学ぶ。同時に石橋の評論から浮かび上がるその時代の日本の特徴・問題点などを考えていく。</p>
事 前 学 修	<p>対面授業開始までに報告用資料を作成しておくこと。</p> <p>また、教科書の報告担当ページを読むことはもちろんであるが、質疑応答の前提となるために他の受講者の担当ページも読んでおくこと。</p>	
事 後 学 修	<p>「何かを読み、その内容を理解し、自分なりのまとめや考えなどを他人に分かりやすく伝える」という能力（スキル）は、大学での学び（将来的な卒業論文作成）の上でも有用であることはもちろん、広く社会で通用する能力でもあると考えられる。</p> <p>2日間の授業を通じて、</p> <p>①「史料・文献を読む」とはどういうことかを改めて確認しておくこと。</p> <p>②報告後の質疑応答や講師コメントをふまえ、報告内容や資料の改善点等をまとめておくこと。</p>	

◆授業概要

前近代社会としての原始社会、奴隷制社会、封建制社会を取り上げ、それぞれの社会の特徴と歩みについて学んでいきます。さらに、前近代社会と近代社会の相違について学びます。

◆学修到達目標

1. 前近代社会としての原始社会、奴隷制社会、封建制社会のそれぞれの社会の特徴について説明することができるようになる。
2. 前近代社会としての原始社会から奴隷制社会へ、さらに奴隷制社会から封建制社会への歩みについて説明することができるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業資料は（PDF）は、Classroomで配布します。1回の授業で授業動画を1～2本配信し、視聴していただく予定です。授業資料には、理解を確認するために「確認問題」が入っています。「確認問題」の解答提出期限はClassroomでお知らせしますので期限までにClassroomに提出してください。遅延は認めませんので注意してください。「確認問題」の解答と解説（説明）は、オンラインまたはオンデマンド授業第1日目に行う予定です。授業内容等の質問はGmailあるいはClassroomで受け付けます。

・オンラインまたはオンデマンド

オンラインまたはオンデマンド授業の授業資料もClassroomで配布します。状況によってZOOMを使用しなければならない場合には改めてClassroomで連絡します。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

授業資料の「確認問題」の解答提出（30%）、レポート試験（最終課題、70%）で総合的に評価します。

◆教科書

授業資料は（PDF）は、Classroomで配布します。

◆参考書

- | | | | | |
|-----|--------------|--------|-----------|-------|
| 市販本 | 『新ヨーロッパ経済史』I | 中川洋一郎著 | 学文社 | 2017年 |
| 市販本 | 『経済史をやさしく学ぶ』 | 石川治夫著 | 中央経済社 | 2013年 |
| 市販本 | 『経済史入門』 | 岡田泰男 | 慶応義塾大学出版会 | 1997年 |

* 図書館等で利用して下さい。

◆授業相談先（連絡先）

ecma90182@g.nihon-u.ac.jp

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>オンデマンド授業では、以下の授業内容を学んでいきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済史の課題について 2. 人類の誕生と狩猟採集生活 3. 農耕・牧畜の始まり 4. 古代オリエント（1） メソポタミア 5. 古代オリエント（2） エジプト
事 前 学 修	<p>まず、オンデマンド授業、対面授業のシラバスで全体の授業内容を確認してください。次に、各回の授業資料を読むとともに、合わせて参考文献等で関係するところを読んで理解を深めておいてください。</p>
事 後 学 修	<p>オンデマンド授業の各回の授業内容をそれぞれ整理し、まとめておいてください。</p>

・オンラインまたはオンデマンド

1 日 目	授 業 内 容	<p>授業内容は、「奴隷制社会」を中心に学んでいきます。内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 古代ギリシャ 2. 古代ローマ（1） 共和政期 3. 古代ローマ（2） 帝政期 4. 古ゲルマン社会 5. 奴隷制社会
2 日 目	授 業 内 容	<p>授業内容は、「封建制社会」を中心に学んでいきます。内容は以下の通りです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 封建制の成立 2. 封建制の変質 3. 封建制から資本制への移行 4. 前近代社会と近代社会 5. 総まとめと試験

事前学修	オンデマンド授業の各回の授業内容を再度確認するとともに、対面授業で行う授業内容の資料を読み、さらに参考文献等で理解を深めておいてください。
事後学修	各授業の授業内容を再度確認するとともに、前近代社会の特徴とその流れを整理し、理解をさらに深めてください。

◆授業概要

国家財政と地方財政の違い，戦後，地方財政が経済成長のためにどのように利活用されてきたのかについて学ぶ。そのうえで，租税，公債，補助金について国家財政との関係に鑑みながら学ぶ。私たちの生活は地方自治体が供給するさまざまなサービスから影響を受けている。本講義では，地方財政の抱える問題を観察しながら，それらを解決するための方法を考え，自分の言葉で紡ぎだせるようにする。

◆学修到達目標

地方財政の制度や仕組みを知り，また，新聞やニュース等で地方自治体が抱える問題を知る。そのうえで，改善策を自分の言葉で紡ぎだすことができるようになることをこの授業の最大の目標とする。

◆授業方法

・オンデマンド

この授業はオンデマンド形式で実施する。各回の授業は約 60 分の動画視聴と約 30 分の課題への取り組みから成り立っている。まずは配信された動画を視聴する。理解が困難だった箇所は繰り返し視聴する。そのうえで，動画の最後に提示される課題に取り組み，さらなる内容の理解に努める。課題の解答例は次回の動画冒頭で説明する。

・オンラインまたはオンデマンド授業

受講者が動画配信で理解が深まらなかった内容の復習を中心に行う。そのうえで，授業計画に記載されている内容について講義を行う。特に動画配信では困難な質疑応答を取り入れながら授業を展開する。受講者の人数にもよるが，地方財政に関する一つのテーマを取り上げ理論や現象をともしどうあるべきかを議論したいと考えている。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

成績は課題の授業への参加（30 点）と最終試験（70 点）から判断する。授業への参加は各回の最後に提示される課題の提出状況から判断する。最終試験は最終日に授業内容を復習したうえで最終時間に実施する。

◆教科書

各回の授業内容を PDF 形式にしたものを Classroom にアップロードする。各自でダウンロードのうえ可能ならば印刷すること。

◆参考書 なし

◆授業相談先（連絡先） Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>ガイダンス（授業を受講するうえでの注意点の説明）</p> <p>【全体の内容】地方税（制度と仕組み）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・租税徴収の根拠，租税原則 ・望ましい地方税制とは何か ・租税外部性，租税輸出，課税競争
事 前 学 修	<p>日本の国税と地方税にはどのようなものがあるかを調べておく． それぞれの租税がどのような根拠に基づいて課税されているかも併せて調べておく．</p>
事 後 学 修	<p>地方税の徴収する自治体と住民が公共サービスを楽しむ地域が異なる場合に発生する問題について整理し，改善策を考える．</p>

・オンラインまたはオンデマンド授業

1 日 目	授 業 内 容	<p>国庫支出金の特徴と役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫支出金の種類，地方交付税との自治体に与える影響の違い <p>地方債と自治体財政健全化法の見方と必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方債と国債の違い，自治体財政健全化法の目的
2 日 目	授 業 内 容	<p>地方自治体の営利活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共料金の決定方法 <p>地域活性化の方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設誘致による効果 <p>授業の復習および最終試験</p>

<p>事前学修</p>	<p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地方交付税の性質，役割と機能を調べておく。 ・ 公債と租税の違いを調べておく。 <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域的な事務処理方法を調べておく。 ・ 原子力発電所が立地する自治体の財政状況を調べておく。
<p>事後学修</p>	<p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助金による政策誘導の是非を考える。 ・ 地方交付税と国庫支出金の自治体への影響の違いを説明できるようにする。 <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共料金設定の正当性を整理する。 ・ 迷惑施設の誘致が自治体に与える影響を考える。

◆授業概要

地理学は自然と人間の関係を探求する学問である。人間を取り巻く自然は、人間の生活スタイルや生活範囲、ものの見方・考え方など、あらゆる面で人間社会に影響を与えている。しかし、人間も主体的に自然に働きかけ、自然環境を変えてきた。自然と調和した人間生活を営むためには、自然の構造やメカニズムを正しく認識する必要がある。

本講義では自然を構成している中から、人間の生活舞台である日本の地形に焦点を、変動帯としての日本列島、日本列島の地形的特徴、地形図から読み取る平野の形成と土地条件などについて学んでいく。高等学校の教員経験から、現場での具体例などを授業に反映させていく。

◆学修到達目標

- (1) 変動帯に位置する日本列島を理解し、火山や地震が多い理由について説明することができる。
- (2) 日本列島の地形的とくちょうについて、大陸との比較で説明することができる。
- (3) 日本列島の平野の形成について説明できるとともに、地形図から土地条件を読み取ることができる。

◆授業方法**・オンデマンド**

第1回から第5回までオンデマンド授業をおこないます。毎回、課題の提出を求めます。課題の提出が出席を兼ねますので、必ず提出してください。

・オンラインまたはオンデマンド

第6回から第15回まではオンラインまたはオンデマンド授業をおこないます。授業は主に講義形式と地形図読解は演習方式でおこないます。地形図読解には色鉛筆を使用します。色鉛筆は（橙色・黄色・水色）の3色を用意してください。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

オンデマンドで提出された課題（25%）、オンラインまたはオンデマンド授業の最後におこなう確認試験（50%）、演習による提出物（25%）で評価する。すべて出席していることを前提で評価する。

◆教科書

オンデマンド授業の場合は、Classroomから資料配布する。

◆参考書

市販本 高校地理教科書「新詳地理B」帝国書院、「新編詳解地理B」二宮書店など

◆授業相談先（連絡先）

質問等は電子メールで受け付けます。

メールアドレスは shibahara.toshiaki@nihon-u.ac.jp

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>動画第 1 回：地理学の目的、自然の捉え方、授業内容、評価方法などについて解説する。</p> <p>動画第 2 回：地理的視点として「文明の生態史観」について解説する。</p> <p>動画第 3 回：「変動帯としての日本列島」ープレート運動と日本列島について解説する。</p> <p>動画第 4 回：「変動帯としての日本列島」ー火山活動と噴火様式について解説する。</p> <p>動画第 5 回：「変動帯としての日本列島」ー地震と活断層について解説する。</p> <p>動画 1 回分は 2~4 回に分けて配信する。必ず課題を出すので、期日までに提出すること。</p>
事 前 学 修	<p>高等学校の「地理」教科書（出版社は問いません）を事前に読んでおくこと。第 1 回、第 2 回について、地理学とは何かを考えておくこと。</p> <p>第 3 回~第 5 回についてはプレート運動について調べておくこと。特に、世界のプレート分布、日本列島のプレート分布、およびその影響、また、火山活動や地震現象との関係について調べておくこと。</p>
事 後 学 修	<p>授業後にノート等にまとめ、整理しておくこと。</p> <p>第 1 回、第 2 回については、地理学の目的、対象、自然の取り扱い方、についてまとめておくこと。</p> <p>第 3 回：プレート分布と火山、地震の分布との関連性についてまとめておくこと。</p> <p>第 4 回：マグマの成分と噴火様式、火山形態が関連することについてまとめておくこと。</p> <p>第 5 回：地震現象の発生場所、断層地形、活断層の運動特徴などについてまとめておくこと。</p>

・オンラインまたはオンデマンド

1 日 目	授 業 内 容	<p>「日本列島の地形環境」について解説する。</p> <p>第 6 回：日本列島の山地の特徴について解説する。</p> <p>第 7 回：日本列島の河川の特徴について解説する。</p> <p>第 8 回：日本列島の平野の特徴について解説する。</p> <p>第 9 回：日本列島の海岸の特徴について解説する。</p> <p>第 10 回：海水面変動と台地・低地の形成について解説する。</p>
-------------	---------	---

◆授業概要

授業は Google Classroom にて行う。きわめて簡単な英語の初級レベルのテキストを使う。初級より上の英語力のある学生には簡単すぎて退屈なものになるかもしれない。従って、英語を専門に学ぶ学生等、英語力中級以上の学生の受講は適していない。NY を題材にした簡単な英会話を視聴しながら、演習問題を解いていく。NYC を舞台にした映画を見て、レポートを提出する。最後に試験を行う。

◆学修到達目標

英語を使ったコミュニケーションや文法の基礎を身につけていく。NYC を舞台にした映画を見ることで、さらに英語の世界が好きになる。最終的な目標は英語の総合能力を養うことにある。

◆授業方法

・オンデマンド

授業はオンライン授業、Google Classroom 配信にて行う。テキストに沿って、英文を視聴し、演習問題を行うことで、英語のコミュニケーションと 4 技能を習得していく。まずビデオで音声を確認し、英文を音読して内容をとってもらう。毎回課題提出がある。また最後に、NYC を舞台にした映画を鑑賞、レポートの提出をしてもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。

・オンラインまたはオンデマンド

テキストに沿って、英文を視聴し、演習問題を行うことで、英語のコミュニケーションと 4 技能を習得していく。まずビデオで音声を確認し、英文を音読して内容をとってもらう。毎回課題提出がある。また最後に、NYC を舞台にした映画を鑑賞、レポートの提出をしてもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。

◆履修条件

令和 2 年度（2 月期）との積み重ねは不可。

◆成績評価基準

課題提出を含めた授業への取り組み、試験による総合評価。

◆教科書

Hello New York! 土屋武久他著 金星堂 2500 円（税別）

◆参考書

授業ガイダンスにて指示

◆授業相談先（連絡先）

Google Classroom 上コメント欄にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・まずガイダンスにて、授業の進め方、参考書の説明等を確認する。 ・テキストの Let's Watch! の動画を視聴する。Listening part の演習問題を行う。教員動画ファイルを見て Listening part の解答を確認する。 ・テキストの Grammar Focus を見ながら、教員動画ファイルを見る。指示に従い Grammar の演習問題、Reading の長文読解問題を解く。各演習問題の解答を確認する。指示に従い、課題提出問題を提出する。 ・最後に映画ファイルの視聴をする。映画の内容を把握する。聞き取れた台詞をメモしておく。聞き取れた台詞を内容に含めて、映画についてのレポートを書き、提出する。
事 前 学 修	演習問題 Let's Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の中で、わからない単語は辞書で調べ、事前に学習し、解答しておく。
事 後 学 修	演習問題の解答をノートに整理し、英文の内容が理解できるようにする。英文音読を繰り返し行う。

・オンラインまたはオンデマンド授業

1 日 目	授 業 内 容	オンライン授業での Scene1-5 の復習。Scene6-9 の動画を視聴し、演習問題を行う。
2 日 目	授 業 内 容	Scene6-9 の復習。最後に試験を行う。
事 前 学 修	演習問題 Let's Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の予習	
事 後 学 修	演習問題の解答をノートに整理し、英文の内容が理解できるようにする。英文音読	

◆授業概要

本講義では、日本語の多様な側面を観察する。一口に「日本語」と言っても、それは均質的なものではなく、地域的な差（方言）、年齢による差（若者言葉）など様々な差異が存在する。本講義では、現代語を中心に日本語の多様な姿を観察し、さらに、母語話者が行う、それらの差異を前提とした言語使用の様を観察する。また、近年、外国籍の人とのコミュニケーションを容易にするために使用される「やさしい日本語」についても理解を深める。

◆学修到達目標

日本語の多様な姿について学び、自分の使用している日本語を内省・分析することにより、日本語に対する理解を深めることができるようになる。また、各自が興味を抱いたテーマについてまとめる過程で、その課題についての新しい知識や知見を得られるようになる。さらに、それを発表することで、受講者同士でその知識や知見を共有できるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

動画の全体を順に視聴すること。繰り返し視聴しても分からなかった部分については、質問をクラスルーム内、または対面授業の際に受け付ける。なお、動画の中には課題が含まれている場合がある（その場合は明示する）。

・オンラインまたはオンデマンド

講義、及び小グループによる討論、小発表などを行い、双方向のやりとりを重視する（ただし、受講生の人数と社会状況により、講義と、討論や発表の割合を適宜変更する）。授業では積極的に発言することが求められる。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

オンデマンド授業で出される課題（30%）、対面授業で実施される試験（35%）と小発表（25%）、授業への積極的参加（10%）で評価する。毎回出席すること、遅刻や早退をしないことを前提として評価する（オンデマンド授業の場合、課題提出が出席を兼ねる）。

◆教科書

指定しません（授業用プリントを配付）。

◆参考書

市販本 『現代日本語学入門』 荻野綱男 明治書院 2007年

市販本 『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』 金水敏 岩波書店 2003年

市販本 『ケーススタディ 日本語のバラエティ』 上野智子他、編 おうふう 2005年

資料配布 (classroom) 「[「やさしい日本語」の付いた「やさしい日本語」の目的と使い方](#) ～外国人も日本人も理解する外国語であるということ～」『国際文化研修』第108号 佐藤和之 全国市町村国際文化研修所 2020年 108-06-01.pdf (jiam.jp) (2021年3月18日閲覧)

◆授業相談先（連絡先）
Classroom上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>シラバスに沿ってこの授業の内容を確認する。また、受講生の背景やニーズを知るためのアンケートについて説明する。</p> <p>地域差を反映した日本語として方言を取り上げ、一般的な事項を解説する。</p> <p>待遇意識を反映した日本語として敬語を取り上げ、敬語の体系について解説する。また、ポライトネスの観点から見た敬語についても概説する。</p> <p>世代や性、専門等を反映した日本語について解説する。</p> <p>話し言葉と書き言葉の特徴を踏まえ、それぞれの日本語を比較、観察する。語彙のやわらかさや硬さ、外来語などを取り上げる。</p> <p>対面授業（オンラインまたはオンデマンド）で扱う内容を概観する。</p>
事 前 学 修	<p>配布資料に目を通し、ビデオで説明される内容を把握する。また、参考書に挙げた『現代日本語学入門』（荻野綱男編著 明治書院2007年）のp.49-52（語種による分類）、p.57-62（位相による分類）、p.130-162（敬語、方言と共通語）p.180-195（社会言語学）を読んでおく。</p>
事 後 学 修	<p>学んだことをノートなどに整理し、質問があったらまとめておく。また、ビデオの中で出された課題に取り組む。</p>

・オンラインまたはオンデマンド

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容を確認し、お互いに自己紹介をし合う ・ オンデマンド授業の内容について質問があれば、質問する。 ・ 役割語について理解する。また、オンデマンド授業で取り上げた方言や女性語などを、役割語の観点から捉え直す。 ・ 日本語を母語としない人が産出する日本語の特徴について概観し、そのような非母語話者のためのやさしい日本語について観察する。 ・ いくつかのグループに分かれ、発表準備にとりかかる。
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ やさしい日本語について、具体例を通して理解を深める。 ・ 関心のあるテーマについてグループごとに発表する（一つのグループで同じテーマを扱い、一人2～3分の発表をする）。 ・ 発表を聞きながらリアクションペーパーを書く。 ・ 試験を受け、解説で重要点を確認する。

事前学修	参考書に挙げた『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』(金水敏 岩波書店 2003年)のp.1~101を通読し、役割語についておおまかに理解しておく。また、クラスルームで指示された「 」の付いた「やさしい日本語」の目的と使い方 ~外国人も日本人も理解する外国語であるということ~」を通読し、「やさしい日本語」についておおまかに理解しておく。
事後学修	対面授業一日目(オンラインまたはオンデマンド): 配布資料や自分のノートを見直し、試験に備える。発表する内容をまとめる。 対面授業二日目(オンラインまたはオンデマンド): 配布資料や自分のノートや参考書を見直し、学習したことをまとめる。

◆授業概要

Robert Eaglestone の DOING ENGLISH (2017 など) を下敷きにし、英文学とは何かという問いを細分化して改めて考えたい。

◆学修到達目標

・英文学研究の起源について知ることができる。・有名な批評家の名前および研究業績について知ることができる。

◆授業方法

・オンデマンド

いかに英文学を読むか。英文学の起源などを考察する。

・オンラインまたはオンデマンド

オンデマンド授業。英文学の作品のうち何を読むか。英文学の読みと意味及びこれからの英文学研究のあり方について模索する。

◆履修条件

特になし

◆成績評価基準

オンデマンド期間中の各動画に対するリアクションペーパー (40%) 対面授業 (オンデマンド) に対するリアクションペーパー (60%)。全て提出すること。

◆教科書

なし (必要に応じて資料を配布する)

◆参考書

市販本 Doing English (2017) Robert Eaglestone, Fourth Edition, Routledge, 2017 年
各種英文学史の本 (どの本でもよい)。英文学史の知識があると授業が理解しやすくなる。

◆授業相談先 (連絡先)

Classroom 上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	動画 1 英文学をいかに読むか(英文学はどこから来たのか?) 動画 2 英文学をいかに読むか(いま英文学をやること) 動画 3 英文学をいかに読むか(英文学と「正しい解答」) 動画 4 英文学をいかに読むか(批評的態度)
事 前 学 修	どの版でもよいので英文学史を読んでおき、作家と作品名など英文学史の流れを一通り掴んでおくこと。英米文学史に載っていない作家や作品は無数にある。作家や作品の取捨選択も一種の批評である。bias のない文学史はないので、文学史を読んでいる際、作家・作品に対する著者(達)の好き嫌いを見抜くようにするとよい。F. R. Leavis (1895-1978) について調べておく。
事 後 学 修	動画 1 から 4 の英文学をいかに読むかを、改めてノートなど用いて整理する。動画において提示した批評家の著書を翻訳でよいので一冊でも多く読む。

・オンラインまたはオンデマンド

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・何を読むか(文学・価値・正典) ・何を読むか(Shakespeare を研究する) ・読みと意味(作者は死んだ?)・読みと意味(隠喩と比喩的表現) ・読みと意味(物語と終結)
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・英文学研究とは何か(イギリス的・国家的アイデンティティと文化遺産) ・英文学研究とは何か(英文学・文学・政治) ・英文学研究とは何か(学際的英文学)・英文学の重要性(結論)
事 前 学 修	Shakespeare の戯曲を一つでもよいので読んでおく。英文学史におけるロマン主義運動、ヴィクトリア朝時代について特に復習しておく。ブッカー賞について調べておく。	
事 後 学 修	授業の内容をノート等を使用して改めて整理すること。授業で紹介した批評家の著作を翻訳でもよいので一冊でも多く読むこと。	

◆授業概要

今日の英語、すなわち現代英語は、古英語、中英語、近代英語における言語変化を経て現在の表現形式に至っており、現代英語の文法だけでは説明がつかないこともあります。例えば、現代英語の knight はその綴りにもかかわらず、なぜ/nait/（ナイト）と発音するのでしょうか。そこで本科目では、上に挙げた各時代の英語の重要な言語的特徴を学ぶことにより、英語が現在までに辿ってきた基本的な変化を理解することを目標とします。

◆学修到達目標

古英語から現代英語に至る英語の歴史的変化を考察することにより、現代英語のみでは説明のつかない文法事項を説明できるようになることを目標とする。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画にはそれぞれテキストで扱われている順番に沿って番号をつけていますので、順番通りに視聴してください。各回の内容を説明した後で課題もしくはコメントを課しますので、動画の最後をよく確認してください。質問は随時受け付けます。

・オンラインまたはオンデマンド

講義形式で行います。事前にオンデマンド授業の内容を復習しておいてください。

◆履修条件

令和2年度東京スクーリング（11月期）『英語史』（齊藤雄介）とは積み重ね不可。

◆成績評価基準

オンデマンドの課題：50%，対面授業の試験：50% *オンデマンド、対面授業ともに毎回参加していることを前提に評価します。

◆教科書

市販本『ベーシック英語史』 家入葉子 ひつじ書房 2007

◆参考書

- ・英和辞典を持参してください。
- ・対面授業（オンラインまたはオンデマンド）では適宜プリントを配布します。

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	英語の外面史と借入語 語彙の歴史、文字、発音 名詞の発達 人称代名詞の発達 指示代名詞、関係代名詞の発達
事 前 学 修	各回で扱う内容について、現代英語ではどのような表現であるのかを確認しておくこと。例えば、現代英語の冠詞にはどのようなものがあり、それらにはどのような使い分けがあるのかなど。
事 後 学 修	各内容の説明を聞いた上でそれをノートにまとめ、自分なりに理解すること。

・オンラインまたはオンデマンド

1 日 目	授 業 内 容	1 日目は語形変化の衰退、主節と従属節、動詞の発達、非人称動詞と過去現在動詞を扱い、それらの通時的変化について講義形式で説明する。
2 日 目	授 業 内 容	2 日目は be と have 及び分詞、不定詞と動名詞、否定構文と助動詞 DO を扱い、それらの通時的変化について講義形式で説明する。その後に最終試験を行う。
事 前 学 修		オンデマンド授業の内容を確認し、各内容の通時的変化について自分なりに理解しておくこと。
事 後 学 修		各授業終了後にノートの見直しをし、内容の定着を図ること。

◆授業概要

近代的な理性は、宗教的、政治的迷妄と対峙し、18世紀には、蒙(くら)きを啓(ひら)く啓蒙主義をもたらすことになりました。しかし、他方で、近代は理性が持つ様々な問題や限界が顕わになっていく過程でもありました。理性の可能性と限界づけがどのように考察されてきたのかを、主に18、19世紀の哲学者、思想家の学説に触れながら、考えていきます。

◆学修到達目標

近代西洋哲学の基本用語と問題意識を学び、基本的な哲学書を独力で読んでいくために必要な知識を身につけていく事を目的とします。あわせて、18世紀以降の哲学者たちが、理性の運動をどのようなものであると考え、また、どのような限界、問題点を持つと考えていたのかを理解することを目的とします。

◆授業方法**・オンデマンド**

配布プリントと教科書(辞書的・資料集的な副読本扱いになります)を用いて講義形式で行います(講義の進度により、扱う思想家の範囲を変更することもある)。

・オンラインまたはオンデマンド

配布プリントと教科書(辞書的・資料集的な副読本扱いになります)を用いて講義形式で行います。可能であれば、例年通り、質疑応答を取り入れ、受講生からの積極的な参加を期待します(講義の進度により、扱う思想家の範囲を変更することもある)。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

全出席を前提として、中間課題(50%)、最終課題(50%)により総合的に評価する(両課題とも提出することが評価の前提)。

◆教科書

通材 『西洋思想史 II P30600』 通信教育教材(教材コード 000570)

資料配布 (Classroom) 配布プリント

◆参考書

なし。

◆授業相談先(連絡先)

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>※ 以下の記載は、オンデマンド授業のおおよその内容であり、動画の回数と呼応するものではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス（シラバスの説明）。 ・カントは何を問題にしたのか？ 独断論と懐疑論について。 ・独断論とされる哲学。スピノザについて。 ・懐疑論とされる哲学。ヒュームについて。 ・カントにおける判断の三分類。感性と知性。コペルニクスの転回について。 ・純粋理性にはなにが可能か？ 形而上学は可能か？ 因果律について考える。
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・スピノザとヒュームについては合理論と経験論の項目 (p. 97-104) に目を通しておくこと。 ・形而上学という言葉について辞書などでもよいので、大枠を確認しておくこと。 ・カントについて批判哲学の項目 (p. 114-116) まで目を通しておくこと。 ・教科書の項目のほかに、熊野純彦『西洋哲学史 II』岩波新書など、各自で資料にあたって当該項目を確認しておくこと。
事 後 学 修	<p>ノートなど、授業内容を確認しておくこと。また講義を踏まえて、図書館等で、多少踏み込んだ哲学史の本にあたってみるのが望ましい（『哲学の歴史』中央公論新社など）。</p>

・オンラインまたはオンデマンド.

1 日 目	授 業 内 容	<p>対面一日目はカントの三批判を中心とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンチノミーと自由の問題 ・実践理性において形而上学は可能か？ 道徳が成立する条件はなにか？ ・因果律を前提にしたとき、自由な行為は可能なのか？ ・普遍の能力としての判断力 <ol style="list-style-type: none"> 1. 美などの感性的判断は普遍的でありえるのか？ 2. 不調和／不快の美はあるのか？ 3. 目的論的に生命を捉えることは正当化されるのか？戦争は正当化されるのか？
2 日 目	授 業 内 容	<p>対面2日目はヘーゲルとその前後の哲学の展開を追います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明は人を幸福にするか？ ルソーにおける自然状態と社会契約。 ・ヘーゲル『精神現象学』における歴史化、社会化された理性。 ・『精神現象学』におけるギリシア悲劇（『アンティゴネー』）の読解。人倫や啓蒙の困難をへて相互承認の哲学へ。 ・ヘーゲル批判へ（キルケゴールあるいはマルクス、どちらを取り上げるかは未定）。 ・近代理性が生み出した負の側面について考える（理性と狂気 あるいは理性と暴力の関係いずれかを取り上げる）。
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・社会契約およびルソーの項目（p. 108-113）に目を通しておくこと。 ・カントの項目の全体およびヘーゲルの項目（p. 114-126）に目を通しておくこと。 ・戯曲、ソポクレス『アンティゴネー』（岩波文庫、他）を読んでおくこと。 ・二日目後半については、キルケゴール（p. 146-149）、マルクス（p. 127-131）の項目、およびフランクフルト学派、フーコー（p. 172-176）の項目を参照。 	
事 後 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業1日目についてはノートでの振り返りを行うこと。 ・なぜ、理性／啓蒙の時代の後になって、世界大戦は起こったのか考えてみる。教科書第二章第九節の「新しい知性と現代への批判」が手引きになるでしょう。 ・各思想家の著作に実際に触れてみるのが望ましい。理解を深める最善の方法です。 	

◆授業概要

消費者行動理論に焦点を当て学習します。具体的には、ミクロ経済学の分析要具を使って商品が売れ残ったり不足したりする理由について考えたり、また喫煙者を減らす方法、失業の発生の原因と解消方法、多重債務問題、所得格差や環境問題などを取り上げ分析します。

◆学修到達目標

ミクロ経済学の分析要具の特徴を理解し、世の中で起きるあらゆる経済事象を既述の要具で分析できるようにすることが目標です。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画（約 30 分）および小テスト（60 分）を実施します。

・オンラインまたはオンデマンド

授業は黒板を使って説明を行っていきます。しかし、教師が一方的に授業を進めていくことはしません。ときおり、学生からの質問を受けますし、逆に教師が学生に質問して課題の理解を深めたいと思っております。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

小テスト(50%)と期末テスト(50%)で成績を評価します。

◆教科書

市販本『経済学入門』山口正春・楠谷 清・弘文堂・2015 年

◆参考書

必要に応じて資料を配布します。

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	①「経済学とは何か」について学習する。②「ミクロ経済学」と「マクロ経済学」の違いについて学習する。 ③「経済主体」について学習する。④「経済の仕組み」について学習する。 ⑤「市場」とは何かについて学習する。⑥「市場の機能」について学習する。 ⑦供給曲線と需要曲線の特徴について学習する。⑧価格の果たす役割について学習する。 ⑨喫煙者を減らす方法、多重債務問題、失業の発生の原因と対策について学習する。
事 前 学 修	教科書 2-33 ページ、52-56 ページを事前に読んでおくこと。また、コロナで最も打撃を受けている飲食業界とホテル業界の状況を事前に調べておくこと。
事 後 学 修	とくに喫煙者を減らす方法、失業発生の原因と対策、多重債務問題について復習し、理解を深めておくこと。

・オンラインまたはオンデマンド

1 日 目	授 業 内 容	①「基数的効用」について学習する。②総効用と限界効用について学習する。③消費者の効用の最大化について学習する。④危険愛好的、危険中立的、危険回避的について学習する。⑤相対的貧困率、ジニ係数について学習する。⑥所得格差問題について学習する。
2 日 目	授 業 内 容	①環境問題を起こしている企業の市場を考察する。②私的供給曲線について学習する。③社会的供給曲線について学習する。④国の経済への介入について学習する。⑤ピグー税について学習する。
事 前 学 修	経済格差問題に関連する内外の経済データを OECD（経済協力開発機構）や厚生労働省などにアクセスして相対的貧困率やジニ係数のデータを事前に取得しておくこと。また、脱炭素社会とは具体的に、どういう社会を目指すのか事前に調べておくこと。	

事後学修	専門用語の正確な把握、経済格差や環境問題分析する際の要具の特徴を復習し理解を深めておくこと、最後に授業ノートを整理しておくこと。
------	--

東京スクーリング(2月期)第1期

講座コード	講座名	開講単位数	担当教員名	科目コード	科目名	併用	配当学年	備考	
Q1A1	英語 A	1	大庭 香江	C10100	英語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III		2年		
				C10400	英語 IV				
Q1A2	英語 B	1	和泉 周子	C10100	英語 I		1年		
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III		2年		
				C10400	英語 IV				
Q1A3	憲法	2	田上 雄大	K20100	憲法		※	・法学部のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
Q1A4	国文学史 I	2	鈴木 雅裕	M30100	国文学史 I		2年	・本講座は令和2年度東京スクーリング(2月期)開講「Q1A4 国文学史 I」(鈴木雅裕先生)を受講している場合は受講できません。	
Q1A5	スピーチコミュニケーション II	1	アレックス ブラウン	N31000	スピーチコミュニケーション II		2年	・本講座は令和3年度昼間スクーリング(後期)開講「AH54 スピーチコミュニケーション II」(アレックス ブラウン先生)を受講している場合は受講できません。	
Q1A6	英語学演習 I～III	1	山岡 洋	N401S0	英語学演習 I	×	3年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
				N402S0	英語学演習 II				
				N403S0	英語学演習 III				
Q1A7	東洋思想史 II	1	本間 直人	P30700	東洋思想史 II		2年		・本講座は令和2年度東京スクーリング(2月期)開講「Q1BB 東洋思想史 II」(本間 直人先生)を受講している場合は受講できません。
Q1A8	日本史特講 I	2	堀川 徹	Q30800	日本史特講 I		2年		
Q1A9	金融機関論	2	谷川 孝美	S311S0	金融機関論		2年		・本講座は令和2年度東京スクーリング(2月期)開講「Q1A9 金融機関論」(谷川 孝美先生)を受講している場合は受講できません。

東京スクーリング(2月期)第2期

講座コード	講座名	開講単位数	担当教員名	科目コード	科目名	併用	配当学年	備考	
Q1B1	英語 C	1	中村 則子	C10100	英語 I		1年	・ I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。 ・本講座は令和2年度東京スクーリング(2月期)開講「Q1B2 英語 I～IV」, 令和3年度東京スクーリング(11月期)開講「KBB1 英語 I～IV」(中村 則子先生)を受講している場合は受講できません。	
				C10200	英語 II				
				C10300	英語 III		2年		
				C10400	英語 IV				
Q1B2	国文学史 II	2	布村 浩一	M30200	国文学史 II		2年		
Q1B3	異文化間コミュニケーション概論	2	大庭 香江	N31700	異文化間コミュニケーション概論	×	2年		・スクーリング1講座の合格で単位完成する科目です。
Q1B4	英米文学演習 I～III	1	山下 登子	N404S0	英米文学演習 I	×	3年		・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・ I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N405S0	英米文学演習 II				
				N406S0	英米文学演習 III				
Q1B5	哲学概論	2	齋藤 隆	P30300	哲学概論		2年	・本講座は令和2年度東京スクーリング(2月期)開講「Q1BA 哲学概論」(齋藤 隆先生)を受講している場合は受講できません。	
Q1B6	考古学入門	2	濱田 晋介	Q20400	考古学入門		※	・史学専攻のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。	
Q1B7	観光事業論	2	村上 和夫	S32000	観光事業論		2年		
Q1B8	教育制度論	2	佐久間 邦友	T20200	教育制度論	×	2年	・スクーリング1講座の合格で単位完成する科目です。	

◆授業概要

映画の歴史について書かれた英文を読みます。また、実際に作品を視聴し、粗筋や登場人物の描写、感想を英語で述べます。

◆学修到達目標

語彙力、表現力を伸ばし、英語で（映画）作品について紹介し、感想を述べるようになる様になる。

◆授業方法

- ・オンデマンド

動画の解説を聞き、テキストの英文を読んで、練習問題の解答を提出します。

- ・対面授業

映画を視聴し、粗筋や登場人物の描写、感想を英語で書き、表現します。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

試験 50%、授業への参画度 50%

◆教科書

市販本 Movie Time! 『英語で書こう! 映画ジャーナル』 Eric Bray 著 南雲堂

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う。

◆授業計画

- ・オンデマンド

授 業 内 容	動画を見て、解説を聞きながら、テキストの英文を読み進めます。 解説に沿って、練習問題を行います。
事 前 学 修	テキストの英文に目を通し、分からない単語の意味を調べておくこと。
事 後 学 修	練習問題を解き、提出する。

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	映画を視聴し、粗筋をまとめ、登場人物の描写を行います。
2 日 目	授 業 内 容	映画の結末部分を視聴し、粗筋を完成させ、感想を書きます。
事 前 学 修		テキスト、文法や表現について解説された部分を読み、理解しておくこと。
事 後 学 修		テキストの、書き方の例に沿って、映画の粗筋と感想を書いて提出すること。

◆授業概要

本授業では英語 4 技能の内の「リーディング」の技能を学びます。アメリカでベストセラーを記録した Chicken Soup for the Soul シリーズの第 3 集から編纂された作品を通して、文法及び文構造を理解した上で英文を読み、辞書を丁寧に引きながらその内容について深く考え、英文を「精読」できるようになることを目指します。

◆学修到達目標

1. 各英文の文法及び文構造を理解し、和訳できるようになる。
2. 各英文及び作品全体の内容を把握し、味わえるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し、番号を付しますので、番号順に視聴してください。授業動画の中には課題(小テスト)について説明したものもありますので、オンデマンド授業期間に配信される授業動画は必ずすべて視聴してください。教科書に取り組む前の準備として、基本 5 文型と自動詞・他動詞について学習し、この内容について、課題(小テスト)を行います。基本 5 文型と自動詞・他動詞について学習した後は、教科書の 4. An Act of Kindness を学習しますが、こちらは対面授業期間に実施する試験の試験範囲となります。

・対面授業

対面授業はオンデマンド授業期間に配信される授業動画をすべて視聴しているという前提のもとに進めます。各作品の英文を 1 文ずつ(文章が短い場合には 2 文、あるいは複数文)、音読し和訳していただきます。文章の和訳に加え、その文章で用いられている文法や文構造、語彙について答えていただいたくこともありますので、事前学修(予習)を丁寧に行ってください。

授業計画通りに進めますが、進度はあくまでの目安であり、授業計画通りの進度で進まない場合があります。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

オンデマンド授業期間内に提出する課題(小テスト)： 20%

対面授業期間の最終日に実施する教科書の学習内容を範囲とした試験： 70%

対面授業期間の授業への参加度： 10%

すべて出席していることを前提として評価を行います(オンデマンド授業期間は課題(小テスト)の提出が出席を兼ねます)。また、対面授業期間の授業への参加度には教科書の予習状況が含まれます。

◆教科書

市販本『The Magic of Love: Stories from Chicken Soup for the Soul 心あたたまる16杯のチキンスープ』 ジャック・キャンフィールド, マーク・ビクター・ハンセン編
太田 憲男編注 南雲堂 2016年 第9版

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

『Classroom 上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	ガイダンス：授業の内容や進め方、成績評価基準等の説明 基本5文型(第1文型・第2文型・第3文型・第4文型・第5文型) 自動詞・他動詞 4. An Act of Kindness 課題(小テスト)
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・ シラバスを読む。 ・ P.21のNOTESを確認しながら、4. An Act of Kindnessを読み、訳す。※参考書をお持ちでしたら、基本5文型(第1文型・第2文型・第3文型・第4文型・第5文型)と自動詞・他動詞の箇所を読んでおいてください。
事 後 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本5文型(第1文型・第2文型・第3文型・第4文型・第5文型)と自動詞・他動詞は学習した内容をノート等にまとめ、復習する。 ・ 4. An Act of Kindnessは各英文の文法や文構造、語彙の確認と作品の内容の理解を中心にして復習後、再度作品を味わう。 ・ 課題(小テスト)に取り組み、提出する。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	1. The Ice Cream Girl 2. How Magic Helped a Blind Girl See 3. Compassion Is in the Eyes
-------------	---------	---

2 日 目	授 業 内 容	5. Appointment with Love 6. The Coolest Dad in the Universe 試験
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 該当作品を NOTES を確認しながら読み、訳す。 ・ 試験の準備をする。 	
事 後 学 修	<p>該当作品を各英文の文法や文構造、語彙の確認と作品の内容の理解を中心にして復習後、再度作品を味わう。</p>	

◆授業概要

日本国憲法とこれにかかわる事項について扱う。

憲法は、国の基本法である。この憲法には日本という国家の基盤や国家が保障する基本的人権などが規定されている。これを現実の憲法問題を交えながら学修していく。これにより、社会人として憲法にかかわるさまざまな問題を考えられるようにし、さらなる知的発見を得られる場とする。

◆学修到達目標

1. 憲法の内容について論理的かつ多角的に論じることができるようになる。
2. 国の仕組みやあり方について論じることができるようになる。
3. 社会におけるさまざまな問題について憲法という観点から論じることができるようになる。
4. 国ごとの違いについての理解に基づき、それぞれの文化を尊重して論じることができるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画を視聴すること。動画はナンバリングに沿って視聴することが望ましい。動画は同時に配布するレジュメに沿って展開する。動画やレジュメなどで不明な点がある場合は、まずは自らで調べる。そのうえで不明であれば、質問を受け付ける。

・対面授業

オンデマンド授業における動画を必ず視聴しておくこと。レジュメをもとに講義形式で行う。紙でなくてもよいので条文を参照できるようにしておくこと。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

評価はオンデマンド小レポート（30%）と最終レポート（70%）の合計によって算出される。自主レポート（+α）については随時受け付ける。

◆教科書

資料配布（Classroom）各回レジュメのデータを配布する。

◆参考書

市販本「憲法入門」東裕（編） 一藝社 2021年

◆授業相談先（連絡先）

Classroomにて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 憲法と国家 憲法を学ぶうえで基礎となる憲法の役割と国家について学修する。 ・ 主権と国民 国家体制と主権とのかかわりなどを理解するとともに、主権の持つさまざまな意味について学修する。 ・ 基本的人権 基本的人権の歴史を理解するとともに、その種類や限界について学修する。 ・ 内心の自由 精神的な営みの役割を理解するとともに、内心の自由について学修する。 ・ 身体的自由権 身体的自由権を理解するとともに、その特徴や事例について学修する。 <p>上記のテーマの授業動画を視聴すること。そのうえで、各回のテーマについて自らの見解をまとめておくこと。 上記の見解をまとめたものをレポートとしてデータで提出すること。</p>
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・ シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておくこと。 ・ 各テーマについてどのようなものであるのか考えておくこと。 ・ そのうえで参考書または任意の憲法の教科書における各テーマについて触れられている箇所を読んでおくこと。
事 後 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した内容を整理しておくこと。 ・ 調べたうえで不明な点は質問すること。

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 以下のテーマについて扱う。 天皇と皇室 法の下での平等 参政権 立法、行政 司法 ・ 時事的な論点について受講生それぞれに考えてもらう。
-------------	---------	---

2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のテーマについて扱う。 戦争放棄 信教の自由 政教分離 表現の自由 憲法改正 <ul style="list-style-type: none"> ・時事的な論点について受講生それぞれに考えてもらう。
事	前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・各テーマについてどのようなものであるのか考えておくこと。 ・そのうえで参考書または任意の憲法の教科書における各テーマについて触れられている箇所を読んでおくこと。
事	後 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を整理しておくこと。 ・講義をふまえてさまざまな論点について調べること。 ・講義で紹介した文献などに目を通してみること。 ・後日、締め切りまでに最終レポートをデータで提出すること。

◆授業概要

本授業では、国文学史に対する理解を深めるために、上代から近世まで、政治史の区分で言えば奈良時代から江戸時代までを範囲として、それぞれの時代の文学作品を読解していくことにする。文学作品は、各時代の社会的環境・知的基盤と密接に関わるものである。それぞれの作品を読んでいくためには、どのような状況下、どのような知的基盤の中のものかを考えておく必要がある。したがって、作品それぞれの読解作業を通じて、必要となる知識、文学史に関わる事項を確かめながら、文学と社会の関わりを考えていくことにしたい。

◆学修到達目標

- ・国文学史についての大まかな流れを理解し、自分の言葉で説明することができる。
- ・各文学作品の時代背景を理解し、作品との関わりについて理解を深めることができる。
- ・文学に関する基礎的な知識を身につけ、今後の作品読解に活かすことができる。

◆授業方法

- ・オンデマンド

40～50分程度の動画を各授業回ごとに配信する。受講者はそれを視聴した上で、各自ポイントをまとめておく。また、授業回によっては課題を設定する。

- ・対面授業

講義形式で行う。オンデマンド授業での内容を前提として進めていくため、各自で学修内容をまとめておくこと。質問事項などについては、リアクションペーパーに記入の上、フィードバックを行っていく。

◆履修条件

令和2年度東京スクーリング『国文学史 I』（鈴木雅裕）とは積み重ね不可。

◆成績評価基準

動画の視聴状況・対面授業でのリアクションペーパー等を授業参画度とみなす（20%）。授業内課題を複数回設け、その合計が30%、学期末の課題が50%の配分とする。

◆教科書

資料配布 (Classroom) 適宜、授業に関わる資料等を配信する。

◆参考書

資料配布 (Classroom) 適宜、関連資料を紹介する。

◆授業相談先（連絡先）

Classroomにて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	各授業回ごとに、上代・中古・中世・近世の時代を取り上げ、それぞれの歴史的な流れを大まかに確認していく。また、それぞれの時代で、どのような文学作品が現れてくるかということも併せて見ていき、文学史の大まかな見取り図を理解できるようにしていく。
事 前 学 修	各授業回で扱う時代の歴史事項について、文献・インターネットを駆使して調べてみる。 また、どのような文学作品が現れるか、どのような内容かということについても、調べてみる。
事 後 学 修	授業で扱った内容について、自身のノートにまとめ直しておく。また、授業回ごとに調べておくべき語句・事項などを提示するので、次回授業までに調べておく。

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	オンデマンド授業で扱った内容を踏まえ、各時代の文学作品の読解を行っていく。1日目では、上代・中古を範囲として、代表的なテキストを取り上げていく。本文の読解を通じて、問題となる箇所が出てきた場合には、適宜、リアクションペーパーなどを用いて、受講者との討議をしていくことにしたい。
2 日 目	授 業 内 容	1日目に引き続き、具体的なテキストの読解を行っていく。2日目は、前日の確認を行った後、中世・近世を範囲として、作品を見ていくことにする。また、最終回では、上代～近世に渡る時代と文学の総括を行うとともに、テストを実施する。
事 前 学 修		オンライン授業での内容を復習し、各時代のテキスト読解の準備をしておく。あらかじめ、扱うテキストを示しておくので、文献・インターネットなどを通じて、自分なりの全体像を理解しておく。
事 後 学 修		授業で扱った範囲の内容を復習しておく。また、同時代のテキストを適宜紹介するので、自身の興味関心に応じて、読解を試みる。 授業全体の総括として、これまでの内容を見直すとともに、今後の学修に活かせるようにする。

◆授業概要

Speech Communication 2 has a topic based syllabus where students will learn vocabulary, language structures and functions commonly used with each topic. Students will perform activities using the language covered in class in groups and 1 to 1 role plays.

◆学修到達目標

This course is aimed at improving communication skills with a focus on speaking and listening. Students will try to use English in a natural context.

◆授業方法

The instructor will introduce each topic by using examples and explaining strategies for communication. Students will prepare their tasks and share information in a group setting.

◆履修条件

The course is open to all students and the language and activities are set at a pre-intermediate level.

令和3年度昼間スクーリング（後期）開講「AH54 スピーチコミュニケーションⅡ」（アレックス ブラウン先生）との積み重ね不可

◆成績評価基準

Grading will be based on active participation and in-class assignments (60%). Two tests (30%) and a midterm report (10%).

◆教科書

Classroom内で配布予定

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

downtownalbrowna@hotmail.com

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	Speech Communication 2 is a topic-based course that takes students through various modes of communication that starts with the topic of Jobs and Employment. There are various grammar based activities in which students will partake in and check their final answers.
事 前 学 修	Prepare some points of discussion regarding Jobs and Employment – the two topics of initial discussion in the course. Grammar points to look at are articles a/an/the along with should, would, can, could. Have a look online for related activities.
事 後 学 修	After digesting the first part of the course, please prepare for the grammar point called Conditionals (If you..., you will....) . Next we'll look at Suggestions. Here you'll be giving life advice on health related issues. Finally, the Future is our final topic. Prepare for discussions related to the future in both the long-terms and short-term.

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	<p>Topic 2 Suggestions and Obligations. Write down 3 jobs you would like to do.</p> <p>Topic 2 Interviews and Vocabulary.</p> <p>Create 2 new interview questions. Introduction to mid-term report.</p> <p>Mid-term report presentations. Complete the evaluation sheet.</p> <p>Submit the evaluation sheet. Suggestions; grammar practice.</p> <p>Review the new grammar points.</p> <p>Topic 3 The Future</p> <p>Make 3 new predictions. Group discussion. Review word choices.</p> <p>Review role play parts.</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>Group discussions on all topics will be reviewed. Review word choices according to all relevant topics. Review role play parts.</p> <p>Short term vs. long term future goals will be covered. Read over test preparation notes. Study for the speaking test and writing test. Adequate preparation will be allotted in class. Testing takes place on the last day.</p>
事 前 学 修	<p>The mid-term report will be related to the study of how language schools are operated. Think back to your experience and knowledge of jukes and language schools. Think and list the good points and bad points of each and list what you'd do to make these institutions better.</p>	
事 後 学 修	<p>After each lesson, it would be good to put the words into practice by expanding your written answers with further detail and then verbalize your answers with a study - buddy aka a partner with which you can practice sharing the details in English.</p>	

◆授業概要

英語の構造を正しく理解するために、文の中心要素である述語動詞とその必須要素である補部から成る「述部(Predicate)」の範囲を見極める方法を理解した上で、「主部(Subject)」と「付加部(Adjunct)」を区別し、最終的には複文レベルで、主部・述部・付加部を見極められるようにする。

◆学修到達目標

複文レベルの構造を十分に理解できるようになることを目標とする。特に、主節と従属節の区別することと、「述部(a predicate)」を発見することによって、文の構造を見極められるようになる。そのための基礎知識として、準動詞・従属接続詞・関係詞の理解を深めることを目指す。

◆授業方法

・オンデマンド

【動画】

『英文法MB』

第8章 不定詞(自己点検付き)

第9章 分詞(自己点検付き)

第10章 動名詞(自己点検付き)

第11章 接続詞(自己点検付き)

第12章 関係詞(自己点検付き)

*ただし、対面授業の教科書の範囲も熟読しておくこと。

・対面授業

『新英文法概説』

第6章 準品詞

*ただし、対面授業の冒頭でオンデマンド教材に関する理解度チェック・テストを行う。

◆履修条件

他の『英文法』の単位を取得済みでも履修可能。

◆成績評価基準

理解度チェック：20%（対面式初日の冒頭に実施。教科書・参考図書・ノート・電子辞書持ち込み可）

最終試験：80%（教科書・参考図書・ノート・電子辞書持ち込み可）

◆教科書

市販本 山岡洋（2014）『新英文法概説』 開拓社。

◆参考書

市販本 江川泰一郎 (1991) 『英文法解説』 金子書房.

市販本 綿貫陽・宮川幸久・須貝猛敏・高松尚弘・マークピーターセン (2001) 『ロイヤル英文法』 改訂新版, 旺文社.

市販本 中邑光男・山岡憲史・柏野健次 (2017) 『ジーニアス総合英語』 大修館.

◆授業相談先 (連絡先)

yamaoka.hiroshi2020@nihon-u.ac.jp

Google Classroom内の「ストリーム」「授業」

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>【動画】『英文法 MB』</p> <p>第8章 不定詞 (自己点検付き)</p> <p>第9章 分詞 (自己点検付き)</p> <p>第10章 動名詞 (自己点検付き)</p> <p>第11章 接続詞 (自己点検付き)</p> <p>第12章 関係詞 (自己点検付き)</p> <p>【教科書】『新英文法概説』第6章</p>
事 前 学 修	教科書・参考書を参考にしながら, 英文法の全体像・品詞・文の働き・文の種類・文型・語句の結び付きの基本を理解しておくこと。なお, 教科書は購入が講座開始間近になると入手困難になることがあるので, 時間的に余裕を持って予め入手しておくこと。
事 後 学 修	対面式授業初日冒頭で「理解度チェック・テスト」を行うので, それに備えて動画および教科書の該当箇所を十分に理解しておくこと。

・対面授業 (参考)

1 日 目	授 業 内 容	<p>9:00-10:00 理解度チェック・テスト</p> <p>10:10-10:20 Introduction</p> <p>10:20-11:50 オンデマンドの復習</p> <p>12:50-14:20 英文分析</p> <p>14:30-16:00 英文分析</p> <p>16:10-17:30 英文分析</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>9:00-10:40 英文分析</p> <p>10:40-12:40 総復習</p> <p>14:00-15:40 最終試験</p> <p>16:00-17:30 最終試験の解説</p>

事前学修	対面式授業初日冒頭で「理解度チェック・テスト」を行うので、それに備えて動画および教科書の該当箇所を十分に理解しておくこと。
事後学修	対面授業の授業内容と最終試験を中心に全体を振り返る。

◆授業概要

漢の時代から魏晋六朝時代の思想・哲学について、三国志の英雄たちや竹林の七賢の思想を中心に概観します。その思想は、中国古代の思想・哲学と密接な連関を持ちつつ展開されたものであることに留意しながら、それぞれの哲学思想の特質を理解できることを心掛けます。

◆学修到達目標

漢の時代から魏晋六朝時代の思想・哲学について、三国志の英雄たちや竹林の七賢の思想を中心に学びます。その思想は、中国古代の思想・哲学と密接な連関を持ちつつ展開されたものであり、現代に生きる我々にも、生きる上でのヒントを与えてくれることでしょう。さらに、研究の意義、必要性などについて学ぶとともに、常に問題意識を持って中国の古典文献を読み態度を身につけます。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画は内容によって分割し、番号を付しています。まずは、全体を順に視聴してください。一度の視聴で理解できなかった場合は繰り返し視聴すること。それでも不明な点については、質問してください。なお、動画の中には課題が含まれている場合があります（その際は明示します）。

・対面授業

上記の「学修到達目標」を達成することに留意しながら、発表形式で授業を行います。具体的には、テキストの文章、または配布した資料の文章を1人ずつ読んでいただきます。さらに、レポートのまとめ方についても指導します。なお、授業内で小テスト、作文などを課すこともあります。本授業の事前学修・事後学修の時間は各2時間を目安としています。

◆履修条件

令和2年度東京スクーリング『東洋思想史Ⅱ』（本間直人）とは積み重ね不可。

◆成績評価基準

オンデマンド授業で出される課題は評価対象であるのですべて提出すること（全体の30%）。対面授業では、各日の授業内レポート（2回）が評価対象となる（全体の40%）。対面授業2日目の最後の時間に試験を実施する（全体の30%）。オンデマンド授業、対面授業において総合的に評価する。すべて出席していることを前提として評価する（オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねる）。

◆教科書

通材（通信教育教材）『東洋思想史Ⅱ P30700』（教材コード 000438）

当日プリント配布 漢和辞典を用意してください。

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行います。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	ガイダンス（研究の意義，必要性について） 漢～三国時代の思想概況（曹操の思想） 漢～三国時代の思想概況（諸葛亮の思想） 漢～三国時代の思想概況（まとめ） 魏晋六朝時代の思想概況—竹林の七賢の思想—（阮籍の思想）
事 前 学 修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。また，事前に配布されたプリントをよく読んでおくこと。
事 後 学 修	テキストを再読し，ノートをよく整理しておくこと。改めて，研究の意義，必要性について考えてみること。

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	魏晋六朝時代の思想概況—竹林の七賢の思想—（嵇康の思想） 魏晋六朝時代の思想概況—竹林の七賢の思想—（山濤の思想） 魏晋六朝時代の思想概況—竹林の七賢の思想—（劉伶の思想） 魏晋六朝時代の思想概況—竹林の七賢の思想—（阮咸の思想） 魏晋六朝時代の思想概況—竹林の七賢の思想—（向秀の思想）
2 日 目	授 業 内 容	魏晋六朝時代の思想概況—竹林の七賢の思想—（王戎の思想） 魏晋六朝時代の思想概況（まとめ） レポートの書き方について① 司馬遷の「任少卿に報ずるの書」について分析する。この返書の持つ特殊性を理解し，その点を踏まえて最初のレポートをまとめる。 レポートの書き方について② 最初のレポートを講評する。次に，先行研究を活用し，特色あるレポートに仕上げていくためにはどうすればよいかという点を中心に演習する。質疑応答を繰り返し，各自が改めてレポートを完成させる。 総復習・試験

事前学修	テキストの該当箇所をよく読んでおくこと。また、事前に配布されたプリントをよく読んでおくこと。
事後学修	テキストを再読し、配布された資料とノートをよく見直しておくこと。改めて、東洋思想史を学ぶことの意義について考えてみること。

◆授業概要

日本古代史を考えるうえで重要史料である『日本書紀』、『風土記』、系譜資料を素材として、それらがどのような特徴を持つかを理解し、同時にそこからどのような情報を引き出すことができるのかを学ぶ。史料「で」考える前に史料「を」考えることにより、史料の取り扱い方を修得する。

◆学修到達目標

『日本書紀』についてその性格を説明することができる。
『風土記』についてその性格を説明することができる。
系譜史料についてその性格を説明することができる。
史料から情報を引き出す方法を身につける。
史料から引き出した情報をもとに日本古代史について考察することができる。

◆授業方法

・オンデマンド

classroom において動画およびプリントを配信するので、動画を視聴しながらプリントを完成させる。授業動画は内容に沿って分割して番号を付すので、順に視聴し、プリントを完成させること。一度の視聴では分からなかった内容の動画は重点的に繰り返して視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。

・対面授業

講義形式で行う。Classroom においてプリントを配信するので、講義を聞きながらプリントを完成させる。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

最後に行う 90 分の期末試験 100%

◆教科書

1 コマごとに classroom でプリント (word/pdf) を配信するので、各自書き込める状態のものを手元に用意しておくこと。各自印刷しておくか、タブレットなどで書き込める状態にしておくこと。

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

t_horikawa@seisa.ac.jp および classroom 上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	第1回：ガイダンス・史料「を」考える 第2回：『日本書紀』(1)概論—『日本書紀』研究の現在 第3回：『日本書紀』(2)神武東征伝承を読む(1)氏族伝承 第4回：『日本書紀』(3)神武東征伝承を読む(2)天皇家の伝承・モデル論 第5回：『日本書紀』(4)なぜそう書かれなければならなかったのか
事 前 学 修	『日本書紀』の伝承（授業で取り上げるものに限らない）を探して読んでみる。そのうえでなぜそのような伝承が作られたのか、自分なりに考えてみる。 『日本書紀』と『古事記』の違いについて調べておく。
事 後 学 修	授業内容で不明瞭な箇所やより知りたい箇所について、自分なりに調べて理解しておく。 調べた結果をプリントに追記して理解を深めておく。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	第6回：『日本書紀』(5)木簡と『日本書紀』 第7回：『風土記』(1)概論—『風土記』とは何か 第8回：『風土記』(2)『風土記』にみえる古代人の時空間認識 第9回：『風土記』(3)『出雲国風土記』にみえる伝承を読む 第10回：『風土記』(4)『常陸国風土記』にみえる伝承を読む
2 日 目	授 業 内 容	第11回：古代の系譜(1)概論—系譜研究の現在 第12回：古代の系譜(2)『海部氏系図』を読む 第13回：古代の系譜(3)『国造次第』を読む 第14回：古代の系譜(4)『紀伊国造系図』を読む 期末試験
事 前 学 修		『日本書紀』の特徴について、『日本書紀』そのものを扱った本や論文を読んで理解しておく。 『風土記』の特徴について、『日本書紀』そのものを扱った本や論文を読んで理解しておく。 古代の系譜について、どのようなものが現在に伝わっているのかを調べておく。また、そこからどのような情報が引き出せるのか、系譜を1つ用いて考えてみる。

事後学修	<p>授業内容で不明瞭な内容を自分なりに調べて、理解しておく。</p> <p>『風土記』を読み比べてそれぞれの地域の特徴を考えてみる。</p> <p>系譜をじっくり読み込んで、授業内容の他にどのようなことが読み取れるのか、実践してみる。</p>
------	--

◆授業概要

金融取引が行われる金融市場では、銀行などの金融機関が重要な役割を果たしています。この講義では、金融機関の役割、機能などに焦点をあて基礎理論等を解説します。具体的には金融論の基礎や金融機関の基本的な機能等の概説からはじめ、銀行などの預金取扱金融機関を中心にその存在理由を考察し、金融排除問題など現代の金融問題を考える基礎を養うことを目的とします。なお、この講義では金融論の基礎を理解していることが望ましい。

◆学修到達目標

日々の生活における決済や金融取引には銀行など預金取扱金融機関が重要な役割を果たしている。金融機関論では、これらを踏まえ以下のことを目標とする。

- 1, 貨幣の定義などの金融に関する基本的な事柄などを学び、説明できるようになる。
- 2, 銀行などの預金取扱金融機関が果たしている機能、役割を理解し、説明できるようになる。
- 3, 金融排除問題などさまざまな金融問題を理解し、考察できるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業計画に沿って、項目ごとに Classroom のトピックを分けている。トピックごとに、予習用の資料とパワーポイントによる動画ファイル、授業アンケートがあるので、資料で予習した後に、動画ファイルを視聴し学修する。最後に出欠を兼ねた授業アンケートを回答する。質問などは授業アンケートなどでも受け付ける。また、課題や小テストがある場合もトピック内で指示するので必ず解答すること。

・対面授業

オンデマンドによる学修を踏まえ、授業計画に沿って、パワーポイントを利用した講義形式で行います。また、最後に学修の確認として試験を実施します。

◆履修条件

令和2年度東京スクーリング（2月期）『金融機関論』（谷川孝美）とは積み重ね不可。

◆成績評価基準

最終日に最終試験を実施します。評価の割合を60%とします。また、オンデマンド授業等で実施する小テストおよび課題の評価割合を30%、授業への参加・貢献を10%とします。

◆教科書

資料配布 (Classroom) 各項目に応じた講義概要を、各トピック内で予習用として PDF ファイルにて配布する。各自取得し、予習すること。

◆参考書

通材『金融論 R31800』通信教育教材（教材コード 000540）

市販本『ベーシックプラス 金融論 第2版』 家森信善，中央経済社，2018年

市販本『日本の金融制度 第3版』 鹿野嘉昭，東洋経済新報社，2013年

講義時に適宜紹介します。

◆授業相談先（連絡先）

対面授業時には、講義前後10分程度、講師室にて対応します。また、それ以外ではメールにて対応します。

tanikawa.takayoshi2020@nihon-u.ac.jp

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	Classroomのトピック1 金融機関論を理解するため金融の基礎を理解する。 Classroomのトピック2 金融機関論を理解するための金融の基礎理論を知る。情報の非対称性問題，エージェンシー問題 Classroomのトピック3 日本の金融制度を確認する。 資金循環，直接金融，間接金融，市場型間接金融 Classroomのトピック4 金融における社会的な問題を取り上げる。 金融排除問題
事 前 学 修	* 事前学修は、各トピックの内容に対応している。 ・ シラバスをよく読み、授業の概要や目的を理解しておく。 ・ トピック内に予習用として講義概要をまとめた資料があるので、よく読み、確認する。その際に専門用語などをテキストや参考文献等で調べること。
事 後 学 修	・ 金融機関について理解するための金融の基礎を十分に確認し、まとめておくこと。 ・ 学修上の疑問点や不明な点は授業アンケートやメールなどで質問し、解消しておくこと。 ・ 小テストで、学修の理解度を確認し、不足がある場合はよく確認しておくこと。

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・わが国の金融で中心的な役割を果たしている銀行の機能、役割を解説する。 信用創造，情報生産機能，決済システム ・現在のさまざまな環境変化における銀行の影響について解説をする。
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・預金取扱機関（預金取扱金融機関）には，株式会社組織である銀行と協同組織金融機関がある。組織形態の相違における機能・役割を考える。 ・金融における諸問題に対する預金取扱金融機関の役割を考える。 リレーションシップ，中小企業金融問題など
事 前 学 修		<ul style="list-style-type: none"> * 事前学修は，対面授業前に行うことを前提としている。 ・オンデマンド授業で，金融の基礎を十分に確認しておくこと。 ・Classroomを通じて，事前に対面授業の資料を配付するので，よく読み，確認しておくこと。 ・新聞の経済欄などをよく読み，金融，経済時事問題に注目しておくこと。
事 後 学 修		<ul style="list-style-type: none"> * 事後学修は，対面授業2日目を終えた後に行うことを想定している。 * 対面1日目終了後は，最後試験に向けて，初日の講義内容を復習し，確認しておくこと。 ・授業で取り上げた項目や金融機関などを再確認し，理解を深めること。 ・最終試験をよく確認し，理解不足があった場合にはよく復習すること。

◆授業概要

授業は Google Classroom にて行う。きわめて簡単な英語の初級レベルのテキストを使う。初級より上の英語力のある学生には簡単すぎて退屈なものになるかもしれない。従って、英語を専門に学ぶ学生等、英語力中級以上の学生の受講は適していない。NY を題材にした簡単な英会話を視聴しながら、演習問題を解いていく。NYC を舞台にした映画を見て、レポートを提出する。最後に試験を行う。

◆学修到達目標

英語を使ったコミュニケーションや文法の基礎を身につけていく。NYC を舞台にした映画を見ることで、さらに英語の世界が好きになる。最終的な目標は英語の総合能力を養うことにある。

◆授業方法

・オンデマンド

授業はオンライン授業、Google Classroom 配信にて行う。テキストに沿って、英文を視聴し、演習問題を行うことで、英語のコミュニケーションと 4 技能を習得していく。まずビデオで音声を確認し、英文を音読して内容をとってもらう。毎回課題提出がある。また最後に、NYC を舞台にした映画を鑑賞、レポートの提出をしてもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。

・対面授業

テキストに沿って、英文を視聴し、演習問題を行うことで、英語のコミュニケーションと 4 技能を習得していく。まずビデオで音声を確認し、英文を音読して内容をとってもらう。毎回課題提出がある。また最後に、NYC を舞台にした映画を鑑賞、レポートの提出をしてもらう。進み具合により、シラバス通りにならない場合もあることをおことわりしておく。

◆履修条件

令和 2 年度 2 月期令和 3 年度 11 月期との重ねは不可

◆成績評価基準

課題提出を含めた授業への取り組み、試験による総合評価。課題未提出の場合評価の対象にはならない。

◆教科書

市販本 Hello New York! 土屋武久他著 金星堂 2500 円 (税別)

◆参考書

授業ガイダンスにて指示

◆授業相談先（連絡先）

Google Classroom 上コメント欄にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・まずガイダンスにて、授業の進め方、参考書の説明等を確認する。 ・テキストの Let' s Watch! の動画を視聴する。Listening part の演習問題を行う。教員動画ファイルを見て Listening part の解答を確認する。 ・テキストの Grammar Focus を見ながら、教員動画ファイルを見る。指示に従い Grammar の演習問題、Reading の長文読解問題を解く。各演習問題の解答を確認する。指示に従い、課題提出問題を提出する。 ・最後に映画ファイルの視聴をする。映画の内容を把握する。聞き取れた台詞をメモしておく。聞き取れた台詞を内容に含めて、映画についてのレポートを書き、提出する。
事 前 学 修	演習問題 Let' s Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の中で、わからない単語は辞書で調べ、事前に学習し、解答しておく。
事 後 学 修	演習問題の解答をノートに整理し、英文の内容が理解できるようにする。英文音読を繰り返し行う。

・対面授業

1 日	授 業 内 容	オンライン授業での Scene1-5 の復習。Scene6-9 の動画を視聴し、演習問題を行う。
2 日	授 業 内 容	Scene6-9 の復習。最後に試験を行う。
事 前 学 修		演習問題 Let' s Watch, Check Your Understanding, Grammar Focus, Reading の予習
事 後 学 修		演習問題の解答をノートに整理し、英文の内容が理解できるようにする。テキストの音声を聴き、英文音読を繰り返し行う。

◆授業概要

近代以降の文学テクストを材料として、作品成立当時の社会情勢との関連、「非主流」とされる作品の再検証を行う。それにより、受験までの「現代文」の文学観に（ある意味）「拘束」された「文学史」の見直しを目的とした講義を行う。

◆学修到達目標

文学史の知識や分析的読解の方法を知ることによって文学研究や教材研究・開発に生かすことができる。研究の基礎手続を知ることによって、読み手・聞き手にわかりやすい資料・教材の作成ができる。

◆授業方法

・オンデマンド

オンデマンド授業で配信されている動画は、通し番号順に視聴すること。動画を視聴してわかりにくい点があれば、繰り返しの視聴や、一時停止による画面内容の確認なども、適宜、行っておくこと。なお、課題やレポートに関する説明も含まれる場合があるので注意すること。

・対面授業

オンデマンド授業で配信された動画は必ず視聴しておくこと。授業は配布プリントや視聴覚資料で補足を行いながら、教科書を通読する形で行う。なお、学生のみなさん一人一人による教科書の音読や、少人数でグループによる授業で取り扱うテーマに関するディベートも、適宜、実施する予定である。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

①オンデマンド授業で出題する課題・対面授業1日目の授業内レポート（50%）、②対面授業2日目の授業内試験（50%）で、総合的に評価する。また、オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねるため、必ず提出すること。なお、授業内レポート・試験については、第5回の動画の中で、詳細を告知する。

◆教科書

市販本『日本近代小説史 新装版』 安藤宏〔著〕 中央公論新社 2020年

資料配布（Classroom）補足プリント（研究の手続、文学史年表、テクスト本文、テクストの分析方法など）

◆参考書

市販本『原色 新日本文学史（増補版）』 秋山虔・三好行雄〔著〕 文英堂 2016年

市販本『入門 日本近現代文芸史』 鈴木貞美〔著〕 平凡社新書 2013年

市販本『ハンドブック 日本近代文学研究の方法』 日本近代文学会〔編〕 ひつじ書房 2016年

◆授業相談先（連絡先）

質問・相談は、下記のメールや Classroom 上にて行う。

kouichinunomura@gmail.co

◆授業計画

・オンデマンド

<p>授 業 内 容</p>	<p>動画①：研究の手続（先行研究の調査方法・文章作法など）、近代以降の「文学」の定義などについて講義する。また、『日本近代小説史』「序」（p11～13）の補則解説を行う。</p> <p>動画②：西洋思想の輸入の問題や、「近代化＝西洋化」と文学観との関わりなどについて講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅰ 文明開化と「文学」の変容（p14～37）」（p11～13）の補則解説を行う。</p> <p>動画③：文学改良運動（「小説」の成立）や、古典への批判・再評価の問題などについて講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅰ 文明開化と「文学」の変容（p14～37）」（p11～13）の補則解説を行う。</p> <p>動画④：硯友社の文学、および言文一致運動と読書形態（音読と黙読）の問題などについて講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅱ 明治中期の小説文体」（p38～62）の補則解説を行う。</p> <p>動画⑤：専門教育機関の設立や女性の社会進出の問題などについて講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅱ 明治中期の小説文体」（p38～62）の補則解説を行う。</p> <p>※動画は、通し番順に視聴すること。</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>各回の事前学修として、以下の調査を行っておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスに目を通し、授業の概要・目的・計画などを確認しておく。また、文学史年表（『原色 新日本文学史（増補版）』など）を利用して、近代文学史の流れを確認しておく。 ・各回で取り扱っているテーマについて、教科書なども読んだ上で、わかりにくいものがあれば、調査しておく（例えば、動画③であれば、翻訳語「小説」誕生のいきさつについて、など）。 <p>また、下記の教科書（『日本近代小説史』）の該当箇所を読んでおくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『日本近代小説史』「序」（p11～13）・「Ⅰ 文明開化と「文学」の変容」（p14～37）・「Ⅱ 明治中期の小説文体」（p38～62）
<p>事 後 学 修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の授業内容をノートに整理し、改めて教科書および配布資料の該当箇所を読んでおくこと。 ・明治初期から中期までの文学史（および作家・作品）について、特に興味を持った点を自分で追加調査なども行い、まとめておく。 ・不明の点がある場合は、自分で予め調査を行った上で、メールで質問すること。 ・参考文献として紹介している文献などを参照して、文学史に対する理解をより深めてみる。また、授業中に他の文献についても紹介する予定。

・対面授業（参考）

<p>1</p> <p>日 授 業 内 容</p> <p>目</p>	<p>以下の順序で授業を行う（番号は動画番号と連動）。</p> <p>⑥自然主義の文学と「私語り」の問題などについて講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅲ 自然主義文学と漱石・鷗外」（p64～87）の補則解説を行う。</p> <p>⑦反自然主義の文学、「没理想論争」問題について講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅲ 自然主義文学と漱石・鷗外」（p64～87）の補則解説を行う。</p> <p>⑧象徴主義と明治後半の歌壇・俳壇・詩壇の動向の問題などについて講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅳ 大正文壇の成立」（p88～111）の補則解説を行う。</p> <p>⑨耽美派・白樺派、および大正教養主義について講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅳ 大正文壇の成立」（p88～111）の補則解説を行う。</p> <p>⑩私小説と心境小説の問題、プロレタリア文学などについて講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅴ マルキシズムとモダニズム」（p112～135）の補則解説を行う。</p>
<p>2</p> <p>日 授 業 内 容</p> <p>目</p>	<p>以下の順序で授業を行う（番号は動画番号と連動）。</p> <p>⑪純粹小説論と私小説論の問題などについて講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅴ マルキシズムとモダニズム」（p112～135）の補則解説を行う。</p> <p>⑫大衆文学誕生の条件、および大衆文学と純文学の違いなどについて講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅵ 第二次世界大戦と文学」（p136～162）の補則解説を行う。</p> <p>⑬戦下の文壇の動向や、国家による検閲の問題などについて講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅵ 第二次世界大戦と文学」（p136～162）の補則解説を行う。</p> <p>⑭戦後の文学者の戦争責任問題などについて講義する。また、『日本近代小説史』「Ⅶ 戦後文学の展開」（p163～189）の補則解説を行う。</p> <p>⑮大衆文化の再展開の問題やポスト・モダンの文学などについて講義する。また、『Ⅷ 高度経済成長期とポスト・モダン』（p190～216）の補則解説を行う。</p>

<p>事前学修</p>	<p>対面1日目の前に事前学修として、以下の調査を行っておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各回で取り扱っているテーマについて、教科書なども読んだ上で、わかりにくいものがあれば調査しておく（例えば、私小説と心境小説との違いについて、など）。 <p>また、対面1日目の前に教科書（『日本近代小説史』）の下記の箇所を読んでもおくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『日本近代小説史』「V マルキシズムとモダニズム」（p112～135）・「VI 第二次世界大戦と文学」（p136～162）・「VII 戦後文学の展開」（p163～189）・「VIII 高度経済成長期とポスト・モダン」（p190～216）
<p>事後学修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各回の授業内容をノートに整理し、改めて教科書および配布資料の該当箇所を読んでもおくこと。特に、対面1日目終了後の事後学修は、ノートの整理などに留めて構わない。 ・明治後期から現代までの文学史（および作家・作品）について、特に興味を持った点を自分で追加調査なども行い、まとめておく。 ・不明の点がある場合は、自分で予め調査を行った上で、メールなどで質問すること。 ・参考文献として紹介している文献などを参照して、文学史に対する理解をより深めてみる。また、授業中に他の文献についても紹介する予定。

◆授業概要

1. テキストで異文化間コミュニケーションについての解説を読み、例題を通して問題を掘り下げます。
2. 英語論文を読み、異文化間コミュニケーションの実際について考察を行います。
3. 日本とそれ以外の国についてディスカッションを行います。

◆学修到達目標

異文化間コミュニケーションとは文化的背景の異なる人同士のコミュニケーションですが、国籍の同じ日本人同士でも文化的背景が一緒であるとは限りません。出身地、男女、世代によっても文化的背景は異なります。私たちは日常的にも異文化間コミュニケーションを経験しているのです。

本授業では、異文化間コミュニケーションについて述べられた英語論文や、エクササイズを通して、英語が使われている国や地域の文化を理解し、多様な文化的背景を持った人々との交流を通しての文化の多様性及び異文化交流の意義について考え、異文化間コミュニケーションの現状と課題を学び、実践していきます。

また、SNS を利用した異文化交流を行い、日本大学に在籍している留学生と日本とそれ以外の国の文化についてのディスカッションする機会を設けます。

テキストの解説と、アクティビティを行います。

◆授業方法

- ・オンデマンド

テキストの内容の詳しい解説を行います。

- ・対面授業

異文化間コミュニケーションのワークシートやアクティビティを行います。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

試験及びレポート 50%、授業参画度 50%

◆教科書

市販本『異文化コミュニケーション・ワークブック』 八代京子著 三修社

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5回分の動画を御視聴頂きます。テキストのエクセサイズを各自で行って下さい。（項目：異文化間コミュニケーションとは、コミュニケーション・スタイル） ・ 5回分の動画を御視聴頂きます。テキストのエクセサイズを各自で行って下さい。（項目：言語コミュニケーション、非言語コミュニケーション） ・ 5回分の動画を御視聴頂きます。テキストのエクセサイズを各自で行って下さい。（項目：価値観、異文化コミュニケーション・スキル）
事 前 学 修	<ul style="list-style-type: none"> ・ ①英文資料に目を通し、要約出来るようにしておく。②テキスト pp. 8-57 を読み、内容を理解しておく。 ・ テキスト pp. 59-100 を読み、内容を理解しておく。添付の資料も参考にすること。 ・ テキスト pp. 101-165 を読み、内容を理解しておく。各日、セルフチェック部分も必ず行っておくこと。
事 後 学 修	動画をみて、テキスト各章の下位項目ごとのエクセサイズを行うこと。その後、動画の解説を聞くこと。

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	テキストのエクセサイズで、グループワークが必要なものを行う。（項目：アイコンタクト、対人距離）
2 日 目	授 業 内 容	英文資料を読み、内容を確認した上で議論を行う。
事 前 学 修		テキストより、アイコンタクト、対人距離の項目を読み、エクセサイズを各自で行い、グループワークの準備をしておくこと。
事 後 学 修		英文資料を要約したもの、及び、対面授業での議論の結果、意見をまとめたものを、提出すること。

◆授業概要

19世紀英文学史の中で重要な作家であり今日でも読まれ続けられているハーディの作品に触れることで、文化的背景の学習や文学の読み方、思想の理解につながることを目標とする。文学の価値を少しでも理解できる場となるように努めたい。購読範囲は「Part IV. -At Shaston / iii. - iv. (第4部 シャストンで 3章~4章)」

◆学修到達目標

イギリス 19世紀の小説家 Thomas Hardy (1840-1928) の小説の一部を読むことで、作品及び作家の理解を深めることができる。

◆授業方法

・オンデマンド

動画資料は、公開順に視聴した上で課題（第4部3章の精読）を行うこと。オンデマンドの期間中は、1日1回オンラインによる出席票と課題の提出があります。

・対面授業

オンデマンド授業で提示された動画を必ず視聴し、オンデマンド期間中の出席票と課題を提出していること。対面授業では、音読とグループワーク（第4部4章）を中心に行います。最終日に試験を行う予定です。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

オンデマンド授業で課された課題は評価対象です（50%）。対面授業では、授業への参加度合いや最終試験が評価対象です（50%）。オンデマンド授業と対面授業をふまえて総合的に評価します。すべて出席していることを前提とします。

◆教科書

資料配布 (Classroom) 事前に配布された資料を教材とします。

◆参考書

中型以上の英和辞書（電子辞書可）

『日陰者ジュード』（上・下）川本静子訳、中公文庫（絶版の場合は図書館をご利用ください）

◆授業相談先（連絡先）

GoogleClassroom 上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス（授業目標や課題の方法について） ・ハーディについて、作品のこれまでの内容について ・教材「第4部3章」（精読の課題・解説）
事 前 学 修	教材の学習範囲の中で、発音や意味の分からない単語を確認し調べておく。
事 後 学 修	授業の内容をノートにまとめ、確認しておく。配布資料を読み不明な点がないか理解を深める。

・対面授業

1日	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンドで行った課題内容の確認（第4部3章）。 ・教材「第4部4章」の日本語要約をグループで行う。
2日	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・教材「第4部4章」の日本語要約をグループで行う。 ・最終試験
事 前 学 修	オンデマンドで行った学習で分からなかった点や課題で間違えたところをまとめておく。	
事 後 学 修	授業の内容をノートにまとめ、確認しておく。配布資料を読み不明な点がないか理解を深める。	

◆授業概要

今回のスクーリングでは西洋思想史における近世以降の哲学的展開の理解を目指す。その前提として古代ギリシア哲学とキリスト教についての基本的な知識の確認を行う。大陸の合理論と英国の経験論の哲学的展開がカントによって批判的に総合され、ドイツ観念論の哲学へと展開される流れを理解する。その頂点に立つヘーゲル哲学の理解を目指す。

◆学修到達目標

デカルトとF. ベーコンに始まる近世哲学の展開がカントによって批判的に総合されるにいたる経緯を理解する。その流れからヘーゲルにいたる展開とそのヘーゲルに対する批判から現代哲学が始まる経緯を把握する。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画は内容に沿って分割し番号を付している。まずは順を追って全体を一度視聴する。理解不十分なところをチェックし、そこを含んだ授業動画を再度視聴する。テキストと添付資料を用いて当該箇所の理解を目指す。

・対面授業

オンデマンド授業の内容を前提にしてより詳細な内容に立ち入った講義をする。添付資料は必ず紙媒体にして手元に用意しておくように。オンデマンド授業で理解不十分なところについての疑問・質問にこたえるので、メモにして用意するように。

◆履修条件

令和2年度東京スクーリング（2月）『哲学概論』とは積み重ね不可

◆成績評価基準

対面授業最終日にレポートを作成してもらうのでそれを中心に評価する。対面授業全出席を前提とする。個別の事情については申し出を可能な限り尊重する。

◆教科書

通材『哲学』（西洋思想の要諦周覧）

資料配布（Classroom）fileを添付する

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

classroom上で行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	番号1の動画—古代ギリシア哲学概観 番号2の動画—キリスト教と中世哲学概観 番号3の動画—デカルトと大陸合理論哲学の展開 番号4の動画—F. ベーコンと英国経験論哲学の展開 番号5の動画—カントの批判哲学以降の展開
事 前 学 修	classroomに掲載した指示に従ってテキスト、添付資料の当該箇所を2~3回読んでおくこと。
事 後 学 修	事前学修で理解不十分な箇所を中心にテキスト、添付資料の当該箇所をよみなおす。

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	オンデマンド授業で理解不十分なところ、特に番号1の動画と番号2の動画の内容についての疑問点を中心に質問を受ける。それが終われば、番号3の動画以降の範囲の内容についてより詳細な理解を目指す。
2 日	授 業 内 容	1日目の続きを進める。ヘーゲル以後の現代哲学の展開を概観する。そのあとで課題にこたえてもらう時間をとる。
事 前 学 修		添付資料の当該箇所を2~3回読んでおく。どこが分からないのかを確認しておくこと。
事 後 学 修		授業で取り上げた思想家、哲学者について、大まかな思想的潮流の展開を把握したうえで、授業で取り上げた人物の重要な思想的表現を理解する。

◆授業概要

考古学とはどのようなものを対象にし、どのような研究方法によって、何を明らかにする学問なのかについて、発掘調査担当者として多くの遺跡を発掘し、博物館学芸員としての勤務経験によって得られた具体的な事例を取り上げて解説する。また、自然科学的研究の応用についても解説を加え、自然科学的研究内容の成果についても、理解と批判的精神が深まるように心がける。

◆学修到達目標

考古学が隣接する諸学問（文献史学・人類学・民俗学・古生物学など）とどのように異なるのか、考古学で年代が導き出す方法にはどのようなものがあるのか、発掘とはどのような方法と目的をもっているのか、などについて、考古学の学問内容と、どのような方法で現在の考古学的成果が提出されているのかを、理解することができる。

◆授業方法

毎回（あるいはまとめて）Google classroomにアップするプリントと、発掘調査や出土遺物などの画像・動画をもとに、解説文をノートに書きとめていく授業形態をとる。質問などはメールで行なう。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

授業内試験を2回行います（各 50%）。毎回動画を視聴することを前提として評価します。

◆教科書

資料配布 (Classroom)

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Google classroom上にて行う

2 日 目	授 業 内 容	①自然科学的方法の援用 3- 環境と生業の復原 -研究対象とする時代の環境や食性を、どのような方法によって推定・復原していくのかを解説する。 ②時代・時期区分論 - 年代区分の基準は何か -世界の時代区分の原理と日本の時代区分の原理を説明する。 ③資料の出土状況:解釈論 - 出土状況から何がわかるか-発掘によって出土する資料の「状態」から、どのようなことが導きだせるのか。その解釈について説明する。 ④資料の広がり:分布論- 分布は何を意味しているのか -考古学の資料が分布することから、どのようなことを導き出せるのか、を解説する。 ⑤考古学入門まとめ-前期のまとめ -考古学研究における資料の特性と分析するための留意点についてまとめる。
事	前 学 修	事前に配布する、各回のプリントを事前に読んで、内容を把握するとともに、関連する事項について調べておくこと。
事	後 学 修	授業で利用したプリントとノートを整理し、今回の授業を要約しておくこと。

◆授業概要

観光客を誘致し、人々の移動交流によるサービス生産の発展と文化理解を促進するのが「観光事業」である。地域政策であると同時にビジネスや市民の生活創造活動でもある。本授業では、観光事業を理解するための基礎知識を学び、観光の動向を踏まえながら観光地や旅行を活かして生活を創造する課題を学ぶ。担当者の研究経歴と地域計画の実務経験を活かし事例を用いた授業を行う。2 月期では、社会、自治体、企業などのデジタル化を前提に、今後の観光事業の方向について検討する。

◆学修到達目標

「楽しみのための旅行」が個人の生活を充実させる効果と過程を理解し、観光のデジタル化（DX）、移動や観光地における観光の創出の意義について学ぶ。その上で観光関連産業の核であるサービスが、製造業も含めて現在の産業を主導する仕組みを学ぶ。インターネットの普及によるコトの伝播がサービスやモノの流通に与える影響について観光を事例に学ぶ。そして、グローバルな世界における観光の意義を学ぶ。

◆授業方法

・オンデマンド

デジタル社会において観光事業を考える基礎知識を中心に授業する。扱った概念や事例を基礎に対面授業を組み立てるので、十分に理解しておくこと。

・対面授業

もっぱら講義形式（グループ討議はしない）で授業を行う。

◆履修条件

授業に出席し、授業中に途中退出をするなどせずに受講する態度を持つことが好ましい。

◆成績評価基準

試験もしくはレポート提出（80%）、オンラインのリアクションペーパー（20%）

◆教科書

なし

◆参考書

市販本 『生活者モード戦略』、佐藤智施・大倉幸祐著、日経 BP マーケティング、2020

市販本 『ひとり空間の都市論』、南後由和著、筑摩書房、2018

市販本 『サービスデザインの実践』、マーク・スティックドーン他著、安藤貴子他訳、BNN 新社、2020

市販本 『クリエイティブ・スイッチ』、アレン・ガネット著、千葉敏生訳、早川書房、2018

市販本 『ソーシャルメディア四半世紀』、佐々木裕一著、日本経済新聞出版社、2018

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上で行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>第1回の内容： 4月期の授業を振り返り、基礎知識の一部を整理する。2月期のガイダンスとして授業方法、課題についてなど、これから授業を受けるにあたって必要な事柄についての説明を行う。</p> <p>第2回の内容： 観光事業の最も基礎的な与件である「人口問題」について検討する。近代の多くの観光事業が「大衆観光（マストゥリズム）」を前提に作られてきた。人口減少が話題となる日本、あるいは社会の「個人化」が進むグローバル世界において、その近代的観光事業ほ継続できるのだろうか。</p> <p>第3回の内容： 4月期にも扱ったデジタル化と観光事業の問題をより深く検討する。特に、ソーシャルメディアの発達とユーザーコミュニケーションをベースとする観光の広がりについて整理し、観光空間の広がりとは経済効果の源泉について検討する。</p> <p>第4回の内容： 世代論をベースに観光地の発展、観光事業の展開について検討する。「住民参加の観光地」→「観光まちづくり」→「CXベースの観光空間の整備」へと展開する観光のコアの変遷を考える。シルバー民主主義現象がもたらす現状を基礎に革新の方向性を検討する。</p> <p>第5回の内容： 1～4回をまとめ、それらのベースラインについて解説を行う。SDGsなどの総合的で相互関係的なベースライン向上の動きの観光事業への取り込み方を検討する。</p>
事 前 学 修	<p>1回には事前学習は必要ない。インターネットや新聞あるいは書籍など各種のメディアを通じて情報を集め理解する。その上で、関心を持って受講する事が好ましい。</p>
事 後 学 修	<p>現在の社会では、観光産業や観光行政が、必ずしもデジタル化により広がった観光の実情と一致していない。講義を聞きながら、観光産業や行政が扱っていないから、それは観光ではないと考えることをせず、さらにそのフリンジを広げるように思考を展開してみよう。とくに、ベースライン向上に関するグローバルな動きを調べてみよう。また、物財の貿易と国際観光の場の違いを意識しつつグローバルなベースラインを理解する方法を考えてみよう。</p>

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	オンデマンドの第2回と3回を基礎に、観光（地）の（地域）社会構造と観光事業の構造について検討する。特に、「都市OS」の発達を促しつつ、観光地における観光事業運営の世代交代を進める必要性、運営されるサービスのベースラインの向上を通じてグローバル化する可能性を探る。
2 日 目	授 業 内 容	メタバースを基礎に、観光が新しいリアリティを求めて広がる可能性について検討する。また、その基底にあるベースラインの向上の必要性を確認する。特に、SDGs が自然環境の保全に歪曲され宣伝される過去への志向を批判的に検討しつつ、メタバースにおける観光の可能性を考える。
事 前 学 修	対面第1日目については、オンデマンド授業を復習していくこと。特に、第2日目については、国連が推進するSDGsを題材に、SDGsを構成する17の項目と167の目標（targets）について確認しておく事。国際的なあるいは国内の人の移動（あるいは移動に代替する行為）の「場」としてのベースライン構築と向上を行う場合、与件としてどのような条件整備を行う必要があるかを考えておく事。さらに、その方法の一環としての「シリアスレジャー（ツーリズム）」やメタバース上の活動であるオンラインツアーなどで表出すべき情報について考えてみよう。	
事 後 学 修	2021年度の観光事業論の授業を振り返り、社会のデジタル化と社会の「個人化」が求めるグローバルなベースライン向上の可能性について考えてみよう。	

◆授業概要

授業は、地方自治体の協議会委員の経験を持つ講師から、教育行政、教育制度や教育経営を様々な角度から取り上げ、教育をめぐる社会・文化について考察していくことで、現在の私たちをとりまく教育について自ら考えることをねらいとし、教育法規の視点から教育制度を考えていく。加えて、学校と地域との連携に関する理解及び学校安全への対応に関する基礎的知識も習得する。

◆学修到達目標

- ①日本の教育行政について自分の言葉で説明することができる。
- ②現代の教育制度について自分の言葉で説明することができる。
- ③教育経営的な要素について自分の言葉で説明することができる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業は Googleclassroom を通じて行う。

- ① 授業前：レジュメ・リアクションペーパー・動画などをダウンロードする。テキストを熟読する！
- ② 授業中：動画（10～15分程度）を3本程度視聴し、掲示板に自分の意見を書き込む。
- ③ 授業後：リアクションペーパーを作成して、Google フォームで提出

・対面授業

授業は、基本講義形式で行ない、教育行政、教育制度や教育経営に関する様々な基本事項について授業を実施する。

また、教育に関する法規（教育基本法、学校教育法など）を扱うことで、教員採用選考にも備える。加えて、①授業外の学習として小レポートの作成、②VTRの視聴、③毎回の授業内での活動・意見交換等のグループワークを取り入れることで、学生が能動的な学習に励むよう促す。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

レポート(40%)、授業内テスト:Googleclassroomにおいて実施(50%)、授業参画度:授業内に回収するリアクションペーパー(10%)

◆教科書

市販本 『新・教育の制度と経営（三訂版）』 本図 愛実・末富 芳編著 学事出版 2020年

資料配布 (Classroom) レジюме、リアクションペーパー、パワーポイント資料

◆参考書

市販本 『塾：私的補習ルールの国際比較』 マークブレイら著 東信堂 2019年

市販本 『子どもの貧困対策と教育支援 より良い政策・連携・協働のために』 末富芳編著 明石書店 2017年

市販本 『教育制度を支える教育行政（アクティベート教育学）』 青木栄一編 ミネルヴァ書房 2019年

市販本 『教育学としての教育行政=制度研究』 黒崎勲著 同時代社 2009年

市販本 『リーディングス日本の教育と社会第11巻学校改革』 藤田英典・大桃敏行編著 日本図書センター 2010年

◆授業相談先（連絡先）

メールでご連絡ください。kunitomo.sakuma★gmail.com ★を@に変えてください。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>動画①：授業に関するガイダンスを実施する。次に学生自身が認識している教育制度の変更（学校週5日制やゆとり教育、アクティブ・ラーニングなど）を振り返って、教育改革が教育現場に及ぼす影響力を考える。</p> <p>動画②：日本国憲法における教育関連規定を確認し、教育基本法の各条文の意味を検討していく。また「教育の機会均等」の今日的課題と思想的展開についてディスカッションを行なう。</p> <p>動画③：教育基本法第3条（生涯学習の理念）、第12条（社会教育）を取り上げ、生涯にわたって国民が学び続けることを可能にする原理、生涯学習における学校教育と社会教育に関係について授業する。</p> <p>動画④：教育基本法第4条（教育の機会均等）、第5条（義務教育）を取り上げて、公教育の目的を実現するための義務教育や中等、高等教育について授業を行う。そのなかで、高校授業料無償化を取り上げ、公立学校と私立学校の違いについて学生間でディスカッションを実施する。</p> <p>動画⑤：教育基本法第16条（教育行政）を取り上げ、我が国の教育制度を支える教育行政の理念と仕組みについて授業を行う。加えて、地方教育行政の組織及び運営に関する法律を取り上げて、新教育委員会制度（改革）を含め、旧制度と新制度の違いについて学生間でディス</p>
---------	--

	<p>カッションを行う。</p>
事前学修	<p>動画①：明治期から現代に至るまでの教育制度の変化を調べておくこと。 動画②：テキスト p. 14-26 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、かつ教育基本法のすべての条文をノートに書き写しておくこと。テキスト p. 14-26 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、かつ教育基本法のすべての条文をノートに書き写しておくこと。</p> <p>動画③：テキスト p. 27-38 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、これまで自分が学んできたことを「家庭教育」と「学校教育」のそれぞれでまとめておくこと。</p> <p>動画④：テキスト p. 39-53 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、学校教育法における各学校種の目的や目標をノートに書き写し、違いをまとめてくること。</p> <p>動画⑤：テキスト p. 54-68 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、かつ旧教育長制度について調べ、問題点をノートにまとめること。</p>
事後学修	<p>動画①：教育改革が学校現場に及ぼす影響を考え、ノートにまとめておくこと。</p> <p>動画②：講義資料を DL してノートまとめをするとともに、「教育の機会均等」とは何かを参考文献使って自分なりにまとめること。</p> <p>動画③：講義資料を DL してノートまとめをするとともに、生涯学習と社会教育の違いを小レポートにまとめておくこと。</p> <p>動画④：講義資料を DL してノートまとめをするとともに、学生間の議論をもとに公立学校と私立学校の違いを小レポートにまとめておくこと。</p> <p>動画⑤：講義資料を DL してノートまとめをするとともに、新旧教育長制度の利点と課題をレポートにまとめること。</p>

・対面授業

<p>1</p> <p>日</p> <p>授 業 内 容</p> <p>目</p>	<p>対面①：教育基本法第9条（教員）を取り上げ、教育職員免許法、教育公務員特例法など教員に関わる法規について授業を実施する。そのうえで、教員の給与と待遇について都道府県ごとに比較することで学生の能動的な学習を促す。</p> <p>対面②：教育基本法第3条（生涯学習の理念）、第11条（幼児期の教育）を取り上げて、我が国のこども・子育て支援や少子化対策と生涯にわたって国民が学び続けることを可能にする原理について授業を実施する。また子育て支援や少子化対策について授業外の時間において学生各自が調査しまとめる（小レポート課題）。</p> <p>対面③：教育基本法第4条（教育の機会均等）、第7条（大学）を取り上げて、後期中等教育の整備と準義務化や高等教育の質保証に関する内容、また近年脚光を浴びている「特別支援教育」や「フリースクール」、「公営塾」について授業を行う。</p> <p>対面④：中央政府の組織や役割と地方政府との関係について、教育基本法第17条（教育振興基本計画）を取り上げて、我が国における教育振興基本計画の変遷と実態、具体的な教育政策を取り上げて授業を行う。</p> <p>対面⑤：教育基本法第6条（学校教育）、第9条（教員）、第13条（学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力）を取り上げる。特に、学校経営を実施するための方法や教育行政との関係（学校管理規則）、学校経営の仕組みを効果的に発揮するための学校評価（PDCA）と年間教育計画との関係について講義する。あわせて、学校安全保健法の視点から学校安全について検討する。</p> <p>※なお受講者の関心に応じて内容を変更することがある。</p>
---	--

<p>2</p> <p>日</p> <p>授 業 内 容</p> <p>目</p>	<p>対面⑥：教育基本法第5条（義務教育）、第6条（学校教育）を取り上げて、「地域」の視点から学級経営、学級経営と特別活動、問題行動と生徒指導について講義する。特に問題行動と生徒指導において、学校と地域との連携の視点よりコミュニティ・スクールについて福岡県春日市の事例などを取り上げる。</p> <p>対面⑦：教育基本法第6条（学校教育）、第13条（学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力）を取り上げて、学校と地域との連携・協働による教育課程経営（カリキュラム・マネジメント）と学校評価の基礎理論を含めたPDCAについて講義を実施する。</p> <p>対面⑧：教育とリスクについて、学校の管理下で発生する事件、事故及び災害について学生が各自調査をして、危機管理や事故対応を含む学校安全の必要性について学生間でディスカッションを実施する。</p> <p>対面⑨：第1回から第13回の授業の総まとめの確認としてテストを行い、その解説を行うことで、教育制度・行政・経営・政策に関する理解を促す。</p> <p>対面⑩：これまでの授業を受講したまとめを事前に小レポート課題として課したうえで、そのレポートを持ち寄り学生間で「我が国における教育制度」について検討することとし、授業のまとめとする。</p> <p>※なお受講者の関心に応じて内容を変更することがある。</p>
---	--

<p>事前学修</p>	<p>対面①：テキスト p. 69-80 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、か受験を希望する自治体の教員採用案内を探し、熟読しておくこと。</p> <p>対面②：テキスト p. 81-90 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、「幼稚園・保育園・認定こども園」の違いをインターネットや文献を使って調べること。</p> <p>対面③：テキスト p. 91-103 を読んで興味を持った単語の意味を調べるとともに、「フリースクール」と「公営塾」についてノートにまとめてくること。</p> <p>対面④：テキスト p. 104-111 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、文部科学省ホームページを確認し、どのような内容が掲載されているかまとめておくこと。</p> <p>対面⑤：テキスト p. 112-123 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、自分が住む自治体の学校管理規則の特徴をまとめておくこと。</p> <p>対面⑥：テキスト p. 124-140 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、コミュニティ・スクールの具体的な事例をまとめること。</p> <p>対面⑦：テキスト p. 141-154 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、かつ現行の学習指導要領総則を読んでくること。</p> <p>対面⑧：テキスト p. 155-191 を読んで興味を持った単語の意味を調べ、インターネットを使用して「学校事故」に関する記事を探すこと。</p> <p>対面⑨：第1回から第13回までの講義内容を復習しておくこと。</p> <p>対面⑩：子どもたちが「幸せになるため」には、どのような教育制度を整備すべきかを考えること。</p>
-------------	--

<p>事後学修</p>	<p>対面①：講義資料をDLしてノートまとめをするとともに、教員の1年間のスケジュールを調べまとめておくこと。</p> <p>対面②：講義資料をDLしてノートまとめをするとともに、自分が住む自治体の子育て支援や少子化対策を調べ、小レポートを作成すること。</p> <p>対面③：講義資料をDLしてノートまとめをするとともに、「フリースクール」や「公営塾」は学校か否かについてまとめておくこと。</p> <p>対面④：講義資料をDLしてノートまとめをするとともに、文部科学省と地方自治体の関係について問題点を指摘しておくこと。</p> <p>対面⑤：講義資料をDLしてノートまとめをするとともに、他自治体の学校管理規則を探し、事前学習で調べた学校管理規則との違いをまとめておくこと。</p> <p>対面⑥：講義資料をDLしてノートまとめをするとともに、学校統廃合を防ぐ・促進するための方策を検討しておくこと。</p> <p>対面⑦：講義資料をDLしてノートまとめをするとともに、受験を希望する自治体の教員採用試験問題の学習指導要領に関する部分を解答してみること。</p> <p>対面⑧：講義資料をDLしてノートまとめをするとともに、事前学習で調べた「学校事故」の事例を検討・予防策を提案すること。</p> <p>対面⑨：解答できなかった問題について、テキストの該当箇所を確認し、再度問題を解きなおすこと。</p> <p>対面⑩：考えた教育制度の矛盾点を考えること。</p>
-------------	---

令和3年度地方スクーリング(9月期)開講講座一覧

講座コード	科目名	開講 単位数	担当教員名	科目コード	科目名	併用	配当学年	9月18日、19日の授業方法	備考
NCA1	国文学演習Ⅰ～Ⅵ	1	近藤 健史	M404S0	国文学演習Ⅰ	×	3年	オンデマンド	・文学専攻(国文学)のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅵのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				M405S0	国文学演習Ⅱ				
				M406S0	国文学演習Ⅲ				
				M407S0	国文学演習Ⅳ				
				M408S0	国文学演習Ⅴ				
				M409S0	国文学演習Ⅵ				
NCA2	英米文学演習Ⅰ～Ⅲ	1	猪野 恵也	N404S0	英米文学演習Ⅰ	×	3年	ZOOM	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・Ⅰ～Ⅲのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				N405S0	英米文学演習Ⅱ				
				N406S0	英米文学演習Ⅲ				
NCA3	東洋史特講Ⅰ	2	高網 博文	Q31000	東洋史特講Ⅰ		2年	ZOOM	
NCB1	行政法Ⅱ	2	西原 雄二	K31000	行政法Ⅱ		2年	オンデマンド	
NCB2	英作文Ⅱ	2	リチャード キャラカー	N30500	英作文Ⅱ	×	2年	ZOOM	スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
NCB3	証券市場論	2	酒巻 雅純	S30800	証券市場論		2年	オンデマンド	
NCB4	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	2	ト部 勝彦	T20500	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ	×	2年	ZOOM	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。 ・法学部、哲学専攻、史学専攻、経済学部、商学部のみ申込可。 ・入学年に応じて科目コードが異なる科目です。
				T23600	社会科・地理歴史科教育法Ⅰ				
NCC1	英米文学特殊講義	2	新井 英夫	N31200	英米文学特殊講義		2年	オンデマンド	
NCC2	金融論	2	谷川 孝美	R31800	金融論		2年	ZOOM	
NCC3	広告論	2	雨宮 史卓	S30900	広告論		2年	オンデマンド	

◆授業概要

北海道をめざした石川啄木の作品について扱う。具体的には、北海道という風土が啄木の文学にどのような影響を与えたのかについて考える。一年ほどの函館、札幌、小樽、釧路の埼玉や風土から啄木の作品を読み解く。

◆学修到達目標

文学作品を読み解くうえで必要な基礎的知識や方法を学修し、文学への接し方、先行研究論文の読み方などを身につけ、文学作品を理解する力を養うことを目標とする。

◆授業方法

- ・オンデマンド

第1回授業の進めかた・演習の基礎。第2回石川啄木の人と作品。第3回から北海道漂泊の足跡と作品について講義する。

- ・対面

第13回から先行研究論文を読み、問題点や疑問点について討論する。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

レポート80%、授業参画度20パーセント

◆教科書

石川啄木『一握の砂／哀しき玩具 改版』新潮文庫

石川啄木『一握の砂・哀しき玩具』岩城之徳校注、講談社文庫

◆参考書

『石川啄木歌集全歌鑑賞』上田博、おうふう、2001年、(高価なため図書館を利用)

『石川啄木と北海道—その人生・文学・時代—』福地順一、鳥影社、2013年(高価なため図書館を利用)

◆授業相談先(連絡先)

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>第1回授業の進め方・演習の基礎。 第2回石川啄木の人と作品。 第3回北海道漂泊の足跡。 第4回函館時代。 第5回札幌時代。 第6回小樽時代。 第7回釧路時代。 第8回函館から札幌への旅と作品。 第9回小樽から釧路への旅と作品。 第10回函館・札幌の歌 第11回小樽の歌。 第12回釧路の歌。</p>
事 前 学 修	<p>石川啄木の生涯について調べておくこと。『一握の砂』の北海道時代を詠んだ「忘れがたき人人」（1 1 1首）、橘智恵子を詠んだ「忘れがたきひと人その二」（2 2首）を読んでおくこと。北海道を詠んだ作品は、いずれも東京時代の作であり、そのほとんどが明治43年の作歌で、追憶の歌としての性格を考慮して解明しなければならない。</p>
事 後 学 修	<p>約1年間の北の国の生活は、啄木にとって忘れがたい多くの記憶を残し、その文学を形成する重要な背景をなしたことを理解する。</p>

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	<p>研究論文を読む基本的なことを学修する。啄木と北海道に関する研究論文の目録を示す。</p> <p>第13回北海道における作品と関連する研究論文を読む（1）。</p> <p>第14回北海道における作品に関する研究論文を読む（2）。</p> <p>各自、どう読んだのか発表する。</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>第15回北海道における作品に関する研究論文を読む（3）。</p> <p>各自、どう読んだのか発表する。</p> <p>まとめ</p>
事 前 学 修	<p>研究論文を読む基本的なことを調べておくこと。啄木と北海道についての研究論文を探して、問題点を整理してみる。</p>	
事 後 学 修	<p>これ r までの学修を振り返り、啄木文学の形成と風土を考えると、北海道の占める位置は大きいことを理解する。</p>	

◆授業概要

George Orwell (1903-1950) の『オーウェル評論集』(岩波文庫)に収められている評論をいくつか読みます。オーウェルといえば『動物農場』(1945)、『1984』(1949)が有名です。しかし、見落としがちな魅力的な評論をいくつか読んでみましょう。受講前に『動物農場』と『1984』を翻訳でもいいので読んでおくことが望ましい。

◆学修到達目標

・英文の味読ができるようになる。・George Orwell の多面的な魅力について理解することができる。

◆授業方法

・オンデマンド

まず、「George Orwell の生涯及び 1984 について」の動画を視聴してください。オンライン授業で英文精読をしていくので、英文精読に慣れるためにオンデマンド授業では Animal Farm を取り上げ、読んでゆく。課題も出すので必ず提出のこと。

・オンライン

受講者に英文を大体一文ずつ音読し、和訳してもらいます。適宜ディスカッションも取り入れます。前提となる知識がないとディスカッションが難しいので予習をよくしておいてください。ZOOM によるオンライン授業です。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

オンデマンド授業の課題(40%)、オンライン授業最終日の授業内テスト(50%)、オンライン授業における和訳など授業参加度(10%)。オンデマンド授業の課題、オンライン授業最終日の授業内テストそれぞれの結果、そしてオンライン授業に皆出席していることを前提として総合的に評価する。

◆教科書

『オーウェル評論集』 小野寺健編訳 岩波文庫 1982 年

◆参考書

◆授業相談先(連絡先)

ino0703@hotmail.co.jp

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	動画 1 George Orwell 及び 1984(1949) 動画 2 Animal Farm を読む その 1 動画 3 Animal Farm を読む その 2 動画 4 Animal Farm を読む その 3
事 前 学 修	George Orwell による 1984(1949) と Animal Farm を、特に Animal Farm を翻訳でもよいので読んでおくこと。
事 後 学 修	英文味読のための前提として、文法的に英文を正しく読めていることが大切です。オンライン授業に備えて英文精読の仕方をよく復習しておくこと。

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	・ Why I Write(1946) ・ The Freedom of the Press(1945) ・ A Hanging を精読する。ある程度英文を読んだら、ディスカッションをしてみたい。進度によっては予定を変更する。
2 日 目	授 業 内 容	・ Shooting an Elephant(1936) ・ As I Please(1944) を精読する。ある程度英文を読んだら、ディスカッションをしてみたい。授業内テスト。
事 前 学 修		・ Why I Write(1946) ・ The Freedom of the Press(1945) ・ A Hanging ・ Shooting an Elephant(1936) ・ As I Please(1944) の英文を辞書をこまめに引き、よく予習しておくこと。文法的な質問もするので答えられるようにしておくこと。
事 後 学 修		英文精読について復習すること。文法的に正確に読めるようにすることはもちろんであるが、文章に対する「気づき」とは何か、再考してみましよう。

◆授業概要

本講義では、上海における日本人コミュニティの歴史と日中関係史を主要なテーマとする。戦前における上海日本人コミュニティの形成・発展・崩壊の歴史過程を中心に講述する。「国際都市」上海には、戦前最も多い時に約 10 万人の日本人が在留し、上海「共同租界」の一角には日本人コミュニティが形成されていたが、敗戦による解体までの歴史を近代日中関係史を踏まて明らかにする。

◆学修到達目標

本講義は、近代上海における日本人の活動と意識を分析対象として取り上げ、日中関係史を歴史的に理解し、歴史学による実証的且つ批判的な研究方法論を学修する。

◆授業方法

・オンデマンド

Googleclassroom を使用し、教科書・配布資料等により講義を行い、また関係する映像資料を視聴しながら理解を深めます。

・対面

教科書・配布資料等により講義を行い、また関係する映像資料を視聴しながら理解を深めます。

◆履修条件

令和 2 年度昼間スクーリング（前期）『東洋史特講 I』（高綱博文）との積み重ね履修は不可。

◆成績評価基準

試験（70%）、レポート（30%）

◆教科書

通材 『東洋史特講 I Q31100』

授業中に関係文献資料を適時配布します。

◆参考書

『「国際都市」上海のなかの日本人』高綱博文 研文出版、2009 年

◆授業相談先（連絡先）

takatsuna.hirofumi@nihon-u.ac.jp（連絡する際には学科・学生番号・氏名を明記）

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	ガイダンス 上海史研究への招待 「租界都市」上海論（１） 「租界都市」上海論（２） 上海共同租界（映像視聴） 上海日本人コミュニティ論（１） 上海日本人コミュニティ論（２）
事 前 学 修	通信教育部教材『東洋史特講Ⅰ』，225～234頁を予習しておくこと。
事 後 学 修	授業内容の要点を確認しておくこと。

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	上海事変と日本人居留民 上海内山書店小史 上海事変（映像資料視聴）
2 日 目	授 業 内 容	戦時上海日本人コミュニティ 戦時上海の日本文化 敗戦後の上海日本コミュニティと居留民引揚げ 上海ノスタルジー（映像資料視聴） 試験
事 前 学 修	配布資料を予め学修しておくこと。	
事 後 学 修	授業内容の要点を確認しておくこと。	

◆授業概要

行政活動に対する国民の救済手段である「行政救済法」について、行政不服審査法、行政事件訴訟法、国家賠償法、損失補償などを中心に解説する。

◆学修到達目標

行政救済法の全体像と主要な諸問題について学び、この授業を通じて行政救済法に関する主要な概念や論点を説明できるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業音声は内容に沿って配信している。まずは、全体を順に聞くこと。その中には、課題の提示（作成・提出）が含まれている場合がある。不明な点についての質問は、随時受け付ける。

・対面

講義形式を基本とするが、適宜、質疑応答を行う。本授業の事前学修・事前学修の時間は、各2時間を目安としている。課題等に対するフィードバックは、対面授業内あるいは 구글 クラスルーム上にて行う。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

オンデマンドでの課題提出(40%)、対面授業での小テスト(40%)、授業参画・貢献度(20%)により総合的に評価する。

◆教科書

『行政法（第3版）』 池村正道編 弘文堂 2017年

◆参考書

授業中に紹介する。

◆授業相談先（連絡先）

グーグルクラスルーム上にて行う。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>第1回：ガイダンス—授業のテーマや内容、成績評価の方法等についてガイダンスを行った後、行政法の概要について学修する。</p> <p>第2回：行政救済とは何か—行政救済法の全体像と主要なテーマについて学修する。</p> <p>第3回：行政争訟とは何か—行政争訟の意義、特徴、種類について学修する。</p> <p>第4回：行政不服審査法の概説—行政不服審査法の全体像と主要な論点について学修する。</p> <p>第5回：行政不服申立ての意義と目的</p>
事 前 学 修	教科書の当該箇所を読むこと。
事 後 学 修	授業内容と教科書をつき合わせて、さらに理解を深めること。

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	第6回：行政不服申立ての種類と要件、 第7回：行政事件訴訟法の概説、 第8回：行政事件訴訟の意義と目的、 第9回：行政事件訴訟の種類と要件、 第10回：小テスト①と解説
2 日 目	授 業 内 容	第11回：国家賠償法の意義と目的、 第12回：国家賠償法の種類と要件、 第13回：損失補償の意義と論点、 第14回：国家補償の谷間の問題、 第15回：小テスト②と解説
事 前 学 修	各テーマについて教科書の該当箇所をよく読んでおくこと。	
事 後 学 修	授業内容と教科書をつき合わせて、理解を深め、自分のノートを作成・整理すること。	

◆授業概要

Each class will feature extensive writing. First, we will do a number of exercises on the basic parts of a paragraph. We will then move on to generating ideas in order to write original paragraphs. The final day will feature pertinent grammar and sentence structure review, and conclude with an original paragraph project that students will submit for a grade. At each step, there will be plenty of time for questions, review, and rewriting.

◆学修到達目標

The objective of this course is to learn and practice writing the basics of an English paragraph. Students will have extensive practice in writing the following: topic, supporting, and concluding sentences; and combining sentences to form coherent and unified paragraphs. Students will also review grammar relevant to paragraph writing, and practice generating ideas for paragraphs. By the end of the course, students will be able to write an opinion paragraph in response to an issue raised in a reading passage.

◆授業方法

・オンデマンド

The on demand videos will be divided according to content. Each video will be numbered. Students will watch all the videos first. If there are difficulties, repeated viewings is recommended. If students still can't understand the content, the teacher will answer the questions from the students. There will be tasks associated with the videos.

・対面

Students will engage with the content of the course through various readings, writing exercises, sentence structure exercises, and discussions. Furthermore, students will be required to apply some of the content in paragraph and short essay assignments.

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

Final Essay 40% Attendance 15% Homework 30% Participation 15%

Student participation will be measured by discussions during every class.

◆教科書

Academic Writing Skills Student's Book 1 Chin, et.al Cambridge University Press
2012 ISBN 978-1-107-63622-4

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	Please see the Word file for information about on-demand contents.
事 前 学 修	Please see the Word file for information about on-demand contents.
事 後 学 修	Please see the Word file for information about on-demand contents.

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	Students will read about and do prewriting activities to prepare them to write an English paragraph. Students will practice topic sentences, supporting points, and concluding sentences.
2 日 目	授 業 内 容	Students will read about and do prewriting activities to prepare them to write an English paragraph. Students will practice topic sentences, supporting points, and concluding sentences.
事 前 学 修		The pre-learning activities are contained in the on demand lectures.
事 後 学 修		Students will read about and do prewriting activities to prepare them to write an English paragraph. Students will practice topic sentences, supporting points, and concluding sentences.

◆授業概要

証券市場を対象として、「証券市場の基本構造」、「証券市場における価格形成」、「投資対象（株式、債券、デリバティブ等）のリスク・リターン特性」、「機関投資家（銀行、生保、年金基金等）の資産運用技法」などについて、証券市場の仕組みや投資の基礎を習得できるように、講義します。証券市場に関する時事的なトピックスも取り上げる予定です。

◆学修到達目標

株式、債券、デリバティブなどの金融商品や金融サービスの高度化・複雑化が進展する中、①証券市場や証券投資についての基礎と応用を体系的に学び、②複雑な経済社会で変容する現代の証券市場に対応する基礎的知識を着実に習得したうえで、ご自身でも投資判断ができるようになること、を目標とします。

◆授業方法

・オンデマンド

オンデマンド授業の動画は、原則、講義内容に沿って分割し、番号を付します。受講生は、全体を順に視聴し、もし、一度の視聴で不明な点があれば繰り返し視聴して、疑問点がないようして下さい。また、不明な点の質問は随時受け付けます。なお、動画の中には課題が含まれている場合もあります。

・対面

オンデマンド授業での動画を必ず視聴していることを前提に、対面授業は、授業計画に沿って行います。講義で不明なところや疑問点がないようして下さい（不明な点の質問は随時受け付けます）。なお、授業内容についての確認テストの実施やコメントを求める場合もあります。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

授業内試験（小テスト・コメント）4回 各25点として、合計100点として総合的に評価します。

◆教科書

通材 『証券市場論 S30800』

◆参考書

『図説 日本の証券市場 2020年版』 公益財団法人 日本証券経済研究所

◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	金融・証券市場の基礎（証券市場の機能、資金循環構造、間接金融と直接金融） 日本の株式市場の歴史（戦前・戦後・金融ビッグバン・バブル崩壊、株式市場の構造について学ぶ） 証券の種類と性格①（株式会社、株式と株主権について学ぶ） 証券の種類と性格②（債券（国債、社債）の仕組み、利回りについて学ぶ） 証券（株式・債券）評価の基礎（証券の価値とは何か、時間価値、複利、将来価値、現在価値の考え方について学ぶ）
事 前 学 修	金融と証券（教科書 1～6 頁）、証券市場の歴史（教科書 6～19 頁）、株式・債券（教科書 32～39 頁）に関して、教科書（通信教育教材）を事前に読み、各自で整理したうえで、キーワードを確認しておきましょう。さらに、証券（株式・債券）評価の基本に関して調べておきましょう。
事 後 学 修	オンデマンド授業の各日の終了後に、授業のノートや配布資料などでの振り返りを行いましょう。 さらに、オンデマンド授業終了後、各日のノートでの振り返りを行いながら、授業全体の復習・整理などを行い、疑問点がないようにしておきましょう。

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	<p>証券の発行市場と流通市場について学ぶ</p> <p>株式市場について（株式市場の機能とは何か、証券取引所、上場会社のコーポレートガバナンスを中心に学ぶ）</p> <p>債券市場について（国債、社債を中心に学ぶ。特に、企業が発行する社債について学ぶ）</p> <p>機関投資家（年金基金、スチュワードシップ・コードなど）について学ぶ</p> <p>債券格付け（格付けの意義、仕組み、格付けビジネスなど）について学ぶ</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>証券投資論・ポートフォリオ理論の基礎①（リスクと証券について学ぶ）</p> <p>ポートフォリオ理論の基礎②（CAPM：資本価格形成モデルなどについて学ぶ）</p> <p>デリバティブ①（先物取引の仕組み・機能、先物取引市場について学ぶ）</p> <p>デリバティブ②（オプション取引の仕組み・機能、オプション市場について学ぶ）</p> <p>全体の講義のまとめとその他のテーマ（証券会社の役割、投資信託など）</p>
事 前	学 修	<p>証券の発行市場と流通市場（教科書 43～54 頁）、株式市場、債券市場（教科書 43～51 頁）を読み、整理しておきましょう。機関投資家、債券格付に関して配布資料などを参考に事前に整理しておきましょう。</p> <p>「リスクとリターン」の基本的な考え方や、なぜリターンがリスクと密接に関係しているかを考えてみましょう。</p> <p>「ポートフォリオ」とは何か、投資分散によるリスク軽減効果等について考えてみましょう。</p> <p>なぜ、先物取引が必要か、その意義や利用の仕方について調べておきましょう。オプション取引の意義、仕組み、コール・オプション、プット・オプションについて調べておきましょう。</p>
事 後	学 修	<p>対面授業 1 日目の終了後に、授業 1 日目のノートでの振り返りを行いましょう。さらに、対面授業 2 日目の終了後に、授業 2 日目のノートでの振り返りを行いながら、授業全体の整理を行い、疑問点がないようにしましょう。不明な点などの質問がありましたら、随時受け付けます。</p>

◆授業概要

本授業は、中学校社会科及び高等学校地理歴史科における学習指導要領の諸内容と背後の学問分野との関係、および授業設計や学習評価などを説明する。また、高等学校での教員経験や文部科学省初等中等教育局での官職経験を踏まえ、社会科教育や地理歴史科教育をめぐる教育行政のスタンスと現場教員の諸課題について、授業で講じたい。

◆学修到達目標

本授業では次の1)～3)を到達目標としている。1) 中学校社会科及び高等学校地理歴史科の学習指導要領の目標・内容を理解し説明できる。2) 地理教育と関係する地理学をはじめとする学問分野を踏まえた教材研究ができる。3) 地図などの地理的スキルを駆使した授業の設計とその指導、学習評価などができる。

◆授業方法

・オンデマンド

オンデマンドでの授業動画(5本)の視聴による。授業動画はGoogleClassroomの「授業」での「オンデマンド授業動画」にて関連資料とともに配信する。

・オンライン

Zoomでの同時双方向型授業では、アクティブ・ラーニングによるグループワーク(ブレイクアウトルームを利用)を中心に授業を進める。またGoogleの各種クラウド共有アプリを多用し、ICT(情報機器)の活用を授業時に実践する。

◆履修条件

特になし

◆成績評価基準

オンデマンド授業・Zoom授業での課題提出物(50%)、授業の参画度(50%)

◆教科書

文部科学省(2018):『中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 社会編 平成29年7月』東洋館出版社

文部科学省(2019):『高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 地理歴史編 平成30年7月』東洋館出版社

上記の学習指導要領関連教材はGoogleClassroomの「授業」でも文部科学省リンク(pdf)でも提供

◆参考書

文部科学省検定済教科書(令和2年3月24日検定済)「中学校社会科地理的分野」出版社は自由
文部科学省検定済教科書(令和2年3月24日検定済)「中学校社会科地図」出版社は自由
文部科学省検定済教科書(平成28年3月18日検定済)「高等学校地理A」出版社は自由
文部科学省検定済教科書(平成28年3月18日検定済)「高等学校地理B」出版社は自由
文部科学省検定済教科書(平成28年3月18日検定済)「高等学校地理歴史科地図」出版社は自由

◆授業相談先(連絡先)

GoogleClassroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

<p>授 業 内 容</p>	<p>オンデマンドでの動画視聴による授業（5回分）は以下の通りである。</p> <p>① 中教審答申と学習指導要領改訂からみた中学校社会科・高等学校地理歴史科</p> <p>② 地理的スキルとしての地図・地理写真とフィールドワーク</p> <p>③ 中学校社会科地理的分野における学習指導要領の内容と指導上の留意点</p> <p>④ 高等学校地理総合における学習指導要領の内容と指導上の留意点</p> <p>⑤ 高等学校地理探究における学習指導要領の内容と指導上の留意点</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>教科書として指定した『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編 平成29年7月』の1～82頁、『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 地理歴史編 平成30年7月』の1～122頁は、生徒目線ではなく教員目線で、ざっと目を通しておくこと。その際、生徒が使用する文部科学省検定済み教科書などを参照しつつ学修指導上をイメージされたい。また内容項目での地理的専門事項は、教材研究の観点から独自に理解しておくこと。</p>
<p>事 後 学 修</p>	<p>授業動画で指示した地図などの実習項目は必ず反復的にトレーニングして、学習指導場面で問題なく扱えるようスキルを取得しておくこと。また授業動画で講じた中学校や高等学校の学習指導要領の内容項目や指導上の留意点については、再度、文部科学省検定済み教科書で取り上げられている教材事例などを参照しつつ復習しておくこと。</p>

・オンライン授業

1 日 目	授 業 内 容	Zoom1 日目の授業では、オンデマンド授業②の動画で講じた地理院地図活用や地理写真撮影など学習指導上必須となる地理的実践の技能の実践、および地理教育の ICT（情報機器）活用による遠隔授業のあり方をグループワークによって検討を行う。
2 日 目	授 業 内 容	Zoom2 日目の授業では、与えられた学習想定事項についての模擬授業を個人・グループで研究し、その成果を発表する。
事 前 学 修		第 1 日目の事前学修では、1) オンデマンド授業②の動画で講じた地理院地図活用や地理写真撮影スキルについて再度確認し、各自に与えられた課題についてプレゼンできるよう準備しておくこと。2) 中学校や高等学校の学習指導要領の記載事項を復習し、どのような授業場面で各種の地理的スキルを活用できるのか、その想定を考えておくこと。第 2 日目の事前学修では、模擬授業に備えて各自が教材研究をしておくこと。
事 後 学 修		第 1 日目・第 2 日目とも授業での成果と課題について振り返り、今後現場での授業実践で活かせるようにしておくこと。

◆授業概要

ジェイン・オースティン(Jane Austen 1775-1817)の『高慢と偏見』(Pride and Prejudice 1813)を読みます。作品を多面的な視点から読み、作品がどのように政治、社会制度等と結びついているのかを考えます。また、読み方の多重性を意識することを通して、小説そのものの読み方の新たな方向性について考察するきっかけとします。

◆学修到達目標

- ・近代英国小説の読解に必要な英語力がどの程度のものであるかを知ることができるようになる。
- ・文学批評に必要な基本的な用語を理解することができるようになる。
- ・作品の構造、人物関係を明確に説明できるようになる。
- ・作品のテーマについて説得力ある論を展開できるようになる。
- ・19世紀前半のイギリスのにおいを感じ取ることができるようになる。

◆授業方法

- ・オンデマンド

全15回をオンデマンド授業で実施する。期間中に4つの課題の提出を求める。そのうち3つは和訳を中心とする。1つは小論文である。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

課題1～3 (60%)、課題4 (40%)

◆教科書

資料配布

◆参考書

『高慢と偏見』ジェイン・オースティン ちくま文庫

◆授業相談先（連絡先）

オンデマンド授業においては Google classroom の機能を用いて応じる。

◆授業計画

- ・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェイン・オースティンの人物像に迫る。 ・第1章～第20章 (ネザーフィールド・パークの新たな住人、両親の反応) 当時のイギリス文化の背景を学修する。
事 前 学 修	『高慢と偏見』を通読する。
事 後 学 修	講義で解説したジェイン・オースティンの評価について復習する。 第1章から第20章までの内容を復習する。

・オンデマンド授業

1 日 目	授 業 内 容	<p>・第21章～第40章 (ビングリ, ネザーフィールドを去る, ジェインへの告白) 当時のイギリス文化の背景を学修する。</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>・第41章～第41章 (父への懇願, それぞれの関係) 当時のイギリス文化の背景を学修する。</p>
事 前 学 修		『高慢と偏見』を通読する。
事 後 学 修		授業内容を復習する。

◆授業概要

日本銀行の金融政策決定会合の行方が注目され、株価など経済にも影響を与えています。この講義では、日本の金融の中心である日本銀行の機能や役割、また、物価目標を達成するための手段である金融政策、さらに金融政策が経済に与える影響について、その基礎的知識や理論を学び、理解することを通じて、現在の経済問題を考える基礎を養うことを目的とします。

◆学修到達目標

この講義では、わが国の中央銀行である日本銀行の機能、役割および金融政策に対する基礎的な理解を目指し、具体的には以下のことを目標とします。

1. 銀行などの金融仲介機関の機能、役割を理解し、説明できるようになる。
2. 中央銀行の機能、役割を理解し、説明できるようになる。
3. 日本の金融政策の目的、手段を理解し、説明できるようになる。
4. 非伝統的金融政策を理解し、現在の金融問題を適切に考えることができるようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

講義連絡などはClassroomでおこないます。必ずClassroomを確認してください。Classroomでは授業計画に沿って、項目ごとにトピックを分けている。トピックごとに、動画ファイル、授業アンケートなどがあるので、事前に配布する資料で予習した後に、動画ファイルを視聴し学修する。最後に出欠を兼ねた授業アンケートを回答する。質問などは授業アンケートなどでも受け付ける。また、課題や小テストがある場合もトピック内で指示するので必ず解答すること。

・対面

オンデマンドによる学修を踏まえ、授業計画に沿って、パワーポイントを利用した講義形式で行います。また、最後に学修の確認として試験を実施します。

◆履修条件

令和3年昼間スクーリング（後期）「金融論」（谷川孝美）と内容が類似しています。スクーリングの積み重ね方式不可ではありませんが、よく確認をお願いします。

◆成績評価基準

最終日に最終試験を実施します。評価の割合を60%とします。また、オンデマンド授業等で実施する小テストおよび課題の評価割合を30%、授業への参加・貢献を10%とします。

◆教科書

講義内容をまとめた資料を事前にClassroomを通じて配布します。受講前に予習をお願いします。

◆参考書

通材『金融論 R31800』通信教育教材（教材コード 000540）

『ベーシックプラス 金融論 第2版』家森信善，中央経済社，2018年

『ベーシックプラス 金融政策』小林照義，中央経済社，2015年

日本銀行金融研究所『日本銀行の機能と実務』（従有斐閣から販売されていましたが，日本銀行のホームページ，以下のアドレスからダウンロードができます。）

https://www.imes.boj.or.jp/jp/historical/pf/pf_index.html

◆授業相談先（連絡先）

対面授業時には，講義前後10分程度，講師室および教室にて対応します。また，それ以外では，Classroomやメールにて対応します。

tanikawa.takayoshi2020@nihon-u.ac.jp

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	Classroomのトピック1 金融の基礎を理解する。 金融取引，貨幣の定義，貨幣供給と貨幣需要” Classroomのトピック2 金融の基礎を理解する。 金利の基本概念，長期金利，短期金利” Classroomのトピック3 金融の基礎を理解する。 金利の基本概念，物価の変動を考慮する実質金利” Classroomのトピック4 預金取扱機関を理解する。 銀行の機能と役割として，情報生産機能” Classroomのトピック5 預金取扱機関を理解する。 銀行の機能と役割として，信用創造機能” *各トピックス内に動画ファイルと資料がある。資料で予習をしたのちに，動画ファイルを視聴し学修すること。また，受講後に確認として，小テスト等がある場合は必ず解答すること。
事 前 学 修	*事前学修は，各トピックの内容に対応している。 ・シラバスをよく読み，授業の概要や目的を理解しておく。 ・トピック内に予習用として講義概要をまとめた資料があるので，よく読み，確認する。その際に専門用語などをテキストや参考文献等で調べること。
事 後 学 修	日本銀行の金融政策を理解する上で必要な，金融の基礎を十分に確認し，まとめておくこと。 ・学修上の疑問点や不明な点は授業アンケートやメールなどで質問し，解消しておくこと。 ・小テストで，学修の理解度を確認し，不足がある場合はよく確認しておくこと。”

・ 対面授業

1 日 目	授 業 内 容	<p>中央銀行としての日本銀行を学修します。</p> <p>①中央銀行とは何か</p> <p>②中央銀行としての日本銀行の機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発券銀行（日本銀行券の発行と還流、その仕組み） ・ 銀行の銀行（中央銀行による最後の貸し手機能） ・ 政府の銀行（国庫金，国債等に関する業務） <p>③金融政策の目的（物価の安定とは何か）”</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>金融政策について学修します。</p> <p>①伝統的金融政策（従来の金融政策について確認します）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 金融政策の手段としてのオペレーション（公開市場操作） ・ 基準貸付利率とは何か ・ 預金準備率操作と補完的当座預金制度 <p>②非伝統的金融政策（近年実施されている金融政策を見ていきます）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゼロ金利政策と量的質的金融緩和政策 ・ 量的質的金融緩和政策 ・ マイナス金利政策，長短金利操作付き量的質的金融緩和政策”
事 前 学 修	<p>*事前学修は，対面授業1日目までに行うことを想定しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンデマンド授業で，金融の基礎を十分に確認しておくこと。 ・ Classroomを通じて，事前に対面授業の資料を配付するので，よく読み，確認しておくこと。 ・ 新聞の経済欄などをよく読み，金融，経済時事問題に注目しておくこと。 	
事 後 学 修	<p>*事後学修は，対面授業2日目を終えた後に行うことを想定している。</p> <p>*対面1日目終了後は，最後試験に向けて，初日の講義内容を復習し，確認しておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で取り上げた項目や金融の基礎理論や概念を再確認し，理解を深めること。 ・ 最終試験をよく確認し，理解不足があった場合にはよく復習すること。 	

◆授業概要

広告及び宣伝、PR、プロモーション等の意義を理解し、マーケティング戦略の中でいかにこれらが機能しているかを学ぶ。また、広告戦略及び、ブランド戦略についても考察し、広告が様々な企業組織や生活者の間に存在するコミュニケーション活動であることを理解する。尚、日本郵政公社郵政総合研究所の客員研究員、(財)食品産業センター、地域食品ブランド育成・管理総合検討委員等の実務経験からより身近な具体例を挙げる事を心掛ける。

◆学修到達目標

1. 広告及び宣伝、PR、プロモーション等の意義を理解し、マーケティング戦略の中でこれらが、どのように機能しているかを説明できる。
2. 広告が様々な企業、組織、及び個人の中に存在するコミュニケーション活動であることを理解できる。
3. ブランド力を強化し、当該ブランドを拡張する場合、どのような広告戦略を行うべきかを企画・検討できるようになる。”

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画は5回分あり、全て三分割されている。各回の動画の視聴時間は45分程度である。各回の動画を視聴し、ノートを作成し動画内で指示されているテキスト頁を確認すること。毎回、視聴確認のフォームがあるので、Google classroom上で各回の配信期間中に投稿すること。また、テキスト及び指示された資料を元に作成して、投稿すること。尚、オンデマンド授業方法の詳細は第1回目の時に、授業動画とは別の動画で説明する。

・対面

初日はオンデマンド授業における重要箇所を再確認する。そして、テキストに沿いながら広告の基本機能を解説する。二日目の午前は、必要に応じて資料を配布しつつ企業の戦略事例を織り交ぜて広告理論を解説する。二日目の午後は授業の他にテストの解答方法を解説し、質問を受け付ける。そして、全ての講義の後に簡単なテストとその解説を実施する。

◆履修条件

前期：昼間スクーリング 広告論との積み重ねは不可

令和2年度 夏期スクーリング 広告論との積み重ねは不可

◆成績評価基準

テスト（60%）、レポート（30%）、平常点（10%） 総合的に判断します。

◆教科書

兩宮史卓『広告コミュニケーション』八千代出版、2020年

必要に応じて資料を配布する

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

オンデマンド授業においてはGoogle classroomの機能を用いて応じる。

対面授業においては授業の初日に指示をする。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">・オンデマンド授業の進め方・マーケティング戦略とプロモーション戦略・プロモーションの種類・広告の定義 広告の役割と機能・広告の基本的過程 広告の基本的な戦略について・広告戦略とブランド戦略について
事 前 学 修	<p>テキスト第1章（13頁～30頁）、第2章（31頁～56頁）を熟読し、マーケティング・ミックスとプロモーションミックスの関係性を理解した上で、広告コミュニケーションの基本的な考え方を確認しておくこと。15頁の図と19頁の図はプロモーション戦略を検討する際の基本的事項なので、ノートに予め書き写しておくこと。</p> <p>また、24頁の表の内容を理解し、商品や流通業の特徴により、どのSP戦略が有効な手段かを独自に考案できるようになること。</p>
事 後 学 修	<p>5本の授業動画の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、プロモーションの種類や基本的戦略内容を確認し理解しておくこと。さらに、自分自身が関心のある商品を数点想定した上で、当該商品がいかなるプロモーション戦略に適しているかを検討できるようになっていること。また、提出したレポート内容もノートにまとめておくこと。</p>

・対面授業

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・対面授業の進め方（ガイダンス） ・オンデマンド授業内容の確認と復習 ・消費者行動と広告 ・高価格製品の広告戦略 ・コモディティ製品の広告戦略 ・広告コンセプトの考え方 ・広告コンセプトと時間の概念について ・重要事項の確認”
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・広告コンセプトとタイム・マーケット ・サービスと広告 ・ブランドの基本的概念 ・ブランド拡張とブランド戦略 ・ブランド・エクイティとブランド・アイデンティティ ・口コミと広告戦略 ・商品ベネフィットと広告戦略 ・総復習と重要事項の確認 ・テストと解説”
事 前 学 修	<p>オンデマンド授業において作成したノートを確認し、プロモーション・ミックスにおける広告概念、及び、広告の基本戦略を理解しておくこと。</p> <p>テキスト第3章（57頁～81頁）、第4章（83頁～104頁）、第5章（105頁～133頁）、第6章（135頁～153頁）を熟読し、内容を理解しておくこと。</p> <p>口コミ概念と広告については、前もって資料を配布するので、事前に目を通しておくこと。”</p>	
事 後 学 修	<p>全ての授業内容をノートやテキストと共に確認・理解して、自身が調べた広告戦略の事例が適切かどうかを再確認すること。また、今回の授業内容以外（テキスト第7章～第10章）を熟読し、次のスクーリングに備えること。</p>	

地方スクーリング(10月期)開講講座一覧

講座コード	講座名	開講 単位数	担当教員名	科目コード	充当科目名	対面授業代替措置
NEA1	英語学特殊講義	2	吉良 文孝	N311S0	英語学特殊講義	ZOOM
NEA2	哲学概論	2	江川 晃	P30300	哲学概論	オンデマンド
NEA3	マーケティング	2	雨宮 史卓	S30500	マーケティング	オンデマンド
NEB1	法学(日本国憲法2単位を含む)	2	西山 智之	B11500	法学(日本国憲法2単位を含む)	オンデマンド
NEB2	イギリス文学史Ⅱ	2	野呂 有子	N30100	イギリス文学史Ⅱ	オンデマンド
NEB3	国際経済論	2	前野 高章	R31100	国際経済論	オンデマンド
NEC1	アメリカ文学史	2	高橋 利明	N30200	アメリカ文学史	ZOOM
NEC2	考古学特講Ⅰ	2	山本 孝文	Q30600	考古学特講Ⅰ	オンデマンド
NEC3	現代教職論	2	古賀 徹	T10100	現代教職論	オンデマンド

◆授業概要

英語英文学を専攻する学生が当然知っていなければならない英文法の知識・素養を身につけるために、すでに常識化していると思われるような文法事項・現象をいくつかとりあげ、学校英文法の、いわば、「洗い直し」の作業を行ない、英文法（ことば）に対して向き合うとはどういうことなのかを実感できるような授業にします。こちらからの一方的な授業（講義）にならないように、学生の皆さんが著名な著書・論文を輪読するという演習形式を一部とり入れます（実際に読む文章はだけは、夏期スクーリングの「英語学特殊講義」と共通します）。また、この輪読を通して、英語学関連の文献をしっかりと読むということはどういうことなのかを知り、そして、普段いかに英文をいい加減に読んできたのかを痛感する人も少なくないと思います。ハンドアウトを、適宜、配付します。

◆学修到達目標

具体的には、まず、「時」（Time）と「時制」（Tense）との違いを峻別します（この点だけは、夏期スクーリング（「英語学特殊講義」）でも同じことを講じます）。次に、（1）条件文における認識的 will の出没メカニズム、（2）可能性を表わす can と may、（3）before 節中の過去完了形、について講じます。これらの講義（と、一部の演習形式の授業）によって、当該領域の事項についての深い知識を身につけることができ、かつ、その当該領域について他の人に説明することが可能となります。

◆授業方法**・オンデマンド**

上記の領域に関して、（1）予備的な講義をするとともに、（2）それを理解するうえで重要なカギとなる箇所を教科書・参考書を通して指定します。また、対面授業を行なう一部演習形式の授業、つまり、（3）著名な文献の和訳作業を行なうことになる実際の（英語で書かれた）文献を「提出課題」として指定します。

・対面授業

主に2つのことを行ないます。一つは、上記（3）の「提出課題」（和訳）の答え合わせをすることによって普段の自分の「読み」の実態がどのようなものであるかを実感すること。そして、（2）この科目で掲げた内容について、オンデマンドでは理解しきれなかった事柄についての補完的な話をします。また、適宜、参考書等の紹介、卒業論文に関する事柄など、こと英語学に関するいろいろな話をします。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

対面授業に入る前のオンデマンドにおいて指示する「課題」を対面授業前に提出し（提出方法についてはオンデマンド中に別途指示する）、かつ、対面授業の最終日に実施する筆記試験を合わせ総合的に判断します。

◆教科書

市販本 『ことばを彩る1 テンス・アスペクト』 吉良文孝著 研究者 2018年

◆参考書

市販本 『英文法解説（改訂三版）』 江川泰一郎著 金子書房 1991年
（頻繁に使いますので、各自購入・持参ください。）

◆授業相談先（連絡先）

次のメール（2241037701@jcom.home.ne.jp）宛にお願いします。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・条件文と認識的 will の出没メカニズムについて。 ・「可能性」を表わす can と may について。 ・before 節における過去形と過去完了形の意味の違いについて。
事 前 学 修	4 5 分程度の授業の録画（録音）を 5 回撮り、流します。そのなかで、対面授業で行なう著名著書・論文の和訳（「提出課題」）の具体的な内容、提出方法などを指示します。
事 後 学 修	オンデマンドでの内容を十分に理解しておく。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	「提出課題」の答え合わせ（演習）と、講義内容に関する補完的な説明をします。
2 日 目	授 業 内 容	講義内容についての補完的な話をします。
事 前 学 修		オンデマンドの内容を十分に理解しておく。
事 後 学 修		講義内容の全体的な「振り返り」作業をする。

◆授業概要

私たちの生活世界は、科学・技術により支えられている。問題は、科学・技術が人類の幸福に役立つという本来の目的を忘れ、我が物顔で幅を利かしていることにある。私たちは、経済至上主義に基づく科学・技術崇拜に偏らず、科学・技術を社会的かつ個人的にコントロールする哲学力を養う必要がある。そのためには過去から現代に至る哲学的思索を追体験することが重要である。

◆学修到達目標

まず、古代ギリシャの哲学、近世哲学を把握し、現代哲学の中から、プラグマティズム、科学哲学に焦点を当て、哲学と科学の発展の深い関係を把握し、絶えず現代の科学技術に含まれる問題を考察する。この授業では、AI に依拠する現代文明に振り回されずに、創造的に生き抜く視点(哲学力)を開発することができる。

◆授業方法

・オンデマンド

すべての授業を教科書等にできるだけ沿って、パワーポイント動画で行います。8回～10回の課題を提出していただきます。その課題に対するコメントは、皆さんから提出された課題解答(匿名)を参考にさせていただきます。できるだけ双方向の授業にしたいと思います。最後に最終課題レポートを、後日、提出していただきます。

・対面授業(参考)

教科書とパワーポイントによる講義。適宜、課題、リアクションペーパーを書いていただき、討論する。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

Google Classroomにて掲載予定。

◆教科書

通材 嘉吉純夫・斉藤隆編著『西洋思想の要諦周覧』北授出版

資料配布(Classroom) パワポ動画とパワポ pdf を配信します。

◆参考書

なし

◆授業相談先(連絡先)

Classroom上にて行います。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	1 ガイダンス : 哲学とは何か (「哲学」の語源と意味) 2 ギリシアの自然哲学 3 ソクラテスとプラトン 4 アリストテレスと中世哲学 1 5 中世哲学 2 と科学革命
事 前 学 修	配信された資料と教科書の該当する箇所をよく予習しておくこと。
事 後 学 修	課題学習を提出すること。

・対面授業 (参考)

1 日 目	授 業 内 容	6 デカルトの「機械論的自然観」 7 カントの認識論 8 ヘーゲルの弁証法 9 パースのプラグマティズム 1 (探究の理論) 10 パースのプラグマティズム 2 (pragmatism の格率)
2 日 目	授 業 内 容	11 ウィトゲンシュタインの『論理哲学論考』 12 論理実証主義 (検証主義・反証主義) 13 日常言語学派 (オースティンの言語行為論) 14 ネオ・プラグマティズムと科学哲学 (クワイン) 15 レポート提出と解説
事 前 学 修		配信された資料と教科書の該当する箇所をよく予習しておくこと。
事 後 学 修		課題学習を提出すること。

◆授業概要

製品にまつわる競争優位の源泉は、時代とともに大きく変化している。それによって、マーケティング戦略の進め方も大きく変化してきた。近年、強まっていた消費者の低価格志向による価格競争は、広告費の減少やメディア戦略の見直しを迫っているのが現状である。このような状況下で、本講義はマーケティングを深く理解するための前提となる、基礎的な知識を体系的に解説する事を目的とする。実務経験から得た知識を具体例として挙げ、できるだけ平易に分かりやすく解説する。

◆学修到達目標

- 1 マーケティング戦略の機能・役割を基礎から理解できる。
- 2 消費者ニーズを探り、それを満たすための企業活動が理解できる。
- 3 市場動向の変化を捉え、情報を収集し分析ができるようになる。
- 4 プロモーション戦略やブランド戦略等の戦略策定が理解できる。

◆授業方法

・オンデマンド

授業動画は5回分あり、各回の動画の視聴時間は45分程度である。第1回目の授業を視聴する前に、オンデマンド授業の受講方法を説明した動画を必ず視聴すること。各回の動画を視聴し、ノートを作成した後、視聴確認のフォームがあるので、Google classroom上で各回の配信期間中に投稿すること。尚、テキストは事前学修に活用し、授業内容は動画を中心とする。第5回目の動画の最後にレポート課題を指示しているので、指定期間内に必ず投稿すること。

・対面授業

初日はオンデマンド授業における重要箇所を再確認する。そして、マーケティングの基本機能を具体例を用いて平易に解説する。二日目の午前は必要に応じて資料を配布しつつ企業の戦略事例を織り交ぜてマーケティング理論を解説する。午後においては授業の他にテストの解答方法を解説し、質問を受け付ける。そして、全ての授業の後に簡単なテストとその解説を実施する。

◆履修条件

前期：昼間スクーリング マーケティング論との積み重ねは不可

令和2年度 夜間スクーリング マーケティング論との積み重ねは不可

◆成績評価基準

テスト（60%）、レポート（30%）、平常点（10%） 総合的に判断します。

◆教科書

通材マーケティング S30500

資料配布 (Googleclassroom) 必要に応じて資料を配布する

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

オンデマンド授業においては Google classroom の機能を用いて応じる。

対面授業においては授業の初日に指示をする。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none">・オンデマンド授業の進め方、及び留意点・マーケティングの基本事項について・マーケティング・ミックスとマーチャンダイジング・様々なマーケティング・ミックスの考え方・市場について・ニーズ、ウォンツ、ディマンドについて
事 前 学 修	<p>オンデマンド授業においては、製品をより多く、より効率的に販売するためには、市場をどう捉えるか（市場戦略）、価格をどう設定するか（価格戦略）、プロモーションをどうするか（販促戦略）、といったマーケティング・ミックスの基本概念について解説する。また、日本市場におけるマーケティング活動が時代の変化に伴い、どのように変遷してきたかについても考察する。</p> <p>そのため、テキスト 9 頁～32 頁を熟読し、前もってノートに要点をまとめておくこと。また、その頁内にある図表は書き写し、動画でも説明に対応できるよう準備をしておくこと。</p>
事 後 学 修	<p>5本の授業動画の内容をノートに整理し、テキストの該当部分を読んで、マーケティング・ミックスの種類や基本的戦略内容を確認し理解しておくこと。さらに、自分自身が関心のある商品を数点想定した上で、適切なマーチャンダイジングを検討できるようになっていること。また、提出したレポート内容もノートにまとめておくこと。</p>

・ 対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 対面授業の進め方 ・ オンデマンド授業内容の確認と復習 ・ 製品とサービスの違い 製品戦略①（製品ライフサイクル 計画的陳腐化） ・ 製品戦略②（ブランド概念） ・ 価格戦略①（価格とは？ 価格設定の考え方 価格と消費者心理） ・ 価格戦略②（心理的な価格付け 価格感度測定法 価格と消費スタイル） ・ 流通戦略①（流通の意義と基本的事項 流通間競争 小売りの輪 真空地帯の仮説） ・ 流通戦略②（ABC分析 卸売業の特徴と役割 競争戦略の四類型）
2 日 目	授 業 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ マーケティング・ミックスとプロモーション・ミックス PULL 戦略と PUSH 戦略 ・ プロモーションの種類①（広告の定義 広告の基本的過程 人的販売） ・ プロモーションの種類②（パブリック・リレーションズ セールス・プロモーション） ・ マーケット・セグメンテーション ・ STP マーケティング ・ 消費者行動分析？ ・ ソーシャルマーケティング ・ 授業の総復習？ ・ テストと解説
事 前 学 修	<p>オンデマンド授業において作成したノートを確認し、マーケティング・ミックスの基本概念を理解しておくこと。対面授業では、事例とともに具体的なマーケティング戦略の理論を解説する。とりわけ、近年ではマーケティング戦略の中でブランド戦略という新たな領域が築かれている。したがって、テキストの該当箇所を読み、ノートを作成して基礎的な知識を身に付けておくこと。</p>	
事 後 学 修	<p>全ての授業内容をノートやテキストと共に確認・理解して、自身が調べたマーケティング戦略の事例が理論的に適切かどうかを再確認すること。また、次のスクーリング受講の準備を心掛けること。現代は製品の本質的な機能だけで、企業が競争優位を勝ち取る事は不可能である。様々な製品・サービスにおいて象徴的な要素が重要視されているのが現状である。そのため、生活全体や文化といった広い視点でのマーケティング戦略の理解を目指し、消費者を生活者として考察する事の重要性を認識しながらの学修を心掛けてほしい。</p>	

◆授業概要

法は私たちの生活のあらゆる場面に関わりを持っており、我々は法と無関係に生きていくことはできない。本講座は、法を理解するための前提知識である基礎法学の内容と、日本国憲法の基本的知識および解釈について判例・通説を基に講義を行う。受講する皆さんは、社会における法の果たす役割を理解するとともに、法的思考能力を身につけてもらいたい。

◆学修到達目標

①社会における法の役割、法と生活の関わりなど、社会生活を送る上で身につけておくべき法の基本的知識を習得し、自らの言葉で説明することができる。②日本国憲法に関する基本的事項、主要な学説、判例について十分に理解し、説明することができる。③法を学ぶことを通じて、法的思考を様々な問題に応用できるようになる。

◆授業方法**・オンデマンド**

オンデマンドの期間は、毎回授業動画（30～60分ほど）をClassroomに置くので順番にご視聴願いたい。課題を出すのでClassroomを通じて必ず提出をすること。授業動画を視聴し質問等があった場合には、Classroomの限定コメントかメールで問い合わせをしてほしい。課題に対するフィードバックはClassroomを通じて行う。

・対面授業

本講座の基礎知識についてはオンデマンド方式の授業動画で解説を行うため、必ず視聴を完了した上で対面授業に臨んでほしい。対面授業では、受講生に意見を求めたり、法に関する事項についてのディスカッションを行う等、アクティブ・ラーニングを実施する予定である（新型コロナウイルスの感染状況によって変更となる場合がある）。

◆履修条件

特になし。

◆成績評価基準

①オンデマンド授業で出される課題は評価対象とするため全て提出すること（全体の40%）。②対面授業における発言やディスカッション等での積極性は、授業への参加・貢献として評価対象とする（全体の30%）。③対面授業の最終時限に提出してもらったレポートも評価対象とする（全体の30%）。

◆教科書

市販本 『法学と憲法の教科書』 天野聖悦 八千代出版 2014年(2020年4刷)

資料配布 (Classroom) 授業で使用するレジメやPowerPointのハンドアウトをPDF化したものをClassroomを通じて配布する。

◆参考書

市販本 『法学入門 新版』 田中成明 有斐閣 2016年

市販本 『憲法学読本 第3版』 安西文雄＝巻美矢紀＝宍戸常寿 有斐閣 2018年

◆授業相談先(連絡先)

西山智之のメール (nishiyama.tomoyuki@nihon-u.ac.jp) までご連絡ください。

◆授業計画

・オンデマンド

<p>授 業 内 容</p>	<p>動画1：ガイダンスとして、授業の進め方、成績評価方法等について詳細に説明を行う。また「法」とは何か、「憲法」とは何かについて解説を行う。社会において、法がなぜ必要なのかについて身近な事例を用いて解説し、法の存在理由について理解を深めてもらう。</p> <p>動画2：法の存在形式、法の分類について解説を行う。「法」と呼ばれるものには、「法律」以外にも「条約」「命令」「条例」「慣習法」「判例法」等様々なものが存在する。そうした法の存在形式の説明の他、自然法と実定法、実体法と手続法等の法の分類についても説明を行う。</p> <p>動画3：法と裁判、判例の読み方について解説を行う。我が国の裁判の種類や裁判所の構成、裁判の原則、法曹三者、裁判員制度等について説明を行う。また判例とは何か、判例の構造について説明を行う。</p> <p>動画4：条文の読み方、法の解釈と適用について解説を行う。具体的な条文を使用し、条文の基本的な読み方、そして法令用語としての「並びに」と「及び」、「又は」と「若しくは」等の使い方について説明を行う。</p> <p>動画5：日本国憲法の構成や基本的人権・統治機構等について、基本的事項を解説する。日本国憲法にはどういったことが書かれているのか、日本国憲法はどのように我々の権利を守ってくれるのかについて説明を行う。</p> <p>授業動画はオンデマンドの期間中1日1動画をClassroomにおくので、順番にご視聴願いたい。</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>事前学修は、授業動画それぞれの内容に対応し実施してもらいたい。</p> <p>動画1：法に関するものならば何でも良いので、自らの関心のある法に関係したテーマを見つけて学習意欲を高め、ノートに記述してくる。動画2：普段生活する上で自分たちの周りにはどのような法が存在するのかを確認してノートに列記してくる。動画3：日本の裁判所はどのような種類の裁判所があるのかを、インターネット等で調べノートに列記してくる。動画4：六法又はインターネットで興味のある法律を探し、条文を全て読んでくる。動画5：日本国憲法の条文全てを声に出して読んでくる。この他、指定教科書の該当箇所を読み、理解を深めておくことで授業内容の理解が早いと思われる。</p>

事後学修	<p>授業動画の中で課題を示すので、指示に従い課題に取り組み Classroom に遅れずに提出してほしい。授業動画では、法学及び憲法に関する基本的事項について解説を行うので、授業動画ごとに 500 文字程度でノートにまとめ記述しておき記憶を定着させること。特に、条文の読み方・判例の読み方等で説明を行う法令用語については、その後の法律学の学習において重要であるため、ノートに後で見直せるようにまとめ、記述しておくことが望ましい。</p>
------	---

・対面授業（参考）

1 日 目	授業内容	<p>日本国憲法の、天皇制、戦争放棄、幸福追求権、法の下での平等、思想・良心の自由、信教の自由、表現の自由、学問の自由、職業選択の自由、居住・移転の自由、財産権、生存権、教育を受ける権利、労働基本権、奴隷的拘束および意に反する苦役からの自由、適正手続きの保障、被疑者の権利、被告人の権利、国会、内閣、裁判所、地方自治について解説を行う。対面授業の利点を最大限に活かすため、日本国憲法で議論がある点については、受講生に意見を求めるので積極的に意見を述べてほしい。（新型コロナウイルスの感染状況によって変更する場合がありますためご承知おき願いたい。）</p>
2 日 目	授業内容	<p>社会と秩序と法、法と道徳、法と正義について解説を行い、受講生一人一人に「法」の存在理由や「法」はどうあるべきかということについて考えてもらう。また後半は法学に関する社会問題を取り上げ、グループでディスカッションを行ってもらい簡単な発表を行ってもらう。議論してもらうテーマについては当日に発表する。グループとして簡単に結論をまとめたものをレポート課題として当日に提出してもらい成績評価の対象とする。（新型コロナウイルスの感染状況によって変更する場合がありますためご承知おき願いたい。）</p>
事前学修	<p>事前学修は、対面1日目の前までに行うことを想定している。オンデマンド授業の授業動画を確実に消化し、オンデマンド授業の事後学習でまとめたノートを見直し、法学・憲法の基本的事項を確認した上で対面授業に挑んでほしい。また指定教科書の該当箇所を読み、理解を深めておくこと対面授業での理解が早いと思われる。</p>	
事後学修	<p>事後学修は、対面2日目を終えた後に行うことを想定している。ただし、対面授業1日目終了時にも1日目のノートを見直しておいてほしい。2日目終了時の事後学習は、対面授業で解説した内容や考えたことをノートにまとめ1000文字程度で記述しておいてほしい。かなり時間的にタイトなものになると想定されるが、自己研鑽のためオンデマンド授業の5日間と対面授業の2日間を全力で駆け抜けてほしい。授業期間で理解できなかった事項への質問は、授業期間終了後も受け付けるので、担当教員のメールに積極的に送ってほしい。</p>	

◆授業概要

指定テキストおよび配付資料を基にしながら、教師が個々の作家と作品について、伝統と作家個人の獨創性について説明する。特に個々の作家および作品の特徴的な部分を具体的に提示し、それを音読・吟味しながら理解を深める。単なる作家と作品リストの羅列としてではなく、生きた作家、と、生きた時代から〈生命〉を与えられて誕生した作品として捉え、その生命的躍動の流れを追うことを主眼とする。

◆学修到達目標

1. 18世紀前半から現代に至る大きな流れの中で、伝統と作家個人の獨自性および文学作品の獨自性という観点から、個々の作家と作品について鑑賞し、理解することによって、英文学Ⅱの全体像を把握し、英文学を学ぶ意義を理解し、それについて説明できる。2. 受講学生自身が興味を持つ作家や作品が英文学史全体の中でどのような位置にあるかを理解し、それについて説明できる。3. 国際共通語としての英語の母胎についての知見を深め、取得した知識と技能を運用して、中学校・高等学校における英語の授業で教鞭を取る際に、学習者が正確な発音、リズム、抑揚を身につけるように配慮しながら指導するとともに、文学の楽しさ、英語の語法に親しませる技能が取得できる。

◆授業方法

テキストに沿いながら広く英文学の歴史の基本的知識を解説する。それと並行する形で、必要に応じて資料を配付して、個々の英文学作品の具体的な内容を一層深めるような授業構成となっている。

毎授業ごとに、授業動画の内容を踏まえた記述式の課題の提出が要求される。昼間勤務して、夜にビデオを視聴するという学習態勢では到底単位は取得し得ないものと受講者が心得ておくことが要求される

実際の地方スクーリングでは朝から晩まで授業があり、帰宅後はノート整理や授業準備に追われることになるが、それと同内容の授業が行われると考えること。

つまり、本授業のスクーリング中は朝から晩まで、ビデオ視聴、課題作成と提出、さらに授業終了後に提出を要求される手書きノートの書き込みと整理にほぼ全ての時間が必要とされることになる。

さらに、手書きノートの合格水準は市販の B5 版 35 行のノートにびっちり書いて、合計 50 枚以上となることを予め心得ておくこと。

◆履修条件

2020 年度東京スクーリングの野呂担当「イギリス文学史Ⅱ」との積み重ねは不可。

◆成績評価基準

授業参加意識の高さ（10%）、毎回の授業で行う記述式課題（40%）、受講学生自身による手書きノート（50%：コピー類は一切不可）の三点を基にして総合的に評価する。ノートは15回の授業が終了した直後に各自、通信教育部まで郵送することを義務づける。なお、手書きノートの合格水準は市販の B5 版 35 行のノートにびっちり書いて、合計 50 枚以上となることを予め心得ておくこと。

◆教科書

市販本 『イギリス文学の歴史』 芹沢栄著 開拓社 2600（税別）

資料配布 (googleclassroom) Classroom を通して適宜配信する配付資料

フリーウェブサイト 「野呂有子の研究ウェブサイト」

◆参考書

フリーウェブサイト 「野呂有子の研究ウェブサイト」にあらかじめ目を通して、論文の項目を外観し、そのうちの幾つかを読んでおくこと。

配付資料をかなり早めにあらかじめ各回ごとの分をクラスルームにアップロードしておくので、前もってなるべく早くノートに書き写しておくこと。授業で新たに書き足すべき内容が必ず有るので、ノートはルーズリーフにすると、整理が楽になると想定される。

◆授業相談先（連絡先）

E-mail : yuko.kanakubo.noro@gmail.com

◎教科書は受講前に購入し、授業範囲を読んでおくこと。上記シラバスに従って手書きノートをあらかじめ作成しておくこと、余裕を持って受講し、ノートの郵送提出を行うことが可能となる。

☆授業開始後に教科書を購入したり、教科書なしで授業に臨んだ受講生は残念ながら、結局、課題を提出することも、手書きノートを作成することもできず、単位が取得できなかったのだからくれぐれも注意してください。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>1 授業の進め方、オリエンテーション、英文学と英文学史の意義を説明し、その背景を解説する。導入を行う。たとえば、2017年にノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロの作品群に特徴的な諸要素を抽出し、その源泉を探る。そして、『ベオウルフ』、「アーサー王物語」、『妖精の女王』、『楽園の喪失』、『天路歷程』などに端を発する流れが18世紀後半からどのような作品群を経て現代まで繋がっているのかを考察する。</p> <p>2 授業配付資料や「ゴシック・ロマンス」(1)(2)(3)(教科書113頁)、第7章ロマン主義復興の時代(前半:122-138頁)を一緒に読みながら、メアリー・シェリー作『フランケンシュタイン』やロマン派の詩人たちの作品群について考察し、理解を深める。</p> <p>3 授業配付資料や第7章ロマン主義復興の時代(後半:139-145頁)を一緒に読みながら、サー・ウォルター・スコットの作品、ジェイン・オースティンの作品などについて考察し、理解を深める。</p> <p>4 第8章ヴィクトリア朝時代(1837-1901)について、授業配付資料や教科書146-158頁を一緒に読みながら、アルフレッド・テニスン、ロバート・ブラウニング、マシュー・アーノルド、「ラファエル前派」等について考察し、理解を深める。</p> <p>5 授業配付資料や教科書158-170頁を一緒に読みながら、メレディス、ハーディ、ホプキンズ、トマス・カーライル、ジョン・ラスキン、マシュー・アーノルド、チャールズ・ディケンズ、ウィリアム・サッカレー等について考察し、理解を深める。</p> <p>6 授業配付資料や教科書170-176頁を一緒に読みながら、ジョージ・エリオット、ブロンテ姉妹、エリザベス・ギヤスケル、アンソニー・トロロプ、エドワード・リットン、ウィルキー・コリンズ等について考察し、理解を深める。</p> <p>7 授業配付資料や教科書176-184頁を一緒に読みながら、ジョージ・メレディス、トマス・ハーディ、サミュエル・バトラー、ジョージ・ギッシング、ラドヤード・キプリング、オスカー・ワイルド等について考察し、理解を深める。</p> <p>8 授業配付資料や教科書184-191頁を一緒に読みながら、ロバート・ルイス・ステューブンスン、コナン・ドイル、ヘンリー・ジェイムズ、ジョーゼフ・コンラッド、オスカー・ワイルド等について考察し、理解を深める。</p> <p>9 授業配付資料や教科書192頁、第9章20世紀から203頁を一緒に読みながら、ウィリアム・バトラー・イエイツ、T. S. エリオット、W. H. オーデン、ディラン・トマス等について考察し、理解を深める。</p>
---------	---

授 業 内 容	<p>10 授業配付資料や教科書 203-208 頁を一緒に読みながら、H. G. ウェルズ、アーノルド・ベネット、ジョン・ゴールズワージー、サマセット・モーム、E. M. フォスター等について考察し、理解を深める。</p> <p>11 授業配付資料や教科書 209-217 頁を一緒に読みながら、ヴァージニア・ウルフ、ジェームス・ジョイス、D. H. ロレンス等について考察し、理解を深める。</p> <p>12 授業配付資料や教科書 217-222 頁を一緒に読みながら、オールダス・ハクスレー、キャサリン・マンスフィールド、ジョージ・オーウェル、グレアム・グリーン、イーヴリン・ウォー、ゴールドディング等について考察し、理解を深める。</p> <p>13 授業配付資料や教科書 222 - 232 頁を一緒に読みながら、ジョージ・バーナード・ショー、クリストファー・フライ、エリオット、オズボーン、サミュエル・ベケット等の劇、および批評と批評家について考察し、理解を深める。</p> <p>14 英国が世界に誇る、女性作家および児童文学作品そしてカズオ・イシグロ作品等について、考察し、理解を深める。</p> <p>15 英国が世界に誇る、女性作家および児童文学作品そしてカズオ・イシグロ作品等について、考察し、理解を深める。</p>
事 前 学 修	<p>授業配付資料や各单元ごとに指定されている教科書の該当箇所を読み、この範囲で必要と判断される箇所を、すべて「手書き」でノートに転記しておくこと。英語語彙を辞書で調べて書き出しておくこと。</p>
事 後 学 修	<p>各自、授業内容を再確認し、手書ノートに授業で新たに学んだ内容を書き加えて整理しておくこと。次回授業の教科書該当部分を読んで、授業内容を確認し、理解しておくこと。</p>

◆授業概要

経済のグローバル化は、第2次大戦後の世界経済の回復、GATT/WTOによる貿易自由化、OECD諸国の経済成長、冷戦の終結による東西貿易の拡大、途上国、新興国、移行経済圏の経済発展、WTO加盟後の中国の驚異的な経済成長などの世界経済の変化とともに深化してきた。本講義ではグローバル化の進展を踏まえ、戦後の世界経済発展の歴史、国際分業の基礎理論や貿易政策に関する基礎理論を学び、一国経済の発展だけではなく地域経済の発展について学修する。

◆学修到達目標

グローバル化の歴史的変遷や、国際貿易理論の展開を理解し、国際分業体制がどのように変化・進展してきた、それがどのような恩恵を経済にもたらしたのかという点を学修することを通じて、現在のグローバル経済の特徴や課題を考察することができるようになることを目的とする。

◆授業方法

・オンデマンド

オンデマンド授業で講義を行う。講義動画と講義資料は掲載期間内に順に学修すること。一度の視聴では分からなかった内容については、テキストや参考書などからも学修し、繰り返し学修をすること。それでも不明な点については随時質問を受け付ける。数回の授業時課題は講義動画あるいは講義資料にて課すこととする。

◆履修条件

経済学概論、経済原論、経済学などでミクロ経済学の基礎理論を学修してから履修する方が望ましい。また、令和3年度昼間スクーリング（前期）『国際経済論』との積み重ね不可。

◆成績評価基準

試験（60%）、授業時課題（30%）、平常点（10%）から評価する。毎回出席することを前提として成績をつける。

◆教科書

資料配布（Googleclassroom）各回で必要な講義資料を配布する。

◆参考書

通材 『国際経済論 R31100』 通信教育教材（教材コード 000281）

市販本 『基礎から学ぶ国際経済と地域経済』 若杉隆平編著 文眞堂 2020年

市販本 『国際経済学をつかむ 第2版』 石川・椋・菊地 有斐閣 2013年

市販本 『国際経済学入門（第2版）日経文庫』 浦田秀次郎 日本経済新聞出版社 2009年

◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>オンデマンドでの学修項目は以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済学とはどのような学問であるのかを確認する。 ・近年の国際貿易の拡大要因について確認する。 ・世界経済の生成について確認する。 ・戦後の世界経済の成長パターンからどのような特徴があるかを確認する。 ・貿易の利益とはどのように考えることができるのかを確認する。
事 前 学 修	<p>事前学修では以下の項目を整理しておくこと。「国際経済論ではどのようなことを学修するのか」、「世界経済という言葉からどのようなことを想定するかを自分なりにまとめてみる」、「戦前と戦後で世界経済はどのような違いをもつのかを考えてみる」、「グローバル化とはどのようなことを言うのかを自分なりに考えてみる」について確認をする。</p>
事 後 学 修	<p>経済学における国際経済論の位置づけを把握し、戦後の世界経済の発展の特徴を整理し、国際貿易の利益を経済学的にどのようにあらわすことができるのかを確実におさえる。</p>

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	<p>講義全体を通じて国際貿易理論の展開について学修をする。絶対優位や比較優位の伝統的貿易理論、H-Oモデルなどの新古典派の貿易理論の特徴を理解することから、戦後の近代貿易理論の特徴について整理する。特に、なぜ近代貿易理論が登場することになったのかを整理すること。</p>
2 日 目	授 業 内 容	<p>自由貿易を前提としていた一昔前の国際貿易理論と異なり、関税などの貿易政策や企業の海外直接投資は現代の国際貿易理論において重要な部分となる。ここでは新貿易理論と新々貿易理論から考える貿易の利益とはどのようなものかを理解し、近年の国際分業の特徴について学修をする。</p>
事 前 学 修		<p>オンデマンド講義の内容を確実に理解し、戦後の世界経済における国際貿易の役割について整理し、また近年のグローバル経済ではどのような課題が存在しているのかについてまとめてみること。</p>
事 後 学 修		<p>講義の内容をふまえ、世界経済の発展と国際貿易の関連性について考え、世界経済の動きとともに国際貿易理論がどのように展開されてきたのかを整理すること。</p>

◆授業概要

テーマは、「アメリカ文学と民主主義」とする。

アメリカ文学の歴史を概観するように編まれたアンソロジー形式のテキストを精読しながら、アメリカ文学の流れの全体像と時代ごとの文化的背景を理解し、さらにはアメリカに根付く民主主義の意味を吟味する。

◆学修到達目標

アメリカ文学の歴史をアンソロジー形式のテキストを用いて概観する。アメリカ先住民の詩からヒットマンまで、それぞれの作家の代表作の要所を精読しつつ、アメリカ文学の流れの全体像を把握できるようになることを目標とする。

◆授業方法

・オンデマンド

アメリカ文学史総論として、最初の3回分はプリントを利用してオンデマンドで行い、残り2回のオンデマンドをテキストの読解に当てる。テキストの読解では、1. Native American Literature 2. Captain John Smith 3. William Bradford を読みます。

・ZOOM授業

講義科目ではあるが、テキストを精読した結果を受講生に発表してもらうことがメインとなる。各作家・作品についての補足説明や時代背景の説明を適宜加えていきたい。このスクーリングでは、テキストの40名の作家の内、5. Edwards 7. Brown 12. Emerson 13. Thoreau 14. Hawthorne 15. Melville 16. Whitman を読む予定である。なお、授業進度は予定である。また、受講者の理解を深めるため、適宜関連ビデオを鑑賞する。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

授業参画度 (50%)、課題 (50%)

◆教科書

アメリカ文学概観 (An Outline of American Literature) 井上謙治編著 (南雲堂)

◆参考書

なし

◆授業相談先 (連絡先)

Classroom 上でお知らせします。

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	<p>動画1の内容：キリスト教の歴史、宗教改革、ピューリタニズム (清教主義)、初期アメリカ植民地史について。その後、配布プリントに沿って解説を展開する (1322 頁下段第 2 パラグラフ [アメリカ文学] から 1323 頁上段第 1 パラグラフまで)。<植民地文学まで></p>
---------	--

2 日 目	授 業 内 容	<p>次の3章分の原文読解と解説を展開する。全員でテキストの音読を行い、何人かの受講生には代表して音読の上、和訳を発表してもらう。</p> <p>第14章 Nathaniel Hawthorne, <i>The Scarlet Letter</i> (1850)</p> <p>第15章 Herman Melville, <i>Moby-Dick</i> (1851)</p> <p>第16章 Walt Whitman, <i>Leaves of Grass</i> (1855)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホーソンとメルヴィルに関するビデオを鑑賞する予定です。
事	前 学 修	<p>*事前学修は、1日目の前までに行うことを想定している。・テキストの7章分の原文読解について、事前にしっかりと予習しておくこと。また、音読も大事なので十分に読み込むこと。</p>
事	後 学 修	<p>事後学修は、2日目を終えた後に行うことを想定している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1日目終了後の事後学修は負担が大きいと考えられるので、ノートの振り返りなどに留めてよい。 ・授業で取り上げた作家・作品について、音読を繰り返しつつ、原文の意味の確認を行うこと。また、興味を持った作家・作品については、今後、原文全体を読む努力をしてほしい。

◆授業概要

韓国では近年の開発に伴う発掘調査の増大により、膨大な量の資料が蓄積されつつあるが、日本に入る情報量は決して多くない。本講義では、日本列島に最も近い位置にあり、各時代を通じて列島の諸集団・諸地域と深いつながりを持っていた朝鮮半島（韓半島）の考古学的調査および研究の成果を最新の情報を交えて概説的内容を講義し、加えて研究の現状や議論の対象となっている部分を紹介する。特に日本列島と深く関わる部分に関しては詳細なテーマを設定する。

◆学修到達目標

近年の資料によって新たに構築された朝鮮半島の各時代像を遺跡・遺構・遺物によって把握し、その考古資料に対する知識を得ることで、朝鮮半島考古学研究の枠組みと内容、日本列島と朝鮮半島の新しい交渉史を説明することができる。

特に九州地域の遺跡の情報を知り、その来歴に関連して朝鮮半島とのつながりを説明することができる。

◆授業方法

・オンデマンド

後日掲載します。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

授業内リアクションペーパーおよび簡易課題 40%、定期試験 50%、その他の受講姿勢 10%

◆教科書

なし

◆参考書

市販本 『概説韓国考古学』 韓国考古学会編、庄田慎矢・山本孝文訳 同成社 2013年

市販本 『古代韓半島と倭国』 山本孝文 中央公論新社 2018年

◆授業相談先（連絡先）

質問等は Google Classroom で随時受け付ける

◆授業計画

・オンデマンド

<p>授 業 内 容</p>	<p>ガイダンス 日本と韓国の考古学、日韓の地理と環境 授業の前提として日本と韓国の考古学研究の特質、日本と朝鮮半島の地理条件の違いなどを説明する。 考古学からみた朝鮮半島史の時代区分 考古資料をもとにした朝鮮半島の歴史的時期区分について解説し、日本史の時代区分との並行関係を確認する。” 考古学における年代のものさしー日韓の土器文化 日本と朝鮮半島の土器の展開を説明し、時代区分との関わりを把握する。 旧石器時代・縄文時代の朝鮮半島と九州 先史時代の朝鮮半島と日本列島の概要を解説し、九州と朝鮮半島の交渉関係を物語る遺物を紹介する。</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>それぞれの回に共通して以下の事前学習を各自で行っておくこと。 ・日本史の教科書の原始・古代部分を読み返しておく。 ・韓国考古学に関連する啓蒙書・概説書にどのようなものがあるかを調べ、本講義に関連する部分を読んでみる。 ・身近にある遺跡について本や市町村のホームページなどを通じて調べておく。</p>
<p>事 後 学 修</p>	<p>それぞれの回に共通して以下の事後学習を各自で行うこと。 ・授業の内容をノートに整理し、読み直して理解できるようにする。 ・韓国考古学関係の概説書のうち、授業で扱った部分を読んで復習する。 ・近隣の博物館・資料館などを訪れ、旧石器・縄文時代の日韓交渉を示す遺物を探して観察する。 ・設定された課題の調査・まとめを行う。(第5回)</p>

・ 対面授業（参考）

<p>1</p> <p>日 授 業 内 容</p> <p>目</p>		<p>・ 弥生時代と青銅器・初期鉄器・原三国時代</p> <p>古代日韓交渉の本格的な始まりともいえる日本列島の弥生時代と朝鮮半島の青銅器時代・初期鉄器時代・原三国時代の状況について、主に以下のテーマに関する講義を行う。</p> <p>①稲作の伝播と大陸系磨製石器</p> <p>②支石墓・甕棺墓・周溝墓</p> <p>③歴史に登場する韓と倭</p> <p>・ 古墳時代と三国時代</p> <p>日本と朝鮮半島の国家間交渉が活発になる日本列島の古墳時代と朝鮮半島の三国時代の状況について、主に以下のテーマに関する講義を行う。</p> <p>①日韓の古代国家形成の指標</p> <p>②高句麗の壁画古墳と九州の装飾古墳”</p>
<p>2</p> <p>日 授 業 内 容</p> <p>目</p>		<p>・ 古墳時代と三国時代（続き）</p> <p>日本と朝鮮半島の国家間交渉が活発になる日本列島の古墳時代と朝鮮半島の三国時代の状況について、主に以下のテーマに関する講義を行う。なかでも日本における渡来文化・渡来系文物と朝鮮半島の倭系文物に関しては詳細に資料を紹介する。</p> <p>③百済の考古学</p> <p>④百済の墓制と九州の横穴系埋葬施設</p> <p>⑤栄山江流域と日韓の前方後円墳</p> <p>⑥新羅の考古学</p> <p>⑦加耶の考古学—</p> <p>⑧陶質土器と馬の文化</p>
<p>事 前 学 修</p>	<p>それぞれの回に共通して以下の事前学習を各自で行っておくこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国考古学に関連する啓蒙書・概説書の本講義に関連する部分を読んでおく。 ・ 日韓交渉の考古学、渡来文化に関連する書籍を探し、 ・ 身近にある遺跡について本や市町村のホームページなどを通じて調べておく。 	
<p>事 後 学 修</p>	<p>それぞれの回に共通して以下の事後学習を各自で行うこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の内容をノートに整理し、読み直して理解できるようにする。 ・ 韓国考古学関係の概説書のうち、授業で扱った部分を読んで復習する。 ・ 近隣の博物館・資料館などを訪れ、旧石器・縄文時代の日韓交渉を示す遺物を探して観察する。 ・ 設定されたリアクションペーパーをまとめる。 	

◆授業概要

「理想とする教師像」とはどのようなものか。本授業では、教職の意義、教員の資質、および教員の役割、教員の職務内容等に関する理解を深めることをねらいとしている。特に現代の教育の現実的問題に焦点をあてて考えていくことにより、受講者が教職への意識を高めていくようにしていきたい。

◆学修到達目標

次の事項について理解を深め、教員としての意識を高めることができる。さらに教育者としての責務を認識し、ふさわしい行動をとることができるようになる。①教職の意義とは何か。②教員に必要とされる資質・能力とは何か。③学校教育という独特の社会における意義や教員の同僚性について。④教員の職務や身分上の問題について。⑤生徒の成長・発達差の理解。【以上を、歴史的、国際的、および現代の課題という点から作成した教材により考え、理解を深める】学修者は、以上の学びにより教員に必要とされる資質・技能が何であるかを考え深め、それを自身の課題としてとらえ、他者に説明することができるようになる。

◆授業方法**・オンデマンド**

オンデマンド教材を視聴し、Google classroom上の設題に取り組む。とくに対面授業のための「反転授業」としての役割を意識して、教材を作成する。

・対面授業（参考）

講義形式を中心とするが、アクティブ・ラーニング型の授業方式もとり入れるかについては検討する。アクティブ・ラーニング形式は、通常であれば個人の活動からペア学習、3人組み、4人組みと、授業回数毎に複雑さを増すようにし、取り扱う課題についても具体的で簡易なものから複雑で抽象的なものへと組み替えていく。今年度はそれがどの程度できるのかが課題となる。できる環境や条件を大学が整えることができない際はご容赦いただきたい。とにかく「教員集団としての考え方」という最終目標に近づいていけるように講義全体をデザインしていく。活動・学習ごとにワークシート（ミニレポート）を書くこととそのフィードバック（次の回）により、さらに学習効果があがるよう試みる。事後学修では説明文を中心に人前で話すための文章作成に取り組んでもらう。その説明文をもとに最終回で仮想集団面接のような発信の機会をつくる。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

この授業の評価は、授業への参加（グループ学習含む）、提出物・課題、試験成績の総合的評価とする。出席状況の悪いもの、課題未提出の場合は評価を行なわない。

◆教科書

なし

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う

◆授業計画

・オンデマンド

授 業 内 容	①講義の全体の流れについて解説 ②答申等で求められる「理想の教師像」 ③最近の子ども事情（非行・刑法犯） ④最近の子ども事情（いじめ問題） ⑤最近の子ども事情（不登校）
事 前 学 修	オンデマンド教材では①②で「教員の資質・能力として何が求められているのか」について学ぶ。資料や考えていただく設題を用意するので、その問いについて考え、調査等を行っていただきたい。③④⑤も社会学的データに関心をもつための授業なので、関連する事項やデータを調べ、自分なりに「問題点の把握」を行っていただきたい。
事 後 学 修	教材の①②の間に関連のある事項を調べ、自分で整理する。また①と③④⑤の間に関連する問い（残された課題）について考え深め、自分の「教員」としての判断基準（核）をつくることができるようにする。その学修時間として使っていただきたい。

・対面授業（参考）

1 日 目	授 業 内 容	対面授業の展開について説明。①教育における「他者理解能力」とは何か。②教員生活と研修の記録。③「チーム学校」を考える。④チーム学校に関する答申。⑤現代の子ども事情について資料から考える。
2 日 目	授 業 内 容	「教員養成の仕組み」を理解する。①教師観・教員養成の歴史の変遷。②諸外国における教員養成の仕組み。③法令上に記された教員養成の仕組み。④学校現場で求められる教員。⑤教員に必要な資質・技能とは何か。
事 前 学 修		1日目はオンデマンド教材で学修したことをまとめて臨む。初日については、教員と生徒間での「相互理解」や自身がこれまで「わかる授業だった」と感じた授業についてメモを用意しておく。またオンデマンドで「最近の子ども事情」を説明しているが、その延長上に位置するデータを読み解く活動を行うので、データの読み取り方を理解しておくこと。2日目の内容については、日本の教育史に関するテキスト・文献を読み、近代以降の変遷について概略を理解しておく。この授業のテーマとなる「理想的な教師像」について、自分の考えをまとめておくこと。それを表現する活動を行う予定である。
事 後 学 修		1日目の対面授業で「個人としての教員の取り組み」と「教員集団の取り組み」について学ぶ。教員の「成長」（向上）ということも取り上げている。実践に取り組む教師の努力について考えていただいた。それを「自身の教師像」（自分がどういう取り組みをしていくか）レベルで考え続けること。2日目には「教員とは何か」「教員に求められるものは何か」を考えていただくために、歴史、諸外国、法令を題材として選んだ。教育実習現場に関するアンケート結果も教材にしている。そこからできるだけ具体的な教員増と自分の努力目標を設定していく活動へつなげていただきたい。

夜間スクーリング(秋期)開講講座一覧

曜日	講座コード	講座名	担当教員	開講 単位数	充当科目コード	科目名	併用	3週目以降の 開講方法	配当学年	備考
月	B2A1	地方自治論	賀来 健輔	2	L30800	地方自治論		オンデマンド	2年	
	B2A2	国文法	鈴木 浩	2	M30300	国文法		ZOOM	2年	
	B2A3	国際金融論	谷川 孝美	2	S31200	国際金融論		ZOOM	2年	
	B2A4	英語科教育法 I	佐藤 恵一	2	T20900	英語科教育法 I	×	オンデマンド	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。
				2	T23800	英語科教育法 I			2年	
B2A5	法学	蓮田 哲也	2	B11500	法学		オンデマンド	1年		
火	B2B1	哲学	小山 英一	2	B10700	哲学		ZOOM	1年	
	B2B2	刑法II	上野 幸彦	2	K30800	刑法II		オンデマンド	2年	
	B2B3	英語学概説	田中 竹史	2	N30700	英語学概説		ZOOM	2年	
	B2B4	宗教学概論	富田 真浩	2	P30400	宗教学概論		オンデマンド	2年	
	B2B5	哲学演習 I・II	金子 佳司	1	P401S0	哲学演習 I	×	オンデマンド	3年	・哲学専攻のみ申込可。 ・I、IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				1	P402S0	哲学演習 II				
	B2B6	中小企業論	階戸 照雄	2	S32700	中小企業論		オンデマンド	2年	
B2B7	発達と学習	野村 康治	2	T10500	発達と学習	×	オンデマンド	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	
			2	T23100	発達と学習			2年		
水	B2C1	英語 A	石川 勝	1	C10100	英語 I		オンデマンド	1年	・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				1	C10200	英語 II			2年	
				1	C10300	英語 III				
				1	C10400	英語 IV				
	B2C2	国文学講義IV(近世)	高橋 啓之	2	M30800	国文学講義IV(近世)		オンデマンド	2年	
B2C3	西洋古典	上滝 圭介	2	N308S0	西洋古典	×	ZOOM	2年		
B2C4	考古学演習 I・II	小泉 龍人	1	Q407S0	考古学演習 I	×	ZOOM	3年	・史学専攻のみ申込可。 ・I、IIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。	
			1	Q408S0	考古学演習 II					
木	B2D1	民法II	根本 晋一	2	K30100	民法II		オンデマンド	2年	
	B2D2	商法I	松嶋 隆弘	2	K30500	商法I		オンデマンド	2年	
	B2D3	文章表現法	鈴木 雅裕	2	M31900	文章表現法		オンデマンド	2年	
	B2D4	アメリカ文学史	北原 安治	2	N30200	アメリカ文学史		オンデマンド	2年	
	B2D5	英語学演習 I～III	真野 一雄	1	N401S0	英語学演習 I	×	オンデマンド	3年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				1	N402S0	英語学演習 II				
1				N403S0	英語学演習 III					
B2D6	情報概論	荒関 仁志	2	R32300	情報概論		オンデマンド	2年		
金	B2E1	英語 B	小田井 勝彦	1	C10100	英語 I		ZOOM	1年	・I～IVのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				1	C10200	英語 II			2年	
				1	C10300	英語 III				
				1	C10400	英語 IV				
	B2E2	行政法 I	長谷川 福造	2	K30900	行政法 I		オンデマンド	2年	
	B2E3	イギリス文学史 I	常名 朗央	2	N20100	イギリス文学史 I		オンデマンド	※	・文学専攻(英文学)のみ1学年以上申込可。 ・上記以外は2学年以上申込可。
	B2E4	英米文学演習 I～III	水野 隆之	1	N404S0	英米文学演習 I	×	ZOOM	3年	・文学専攻(英文学)のみ申込可。 ・I～IIIのいずれに該当させるのか充当科目コードを必ず記入してください。
				1	N405S0	英米文学演習 II				
				1	N406S0	英米文学演習 III				
B2E5	日本史入門	鍋本 由徳	2	Q20100	日本史入門		オンデマンド	※	・史学専攻のみ1学年以上申込可。・上記以外は2学年以上申込可。	
B2E6	会計学	青木 隆	2	S32800	会計学		オンデマンド	2年		
B2E7	経済地理学/経済地理	中岡 裕章	2	R32600	経済地理学		オンデマンド	2年	・法、文理、経済学部のみ申込可。 ・商学部のみ申込可。	
			2	S32200	経済地理					
B2E8	生徒指導・進路指導論	窪 和広	2	T30500	生徒指導・進路指導論	×	オンデマンド	2年	・スクーリング1回の合格で単位完成する科目です。	

◆授業概要

第一次地方分権改革以降、地域社会における地方自治体の役割は飛躍的に増大している。この授業では、地域社会における主人公である「住民」と「地方自治体」、そして「その他のアクター」との関係性に注目しながら、地方自治の制度、歴史、機能、そして政策過程に関する基本的な事項を学修する。特に地方自治に関わる諸問題は日々生起している点を考慮し、豊富な事例を素材として授業内容に取り入れていくことに力を注ぐ。

◆学修到達目標

受講生が地域社会の住民（＝主体）として必要な能力を身につけるために、地方自治に関する基礎的知識を理解できるようになる。また、その知識をもとに地方自治における諸課題に積極的に関わり、その解決方法を見つけ主体的に行動できるために、必要な能力を身につけられるようになる。加えて地方公務員試験の受験志望者にあつては、専門試験に対応するための基礎的知識、思考（考え方）を修得できるようになる。

◆授業方法**・オンデマンド**

1コマあたり、およそ3本の動画を作成し、定められた期間に視聴することにより、授業を行う。授業内の復習テストなどは、Google Classroom を通じて行う。

・対面授業

対面による講義形式により行う。参考書、資料配布等に関しては、第1回目の授業における担当教員の指示に従うこと。受講状況を見ながら小テストやレポートを課し、その講評を加えることもありうる。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

期末試験＝80％、小テスト、レポート等授業への積極的な参加の目安となるもの＝20％ 計100％

◆教科書

『地方自治を学ぶ一要点と資料― [第2版]』賀来 健輔、三恵社、2019年。

◆参考書

『Next 教科書シリーズ地方自治論 [第2版]』福島康仁編、弘文堂、2018年

◆授業相談先（連絡先）

Google Classroom 上にて行う。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	1. ガイダンス：オンデマンド授業の説明と授業内容の説明 2. 1. 地方公共団体の種類(1) 普通地方公共団体について ①都道府県と市町村 3. 1. 地方公共団体の種類(2) 普通地方公共団体について ②指定都市と中核市ほか 4. 1. 地方公共団体の種類(3) 特別地方公共団体について ①特別区と組合 5. 1. 地方公共団体の種類(4) 特別地方公共団体について ②財産区とその他の 外郭団体
	事前学修	初回に関しては、シラバスを確認するとともに、参考書の目次や各章を参照し、講義全体を概観する。 以後の回では、教科書の該当章を読んで学習する。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、当該章に関する話題に関心を向ける。
	事後学修	授業でとった講義ノートを使って授業の復習をし、理解に努める。疑問点は教科書、参考書にあたり疑問を解消する。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問する。
対面授業 1回目	授業内容	2. 地方公共団体の区域(1) ①区域の変更について ②市町村合併について
	事前学修	教科書の該当章を読んで学習する。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、当該章に関する話題に関心を向ける。
	事後学修	授業でとった講義ノートを使って授業の復習をし、理解に努める。疑問点は教科書、参考書にあたり疑問を解消する。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問する。
対面授業 2回目	授業内容	2. 地方公共団体の区域(2) ③平成の大合併とは何だったのか？ ④都道府県レベルの区域の問題-道州制と連邦制-
	事前学修	教科書の該当章を読んで学習する。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、当該章に関する話題に関心を向ける。
	事後学修	授業でとった講義ノートを使って授業の復習をし、理解に努める。疑問点は教科書、参考書にあたり疑問を解消する。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問する。

◆授業計画

対面授業 3回目	授業内容	3. 地方公共団体の組織(1) ①首長、首長の補助機関 ②出先機関、執行機関の附属機関
	事前学修	教科書の該当章を読んで学習する。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、当該章に関する話題に関心を向ける。
	事後学修	授業でとった講義ノートを使って授業の復習をし、理解に努める。疑問点は教科書、参考書にあたり疑問を解消する。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問する。
対面授業 4回目	授業内容	3. 地方公共団体の組織(2) ①行政委員会 ②行政委員会の有する課題
	事前学修	教科書の該当章を読んで学習する。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、当該章に関する話題に関心を向ける。
	事後学修	授業でとった講義ノートを使って授業の復習をし、理解に努める。疑問点は教科書、参考書にあたり疑問を解消する。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問する。
対面授業 5回目	授業内容	4. 地方議会の組織と機能 ①議会の基本的性格 ②議会の権限ほか
	事前学修	教科書の該当章を読んで学習する。またウェブサイトやテレビ、新聞などで、当該章に関する話題に関心を向ける。
	事後学修	授業でとった講義ノートを使って授業の復習をし、理解に努める。疑問点は教科書、参考書にあたり疑問を解消する。それでも残った疑問点は、次回の授業で質問する。
対面授業 6回目	授業内容	・本スクーリングの総復習 ・テストと解説
	事前学修	予め配布された要点項目資料を熟読し、テキスト該当箇所を事前にノートにまとめておくこと。
	事後学修	全ての授業内容を確認・理解して、自身が調べた広告戦略の事例が適切かどうかを再確認すること。

◆授業概要

現在国語教育や一般の国語辞典で採用されている日本語文法は数ある文法論のなかのひとつで、「学校文法」と呼ばれる。この授業では、この公認の国文法とも言うべき学校文法について、成立の背景もふまえながらその特徴を理解する。それとともに、異なる説明方法と比較することで、その価値を相対化する。

◆学修到達目標

異説との比較により、日本語の文法をよりよく説明する考え方が学校文法以外にあり得るという認識をもつことができる。また、その認識にもとづいて、みずからが説明を生み出す余地もあることに気づくことができる。国語教師をめざす受講生には、学校文法の弱点をもわきまえた文法の教え方ができるようになることも目標に加わる。

◆授業方法**・オンデマンド**

「予習課題」(「成績評価基準」欄参照)の提出をうけ、評価とコメントを記入して返却する(対面授業でその内容をふまえ、必要に応じて説明や内容をおぎなう)。

・対面授業

講義形式。ただし、学習者の主体的な参加行動(発言等)を要求するので、演習的側面をもつ。具体的には、ひんばんに発問し、自発的に回答してもらおうというやりとりを中心に話をすすめる。なお、内容を文章でまとめたプリントを、確認用として、授業終了時に配布する。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

(1) 試験 40%、(2) 予習課題 45%、(3) 参加行動 15%。「予習課題」は授業内容の理解をうながす準備的な課題。参加行動とは授業内の自発的な発言・質問等である。

◆教科書

資料配布 (Classroom) プリントを配布する。

◆参考書

『日本語文法・形態論』鈴木重幸 むぎ書房 ほかに随時紹介する。

◆授業相談先(連絡先)

zaa40226@oak.zero.ad.jp

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	<p>予習課題をおこなうにあたって必要な説明を動画にまとめるので、それを手引きとして各自回答を作成する。予定している内容は以下。</p> <p>(1) 現代語で性質・状態をあらわす単語をあらたにつくる形式はどうなっているか？</p> <p>(2) 活用（とくに活用形の認定）に関して、なるほどと思ったところ、または、疑問に感じた部分はないか？</p> <p>(3) 「～だ」は、名詞以外のどんなものにつくことがあるか？</p> <p>(4) 「省略」と呼ばれる現象にはどんなものがあるか？</p> <p>(5) 動詞を文のなかでもちいるとき、結合する名詞にはどんなものがあり、どんな結合のしかたをするか？</p>
	事前学修	口語文法の解説（辞書に付録として掲載されている。以下「学校文法」と呼ぶ）を通読しておく。辞書は多少古いものでも問題ない。
	事後学修	予習課題の返却を受け、コメントを読んで、必要に応じて理解を確認ないし修正する。
対面授業 1回目	授業内容	品詞分類の基準 形容動詞は形容詞とは別品詞なのか考える
	事前学修	学校文法の品詞分類を把握しておく。
	事後学修	配布プリントを通読し、品詞分類について応用のきく理解をつくる。
対面授業 2回目	授業内容	六活用形の論理 未然形の根拠には何があるのか考える
	事前学修	動詞を中心に、学校文法の説く「活用の種類」・「活用形」について把握しておく。
	事後学修	今回分の配布プリントを通読し、理解の確認・修正をする。
対面授業 3回目	授業内容	助辞(助詞)とその問題点——「助詞の省略」(文語文法)——古代語では格助辞(格助詞)は省略されているのか考える
	事前学修	現代の話しことばについて言う「省略」をおおまかに把握しておく。
	事後学修	今回分の配布プリントを通読し、理解の確認・修正をする。
対面授業 4回目	授業内容	構文論とその問題点——「連用修飾語」のうちわけ——「～を」「～に」なども連用修飾語なのか考える
	事前学修	学校文法の「文の成分」を把握しておく。
	事後学修	今回分の配布プリントを通読し、理解の確認・修正をする。
対面授業 5回目	授業内容	助辞(助詞)とその問題点——「助詞の省略」(文語文法)——古代語では格助辞(格助詞)は省略されているのか考える
	事前学修	現代の話しことばについて言う「省略」をおおまかに把握しておく。
	事後学修	今回分の配布プリントを通読し、理解の確認・修正をする。

◆授業計画

対面授業 6回目	授業内容	総括・確認と試験 付) 今後の展望 読み書きとむすびつく文法はどうあるべきか考える
	事前学修	授業で扱ったことがらを復習しておく。
	事後学修	今回分の配布プリントを通読する。試験結果をふまえ、的確な説明ができない内容をとくに復習する。

◆授業概要

国際収支や為替レートの変化が日々ニュースになっています。この講義では、国際的な金融取引が行われる国際金融市場、外国為替市場などの基礎的概念、外国為替レート決定理論や国際資本移動とマクロ経済の関係を示すマンデル・フレミング・モデルなどを中心に学び・理解することを通じて、国際金融の諸問題を考える上での基礎を養うことを目的とします。なお、この講義では経済学原論などによるマクロ経済学の基礎および金融論の基礎を理解していることが望ましい。

◆学修到達目標

本講義では、国際金融における基礎および基礎理論への理解を目指し、具体的には以下のことを目標とする。

1. 国際金融市場、外国為替取引などの国際金融の基礎を理解し、説明できるようになる。
2. 外国為替レートの決定理論を理解し、説明できるようになる。
3. 国際資本移動とマクロ経済の関係による国際金融におけるトリレンマ問題を理解し、説明できるようになる。

◆授業方法**・オンデマンド**

授業計画に沿って、項目ごとに Classroom のトピックを分けている。トピックごとに、予習用の資料とパワーポイントによる動画ファイル、授業アンケートがあるので、資料で予習した後に、動画ファイルを視聴し学修する。最後に出欠を兼ねた授業アンケートを回答する。質問などは授業アンケートなどでも受け付ける。また、課題や小テストがある場合もトピック内で指示するので必ず解答すること。

・対面授業

オンデマンドによる学修を踏まえ、授業計画に沿って、パワーポイントを利用した講義形式で行います。また、最後に学修の確認として試験を実施します。

◆履修条件

令和2年夏期スクーリング『国際金融論』（谷川孝美）とは積み重ね不可とはしませんが、同様の内容になります。

◆成績評価基準

最終日に最終試験を実施します。評価の割合を60%とします。また、オンデマンド授業等で実施する小テストおよび課題の評価割合を30%、授業への参加・貢献を10%とします。

◆教科書

資料配布 (Classroom) 各項目に応じた講義概要を、各トピック内で予習用として PDF ファイルにて配布する。各自取得し、予習すること。

◆参考書

通材『国際金融論 R31200』通信教育教材（教材コード 000432）

『国際金融のしくみ 第4版（有斐閣アルマ）』 秦忠夫・本田敬吉・西村陽造編 有斐閣，2012年

新しいものとして、『新・国際金融のしくみ（有斐閣アルマ）』西村陽造，佐久間浩司 有斐閣 2020年

『はじめて学ぶ国際金融論』永易敦，江坂太郎，吉田裕司，有斐閣，2015年

◆授業相談先（連絡先）

対面授業時には，講義前後 10 分程度，講師室にて対応します。また，それ以外ではメールおよび Classroom にて対応します。

tanikawa.takayoshi2020@nihon-u.ac.jp

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	国際金融の基礎（1） 国際金融論の対象と課題，外国為替の仕組み “国際金融の基礎（2） 外国為替市場，外国為替レート（相場） 名目為替レート，実質為替レートを初めとして多様な外国為替レートを 確認する。” “国際金融の基礎（3） 国際収支統計と対外取引 国内外の取引をまとめている国際収支統計の仕組みを理解し，各国の 特徴を確認する。” 国際金融の基礎（4） 国際金融市場 ※対面授業のための基礎を学修する。
	事前学修	・シラバスをよく読み，授業の概要や目的を理解しておく。 ・トピック内に予習用として講義概要をまとめた資料があるので，よく 読み，確認する。その際に専門用語などをテキストや参考文献等で 調べること。
	事後学修	・国際金融を理解するための基礎を十分に確認し，まとめておくこと。 ・学修上の疑問点や不明な点は授業アンケートやメールなどで質問 し，解消しておくこと。 ・小テストで，学修の理解度を確認し，不足がある場合はよく確認し ておくこと。
対面授業 1回目	授業内容	オプション・スワップ取引，金融派生商品（デリバティブズ）取引
	事前学修	事前配布資料を熟読し，内容を確認しておくこと。金融派生商品につ いて調べておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト，参考書をもとに，専門用語や説明を確認するこ と。

◆授業計画

対面授業 2回目	授業内容	一物一価の法則と購買力平価
	事前学修	事前配布資料を熟読し、内容を確認しておくこと。物価と価格の違いを確認しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
対面授業 3回目	授業内容	金利裁定取引と金利平価
	事前学修	事前配布資料を熟読し、内容を確認しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。また、金利平価を実際に計算し理解を深めること。
対面授業 4回目	授業内容	外国為替レートの決定（フローアプローチ、アセットアプローチ）
	事前学修	事前配布資料を熟読し、内容を確認しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
対面授業 5回目	授業内容	外国為替レートと開放マクロ経済政策
	事前学修	事前配布資料を熟読し、内容を確認しておくこと。IS-LM分析を確認すること。
	事後学修	配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。
対面授業 6回目	授業内容	国際金融のトリレンマ問題，試験及び解説
	事前学修	事前配布資料を熟読し、内容を確認しておくこと。また、今までの講義の要点を復習しておくこと。
	事後学修	配付資料やテキスト、参考書をもとに、専門用語や説明を確認すること。 今回の授業内容を再確認し、理解を深めること。

◆授業概要

中学・高等学校での経験から、特に英語教師として最低限必要な学習（英語力・背景の文化・教師像等）及び英語授業のあるべき形等を学びます。

◆学修到達目標

英語教師としての資質・力量を高め、より学習指導要領に添い社会が求めるコミュニケーションな英語授業を実践するために必要な基礎知識を身に付け、今後の英語教師の礎となることを目標にする。

◆授業方法**・オンデマンド**

オンデマンドの場合は、課題を中心に説明が必要な個所を毎回決まった時間を設け meet にて解説します。質問ある場合や、はっきりしない箇所をそこで確認ください。また最終日はこれまでの課題からまとめテストを行いますので毎回きちんと解答しておくことが大切です。

・対面授業

対面授業は講義を中心にその後内容について皆さんと確認・検討をしていく形になります。特に英語そのものの背景にある見逃しがちな点をこの授業を通して学習していきたいと思えます。

◆履修条件

将来英語教師を目指す人はこれからの英語教育法を受ける前に受けてい頂きたいと思えます。また英語教師としてのある程度の実力も必要です。

◆成績評価基準

評価として最終日のテスト（5割）・毎回の課題（3割）・レポート（2割）とします（対面授業の場合はその場でご説明します）。

◆教科書

『行動志向の英語科教育の基礎と実践』 JACET 教育問題研究会 編 SANSHUSHA

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

毎回のクラスルーム上での meet で行います。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	英語科教育法 I として、英語教員の必要最低限の常識及び基礎英語力について確認をする。 教職・専門職の資質能力に限らず背景にある総合的な英語力や人間力をも高めることを進めていく。 特にオンデマンド授業では、異文化理解を中心に英語教師としての基礎的英語力を課題形式で3つ提示する。
	事前学修	国際理解の一環として異文化理解をすることと基本的な英語力や英語指導力について事前に確認してください。また英米語の相違を認識する。
	事後学修	言葉の背景にある文化や国民性に気づき、同じ地球人として英語によるコミュニケーション力を高め指導実践に活かすこと。
対面授業 1回目	授業内容	学習指導要領について一特にこれまでの変遷及び現行の学習指導要領について一
	事前学修	昭和22年の学習指導要領から現行までの一連の流れを調べておく。
	事後学修	これまでの改訂から現行の学習指導要領について認識し、これからどういいう英語指導が必要になるか考える。
対面授業 2回目	授業内容	英語指導の実際 中学校・高等学校
	事前学修	自分なりに中学校又は高校での英語授業を考え、背景となる教授法や背景となる理論を調べておく。
	事後学修	どうすれば現行の指導に合った授業ができるか、また各人の指導法を確立できるか考えてみる。
対面授業 3回目	授業内容	イギリスという国 一英語の成り立ちとその国について一
	事前学修	イギリスという国がどう成り立ち、どのような経緯で英語が今日に至ったか事前に調べる。
	事後学修	英語の成り立ちや英国について更に認識を深める。
対面授業 4回目	授業内容	アメリカという国 一成り立ちや英国その他の国との関係一
	事前学修	現在のアメリカ及びその歴史的背景を調べる。
	事後学修	これまでの流れを確認し、現行のアメリカがどういう位置づけかを再認識する。
対面授業 5回目	授業内容	英米語について 一特に単語・発音・綴りや人名の特徴など一
	事前学修	授業での内容を確認できるよう事前に調べておく。
	事後学修	英語・米語について更に関心を高め、英語教師としての幅を拡げられるようにする。

◆授業計画

対面授業 6回目	授業内容	これまでの対面授業内容を確認し，その後に最終確認テストを実施。
	事前学修	これまでの授業内容を整理しておく。
	事後学修	誤りや自分自身があはつきり解答できなかった箇所をもう一度調べなおすこと。

◆授業概要

本講義では特定の分野に限定せず、日本国憲法を含めた広く一般的包括的な法学にかかる知識を修得することを目的とする。本講義で学ぶ内容は生活に直結していることが少なくなく、グローバル化が唱えられて久しい今日において、外国人が日本においてどのような取り扱いを受けるのかや、日本法と国際法との違いなど国際関係を意識することができる内容も取り扱う。

◆学修到達目標

- 1 法とはいったい何を意味するのかを理解し、法に関する基本的概念について説明することができる。
- 2 裁判制度について理解し、民事訴訟と刑事訴訟との違いについて説明することができる。
- 3 具体的な私人間関係における法の役割について理解し、具体的な問題について法的考え方を説明することができる。
- 4 日本国憲法に定められている基本的人権について理解し、基本的人権にかかる具体的問題について説明することができる。
- 5 日本法における外国人の取り扱いについて理解し、日本法と国際法との関係について説明することができる。

◆授業方法

・オンデマンド

本講義では、オンデマンド型で授業を実施する。講義資料（レジュメや講義動画）は Google Classroom を通じて配布し、講義資料を通じて学習してもらう。講義動画視聴後には、Google Classroom を通じて知識の定着を確認する小テストに取り組んでもらう。

・オンラインまたはオンデマンド

本講義では、対面授業や Zoom を用いたライブ方式は予定していない。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

各回実施する小テスト（30%）、最終回に実施するテスト（70%）

◆教科書

市販本『リーガルスタディー現代法学入門』村田彰 編 日本経済社 2018年
資料配布（Classroom）必要に応じて資料を配布する（前回の資料を引き続き用いる場合もある）

◆参考書

市販本 『法学入門』 末川博 編 第6版補訂版 2014年

市販本 『ポケット六法 令和4年度版』 佐伯仁志 =大村敦志 代表編 有斐閣 2021年

◆授業相談先（連絡先）

Google Classroom上にて行う。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	1 法律学を学ぶ人の第一歩（法学の基礎） 2 裁判と法（裁判所の役割と訴訟） 3 契約①（契約の基本と売買・現代型契約・消費者の保護）
	事前学修	指定教科書の Folder I（1 頁～21 頁）、Folder II（23 頁～47 頁）、Folder III の該当箇所（52 頁～61 頁、65 頁～68 頁）を通読し、理解できなかった点を把握すること。
	事後学修	オンデマンド型で講義動画を視聴し、レジュメの内容を整理するとともに、実施した小テストについて振り返りを行うとともに、事前学修にて理解できなかった点が理解できたのかを確認し、なお理解できていない点があれば教科書を再度振り返ったり教員に対して質問を行う。
対面授業 1 回目	授業内容	・契約②（不動産を取引するときの法律） ・不法行為（不法行為とは何か？－交通事故を念頭に－）
	事前学修	指定教科書の Folder III の該当箇所（61 頁～62 頁、68 頁～74 頁）を通読し、理解できなかった点を把握すること。
	事後学修	オンデマンド型で講義動画を視聴し、レジュメの内容を整理するとともに、実施した小テストについて振り返りを行うとともに、事前学修にて理解できなかった点が理解できたのかを確認し、なお理解できていない点があれば教科書を再度振り返ったり教員に対して質問を行う。
対面授業 2 回目	授業内容	・保証（あなたの代わりに負担します） ・家族（婚姻と離婚、子ども）
	事前学修	指定教科書の Folder IV の該当箇所（110 頁～112 頁）、Folder VI の該当箇所（148 頁～157 頁）、を通読し、理解できなかった点を把握すること。
	事後学修	オンデマンド型で講義動画を視聴し、レジュメの内容を整理するとともに、実施した小テストについて振り返りを行うとともに、事前学修にて理解できなかった点が理解できたのかを確認し、なお理解できていない点があれば教科書を再度振り返ったり教員に対して質問を行う。
対面授業 3 回目	授業内容	・相続（遺産はどうなる？） ・家族問題と法（DV・児童虐待・少年法）
	事前学修	指定教科書の Folder VI の該当箇所（160 頁～169 頁）、Folder VII の該当箇所（201 頁～207 頁）を通読し、理解できなかった点を把握すること。
	事後学修	オンデマンド型で講義動画を視聴し、レジュメの内容を整理するとともに、実施した小テストについて振り返りを行うとともに

		に、事前学修にて理解できなかった点が理解できたのかを確認し、なお理解できていない点があれば教科書を再度振り返ったり教員に対して質問を行う。
対面授業 4回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人の生と死（人工生殖の法律問題・人は自分の死を選べるのか） ・国家と法（国会・行政・地方分権）
	事前学修	指定教科書の FolderⅧの該当箇所（215 頁～220 頁）、FolderⅨの該当箇所（247 頁～255 頁、269 頁～272 頁）を通読し、理解できなかった点を把握すること。
	事後学修	オンデマンド型で講義動画を視聴し、レジュメの内容を整理するとともに、実施した小テストについて振り返りを行うとともに、事前学修にて理解できなかった点が理解できたのかを確認し、なお理解できていない点があれば教科書を再度振り返ったり教員に対して質問を行う。
対面授業 5回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権と法（基本的人権・新しい権利・宗教） ・外国人と法（日本における外国人の取扱い）
	事前学修	指定教科書の FolderⅨの該当箇所（259 頁～266 頁）、FolderⅩの該当箇所（281 頁～286 頁、305 頁～307 頁）、を通読し、理解できなかった点を把握すること。
	事後学修	オンデマンド型で講義動画を視聴し、レジュメの内容を整理するとともに、実施した小テストについて振り返りを行うとともに、事前学修にて理解できなかった点が理解できたのかを確認し、なお理解できていない点があれば教科書を再度振り返ったり教員に対して質問を行う。
対面授業 6回目	授業内容	・法学の総括（テストと解説）
	事前学修	これまで学習してきた内容について、レジュメや自作したノート等を参考にしながら整理しておくこと。
	事後学修	法学の総括として実施したテストについて、振り返りを行うとともに、テストに出題されなかった範囲についても知識が定着しているかを再度確認すること。

◆授業概要

「哲学」という言葉の成り立ちと意味。西欧古代ギリシアの哲学思想（ミレトス学派、ピュタゴラス、ヘラクレイトス、エレア学派、多元論、デモクリトスの原子論、ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、西欧近代の哲学思想（デカルト、ベーコン、カント、ベンサムとミル）を講義する。

◆学修到達目標

「哲学」という言葉の成り立ちと意味を説明できるようになる。古代ギリシアと近代の西欧哲学の諸哲学思想の基本を説明できるようになる。さらに物事を、疑いの心をもって（批判的に、クリティカルに）、多面的に考えることができるようになる。

◆授業方法

下記の教科書・テキスト（+配布プリント）を中心に講義を行う（教科書・テキストを、紙媒体で、必ず購入すること。持っていない人は講義も試験も受けることはできない）。教科書・テキスト（・プリント）を指名して読んでもらう（ゆっくり読みながら講義を進めて行く）。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

オンデマンド授業（50%）、ZOOM 授業での試験（50%、記述式）総合的に評価する。

◆教科書

通材”『哲学 B10700』通信教育教材（教材コード000404）、3、650円（送料込）

〈この教材は市販の『西洋思想の要諦周覧』嘉吉純夫、齋藤隆（北樹出版）と同一です。〉”

◆授業相談先（連絡先）

Google Classroom 上にて行う。

◆授業計画

オンデマ ンド	授業内容	<p>(1) 10 頁、第 1 章 「存在」と世界観の問題 [この章の概説]、存在のあり方について</p> <p>(2) 11 頁、12 頁、序、ヘシオドスの宇宙生成論とギリシア神話について</p> <p>(3) 13 頁、14 頁、ミレトス学派の物活論的世界観、タレス、アナクシマンドロス、アナクシメネスの議論について</p> <p>(4) 15 頁、ピュタゴラスの数的世界観と「魂の輪廻転生」について</p> <p>(5) 16 頁～17 頁 6 行目、ヘラクレイトスとエレア学派の存在観、ヘラクレイトスの議論について</p> <p>(6) 17 頁 7 行目～18 頁 8 行目、パルメニデスの議論について</p> <p>(7) 18 頁 9 行目～18 頁最終行、ゼノン、メリッソスの議論について</p> <p>(8) 19 頁～20 頁下から 4 行目、多元論とデモクリトスの原子論、エンペドクレスとアナクサゴラスの議論について</p> <p>(9) 20 頁下から 3 行目～21 頁最終行、デモクリトスの議論について</p> <p>(10) 184 頁 4 行目～最終行、23 頁下から 5 行目～最終行、ソフィストについて</p> <p>(11) 96 頁下から 12 行目～98 頁 7 行目、ソフィストのプロタゴラスとゴルギアスの議論について</p> <p>(12) 24 頁、ソクラテスの問いの意味について</p> <p>(13) 98 頁 8 行目～99 頁 7 行目、ソクラテスの議論について</p> <p>(14) 185 頁～189 頁、ソクラテスの生と死について</p> <p>(15) 25 頁～26 頁下から 8 行目、プラトンのイデア論と魂不死説、プラトンの「存在の根拠」としてのイデアについて</p>
	事前学修	<p>事前学修として、授業内容に合わせて、メモや図を書きながら読んでおくこと。</p> <p>(1) 10 頁</p> <p>(2) 11 頁、12 頁</p> <p>(3) 13 頁、14 頁</p> <p>(4) 15 頁</p> <p>(5) 16 頁～17 頁 6 行目</p> <p>(6) 17 頁 7 行目～18 頁 8 行目</p> <p>(7) 18 頁 9 行目～18 頁最終行</p> <p>(8) 19 頁～20 頁下から 4 行目</p> <p>(9) 20 頁下から 3 行目～21 頁最終行</p> <p>(10) 184 頁 4 行目～最終行、23 頁下から 5 行目～最終行</p> <p>(11) 96 頁下から 12 行目～98 頁 7 行目</p>

		<p>(12) 24 頁 (13) 98 頁 8 行目～99 頁 7 行目 (14) 185 頁～189 頁 (15) 25 頁～26 頁下から 8 行目</p>
	事後学修	<p>事後学修として、授業内容に合わせて、内容を整理しておくこと。自分の見解、考えをまとめておくこと。</p> <p>(1) 10 頁 (2) 11 頁、12 頁 (3) 13 頁、14 頁 (4) 15 頁 (5) 16 頁～17 頁 6 行目 (6) 17 頁 7 行目～18 頁 8 行目 (7) 18 頁 9 行目～18 頁最終行 (8) 19 頁～20 頁下から 4 行目 (9) 20 頁下から 3 行目～21 頁最終行 (10) 184 頁 4 行目～最終行、23 頁下から 5 行目～最終行 (11) 96 頁下から 12 行目～98 頁 7 行目 (12) 185 頁～189 頁 (13) 98 頁 8 行目～99 頁 7 行目 (14) 185 頁～189 頁 (15) 25 頁～26 頁下から 8 行目</p>
ZOOM 授業 1 回目	授業内容	<p>(29) 191 頁、192 頁、小ソクラテス学派の倫理思想について (30) 193 頁、194 頁、エピクロスの精神的快樂主義について (31) 195 頁～197 頁、ストア学派の禁欲主義的倫理説について (31) 102 頁 4 行目～104 頁 4 行目、エピクロスとストア学派の知識論について (33) 40 頁、エピクロスの自然観とストア学派の自然学について (34) 198 頁、古代懷疑主義（ピュロニズム）について (35) 104 頁 5 行目～106 頁 2 行目、古代懷疑主義者たちの議論について (36) 199 頁、プロティノスの「エクスタシス」について (37) 41 頁、プロティノスの「一者」と流出説について (38) 59 頁～60 頁 6 行目、ルネサンスと宗教革命について (39) 214 頁～217 頁 5 行目、ルネサンスのヒューマニストとモラリストについて (40) 63 頁～64 頁 4 行目、ブルーノの汎神論と無限宇宙論について (41) 64 頁 5 行目～65 頁 13 行目、デカルト、4 つの指導規則、方法的懷疑と哲学の第 1 原理について</p>

	事前学修	<p>事前学修として、授業内容に合わせて、メモや図を書きながら読んでおくこと。</p> <p>(16) 26 頁下から 7 行目～28 頁下から 9 行目 (17) 28 頁下から 8 行目～30 頁 13 行目 (18) 30 頁 14 行目～31 頁の最終行 (19) 99 頁 8 行目～100 頁 7 行目 (20) 187 頁～187 頁下から 6 行目 (21) 187 頁下から 5 行目～188 頁の最終行 (22) 32 頁～34 頁下から 4 行目 (23) 34 頁下から 3 行目～36 頁 5 行目 (24) 36 頁 6 行目～37 頁下から 13 行目 (25) 37 頁下から 12 行目～38 頁 17 行目 (26) 38 頁 18 行目～39 頁最終行 (27) 100 頁 8 行目～102 頁 3 行目 (28) 189 頁、190 頁</p>
	事後学修	<p>事後学修として、授業内容に合わせて、内容を整理しておくこと。自分の見解、考えをまとめておくこと。</p> <p>(16) 26 頁下から 7 行目～28 頁下から 9 行目 (17) 28 頁下から 8 行目～30 頁 13 行目 (18) 30 頁 14 行目～31 頁の最終行 (19) 99 頁 8 行目～100 頁 7 行目 (20) 187 頁～187 頁下から 6 行目 (21) 187 頁下から 5 行目～188 頁の最終行 (22) 32 頁～34 頁下から 4 行目 (23) 34 頁下から 3 行目～36 頁 5 行目 (24) 36 頁 6 行目～37 頁下から 13 行目 (25) 37 頁下から 12 行目～38 頁 17 行目 (26) 38 頁 18 行目～39 頁最終行 (27) 100 頁 8 行目～102 頁 3 行目 (28) 189 頁、190 頁</p>
ZOOM 授業 2 回目	授業内容	<p>(29) 191 頁、192 頁、小ソクラテス学派の倫理思想について (30) 193 頁、194 頁、エピクロスの精神的快楽主義について (31) 195 頁～197 頁、ストア学派の禁欲主義的倫理説について (31) 102 頁 4 行目～104 頁 4 行目、エピクロスとストア学派の知識論について (33) 40 頁、エピクロスの自然観とストア学派の自然学について (34) 198 頁、古代懐疑主義（ピュロニズム）について (35) 104 頁 5 行目～106 頁 2 行目、古代懐疑主義者たちの議論について</p>

		<p>(36) 199 頁、プロティノスの「エクスタシス」について</p> <p>(37) 41 頁、プロティノスの「一者」と流出説について</p> <p>(38) 59 頁～60 頁 6 行目、ルネサンスと宗教革命について</p> <p>(39) 214 頁～217 頁 5 行目、ルネサンスのヒューマニストとモラリストについて</p> <p>(40) 63 頁～64 頁 4 行目、ブルーノの汎神論と無限宇宙論について</p> <p>(41) 64 頁 5 行目～65 頁 13 行目、デカルト、4 つの指導規則、方法的懐疑と哲学の第 1 原理について</p>
	事前学修	<p>事前学修として、授業内容に合わせて、メモや図を書きながら読んでおくこと。</p> <p>(29) 191 頁、192 頁</p> <p>(30) 193 頁、194 頁</p> <p>(31) 195 頁～197 頁</p> <p>(31) 102 頁 4 行目～104 頁 4 行目</p> <p>(33) 40 頁</p> <p>(34) 198 頁</p> <p>(35) 104 頁 5 行目～106 頁 2 行目</p> <p>(36) 199 頁</p> <p>(37) 41 頁</p> <p>(38) 59 頁～60 頁 6 行目</p> <p>(39) 214 頁～217 頁 5 行目</p> <p>(40) 63 頁～64 頁 4 行目</p> <p>(41) 64 頁 5 行目～65 頁 13 行目</p>
	事後学修	<p>事後学修として、授業内容に合わせて、内容を整理しておくこと。自分の見解、考えをまとめておくこと。</p> <p>(29) 191 頁、192 頁</p> <p>(30) 193 頁、194 頁</p> <p>(31) 195 頁～197 頁</p> <p>(31) 102 頁 4 行目～104 頁 4 行目</p> <p>(33) 40 頁</p> <p>(34) 198 頁</p> <p>(35) 104 頁 5 行目～106 頁 2 行目</p> <p>(36) 199 頁</p> <p>(37) 41 頁</p> <p>(38) 59 頁～60 頁 6 行目</p> <p>(39) 214 頁～217 頁 5 行目</p> <p>(40) 63 頁～64 頁 4 行目</p> <p>(41) 64 頁 5 行目～65 頁 13 行目</p>

ZOOM 授業 3 回目	授業内容	<p>(42) 65 頁 14 行目～66 頁 4 行目、デカルト、神の存在証明と 2 元論について</p> <p>(44) 65 頁 5 行目～67 頁 5 行目、デカルト、2 元論の内容と機械論的世界像について</p> <p>(45) 114 頁 4 行目～115 頁最終行、デカルトの「方法的懐疑」と演繹法について</p> <p>(46) 217 頁 6 行目～下から 2 行目、デカルト、「仮の道徳」と「高邁の精神」について</p> <p>(47) 67 頁 6 行目～68 頁 6 行目、スピノザの汎神論について</p> <p>(48) 68 頁 7 行目～69 頁 6 行目、スピノザ、自然のあり方と「心身並行論」について</p> <p>(49) 217 頁下から 1 行目～218 頁 17 行目、スピノザの『エチカ』について</p> <p>(50) 69 頁 7 行目～71 頁 12 行目、ライプニッツ、单子論と調和の哲学について</p> <p>(51) 116 頁 1 行目～下から 2 行目、ライプニッツの真理論について</p> <p>(52) 116 頁下から 1 行目～117 頁最終行、ライプニッツの充足理由律について</p> <p>(53) 218 頁下から 12 行目～219 頁 3 行目、ライプニッツの最善説について</p> <p>(54) 72 頁 7 行目～73 頁下から 8 行目、ホッブズの唯物論について</p> <p>(55) 219 頁 7 行目～220 頁 5 行目、ホッブズの社会思想（社会契約論）について</p>
	事前学修	<p>事前学修として、授業内容に合わせて、メモや図を書きながら読んでおくこと。</p> <p>(42) 65 頁 14 行目～66 頁 4 行目</p> <p>(44) 65 頁 5 行目～67 頁 5 行目</p> <p>(45) 114 頁 4 行目～115 頁最終行</p> <p>(46) 217 頁 6 行目～下から 2 行目</p> <p>(47) 67 頁 6 行目～68 頁 6 行目</p> <p>(48) 68 頁 7 行目～69 頁 6 行目</p> <p>(49) 217 頁下から 1 行目～218 頁 17 行目</p> <p>(50) 69 頁 7 行目～71 頁 12 行目</p> <p>(51) 116 頁 1 行目～下から 2 行目</p> <p>(52) 116 頁下から 1 行目～117 頁最終行</p> <p>(53) 218 頁下から 12 行目～219 頁 3 行目</p> <p>(54) 72 頁 7 行目～73 頁下から 8 行目</p> <p>(55) 219 頁 7 行目～220 頁 5 行目</p>

	事後学修	<p>事後学修として、授業内容に合わせて、内容を整理しておくこと。自分の見解、考えをまとめておくこと。</p> <p>(42) 65 頁 14 行目～66 頁 4 行目 (44) 65 頁 5 行目～67 頁 5 行目 (45) 114 頁 4 行目～115 頁最終行 (46) 217 頁 6 行目～下から 2 行目 (47) 67 頁 6 行目～68 頁 6 行目 (48) 68 頁 7 行目～69 頁 6 行目 (49) 217 頁下から 1 行目～218 頁 17 行目 (50) 69 頁 7 行目～71 頁 12 行目 (51) 116 頁 1 行目～下から 2 行目 (52) 116 頁下から 1 行目～117 頁最終行 (53) 218 頁下から 12 行目～219 頁 3 行目 (54) 72 頁 7 行目～73 頁下から 8 行目 (55) 219 頁 7 行目～220 頁 5 行目</p>
ZOOM 授業 4 回目	授業内容	<p>(56) 74 頁 8 行目～76 頁 8 行目、フランス啓蒙思想とラ・メトリの人間機械論について (57) 118 頁 1 行目～下から 7 行目、ベーコンの『学問の新機関』と「知は力なり」について (58) 118 頁下から 6 行目～120 頁 2 行目、ベーコンの 4 つのイドラ論について (59) 73 頁下から 7 行目～74 頁 7 行目、経験論哲学者の「実体」の追放について (60) 120 頁 3 行目～122 頁 2 行目、ロック、経験論的認識論の展開について (61) 220 頁 6 行目～221 頁 3 行目、ロックの社会思想（社会契約論）について (62) 122 頁 3 行目～123 頁 5 行目、バークリー、経験論的認識論の展開について (63) 123 頁 6 行目～124 頁 1 行目、バークリーの主観的観念論について (64) 124 頁 2 行目～125 頁 15 行目、ヒューム、連想（連合）の法則について (65) 125 頁 16 行目～最終行、ヒュームの「知覚の束」について (66) 221 頁 4 行目～222 頁最終行、ヒューム、アダム・スミスの感情主義の倫理思想について (67) 223 頁 1 行目～224 頁、ルソーと啓蒙思想の流れについて</p>
	事前学修	<p>事前学修として、授業内容に合わせて、メモや図を書きながら読んでおくこと。</p>

		<p>(56) 74 頁 8 行目～76 頁 8 行目 (57) 118 頁 1 行目～下から 7 行目 (58) 118 頁下から 6 行目～120 頁 2 行目 (59) 73 頁下から 7 行目～74 頁 7 行目 (60) 120 頁 3 行目～122 頁 2 行目 (61) 220 頁 6 行目～221 頁 3 行目 (62) 122 頁 3 行目～123 頁 5 行目 (63) 123 頁 6 行目～124 頁 1 行目 (64) 124 頁 2 行目～125 頁 15 行目 (65) 125 頁 16 行目～最終行 (66) 221 頁 4 行目～222 頁最終行 (67) 223 頁 1 行目～224 頁</p>
	事後学修	<p>事後学修として、授業内容に合わせて、内容を整理しておくこと。自分の見解、考えをまとめておくこと。</p> <p>(56) 74 頁 8 行目～76 頁 8 行目 (57) 118 頁 1 行目～下から 7 行目 (58) 118 頁下から 6 行目～120 頁 2 行目 (59) 73 頁下から 7 行目～74 頁 7 行目 (60) 120 頁 3 行目～122 頁 2 行目 (61) 220 頁 6 行目～221 頁 3 行目 (62) 122 頁 3 行目～123 頁 5 行目 (63) 123 頁 6 行目～124 頁 1 行目 (64) 124 頁 2 行目～125 頁 15 行目 (65) 125 頁 16 行目～最終行 (66) 221 頁 4 行目～222 頁最終行 (67) 223 頁 1 行目～224 頁</p>
ZOOM 授業 5 回目	授業内容	<p>(68) 93 頁、「在り方の究明」から「知り方の究明」へ (69) 113 頁 1 行目～17 行目、合理論、経験論、カントの批判哲学について (70) 76 頁 9 行目～78 頁 8 行目、カントの物自体について (71) 76 頁 9 行目～78 頁 8 行目、カントによる人の認識の仕組みについて (72) 126 頁 1 行目～127 頁 9 行目、カントの批判的認識論について (73) 127 頁 10 行目～128 頁 7 行目、カントの認識論的「コペルニクス的転回」について (74) 225 頁 1 行目～226 頁 8 行目、カントの道徳哲学について (75) 226 頁 9 行目～227 頁 1 行目、カントの実践理性の要請と優位について (76) 78 頁 9 行目～79 頁 7 行目、フィヒテの自我について</p>

		<p>(77) 79 頁 8 行目～80 頁 7 行目、シェリングの絶対者について</p> <p>(78) 80 頁 8 行目～81 頁 15 行目、ヘーゲルの弁証法について</p> <p>(79) 81 頁 16 行目～82 頁 7 行目、ヘーゲルの弁証法的世界観について</p> <p>(80) 227 頁 2 行目～228 頁 3 行目、ヘーゲルの人倫の思想について</p>
	事前学修	<p>事前学修として、授業内容に合わせて、メモや図を書きながら読んでおくこと。</p> <p>(68) 93 頁</p> <p>(69) 113 頁 1 行目～17 行目</p> <p>(70) 76 頁 9 行目～78 頁 8 行目</p> <p>(71) 76 頁 9 行目～78 頁 8 行目</p> <p>(72) 126 頁 1 行目～127 頁 9 行目</p> <p>(73) 127 頁 10 行目～128 頁 7 行目</p> <p>(74) 225 頁 1 行目～226 頁 8 行目</p> <p>(75) 226 頁 9 行目～227 頁 1 行目</p> <p>(76) 78 頁 9 行目～79 頁 7 行目</p> <p>(77) 79 頁 8 行目～80 頁 7 行目</p> <p>(78) 80 頁 8 行目～81 頁 15 行目</p> <p>(79) 81 頁 16 行目～82 頁 7 行目</p> <p>(80) 227 頁 2 行目～228 頁 3 行目</p>
	事後学修	<p>事後学修として、授業内容に合わせて、内容を整理しておくこと。自分の見解、考えをまとめておくこと。</p> <p>(68) 93 頁</p> <p>(69) 113 頁 1 行目～17 行目</p> <p>(70) 76 頁 9 行目～78 頁 8 行目</p> <p>(71) 76 頁 9 行目～78 頁 8 行目</p> <p>(72) 126 頁 1 行目～127 頁 9 行目</p> <p>(73) 127 頁 10 行目～128 頁 7 行目</p> <p>(74) 225 頁 1 行目～226 頁 8 行目</p> <p>(75) 226 頁 9 行目～227 頁 1 行目</p> <p>(76) 78 頁 9 行目～79 頁 7 行目</p> <p>(77) 79 頁 8 行目～80 頁 7 行目</p> <p>(78) 80 頁 8 行目～81 頁 15 行目</p> <p>(79) 81 頁 16 行目～82 頁 7 行目</p> <p>(80) 227 頁 2 行目～228 頁 3 行目</p>
ZOOM 授業 6 回目	授業内容	<p>(81) 228 頁 4 行目～230 頁 3 行目、ベンサムとミルの功利主義について</p> <p>(82) 84 頁 9 行目～85 頁 8 行目、ショーペンハウアーにおける「意志」について</p>

		<p>(83) 233 頁 6 行目～234 頁 8 行目、ショーペンハウアーのペシミズムについて</p> <p>(84) 231 頁 7 行目～233 頁 5 行目、キルケゴールの実存と絶望について</p> <p>(85) 85 頁 9 行目～86 頁 11 行目、ニーチェの「力への意志」について</p> <p>(86) 234 頁 9 行目～236 頁 5 行目、ニーチェの能動的ニヒリズムについて</p> <p>(87) 128 頁 8 行目～130 頁 4 行目、現象学の成立と展開について</p> <p>(88) 86 頁 12 行目～88 頁 11 行目、フッサールと現象学的世界像について</p> <p>(89) 88 頁 12 行目～90 頁 11 行目、ハイデガーの「基礎的存在論」について</p> <p>(90) 245 頁 1 行目～246 頁 2 行目、ハイデガーの「死へとかわる存在」としての人間について</p> <p>(91) 90 頁 12 行目～92 頁最終行、ヤスパースの「包越存在論」について</p> <p>(92) 246 頁 3 行目～248 頁 1 行目、ヤスパースの「限界状況」に臨む人間について</p> <p>(93) 248 頁 2 行目～249 頁 3 行目、サルトルの実存と自由について</p>
	事前学修	<p>事前学修として、授業内容に合わせて、メモや図を書きながら読んでおくこと。</p> <p>(81) 228 頁 4 行目～230 頁 3 行目</p> <p>(82) 84 頁 9 行目～85 頁 8 行目</p> <p>(83) 233 頁 6 行目～234 頁 8 行目</p> <p>(84) 231 頁 7 行目～233 頁 5 行目</p> <p>(85) 85 頁 9 行目～86 頁 11 行目</p> <p>(86) 234 頁 9 行目～236 頁 5 行目</p> <p>(87) 128 頁 8 行目～130 頁 4 行目</p> <p>(88) 86 頁 12 行目～88 頁 11 行目</p> <p>(89) 88 頁 12 行目～90 頁 11 行目</p> <p>(90) 245 頁 1 行目～246 頁 2 行目</p> <p>(91) 90 頁 12 行目～92 頁最終行</p> <p>(92) 246 頁 3 行目～248 頁 1 行目</p> <p>(93) 248 頁 2 行目～249 頁 3 行目</p>
	事後学修	<p>事後学修として、授業内容に合わせて、内容を整理しておくこと。自分の見解、考えをまとめておくこと。</p> <p>(81) 228 頁 4 行目～230 頁 3 行目</p>

		(82) 84 頁 9 行目～85 頁 8 行目 (83) 233 頁 6 行目～234 頁 8 行目 (84) 231 頁 7 行目～233 頁 5 行目 (85) 85 頁 9 行目～86 頁 11 行目 (86) 234 頁 9 行目～236 頁 5 行目 (87) 128 頁 8 行目～130 頁 4 行目 (88) 86 頁 12 行目～88 頁 11 行目 (89) 88 頁 12 行目～90 頁 11 行目 (90) 245 頁 1 行目～246 頁 2 行目 (91) 90 頁 12 行目～92 頁最終行 (92) 246 頁 3 行目～248 頁 1 行目 (93) 248 頁 2 行目～249 頁 3 行目
--	--	--

◆授業概要

刑法各則に規定されている個別の犯罪規定につき、実際の具体的な事実に対して、どのような解釈に基づいて適用されるのかを中心に検討することにより、各規定の趣旨・目的やその規範的意義を理解しつつ、適正で合理的な刑罰法規の適用を学ぶ授業である。

◆学修到達目標

刑法典が定めている主要で基本的な犯罪規定について、その規制目的を知り、実際の具体的な事件への適用例を学び検討することにより、刑法における実際の解釈・適用について適切に説明することができ、また問題点についても理解し、指摘できるようになる。

◆授業方法**・オンデマンド**

授業動画を視聴して、テキストも参照しながら、当該テーマに関する課題に取り組み、レポートとして提出する。課題について解説するとともに、提出されたレポートについて個別にフィードバックする。

・対面授業

スライドを利用しながら、テキストと併せて授業を進める。事前に裁判例の要約等の課題が求められるので、レポートとしてまとめて提出する。授業時に解説するとともに、提出されたレポートについては個別にコメントを付す。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

成績判定の資料は、①レポート、②リアクションペーパーである。レポートの提出は5回求められる。リアクションペーパーは、対面授業時に確認テストを兼ねて提出を求める（5回）。レポート、リアクションペーパーそれぞれ50%の割合で成績に反映する。

◆教科書

市販本 『刑法各論 判例50』 十河太郎ほか著 有斐閣 2017年

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

メールアドレス： ueno.yukihiko@nihon-u.ac.jp

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	①ガイダンス：刑法Ⅱの学修範囲、授業の概要およびテーマ、履修上の注意 ②国家的法益（１）：内乱罪・外患罪 ③国家的法益（２）：公務執行妨害罪 ④国家的法益（３）：職権濫用罪 ⑤国家的法益（４）：賄賂の罪
	事前学修	指示にしたがって予習を行うこと、とくに聖書特有の地名、人名などの発音、その概要などを調べること
	事後学修	授業の学修をふまえて、聖書の用語や人物、挿話などについての理解を深めていくこと
対面授業 1回目	授業内容	②～⑤につき、教科書の第6章を事前に読んでおく。
	事前学修	「公務」を保護する公務執行妨害罪と、公務員による犯罪としての職権濫用罪・収賄罪のポイントについて復習し、重要な判例の見解を確認する。
	事後学修	生命・身体に対する罪： 殺人罪と自殺関与罪との区別、暴行の意義、同時傷害の特例に関連する判例を取り上げ、ポイントについて説明する。
対面授業 2回目	授業内容	教科書の第1章を事前に読んでおく。
	事前学修	教科書第3講（とくに56頁以下）を参考にしながら、最高裁判所昭和33年11月21日判決の事案について、①事実関係、②争点、③裁判所の判断を要約したうえ、④論評し、レポート1として次回授業時に提出する。
	事後学修	自由・名誉に対する保護： 偽計による監禁、親権者による未成年者の略取、強制わいせつにおける性的意図などの問題に関する判例を取り上げ、論点を整理しながら説明する。
対面授業 3回目	授業内容	教科書の第2章を事前に読んでおく。
	事前学修	強制性交等罪における暴行脅迫の要件に関し、その要否に関する議論について調べ、各自の意見をまとめて、次回授業時にレポート2として提出する。
	事後学修	財産に対する罪（１）： 窃盗罪、強盗罪をめぐる重要な裁判例を取り上げて、論点を整理しながら検討する。

◆授業計画

対面授業 4回目	授業内容	財産に対する罪（2）：詐欺罪・恐喝罪、横領罪・背任罪等に関する裁判例を取り上げて、論点を整理しながら検討する。
	事前学修	教科書の第3章3・4を事前に読んでおく。
	事後学修	最高裁平成26年4月7日決定の事案を要約し、最高裁の判断をまとめ たうえ、なぜそのような判断に至ったのか、各自検討し、レポート4 として次回授業時に提出する。
対面授業 5回目	授業内容	公共の安全に対する罪： 放火罪を中心とする裁判例を対象に、既遂時期、現住性等の論点につ いて検討する。
	事前学修	教科書の第4章を事前に読んでおく。
	事後学修	最高裁平成9年10月21日決定について、事案の概要をまとめ、最高 裁の判断を示したうえで論評し、レポート5として次回授業時に提出 する。
対面授業 6回目	授業内容	公共の信用に対する罪： 文書偽造罪に関する裁判例を対象に、論点を整理しながら検討する。
	事前学修	教科書の第5章を事前に読んでおく。
	事後学修	最高裁昭和56年4月8日決定について、事案の概要をまとめ、最高裁 の判断を示したうえで論評する。

◆授業概要

本講座では、英語学がどのような研究分野であるのかを学び、その上で、言語研究を行う上で必要な知識ならびにアプローチ方法がどのようなものがあるのかを学修する。扱う領域は、英語の文構造、音の構造（音韻論）、語の構造（形態論）、統語構造（統語論）、語や文の意味（意味論）、会話で生じる含意（語用論）、国際共通語と呼ばれるようになった英語の歴史的変遷、そして、近年の英語学研究の動向など多岐に渡る。

最初の数回は、高等学校までに学修した英文法の知識を基に、「英語」（英語の習得）と「英語学」（英語の研究）の違いについて学ぶ。その後、音韻についての講義では、日本語との違いに着目しながら、英語の音韻について学ぶ。語形成についての講義では、語を成り立たせている要素（形態素）に注目し、各形態素がどのような規則に基づき語を形成しているのかを学ぶ。統語構造について講義では、生成文法と機能的統語論の基礎を学ぶ。意味について講義では、語や文の多義性、形容詞や副詞の意味の考察に始まり、認知意味論の基礎を学ぶ。語用論についての講義では会話の含意が生じる仕組みについて考える。英語の歴史的変遷についての講義では、英語がどのように生じ、変化し、今日の国際共通語としての地位を確立するに至ったのかを、実例を通して学んでいく。

なお、本講座では受講者の関心など必要に応じて取り上げる題材・項目に調整を行う。

◆学修到達目標

中学校及び高等学校における外国語科の授業に資する、英語学的知見を身に付ける。具体的には、英語の音韻、形態、統語、意味、語用、そして、歴史的変遷及び国際共通語としての英語についての基礎的知識を修得することを目標とする。これら広範囲に渡る内容を、特に日本語と比較しながら学ぶことで、両言語にみられる様々な言語現象の不思議とそこに秘められたことばの面白さを感じてもらいたい。

◆授業方法**・オンデマンド**

授業動画は内容に沿って分割し、番号を付している。まずは全体を順に視聴すること。一度の視聴では理解が難しかった内容の動画は重点的に正しく理解して視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。授業用資料の配布、課題の提示などは Google Classroom を使用する。

・対面授業

講義形式で進めますが、質疑応答を通じて受講生の積極的な発言を求めます。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

毎回出席することを前提として、質疑応答や意見表明などの授業に対する取り組み（50%）と授業終了後に提出のレポート（50%）により総合的に評価します。

◆教科書

資料配布 (Classroom) 資料は Google Classroom 経由で配布します。

通材 『英語学概説 N30700』 通信教育教材 (教材コード 000567)

◆参考書

『ファンダメンタル英語学 改訂版』 中島 平三著 ひつじ書房 2011 年

『探検!ことばの世界』 大津 由紀雄著 ひつじ書房 2004 年

『ことばに魅せられて 対話編』 大津 由紀雄著 ひつじ書房 2008 年

◆授業相談先 (連絡先)

Classroom 上で行う。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	英語学とはなにか 母語と外国語 英語の構造：品詞とその働き (語彙範疇を中心に) 英語の構造：品詞とその働き (機能範疇を中心に)
	事前学修	教科書や参考書を読んでおくこと。また、アップロードされた PDF 資料に目を通し、動画視聴の準備とすること。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
対面授業 1 回目	授業内容	英語音韻論入門 (1)：閉音節言語と開音節言語、音節中心言語とモーラ中心言語 英語音韻論入門 (2)：音素と異音、強弱アクセントと高低アクセント 英語形態論入門：語形成のメカニズム、複合語と派生語、接辞
	事前学修	教科書や参考書を読んでおくこと。また、アップロードされた PDF 資料に目を通し、授業内容を予め把握しておくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
対面授業 2 回目	授業内容	英語統語論入門 (1)：言語の階層構造、深層構造と表層構造 英語統語論入門 (2)：省略現象と視点現象を機能的に考える
	事前学修	教科書や参考書を読んでおくこと。また、アップロードされた PDF 資料に目を通し、授業内容を予め把握しておくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。

◆授業計画

対面授業 3回目	授業内容	英語意味論入門 (1) : 多義性、形容詞の意味 英語意味論入門 (2) : 副詞の意味、認知意味論について
	事前学修	教科書や参考書を読んでおくこと。また、アップロードされた PDF 資料に目を通し、授業内容を予め把握しておくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
対面授業 4回目	授業内容	英語語用論入門 (1) : 文脈における言語の使用について、グライスの会話の公理英語語用論入門 (2) : 推論の原理、間接的発話行為
	事前学修	教科書や参考書を読んでおくこと。また、アップロードされた PDF 資料に目を通し、授業内容を予め把握しておくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
対面授業 5回目	授業内容	英語の歴史的変遷 (1) : 通時的研究の大切さ、冠詞の発達について 英語の歴史的変遷 (2) : English as a Lingua franca
	事前学修	教科書や参考書を読んでおくこと。また、アップロードされた PDF 資料に目を通し、授業内容を予め把握しておくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。
対面授業 6回目	授業内容	英語学研究の新たな可能性 : 言語獲得理論、コーパス言語学
	事前学修	教科書や参考書を読んでおくこと。また、アップロードされた PDF 資料に目を通し、授業内容を予め把握しておくこと。
	事後学修	授業で扱われた内容をノート等にまとめ知識の定着を図るとともに、疑問点など質問事項あればまとめておくこと。

◆授業概要

宗教学の視点で宗教を観察する力を養うため、宗教学と宗教の違いをまず学習する。その上で、我々の文化にも影響を与え宗教思想・教義の前提ともなり得る世界各地の神話を学ぶ。神話を学ぶことで世界各地の宗教的世界観を学習する。

◆学修到達目標

宗教学の基礎的な知識を学ぶことで、宗教現象を学術的な視点で観察できるようになる。

世界の神話を通して世界各地の宗教的世界観を知り、宗教的世界観を通して宗教現象を考察する力を養う。

◆授業方法**・オンデマンド**

宗教学と神話学の基本的な考え方・基本事項を授業動画を視聴することで学習し、課題を提出すること。

・対面授業

オンデマンド教材を視聴したこととテキストの該当範囲を熟読していることを前提に、世界各地の神話を紹介する。そして宗教学・神話学の視点から解説する。また、各回に簡単な課題を出題し、その課題に対するコメントを授業の最初に行い、同じ現象を観察しても、感じ方・考え方が人によって異なることを学んでもらう。ただし、授業の進度によってはあまりコメントできない場合がある。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

オンデマンド教材で出題される課題を提出すること（全体の20%）。対面授業で出題される課題を提出すること（30%）。対面授業最終日に出題されるレポート試験を提出すること（全体の50%）。オンデマンド授業と対面授業において総合的に評価する。すべての授業に出席していることを前提として評価する。また、対面授業6回中3回以上欠席の者は成績評価対象外とする。

◆教科書

市販本 『世界の神話』 沖田瑞穂 岩波書店 2019年

◆参考書

通材 『宗教学概論 0523』 通信教育教材（教材コード000139）

◆授業相談先（連絡先）

masairo18@yahoo.co.jp

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	宗教と宗教学の違い。宗教学の基本的な考え方。 宗教学の歴史概説。神話学の位置づけ。 宗教の構成要素。 比較神話学の視点と神話の類型。
	事前学修	指示にしたがって予習を行うこと、とくに聖書特有の地名、人名などの発音、その概要などを調べること
	事後学修	授業の学修をふまえて、聖書の用語や人物、挿話などについての理解を深めていくこと
対面授業 1回目	授業内容	参考書に指定した通信教材を熟読しておくことが望ましい。また、教科書の iii-iv ページの「はじめに」を読んでおくこと。2回目以降の動画を視聴する前に、前回の動画の内容をふり返っておくこと。
	事前学修	各動画の内容をふり返り、疑問に思ったことがあれば図書館等で調べ、まとめておくこと。
	事後学修	世界起源神話について。(インド・メソポタミア・パレスチナ・ギリシア・北欧・ニュージーランド・中南米・日本)
対面授業 2回目	授業内容	教科書 11-13, 38-41, 52, 60-63, 79-81, 131-132, 167-170, 188-189, 203-204, 217 ページを読み、自分なりに物語の要点をまとめておくこと。
	事前学修	授業内容を整理し、図書館等で疑問に思ったことを調べ、まとめておくこと。
	事後学修	人類起源神話について。(インド・メソポタミア・ギリシア・北欧を中心として)
対面授業 3回目	授業内容	教科書 40, 52-55, 86-87, 145 ページを読み、自分なりに物語の要点をまとめておくこと。
	事前学修	授業内容を整理し、図書館等で疑問に思ったことを調べ、まとめておくこと。
	事後学修	人類起源神話について。(インドネシア・中国・オセアニア・中南米・日本を中心として)

◆授業計画

対面授業 4回目	授業内容	宗教的世界観（他界観・来世観），異界訪問神話と洪水神話について。
	事前学修	教科書 41-43, 71-72, 86-87, 116-120, 177-179, 228-231 ページの異界などに関する神話と 4-6, 46-47, 56-58, 95, 143-144, 148-149, 201 ページの洪水神話を読み，自分なりに物語の要点をまとめておくこと。
	事後学修	授業内容を整理し，図書館等で疑問に思ったことを調べ，まとめておくこと。
対面授業 5回目	授業内容	トリックスターの神話について。
	事前学修	まず教科書 73-74 ページの内容をまとめ，その上で 71-75, 88-95, 183-186, 190-197, 208-210, 218-222 ページを読み，自分なりに物語の要点をまとめておくこと。
	事後学修	授業内容を整理し，図書館等で疑問に思ったことを調べ，まとめておくこと。
対面授業 6回目	授業内容	ゾロアスター教，バラモン教，仏教，ヒンドゥー教におけるアフラ及びアスラについて。これまでのまとめと解説。
	事前学修	教科書 9-13, 17-22, 32-36 ページを読み，内容を整理しておくこと。また，これまでの授業内容を振り返り復習・確認しておくこと。
	事後学修	授業内容を整理し，図書館等で疑問に思ったことを調べ，まとめておくこと。

◆授業概要

この授業では、プラトンの『ゴルギアス』を熟読します。オンデマンド授業では教員による動画と資料による説明が中心になりますが、対面授業では学生の発表、教員による補足説明、学生間での議論を通じて、この作品で語られている哲学者の生き方と弁論家の生き方の違いを明らかにしていきます。

◆学修到達目標

プラトンの『ゴルギアス』では、哲学者の生き方と弁論家の生き方が対比されていますが、この作品で語られている弁論家の生き方は、根本的には、多くの一般の人々の生き方と共通した人生観に基づいています。したがって、この作品では、一般の人々がよいと考える生き方よりも、哲学者の生き方の方が優れているということが語られているのです。この授業を通じて、その主張の内容を理解したいと思います。

◆授業方法**・オンデマンド**

教科書の第1章～第15章を動画と資料で説明します。学生の皆さんは毎回、教科書の指定範囲と資料を読んだ上で動画の授業を受講し、課題に教えてください。授業の内容を踏まえて課題の答えが提出されたら出席とみなします。

・対面授業

毎回、学生の皆さんに教科書の担当範囲の内容を説明してもらい、教員がその補足説明をして、作品の解釈について議論します。それらを踏まえて、授業後、オンラインで課題に答えてもらいます。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

平常点 35%（課題の提出）、発表 15%、理解度確認の試験（期末試験）50%で評価します。なお、対面授業をやむを得ず欠席する場合には必ず書面で（直接提出できない場合は、オンラインで）報告してください。

◆教科書

通材 通信教育部の「倫理学基礎講読」の教科書（＝中公クラシックス『プラトン「ソクラテスの弁明」ほか』）

◆参考書

プラトン『ゴルギアス』（岩波文庫）＊この本の「訳者注」が参考になります。

◆授業相談先（連絡先）

GoogleClassroom のコメント欄、または Gmail

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマンド	授業内容	第1回 教科書（序幕）第1章～第3章：弁論と問答について 第2回 教科書（第1部）第4章～第15章：弁論術とは何か（ゴルギアスの説明）。 第3回 教科書（第2部）第16章～第20章：弁論術とは何か（ソクラテスの説明）。 第4回 教科書（第2部）第21章～第29章：弁論術の力は何か。 第5回 教科書（第2部）第30章～第36章：幸福とは何か。 以上の授業は動画で配信します。
	事前学修	各回の教科書の範囲（上記の「授業内容」参照）と授業資料を読む。 授業資料は GoogleClassroom で配信します。
	事後学修	課題に答える。
対面授業 1回目	授業内容	教科書 第37章～第46章（p. 292～p. 331）：ピュシス（自然）とノモス（法）による議論による「自然の正義」について
	事前学修	教科書 第37章～第46章（p. 292～p. 331）と授業資料を読む。
	事後学修	課題に答える。
対面授業 2回目	授業内容	教科書 第47章～第54章（p. 331～p. 371）：快樂と善について
	事前学修	教科書 第47章～第54章（p. 331～p. 371）と授業資料を読む。
	事後学修	課題に答える。
対面授業 3回目	授業内容	教科書 第55章～第63章（p. 372～p. 405）：快樂をもたらす仕事と善をもたらす仕事について
	事前学修	教科書 第55章～第63章（p. 372～p. 405）と授業資料を読む。
	事後学修	課題に答える。
対面授業 4回目	授業内容	教科書 第64章～第78章（p. 405～p. 460）：どのように生きるかということについて
	事前学修	教科書 第64章～第78章（p. 405～p. 460）と授業資料を読む。
	事後学修	課題に答える。

◆授業計画

対面授業 5回目	授業内容	教科書 第79章～第83章 (p. 460～p. 477) : 死後のことについての話
	事前学修	教科書 第79章～第83章 (p. 460～p. 477) と授業資料を読む。
	事後学修	課題に答える。
対面授業 6回目	授業内容	授業全体のまとめと理解度確認の試験 (期末試験)
	事前学修	授業全体の復習
	事後学修	授業全体の理解の確認

◆授業概要

この講義では、日本経済における中小企業の位置づけ及び中小企業の特徴等につき学ぶ。日本の法人（及び個人事業）の99.7%は中小企業である。同時に、日本の法人の約97%は、所謂、同族企業、オーナー企業、ファミリー企業である。この日本の法人の太宗を占めるファミリー企業に焦点を当てて、本講義を進めていく。これら企業を理解することにより、中小企業/ファミリー企業への支援や地域経済の活性化の方策など多くを学修し、将来色々な仕事において有益な知識を修得するのが目的である。小職は銀行で実務を国内、海外に亘り、25年間経験している。今日の中小企業/ファミリー企業の抱える諸問題や将来の課題等も考察できるよう授業に反映させて行きたい。

◆学修到達目標

日本の中小企業について、日本経済における役割や位置づけを理解し、企業経営の問題・課題も熟知した上で具体的に説明することができる。また、中小企業の太宗を占めるファミリー企業についても同様に、日本経済における役割や位置づけを理解し、ファミリー企業の経営の特徴・課題につき、説明することができる。

◆授業方法**・オンデマンド**

ファミリー企業に焦点を当てた中小企業論の基本的な考え方・理論を教科書・参考書も活用して理解できるよう、講義方式により説明する。

・対面授業

オンデマンドと同様に、中小企業論の基本的な考え方・理論を教科書・参考書も活用して理解できるよう、講義方式により説明する。なお、アクティブ・ラーニング方式も一部採用する。

◆履修条件

令和3年度昼間スクーリング（前期）『中小企業論』（階戸）受講者は受講不可とする。

◆成績評価基準

講義で示される2つの課題は、必ず提出すること（40%）。対面授業の最後に最終課題（60%）を示し、講義の2つの課題と合わせて評価する。授業内での発言・発表も成績に加点される場合がある。毎回出席することを前提として評価する。

◆教科書

市販本『日本のファミリービジネス』ファミリービジネス学会編 階戸照雄他共著 中央経済社
2016年

市販本『中小企業白書』中小企業庁編 2020年度版（ネットで視聴可能）

◆参考書

市販本『ファミリーガバナンス』階戸照雄、加藤孝治編著 中央経済社 2020年

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	1. 中小企業を学ぶ意義（中小企業を中心としてのファミリー企業） 2. 日本経済・産業における中小企業/ファミリー企業の位置づけとその特徴 3. 日本は世界一のファミリービジネス大国 4. ファミリービジネスの理論 A) 3円モデル、 B) 3次元発展モデル C) パラレル・プランニング・プロセス D) エージェンシー理論、 E) 資源ベース理論
	事前学修	・上記の項目をシラバスに沿い、事前学修を行う。
	事後学修	・上記の項目をシラバスに沿い、事後学修を行う。特に、ファミリービジネスの理論については念入りに事後学修をする。講義中にとったノート等を利用し、知識の定着化を図る。
対面授業 1回目	授業内容	PPPモデル（パラレル・プランニング・プロセス・モデル）。PPPモデルにつき、小レポートを提出する。
	事前学修	参考書第4章を参照し、PPPモデルの内容を確認しておくこと。
	事後学修	小レポートの課題を通して、PPPモデルの内容につき理解する。
対面授業 2回目	授業内容	ファミリービジネスの経営戦略
	事前学修	教科書第4章を参照し、ファミリービジネスの経営戦略等につき確認しておくこと。
	事後学修	ファミリービジネスの経営戦略と本章の事例について理解する。
対面授業 3回目	授業内容	ファミリービジネスと地域活性化。小レポートを提出する。
	事前学修	教科書第8章を参照し、地域におけるファミリービジネスを確認しておくこと。
	事後学修	ファミリービジネスと地域活性化に関するビデオを視聴し、小レポートを作成する。
対面授業 4回目	授業内容	ファミリービジネスのガバナンス
	事前学修	教科書第7章、参考書第2章を参照し、ファミリービジネスのガバナンスの内容につき、確認すること。
	事後学修	ファミリービジネスのガバナンスの内容等につき理解する。

◆授業計画

対面授業 5回目	授業内容	ファミリービジネスの事業承継
	事前学修	教科書第6章のファミリービジネスの事業承継の内容につき、確認すること。
	事後学修	ファミリービジネスの事業承継の内容につき理解する。
対面授業 6回目	授業内容	まとめ（期末レポート）
	事前学修	学修した内容につき全て復習しておくこと。
	事後学修	最終課題で分からなかったことを調べておくこと。

◆授業概要

発達の原理を説明したうえで、乳幼児期から青年期にかけての運動・認知能力の発達、社会性の獲得や人格形成にかかわる代表的理論や諸問題を取り上げる。また、基本的な学習理論を紹介し、前述の心身発達に関する知見と絡めて様々な学習方法、教授法を概説する。

◆学修到達目標

教育に関わる発達と学習の諸問題に関する知識を獲得し、それらを有機的に関連づけて説明できるようになる。また、そうした知識を幼児、児童、生徒の学習を支援するために活用できるようになる。

◆授業方法

Google Classroom を通して授業動画を配信する。また授業内容の理解度を確認する問題を Classroom にて出題する。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

毎回の理解度確認の得点（50%）と試験の得点（50%）から成績評価を行う。

◆教科書

通材 『教職ベーシック 発達・学習の心理学』 柏崎秀子（編著） 北樹出版（教材コード 000593）

◆参考書

市販本 『発達と学習（現代の認知心理学 5）』 市川 伸一（編著） 北大路書房

◆授業相談先（連絡先）

nomura.kouji2020@nihon-u.ac.jp

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	<p>発達概念の変遷、また発達における遺伝と環境の問題について解説する。</p> <p>発達を規定する基本原理について解説する。</p> <p>ピアジェ、ヴィゴツキー、ブルーナなどによる認知発達理論を解説する。</p> <p>人格発達に関する発達理論をエリクソンの理論を中心に解説する。</p> <p>乳児期～幼児期における心身の発達について解説する。</p>
	事前学修	テキストならびに配信資料の該当箇所に目を通しておくこと。
	事後学修	<p>授業内容をノートに整理するなどし、テキストや配信資料の関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。</p> <p>また、理解度確認問題に解答し、理解が不十分な箇所の知識を補うこと。</p>
オンデマ ンド授業 1回目	授業内容	児童期～青年期における心身の発達について解説する。
	事前学修	テキストならびに配信資料の該当箇所に目を通しておくこと。
	事後学修	<p>授業内容をノートに整理するなどし、テキストや配信資料の関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。</p> <p>また、理解度確認問題に解答し、理解が不十分な箇所の知識を補うこと。</p>
オンデマ ンド授業 2回目	授業内容	学習の定義を示したうえで、連合理論に基づく学習理論（古典的条件づけや道具手条件づけなど）を解説する。
	事前学修	テキストならびに配信資料の該当箇所に目を通しておくこと。
	事後学修	<p>授業内容をノートに整理するなどし、テキストや配信資料の関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。</p> <p>また、理解度確認問題に解答し、理解が不十分な箇所の知識を補うこと。</p>
オンデマ ンド授業 3回目	授業内容	洞察説やサイン・ゲシュタルト説など認知理論に基づく学習理論を解説する。また社会的学習についても説明する。
	事前学修	テキストならびに配信資料の該当箇所に目を通しておくこと。
	事後学修	<p>授業内容をノートに整理するなどし、テキストや配信資料の関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。</p> <p>また、理解度確認問題に解答し、理解が不十分な箇所の知識を補うこと。</p>
オンデマ ンド授業	授業内容	学習と成果に影響を及ぼす諸要因（動機づけ、認知機能、知能、性格など）について解説する。

4回目	事前学修	テキストならびに配信資料の該当箇所に目を通しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理するなどし、テキストや配信資料の関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。 また、理解度確認問題に解答し、理解が不十分な箇所の知識を補うこと。
オンデマ ンド授業 5回目	授業内容	様々な教授法（学習者主体の教授法と教授者主導の教授法について）解説する。 また、学習者主体の教授法を支える指導・学習スタイルなども取り上げる。
	事前学修	テキストならびに配信資料の該当箇所に目を通しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理するなどし、テキストや配信資料の関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。 また、理解度確認問題に解答し、理解が不十分な箇所の知識を補うこと。
オンデマ ンド授業 6回目	授業内容	理障害児特別支援や発達障害について解説する。 また解度の確認として試験を行う。
	事前学修	テキストならびに配信資料の該当箇所に目を通しておくこと。
	事後学修	授業内容をノートに整理するなどし、テキストや配信資料の関連箇所と授業内容とを対応づけて理解すること。 また、理解度確認問題に解答し、理解が不十分な箇所の知識を補うこと。

◆授業概要

基本的な文法の理解をもとにして、内容を理解しながら和訳を行う。テキストは初級レベルで、日本人の大学生がヨーロッパで経験したことが書かれているので興味が持てると思う。授業では並行して発音の練習を行う。

◆学修到達目標

基本的な文法から始め、その知識に基づいて平易な英文が読めるようになる。それができたらさらに具体的な文法事項を理解し、やや難しい英文が読めるようになることを目標とする。同時に発音の仕方を覚える。

◆授業方法**・オンデマンド**

最初の2日間のオンデマンド授業では、動画で文法の説明をし、テキストを訳していく。課題が出されるので期日までに提出すること。

・対面授業

最初に文法の説明を行い、教科書を訳していく。アトランダムに指名して訳してもらうので、必ず予習したうえで出席すること。2回予習していないと不可にする。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

皆出席と予習することを前提に2回の小テストの結果で成績を付ける。

◆教科書

市販本 「ジローのヨーロッパ旅行」(金星堂)

◆参考書

なし

◆授業相談先(連絡先)

Classroom 上にて行う。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	動画 1回目 ガイダンス、品詞の説明 2回目 五文型の説明と教科書の訳 3回目 五文型の続きと教科書の訳 4回目 不定詞の説明と教科書の訳 5回目 五文型の復習と教科書の訳 classroom に課題を提出する。
	事前学修	・上記の項目をシラバスに沿い、事前学修を行う。
	事後学修	・上記の項目をシラバスに沿い、事後学修を行う。特に、ファミリービジネスの理論については念入りに事後学修をする。講義中にとったノート等を利用し、知識の定着化を図る。
対面授業 1回目	授業内容	文法は関係代名詞の説明。教科書は Unit 2 の訳。発音記号の説明も行う。
	事前学修	Unit 2 Introductory Reading と Culture Reading を訳しておく。
	事後学修	文法内容の復習と訳の訂正
対面授業 2回目	授業内容	文法は現在分詞の説明。教科書は Unit 3 の訳。発音練習をする。
	事前学修	教科書の指定された箇所を訳しておく。
	事後学修	文法内容の復習と訳の訂正
対面授業 3回目	授業内容	文法は過去分詞の説明。教科書は Unit 4 の訳。小テストを行う。
	事前学修	教科書の指定された箇所の訳と試験勉強
	事後学修	文法の復習とテストで間違っていたところを理解する。
対面授業 4回目	授業内容	文法は仮定法の説明。教科書は Unit 5 の訳。発音練習も行う。
	事前学修	教科書の指定された箇所の訳と試験勉強
	事後学修	自宅でも発音の練習をする。
対面授業 5回目	授業内容	文法は that 節と関係代名詞の説明。教科書は Unit 6 の訳。
	事前学修	教科書の指定された箇所の訳と試験勉強
	事後学修	文法の復習と訳の訂正
対面授業 6回目	授業内容	教科書の Unit 7 と小テスト
	事前学修	試験勉強
	事後学修	試験で間違っていた箇所を復習する。

◆授業概要

本講座では、近世文学における表現に着目して進めて行く。古典文学の中でも多くのジャンルを持つ近世文学の表現を、川柳や戯作などの作品を通して、その多様性に迫る。

◆学修到達目標

- ①近世文学史について、説明出来る。
- ②言語遊戯の流れを説明出来る。
- ③近世文学における百人一首受容について説明出来る。
- ④川柳の多様性、面白さを説明出来る。

◆授業方法

本年度はオンデマンド講義で行います。動画を視聴した上で、課題をこなして頂こうと思います。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

最終レポート(60%)各回の課題(40%)

◆教科書

資料配布(Classroom)

◆参考書

なし

◆授業相談先(連絡先)

追ってアドレス等をお知らせします。遠慮なく何でも聴いてください。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

1 日目	授業内容	前半はガイダンスと、言語遊戯について概観し、後半は和歌のレトリックについて講義する。
	事前学修	我が国の言語遊戯について調べておく。
	事後学修	課題に取り組む。
2 日目	授業内容	前半は前回の課題について解説し、なぞについて講義する。後半は連歌について講義する。
	事前学修	今回の「なぞ」「連歌」について概観しておく。
	事後学修	提示された課題に取り組む。
3 日目	授業内容	前句付と川柳の誕生について概観し、その成立過程や首都江戸での作品について講義する。
	事前学修	川柳について調べておく。また、江戸中期以降(1700年以降)の文学史を把握しておく。
	事後学修	提示された課題に取り組み、「川柳」というジャンルについて講義を振り返る。
4 日目	授業内容	具体的に川柳について作品を解説していく。前半は日常句、後半は詠史句について講義する。
	事前学修	柄井川柳について調べておく。
	事後学修	課題として挙げられた川柳についてレポートにまとめる。
5 日目	授業内容	前半は課題句について講義する。また、後半は、川柳に詠まれた習俗、芸能について講義する。
	事前学修	江戸時代の芸能について大雑把で構わないので調べておく。(特に歌舞伎)
	事後学修	課題として挙げられた川柳についてレポートを作成する。
6 日目	授業内容	前半は課題句について講義する。後半は百人一首を詠んだ句について講義し、江戸における百人一首受容について考える。
	事前学修	事前配布資料に目を通しておく。また、百人一首について、その成り立ちや展開について、調べておく。
	事後学修	課題に挙げられた川柳についてレポートを作成する。
7 日目	授業内容	前半は課題の川柳について講義し、川柳以外の百人一首のパロディ作品について講義する。後半も引き続き、百人一首のパロディ作品について講義し、百人一首戯作について概説する。
	事前学修	事前配布資料に目を通しておく。また、近世文学におけるパロディについて、調べておく。
	事後学修	課題に取り組む。

8 日目	授業内容	百人一首戯作を鑑賞し、落語との関わりなどについて、講義し、全体を総括する。
	事前学修	事前配布資料に目を通しておく。
	事後学修	最終レポートを作成する。

◆授業概要

聖書各書を概観し、部分的に講読します。おもに The Authorized Version (1611) と The Revised English Bible (1989) を使用、適宜ほかの版や事典なども紹介。様々な形式で複雑に記述された、長大で深遠な聖書の世界に親しみながら、その思想に触れていく、その経験が文化作品の鑑賞や文学・語学研究といった折々の場面で活かされることもあるでしょう。

◆学修到達目標

1. 聖書本文、とくに聖書特有の人物名や地名を正確に音読できる。
2. 聖書本文を精読・読解し、人物や出来事や論点を説明できる。
3. 聖書の成りたちや構成や版を把握し、また、用語や人物などについて、必要に応じて図書館やインターネットでリサーチできる。
4. 欧米の文化作品にみられる、聖書やキリスト教に由来する表現を指摘、考察できる。

◆授業方法**・オンデマンド**

ビデオ教材を試聴しながら手際よくメモをとり、学んだことや気づいたこと、疑問や質問などをノートにまとめましょう。各ビデオ教材の学修項目をふまえて、各回ごとに課されるレポート課題やリサーチ課題に挑んでください。オンデマンド学修が対面授業のための事前学修となっている方式をふまえて、学習到達目標にむかって学修していけるように、きちんと地歩を踏み固めておきましょう。

・対面授業

みなさんの事前学修の成果を確認するかたちで進めます。発表の順番がたくさん回ってきますから、しっかりと予習すること。音読や発表課題はもちろん、ペアワークやグループワーク、スキットやディスカッションなどのアクティビティにも積極的に取り組んでください。事後学修では、授業で芽生えた各自の興味や疑問を掘りさげていくことで、聖書の思想やキリスト教の成りたちに対する理解がさらに深まることでしょう。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

出席課題 (15%)、アクティビティ (15%)、提出課題 (20%)、試験 (50%) を総合的に評価します。

◆教科書

資料配布 (Classroom) 配布資料

◆参考書

『聖書：新共同訳』日本聖書協会〔種類・版型などは問いません〕

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	1. 旧約聖書および新約聖書の成立と英語聖書の歴史 2. 旧約聖書 Genesis、天地創造からノアの物語までを読む 3. 新約聖書 Gospels、イエス誕生から弟子たちとの出会いまでを読む 4. 聖書と英文学作品との関連、Shakespeare や Milton を一例に
	事前学修	指示にしたがって予習を行うこと、とくに聖書特有の地名、人名などの発音、その概要などを調べること
	事後学修	授業の学修をふまえて、聖書の用語や人物、挿話などについての理解を深めていくこと
対面授業 1回目	授業内容	・旧約聖書 Genesis 第11章27節から第17章 Abraham の講読、ディスカッションなど ・新約聖書 Matthew 第6章9節 The Lord's prayer から第7章14節 The narrow gate までの講読、ディスカッションなど
	事前学修	配布資料をもちいて予習を行うこと、とくに聖書特有の地名、人名などの発音、その概要などを調べること
	事後学修	授業の学修をふまえて、聖書の用語や人物、挿話などについての理解を深めていくこと
対面授業 2回目	授業内容	・旧約聖書 Genesis 第18章20-33節 Sodom and Gomorrah の講読、ディスカッションなど ・新約聖書 Matthew 第8章18節 Teaching about discipleship から第13章 The parable of the sower までの講読、ディスカッションなど
	事前学修	配布資料をもちいて予習を行うこと、とくに聖書特有の地名、人名などの発音、その概要などを調べること
	事後学修	授業の学修をふまえて、聖書の用語や人物、挿話などについての理解を深めていくこと

◆授業計画

対面授業 3回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・旧約聖書 Genesis 第22-24章 Isaac の講読、ディスカッションなど ・新約聖書 Matthew 第14章 The death of John the Baptist の講読、ディスカッションなど
	事前学修	配布資料をもちいて予習を行うこと、とくに聖書特有の地名、人名などの発音、その概要などを調べること
	事後学修	授業の学修をふまえて、聖書の用語や人物、挿話などについての理解を深めていくこと
対面授業 4回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・旧約聖書 Genesis 第27-28章 Jacob の講読、ディスカッションなど ・新約聖書 Matthew 第16章 Peter rebuked から第18章 The parable of the lost sheep までの講読、ディスカッションなど
	事前学修	配布資料をもちいて予習を行うこと、とくに聖書特有の地名、人名などの発音、その概要などを調べること
	事後学修	授業の学修をふまえて、聖書の用語や人物、挿話などについての理解を深めていくこと
対面授業 5回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・旧約聖書 Genesis 第37-50章 Joseph の講読、ディスカッションなど ・新約聖書 Luke 第10章25-42節 The parable of the good Samaritan から Martha and Mary までの講読、ディスカッションなど
	事前学修	配布資料をもちいて予習を行うこと、とくに聖書特有の地名、人名などの発音、その概要などを調べること
	事後学修	授業の学修をふまえて、聖書の用語や人物、挿話などについての理解を深めていくこと
対面授業 6回目	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ミルトン『楽園の喪失』の講読、ディスカッション、これまでの学修のふりかえり ・試験とそのふりかえり
	事前学修	配布資料をもちいて予習を行い、試験にむけて復習をすること
	事後学修	これまでの学修とむきあい、そのふりかえりをおこなうこと

◆授業概要

ワインやビールなどの酒は、古来より嗜好品、交易品、御神酒などとして人びとの生活に密接に関わってきました。酒について掘り下げることで、その背景にある都市や社会を捉えることができます。本授業では身近な酒を切り口にして多様な社会を考古学的に考察していきます。講師の海外（シリア、エジプト、トルコ、イラク）における考古学調査の経験をもとに、発掘調査の具体的な様子や国際文化交流を授業に反映していきます。

◆学修到達目標

本授業では、現代文明の起点となるメソポタミアをはじめとして、エジプト、インダス、ギリシア、ローマなどの古代都市社会における酒に注目しながら、それぞれの古代社会の基本的な知識を身に付けるとともに、酒の生産・流通・消費などについて詳しく理解することを目標とします。そして、それぞれの酒や都市を比較考察しながら、当該社会を複眼的に理解していくことを目標としています。

◆授業方法**・オンデマンド**

ガイダンスにて各自の発表日時・テーマを調整します。講師が専門としている古代メソポタミアの都市やワイン・ビールについて概説し、ディスカッションします。参考文献の収集・引用方法などについても解説します。

・対面授業

各発表者が興味のある古代の酒について20～30分程度発表した後、全員でディスカッションします。対象地域・時代は限定しません。最終日、発表内容の補足や課題等について各自が追加発表し、ディスカッションします。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

発表（50%）、ディスカッション（40%）、平常点（10%）

◆教科書

資料配布（Classroom） オンデマンド授業ではClassroomにて事前に資料を配布し、対面授業でもなるべくClassroomを活用する予定。

◆参考書

- 『中国の考古学』小澤正人ほか 同成社 1999
 『都市の起源-古代の先進地域=西アジアを掘る』小泉龍人 講談社 2016
 『インダスの考古学』近藤英夫 同成社 2011
 『古代エジプト文明の形成』高宮いづみ 京都大学学術出版会 2006
 『古代ギリシア史における帝国と都市』中井義明 ミネルヴァ書房 2005

◆授業相談先（連絡先）

メール koizumi.tatsundo@nihon-u.ac.jp

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	1. 授業の進め方・ガイダンス、各自の発表日・テーマ調整 2. 講師による「メソポタミアの都市」概説 3. 都市についてのディスカッション、参考文献の収集・引用方法の解説 4. 講師による「メソポタミアのワイン・ビール」概説 5. ワイン・ビールについてのディスカッション
	事前学修	地図等を使って、メソポタミアの地理的位置・基本事項（主要な遺跡など）を確認しておくこと。
	事後学修	配布資料を読み返して、講師による概説の内容を整理し、確認しておくこと。
対面授業 1回目	授業内容	受講者による発表・ディスカッション（メソポタミア、エジプトなど1）
	事前学修	発表内容のおおまかな時代・地域・基本事項について調べておくこと。
	事後学修	配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
対面授業 2回目	授業内容	受講者による発表・ディスカッション（メソポタミア、エジプトなど2）
	事前学修	発表内容のおおまかな時代・地域・基本事項について調べておくこと。
	事後学修	配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
対面授業 3回目	授業内容	受講者による発表・ディスカッション（ギリシア、ローマなど）
	事前学修	発表内容のおおまかな時代・地域・基本事項について調べておくこと。
	事後学修	配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。

◆授業計画

対面授業 4回目	授業内容	受講者による発表・ディスカッション（中国、日本など）
	事前学修	発表内容のおおまかな時代・地域・基本事項について調べておくこと。
	事後学修	配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
対面授業 5回目	授業内容	受講者による発表・ディスカッション（全般）
	事前学修	発表内容のおおまかな時代・地域・基本事項について調べておくこと。
	事後学修	配布資料を読み返して、発表の内容を整理し、確認しておくこと。
対面授業 6回目	授業内容	各自の追加発表、総合ディスカッション・まとめ
	事前学修	最初の発表内容の補足、課題等について調べて、追加発表を準備しておくこと。
	事後学修	追加発表内容について振り返り、より考察を深める。

◆授業概要

物権法総論、占有権、所有権、用益物権（地上権、永小作権、地役権、入会権）、法定担保物権（留置権、先取特権）、約定担保物権（質権、抵当権）、非典型担保、のうち、法定担保物権から非典型担保までを学修する。

◆学修到達目標

民法学における物権法の位置づけ、物権と債権の異同、物権に関する主要な論点を理解する。併せて、授業概要の箇所で示した専門用語を、具体例を用いて説明できるようになる。

◆授業方法

講義形式（オンデマンドを含む）を採用する。社会情勢の変化、法改正、新判例の追加などにより、シラバス（授業計画）どおりに進まないこともあり得る。板書を多用し、ノートを作らせ、勉強の仕方を教えるので、ノートをしっかりと録取すること。

◆履修条件

根本の民法Ⅱ（前半）と、根本以外の民法Ⅱとの積み重ね可

◆成績評価基準

全回出席（オンデマンドを含む）を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度や質疑応答 20%。オンデマンドの場合は筆記試験等の評価 100%。

◆教科書

指定しない

◆参考書

通材民法Ⅱ（通信教育教材）

◆授業相談先（連絡先）

Classroomにて行う。

◆授業計画

オンデマ ンド 1回目・2 回目	授業内容	①GD、【担保物権法総論】担保制度、債権債務の履行確保の手段、担保の種類など ②担保物権の意義、典型担保と非典型担保、法定担保物権と約定担保物権など ③担保物権の通有性、附従性、随伴性、不可分性、物上代位性など ④【担保物権法各論】法定担保物権、留置権、その成立要件、債権と物との牽連性、消滅原因など
	事前学修	①民法Ⅱ（前半）最終授業の板書事項の再確認（履修していなかった学生は不要） ②-④その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	①その日のうちの板書事項の読み込み ②-④前回授業時の板書事項の再確認
オンデマ ンド授業 3回目	授業内容	先取特権、特定の債権に法律が当然に付けた担保物権、一般先取特権、動産先取特権、不動産先取特権など 約定担保物権、質権、その成立要件、対抗要件（引渡し）、流質契約の禁止など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
オンデマ ンド授業 4回目	授業内容	留置的効力、優先弁済的効力、転質など 抵当権、その成立要件、対抗要件（登記）、抵当権の効力が及ぶ目的物の範囲、付加一体物とは？ 附合物や従物との違い
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
オンデマ ンド授業 5回目	授業内容	抵当権者の果実収取権、抵当不動産の賃借人の地位など 物上代位、抵当不動産の第三取得者との関係、代価弁済、抵当権消滅請求など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
オンデマ ンド授業 6回目	授業内容	抵当権の処分、共同抵当、根抵当など 【非典型担保】物権法定主義との関係、取引「慣習法」上の担保物権、権利移転型と権利留保型、権利移転型としての譲渡担保など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認

オンデマ ンド授業 7回目	授業内容	動産譲渡担保、不動産譲渡担保、債権譲渡担保、集合物、集合 債権など 仮登記担保、停止条件付代物弁済契約、代物弁済予約など
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認
オンデマ ンド授業 8回目	授業内容	権利留保型としての所有権留保、所有権留保特約付売買契約、 民法Ⅱ（後半）全体の補遺とおさらいなど
	事前学修	その日のうちの板書事項の読み込み
	事後学修	前回授業時の板書事項の再確認

◆授業概要

本講義は、商法のうち会社法と呼ばれる部分を取り扱う。今回のスクーリングでは、他の科目担当者と調整の結果、会社法の後半部分について重点的に取り扱うこととしたい。とりわけ組織再編、キャッシュアウトといった複雑で、自習では勉強しづらい部分につき、最新判例、実務の動向を踏まえた講義をしていく。担当者自身が弁護士でもあるので、法律実務家としての知見をも反映させた講義とする。

◆学修到達目標

1. 組織再編、キャッシュアウトの概要について知り、説明することができる。
2. 組織再編、キャッシュアウトについての会社法の条文につき、六法を引くことができる。
3. 組織再編、キャッシュアウトについての裁判例の動向について知り、説明することができる。

◆授業方法**・オンデマンド**

オンデマンドの講義では、組織再編、キャッシュアウトの制度の概要について、少し丁寧に説明をしていく。

履修者は、指定教科書の該当部分を事前に予習した上、必ず講義を聞き、その後、復習をしてほしい。適宜課題を出し、理解状況について確認を行うこととしたい。

・対面授業

対面授業では、オンデマンドでの講義を前提に、組織再編、キャッシュアウトに関し、できるだけ最新の裁判例を基にした、ケーススタディを行っていきたい。制度の概要については、オンデマンドの講義で既に解説済みであることを前提としているので、必ずオンデマンド講義を聞いてから対面授業に臨んでほしい。対面授業では、ケースを基にして、理論的検討のみならず、当該具体的事案の解決、事案の筋といった実務的留意点についても踏み込んだ検討をすることにしたい。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

試験（70%）、平常評価（レポート・小テスト等の提出物）（30%）

講義動画を視聴することを前提とする。

◆教科書

市販本 松嶋隆弘＝大久保拓也編『商事法講義 I』（中央経済社、2020年）

六法を持参すること（令和元年会社法改正が反映されている最新版のものである必要がある。）

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	動画では、会社法のうち、講学上、組織再編、キャッシュアウトという分野につき、概括的に講義をする。具体的には、組織再編(合併、会社分割、株式交換、株式移転、株式交付)、事業譲渡、キャッシュアウト(全部条項付種類株式、特別支配株主の株式売渡請求等)といった分野である。当該分野は、令和元年会社法改正の影響を受けているので、同改正についても、適宜解説をする。
	事前学修	各回の教科書の範囲（上記の「授業内容」参照）と授業資料を読む。授業資料は GoogleClassroom で配信します。
	事後学修	課題に答える。
対面授業 1回目	授業内容	指定教科書の該当部分について、六法を引きつつ通読すること。
	事前学修	講義を基に、レジュメで復習をし、出された課題に解答し、提出すること。
	事後学修	合併(吸収合併、新設合併)の概要とその手続について、具体的事例をもとに検討する。
対面授業 2回目	授業内容	指定教科書の該当部分について、六法を引きつつ通読すること。また事前に指定された資料があれば、それを読んでおくこと
	事前学修	講義を基に、レジュメで復習をし、出された課題に解答し、提出すること。
	事後学修	株式交換、株式移転、株式交付の概要とその手続について、具体的事例をもとに検討する。
対面授業 3回目	授業内容	指定教科書の該当部分について、六法を引きつつ通読すること。また事前に指定された資料があれば、それを読んでおくこと
	事前学修	講義を基に、レジュメで復習をし、出された課題に解答し、提出すること。
	事後学修	会社分割(吸収分割、新設分割)の概要とその手続について、具体的事例をもとに検討する。

◆授業計画

対面授業 4回目	授業内容	指定教科書の該当部分について、六法を引きつつ通読すること。また事前に指定された資料があれば、それを読んでおくこと
	事前学修	講義を基に、レジюмеで復習をし、出された課題に解答し、提出すること。
	事後学修	事業譲渡等の概要とその手続について、具体的事例をもとに検討する。
対面授業 5回目	授業内容	キャッシュアウトの概要とその手続について、具体的事例をもとに検討する。特に価格決定について重点的に検討をしていきたい。
	事前学修	指定教科書の該当部分について、六法を引きつつ通読すること。また事前に指定された資料があれば、それを読んでおくこと
	事後学修	講義を基に、レジюмеで復習をし、出された課題に解答し、提出すること。
対面授業 6回目	授業内容	株式買取請求権の概要とその手続について、具体的事例をもとに検討する。特に価格決定について重点的に検討をしていきたい。
	事前学修	指定教科書の該当部分について、六法を引きつつ通読すること。また事前に指定された資料があれば、それを読んでおくこと
	事後学修	講義を基に、レジюмеで復習をし、出された課題に解答し、提出すること。

◆授業概要

大学での学習、社会生活の中では、文章を作成することが常に求められる。当然、そこでは用途に見合った文章作成の能力が必須のものとなる。したがって、本授業では、一文の構成を理解するところからスタートし、状況に応じた言語運用、そして論文作成に必要な構成に関する知識を身に着けるを目指す。また、本授業は教職課程の必修科目でもあることから、授業担当者の教育現場での実務経験を踏まえながら、授業を進めていくことにしたい。

◆学修到達目標

- ・一文の構成に関わる文法・語法などを理解し、適切な言語運用ができるようになる。
- ・文章作成にあたって必要となる事項を知り、正しく用いることができるようになる。
- ・文章全体の構成について知識を深め、説得力のある文章作成ができるようになる。

◆授業方法

- ・オンデマンド

40～50分程度の動画を各授業回ごとに配信する。受講者はそれを視聴した上で、自身でポイントをまとめておく。また、動画視聴後、設定された課題を提出する。

- ・オンラインまたはオンデマンド

講義形式で行う。オンデマンド授業での内容を前提として進めていくため、各自で学修内容をまとめておくこと。質問事項などについては、リアクションペーパーに記入の上、フィードバックを行っていく。なお、対面での実施が難しい場合は、上記オンデマンドでの方法で行う。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

動画の視聴状況・対面授業でのリアクションペーパー等を授業参画度とみなす（10%）。授業内課題が40%、学期末課題が50%の配分とする。

◆教科書

資料配布 (Classroom) 授業回ごとに、資料を配信する。

◆参考書

授業内で、適宜紹介する。

◆授業相談先（連絡先）

メールにて受け付ける。suzuki.masahiro53@nihon-u.ac.jp

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	文章作成にあたって、まずは、音声と文字とでその表現がどのように異なるのか、というところから始めていく。その後、大まかな文章の分類とそれに応じた適切な文章表現の概要について確認し、一文～複文レベルの文章を例としながら、文章表現上の必要となる知識を解説していく。
	事前学修	授業範囲箇所のテキストデータを事前に配信するので、熟読しておくこと。ポイントとなる点については、あらかじめ自身で調べておくこと。
	事後学修	授業内容についてノートを見返しながら理解を深めること。授業で扱った項目について、授業内容・課題以外で、実際の文章に触れること。
オンデマ ンド授業 1回目	授業内容	読者を意識した文章作成①：読者の期待を考える。
	事前学修	授業範囲箇所のテキストデータを事前に配信するので、熟読しておくこと。ポイントとなる点については、あらかじめ自身で調べておくこと。
	事後学修	授業内容についてノートを見返しながら理解を深めること。授業で扱った項目について、授業内容・課題以外で、実際の文章に触れること。
オンデマ ンド授業 2回目	授業内容	読者を意識した文章作成②：読者に違和感を与えない文体を考える。
	事前学修	授業範囲箇所のテキストデータを事前に配信するので、熟読しておくこと。ポイントとなる点については、あらかじめ自身で調べておくこと。
	事後学修	授業内容についてノートを見返しながら理解を深めること。授業で扱った項目について、授業内容・課題以外で、実際の文章に触れること。
オンデマ ンド授業 3回目	授業内容	文献の引用について、その知識とルールを知る。
	事前学修	授業範囲箇所のテキストデータを事前に配信するので、熟読しておくこと。ポイントとなる点については、あらかじめ自身で調べておくこと。
	事後学修	自身の関心がある分野について、文献を調査してみること。
オンデマ ンド授業 4回目	授業内容	実際に論文を書くために必要となる知識の概要を知る。
	事前学修	授業範囲箇所のテキストデータを事前に配信するので、熟読しておくこと。ポイントとなる点については、あらかじめ自身で調べておくこと。
	事後学修	最終課題に向けて、関心のあるテーマについてあらかじめ調査をしておくこと。

オンデマ ンド授業 5回目	授業内容	論文作成の方法①：全体の基本的な構成、およびテーマの設定方法を知る。
	事前学修	最終課題テーマについて、できるだけ具体化しておくこと。また、書くことができる部分については、可能な限り進めておくこと。
	事後学修	授業内容を踏まえて、テーマを適切に設定し、最終課題の構成について考えること。
オンデマ ンド授業 6回目	授業内容	論文作成の方法②：適切な型を利用した書き方、図表等の適切な利用を考える。
	事前学修	これまでの授業内容について、今一度復習をしておくこと。授業全体を通じて、自身が学んだことについてまとめておくこと。
	事後学修	授業内容を踏まえた上で、最終課題の作成に臨むこと。今後の文章作成で応用できるように理解を深めること。

◆授業概要

アメリカの建国から20世紀までのアメリカ文学の流れを学び、各作家の特徴を理解できるようになる。

◆学修到達目標

テキストを最初から読んで行きます。文法構造を把握して、英文がしっかり読めるようになる。映像資料を活用などして米文学史の全体的な流れを把握できるようになる。村上春樹の新訳のフィッツジェラルドの『華麗なるギャツビー』のDVDなど事前に見ておけば良い。28章のヘミングウェイまでは行きたい。

◆授業方法**・オンデマンド**

前半はアメリカ文学関係の映像資料の視聴。後半はテキストを音読して、構文を把握して和訳をしている映像を視聴。各作家の特徴とアメリカ文学の全体的な流れを把握する。オンデマンドの課題が出た場合は必ず出すこと。正解と解説は次回の講義映像に加える。

・対面授業

対面授業においても講義の基本手・黄な流れは同じである。前半はアメリカ文学関係の映像資料の視聴。後半はテキストを音読して、構文を把握して和訳をする。学生にあてる。各作家の特徴とアメリカ文学の全体的な流れを把握する。

◆履修条件

令和2年度東京スクーリング（6月期）『アメリカ文学史』（北原安治）とは積み重ね不可。令和2年度夜間スクーリング（秋期）『アメリカ文学史』（北原安治）とは積み重ね不可。

◆成績評価基準

課題（20%）、試験（80%）などによる総合評価。最終試験は小論文1000字以上書くこと。試験時間は100分ほどの予定。小論文タイトルは「ジェイムズとヘミングウェイのふたりの特徴と作品を論じる」。この2作家以外のことを書いてはいけない。書き方として全体論でも作品論でもよい。全体論は上の参考書の『アメリカ小説入門』にあるような2作家の全体的特徴と複数の代表作の説明を1,000字以上使い、浅く広く書くものである。作品論は二人の作品からひとつずつ選び（短編でも長編でもよい）、例えばジェイムズの長編とヘミングウェイの短編の2冊に集中して深く論ずるものである（500字以上ずつ合計1,000字以上）。どちらの論じ方でもよい。事前にまとめておくこと。辞書やノートなどの持ち込みなし。2作家の作品名や登場人物名は日本語でよい。作品名はヒントとして試験の問題文に印刷しておく。無遅刻、皆出席を望む。

◆教科書

セメスターシリーズ『An Outline of American Literature（アメリカ文学概観）』井上謙治編著
南雲堂 全48ページの薄いテキスト

◆参考書

『アメリカ小説入門』 井上謙治著、研究社、1995年。この本は講義では使いません。

◆授業相談先（連絡先）

f ra3in5@yahoo. co. jp

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	映像資料、アメリカ先住民の文学およびジョン・スミス 映像資料、『プリマス植民地』のブラッドフォードとアメリカ最初の 詩人のブラッドストリート 映像資料、「大いなる目覚め」のエドワーズと「ヤンキーズム」のフ ランクリン 基本英文法の復習 発音の確認
	事前学修	アメリカ文学史関連の『アメリカ小説入門』（井上謙治著、研究 社、1995年）などを読みアメリカ文学の全体的な流れと各作家の代 表作や特徴をとらえておく。英文の自分なりの和訳をしておく。テ キスト 47 ページの文献にあたっておく。
	事後学修	講義で学んだ作家の映画作品などを図書館で借りて、理解を深める。 講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。基本文法を 確認して正確な訳ができるようになる。オンデマンド授業はグーグル クラスルームに提出する課題が出るので必ず提出すること。課題がい つ出るか、何回出るかはクラスルームで発表するが、課題は配信期間 中で提出完了とする予定。なお正解と解説も講義映像に組み込む。

◆授業計画

対面授業 1回目	授業内容	映像資料、ゴシック小説のブロックデン・ブラウンと「リップ・ヴァン・ウィンクル」のアーヴィング、映像資料、歴史ロマンスのクーパーとロマン派の詩人ブライアント。各作家のアメリカ文学史上の役割と、代表作を学び、作品からの英文を文法事項を確認しながら読んでいく。
	事前学修	アメリカ文学史関連の『アメリカ小説入門』（井上謙治著、研究社、1995年）などを読みアメリカ文学の全体的な流れと各作家の代表作や特徴をとらえておく。英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト47ページの文献にあたっておく。最終日に持ち込みなしの小論文のテストがあるので事前に準備をしておく。
	事後学修	講義で学んだ作家の映画作品などを図書館で借りて、理解を深める。講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。基本文法を確認して正確な訳ができるようになる。卒論をアメリカ文学の作家で書く学生は、なるべく早めに作家と作品を決めて、原書と翻訳を突き合わせて読むようにしておく。
対面授業 2回目	授業内容	映像資料、怪奇・推理小説のボウと「超絶主義」のエマーソン、映像資料、『ウォールデン』のソーローとピューリタニズム批判のホーソン。各作家のアメリカ文学史上の役割と、代表作を学び、作品からの英文を文法事項を確認しながら読んでいく。
	事前学修	アメリカ文学史関連の『アメリカ小説入門』（井上謙治著、研究社、1995年）などを読みアメリカ文学の全体的な流れと各作家の代表作や特徴をとらえておく。英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト47ページの文献にあたっておく。最終日に持ち込みなしの小論文のテストがあるので事前に準備をしておく。
	事後学修	講義で学んだ作家の映画作品などを図書館で借りて、理解を深める。講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。基本文法を確認して正確な訳ができるようになる。卒論をアメリカ文学の作家で書く学生は、なるべく早めに作家と作品を決めて、原書と翻訳を突き合わせて読むようにしておく。

◆授業計画

対面授業 3回目	授業内容	映像資料、『白鯨』のメルヴィルと米代表詩人のホイットマン、映像資料、孤独な心境を詠ったディッキンソとリアリズムのトウェイン。各作家のアメリカ文学史上の役割と、代表作を学び、作品からの英文を文法事項を確認しながら読んでいく。
	事前学修	アメリカ文学史関連の『アメリカ小説入門』（井上謙治著、研究社、1995年）などを読みアメリカ文学の全体的な流れと各作家の代表作や特徴をとらえておく。英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト47ページの文献にあたっておく。最終日に持ち込みなしの小論文のテストがあるので事前に準備をしておく。
	事後学修	講義で学んだ作家の映画作品などを図書館で借りて、理解を深める。講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。基本文法を確認して正確な訳ができるようになる。卒論をアメリカ文学の作家で書く学生は、なるべく早めに作家と作品を決めて、原書と翻訳を突き合わせて読むようにしておく。
対面授業 4回目	授業内容	映像資料、心理主義のジェイムズと自然主義のクレイン、映像資料、環境決定論のドライサーとシカゴ・グループのサンドバーグ。各作家のアメリカ文学史上の役割と、代表作を学び、作品からの英文を文法事項を確認しながら読んでいく。
	事前学修	アメリカ文学史関連の『アメリカ小説入門』（井上謙治著、研究社、1995年）などを読みアメリカ文学の全体的な流れと各作家の代表作や特徴をとらえておく。英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト47ページの文献にあたっておく。最終日に持ち込みなしの小論文のテストがあるので事前に準備をしておく。
	事後学修	講義で学んだ作家の映画作品などを図書館で借りて、理解を深める。講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。基本文法を確認して正確な訳ができるようになる。卒論をアメリカ文学の作家で書く学生は、なるべく早めに作家と作品を決めて、原書と翻訳を突き合わせて読むようにしておく。

◆授業計画

対面授業 5回目	授業内容	映像資料、深層心理のアンダソンと自然を詠ったフロスト、映像資料、ハーレム・ルネッサンスのヒューズと『パターソン』のウィリアムズ。各作家のアメリカ文学史上の役割と、代表作を学び、作品からの英文を文法事項を確認しながら読んでいく。
	事前学修	アメリカ文学史関連の『アメリカ小説入門』（井上謙治著、研究社、1995年）などを読みアメリカ文学の全体的な流れと各作家の代表作や特徴をとらえておく。英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト47ページの文献にあたっておく。最終日に持ち込みなしの小論文のテストがあるので事前に準備をしておく。
	事後学修	講義で学んだ作家の映画作品などを図書館で借りて、理解を深める。講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。基本文法を確認して正確な訳ができるようになる。卒論をアメリカ文学の作家で書く学生は、なるべく早めに作家と作品を決めて、原書と翻訳を突き合わせて読むようにしておく。最終日の筆記試験の準備。
対面授業 6回目	授業内容	映像資料、『偉大なギャツビー』のフィッツジェラルドとノーベル賞作家ヘミングウェイ、各作家のアメリカ文学史上の役割と、代表作を学び、作品からの英文を文法事項を確認しながら読んでいく。アメリカ文学史の全体的まとめと筆記試験。
	事前学修	アメリカ文学史関連の『アメリカ小説入門』（井上謙治著、研究社、1995年）などを読みアメリカ文学の全体的な流れと各作家の代表作や特徴をとらえておく。英文の自分なりの和訳をしておく。テキスト47ページの文献にあたっておく。最終日に持ち込みなしの小論文のテストがあるので事前に準備をしておく。
	事後学修	講義で学んだ作家の映画作品などを図書館で借りて、理解を深める。講義での英文の和訳と予習の和訳を比べて間違いを確認。基本文法を確認して正確な訳ができるようになる。卒論をアメリカ文学の作家で書く学生は、なるべく早めに作家と作品を決めて、原書と翻訳を突き合わせて読むようにしておく。

◆授業概要

未来表現と相 (aspect) について概観し、未来表現の意味機能について、また、相が言語表現とどのようにかかわっているか、広い視点で理解できることを心掛ける。

◆学修到達目標

未来表現と相それぞれの意味機能について考察することにより、基本的知識から専門的知識まで幅広く修得し、説明できるようになる。

◆授業方法

授業動画は内容にそって分割する。まずは、全体を順に視聴すること。一度の視聴で分からなかった内容の動画は重点的に繰り返して視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。未来表現、進行相、完了相の意味機能について、テキストを理解し、要点を整理し、問題点を解決していく。なお、課題等がある場合は、STREAM で行う。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

全8回の出席（視聴）を前提に、試験を中心に評価の予定。

◆教科書

市販本 吉良文孝『ことばを彩る1 テンス・アスペクト』 研究社

◆参考書

市販本 柏野健次『テンスとアスペクトの語法』（開拓社叢書） 開拓社

市販本 田中江扶, 本田謙介, 畠山雄二『時制と相』（ネイティブ英文法） 朝倉書店

市販本 宗宮喜代子, 糸川 健, 野元裕樹『動詞の「時制」がよくわかる英文法談義』 大修館書店

◆授業相談先（連絡先）

Google Classroom のストリームでご質問下さい。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	(1) 第4章 英語未来表現 4.1 単純現在時制 4.2 現在進行形 (2) 第4章 英語未来表現 4.3 will と be going to
	事前学修	(1) テキスト p. 127-p. 144 を読み、問題点を整理しておく。 (2) テキスト p. 144-p. 155 を読み、問題点を整理しておく。
	事後学修	(1) (2) 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
オンデマ ンド授業 1回目	授業内容	(3) 第4章 4.4 未来進行形(will be -ing) 4.5 英語未来表現のまとめ
	事前学修	テキスト p. 155-p. 173 を読み、問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ、理解を深めておく。
オンデマ ンド授業 2回目	授業内容	(4) 第2部 アスペクト(Aspect) 第5章 進行相 5.1 語彙アスペクトと文アスペクト 学修内容をまとめ、理解を深めておく。
	事前学修	テキスト p. 176-p. 198 を読み、問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ、理解を深めておく。
オンデマ ンド授業 3回目	授業内容	(5) 第5章 進行相 5.2 進行相の意味特徴 5.3 現在進行形の注意すべき用法
	事前学修	テキスト p. 199-p. 208 を読み、問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ、理解を深めておく。
オンデマ ンド授業 4回目	授業内容	(6) 第6章 完了相 6.1 現在完了形の中核的意味 6.2 現在完了形の基本的な意味用法とその意味特徴
	事前学修	テキスト p. 209-p. 216 を読み、問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ、理解を深めておく。
オンデマ ンド授業 5回目	授業内容	(7) 第6章 完了相 6.3 「経験」用法の意味特徴 6.4 現在完了形と現在完了進行形の意味的相違
	事前学修	テキスト p. 216-p. 225 を読み、問題点を整理しておく。
	事後学修	学修内容をまとめ、理解を深めておく。
オンデマ ンド授業 6回目	授業内容	(8) 第6章 完了相 6.5 before 節中の過去完了 試験とその解説
	事前学修	テキスト p. 226-p. 236 を読み、問題点を整理しておく。 4章～6章の総復習をしておく
	事後学修	4章～6章のまとめをし、理解を完璧にする

◆授業概要

表計算ソフト（MSエクセル）を用いて、アンケート調査などに必須な仮説検定と多変量解析（重回帰分析）の基礎を理解する。また、仮説検定の理論的前提条件（大数の定理，中心極限定理，分散，正規性と線形性，信頼区間など）を理解する。統計学の課題を通じて表計算ソフトの活用法を学習していきます。

◆学修到達目標

仮説検定や多変量解析（重回帰分析）の基礎を理解し、その前提条件を正確に説明できる。また、様々なデータの適切な統計処理を提案することができる。

◆授業方法**・オンデマンド**

各自のパソコンを用いて実習しますが、表計算ソフト（MSエクセル）の必要な知識については必要に応じて講義形式で学習します。特に、統計計算の基本的取り扱いの理解を目指します。

・対面授業

各自のパソコンを用いて実習しますが、表計算ソフト（MSエクセル）の必要な知識については必要に応じて講義形式で学習します。特に、仮説検定と多変量解析の理解と習得を目指します。

◆履修条件

表計算ソフトの基本的操作（相対参照・絶対参照，ファイル操作，グラフ作成）を行えること，さらに，メールで課題提出を行うので Nu-Mail が使えることが望ましい。2021 年度昼間スクーリング（後期）「情報概論」との積み重ね不可。

なお、本講義では WindowsPC の利用限定とします。

◆成績評価基準

授業参加度（30%），平常課題（70%）により総合的に評価します。

※演習形式の授業なので，毎回出席することを前提に評価します。

◆教科書

市販本 『統計学がわかる（ファーストブック）』 向後 千春，富永 敦子 技術評論社 2007 年

市販本 『統計学がわかる【回帰分析・因子分析編】（ファーストブック）』 向後 千春，富永 敦子 技術評論社 2008 年

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

通信教育部 3 号館 3 階 302 研究室

E-mail を送るときは、必ず件名欄に「日本大学通信教育部」「学生番号」および「氏名」を記入のこと。

例：「日本大学通信教育部 22183999 日大通子」

※授業相談（連絡先）に記載のない講座においては、授業終了後に質問を受け付けます。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	<p>オンデマンド授業では、以下の内容で講義動画を公開し授業を行います。</p> <p>(1) 講義に進め方と統計計算の基本（平均と分散）と利用範囲を理解します。</p> <p>(2) 表計算ソフトの基本操作と表計算ソフトの基本関数の習得を目指します。</p> <p>(3) 表計算ソフトを使った統計の基本を理解することを目指します。</p> <p>(4) 統計分布について理解することを目指します。</p> <p>(5) 統計分布の信頼区間の考えを理解し、仮設検定の基本を習得すること。</p>
	事前学修	指示にしたがって予習を行うこと、とくに聖書特有の地名、人名などの発音、その概要などを調べること
	事後学修	授業の学修をふまえて、聖書の用語や人物、挿話などについての理解を深めていくこと
対面授業 1 回目	授業内容	予め Classroom に掲載される動画と資料を視聴し、そこに書かれている課題について不明な点や疑問点をチェックしておいてください。また、疑問点や不明な点などは、授業前にインターネットで検索し調べておくことをお勧めします。
	事前学修	講義動画で示される課題を、締め切りまでに各自必ず Classroom を通して提出してください。その際課題提出に際して疑問点などがありましたら、荒関までメールにて質問してください。
	事後学修	カイ 2 乗検定を理解する。その上で計算結果に関する p 値と有効数字の取り扱いを理解する。
対面授業 2 回目	授業内容	カイ 2 乗検定を調査し、その統計処理の意味を理解しておく。
	事前学修	配布資料に基づき、カイ 2 乗検定を理解し、エクセルでその処理方法を習得すること。
	事後学修	<p>(1) 対応のない t 検定について理解し、その統計処理手順を習得する。</p> <p>(2) 対応のある t 検定について理解し、その統計処理手順を習得する。</p>

対面授業 3回目	授業内容	(1) 1 要因分散分析について理解し、その統計処理手順を習得する。 (2) 2 要因分散分析について理解し、その統計処理手順を習得する。
	事前学修	(1) 分散分析について調査し、その考え方を理解しておく。 (2) 2 要因分散分析と 1 要因分散分析の違いを調査し、2 要因分散分析の考え方を理解しておく。
	事後学修	(1) 配布資料に基づき、1 要因分散分析を理解し、エクセルでの処理方法を習得すること。 (2) 配布資料に基づき、2 要因分散分析を理解し、エクセルでの処理方法を習得すること。
対面授業 4回目	授業内容	(1) 相関と散布図について理解する。特にエクセルを使ったグラフ作成技術を習得する。(2) 相関係数を理解し、その処理方法を取得する。また、無相相関検定についても理解する。
	事前学修	(1) 相関について調査し、相関によって何が分かるかを理解しておく。 (2) 相関係数を調査し、その考えを理解しておく。
	事後学修	(1) 各自のパソコンで散布図が作成できることを習得すること。 (2) 配布資料に基づき、相関係数を理解し、エクセルでその処理方法を習得すること。
対面授業 5回目	授業内容	(1) 回帰分析を理解し、その処理方法を習得する。 (2) 偏相関と偏回帰係数の関係と重回帰分析を理解し、その処理方法を習得する。
	事前学修	(1) 単回帰分析を調べ、その意味を理解しておく。また、回帰分析の背景にある最小二乗法についても調査しておく。 (2) 重回帰分析を調べ、その意味を理解しておく。特に、偏相関係数との関係で、偏回帰係数を理解しておく。
	事後学修	(1) 配布資料に基づき、単回帰分析処理を取得する。 (2) 配布資料に基づき、重回帰分析処理を取得する。
対面授業 6回目	授業内容	主成分分析と因子分析について理解する。
	事前学修	主成分分析と因子分析とはどのような統計手法であるかを調査しておく。
	事後学修	配布資料に基づき、主成分分析と因子分析の違いを理解する。

◆授業概要

日本人が外国語を学ぶことは大変困難である。それは日本語が世界の大半を占めるインド=ヨーロッパ語族に属しておらず、言語構造が大きく異なるからである。この授業では、高校までに学んだ文法事項をしっかりとしたものにし、英文を正確に理解することを目指します。担当教員は翻訳実務の経験があり、その経験を生かして、日本語と英語の発想の違い、適切な訳し方などを教授します。

◆学修到達目標

- ・コミュニケーションに必要な英文法を体系的に習得する
- ・文字で書かれた英文を正確に理解できる
- ・自分の意志を伝える英文を正確に作ることができる
- ・英語圏の文化、発想の仕方の違いについて知る
- ・日本語と英語の違いについて理解する

◆授業方法**・オンデマンド**

文法解説の動画をすべて視聴し、教科書の文法問題に解答する。

・対面授業

事前学修として、知らない語句については辞書を引き、読解編の文章を読んでおく。各自の和訳を用意しておくことが望ましい。授業では、オンデマンドで行った文法問題について間違いが多かった問題について解説、また学生からの質問に答える。その後、予習してきた読解編を読んでいく。指名された学生が、1文ずつ英文を音読して日本語に直す。その後教員により文法事項、語彙、訳し方などの解説を行う。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

全回出席（オンデマンドを含む）を前提として、筆記試験または当授業終了後に提出するレポートの評価点 80%、授業態度や質疑応答 20%。オンデマンドの場合は筆記試験等の評価 100%。

◆教科書

市販本 福井慶一郎ほか『読解力につなげるコア英文法』（朝日出版社、2019）

◆参考書

学習用英和辞典（電子辞書も可）

◆授業計画

対面授業 4回目	授業内容	これまでの総復習、試験
	事前学修	試験に備えて、ノートを振り返り、これまでの復習をする
	事後学修	ノートを振り返り、授業で間違えた箇所を確認する。よくわからなかった場合にはメール等で教員に質問する。
対面授業 5回目	授業内容	これまでの総復習、試験
	事前学修	試験に備えて、ノートを振り返り、これまでの復習をする
	事後学修	ノートを振り返り、授業で間違えた箇所を確認する。よくわからなかった場合にはメール等で教員に質問する。
対面授業 6回目	授業内容	これまでの総復習、試験
	事前学修	試験に備えて、ノートを振り返り、これまでの復習をする
	事後学修	ノートを振り返り、授業で間違えた箇所を確認する。よくわからなかった場合にはメール等で教員に質問する。

◆授業概要

講座で取り扱う主な領域は、多様な行政活動に共通する性質や理論的基盤を構成する行政法総論である。

行政法の学習を展開する際に必要な各種用語の意義や、関係法令の骨組みを解説する。必要に応じて、弁護士としての実務経験を踏まえた事例を活用して説明を行う。

◆学修到達目標

本講義は、受講生が行政法体系の概要、特にその制度と理論を把握して、筆記による論述によって適切に説明できることを目標としている。行政法 I では、主に「法律による行政の原理」や行政組織・行政作用を中心に、行政法理論を理解して叙述できるようになること。その過程で、行政と行政法に対する関心を深め、行政の仕組みを考察して文章化できるようになることが目標である。

◆授業方法**・オンデマンド**

基本的に各回につき3つのユニットから構成し、各ユニットの標準時間は20分である。視聴すべき動画においては、PowerPoint を使用する予定である。講義で提示する PowerPoint については、デジタル印刷を行い PDF 化したデータも提供する。オンデマンドは初回と2回目であるが、この2回においては別段の課題は設定しない予定である。

・対面授業

3回目以降は、対面講義とする予定である。第4回の後半では中間テストを実施する。中間テストのフィードバックは第6回までに実施する。最後の第8回の後半に期末テストを行う予定である。

◆履修条件

なし。

◆成績評価基準

毎回出席することを前提にします。講義の際に実施する中間テスト(40%)及び最終試験(60%)で総合的に判断します。

◆教科書

『行政法 I : K30900』通信教育教材(教材コード 000565)。この教材は、市販の池村正道編『行政法 第3版 (Next 教科書シリーズ)』(弘文堂、2017年)と同一です。

◆参考書

なし

◆授業相談先(連絡先)

GoogleClassroom 上で行う。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	(1) ガイダンス (2) 行政と法、行政法の法源 (3) 行政活動の担い手 (4) 行政過程
	事前学修	基本的に指定教材の冒頭から順番に講義を展開する。各標題と照らし合わせて事前に指定教材の該当ページを読んだ上で、VTR を視聴すること。
	事後学修	講義で説明した内容を、指定教材と各自の手控え等に基づいて復習すること。第1回のVTRに収録したガイダンスを踏まえ、当期の学修計画を各自で具体的に組み立て、その計画を実施していくこと。
対面授業 1回目	授業内容	法律による行政の原理、行政手続
	事前学修	指定教材P. 75までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。
	事後学修	講義で説明した内容を、指定教材と各自の手控え等に基づいて復習すること。次回に実施する中間テストの準備を行うこと。
対面授業 2回目	授業内容	行政情報管理、行政調査、中間テスト
	事前学修	指定教材P. 100までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。今回受験する中間テストの準備を行うこと。
	事後学修	講義で説明した内容を、指定教材と各自の手控え等に基づいて復習すること。
対面授業 3回目	授業内容	行政行為総論、行政裁量、中間テストのフィードバック、期末テストの概要説明
	事前学修	指定教材P. 123までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。
	事後学修	講義で説明した内容を、指定教材と各自の手控え等に基づいて復習すること。中間テストのフィードバックを踏まえて、自分自身の理解状況を照らし合わせる。期末テストの概要説明に基づいて、第8回に実施する期末テストに向けて、引き続き計画的に学修を展開すること。
対面授業 4回目	授業内容	行政行為の瑕疵、職権取消しと撤回、附款
	事前学修	指定教材P. 140までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。
	事後学修	講義で説明した内容を、指定教材と各自の手控え等に基づいて復習すること。

◆授業計画

対面授業 5回目	授業内容	行政立法、行政規則、行政計画、行政指導
	事前学修	指定教材P. 172までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。
	事後学修	講義で説明した内容を、指定教材と各自の手控え等に基づいて復習すること。
対面授業 6回目	授業内容	行政上の義務履行確保、行政法 I の総まとめ、期末テスト
	事前学修	指定教材P. 209までを読み、関連する法律上の問題点を考察しておくこと。期末テストの準備を行うこと。
	事後学修	講義で説明した内容を、指定教材と各自の手控え等に基づいて復習すること。

◆授業概要

オンデマンド講義を行います。毎週2つのPDFを使った動画配信をしますので、何度も見て頂いて学習してください。毎回各時代を代表する一作品選び、作品解説とイギリス文学との関連、さらに作品にある政治的、宗教的な背景を同時に学んでいきます。各講義の終わりに次回取り扱う作品の説明をします。指定したテキスト（作品）の内容を把握しておいてください。興味を持った作品を読むようにしてください。

◆学修到達目標

古代ギリシャ文学、シェイクスピア、オースティンなどの作品（翻訳）を抜粋して読むことで、19世紀までのイギリス文学史を欧州文学史的視点から時系列で理解できるようになる。さらに、各時代の主要作品を原文と日本語訳数点を対訳、考察することによって、各文学作品を時代背景や小説技法の観点から解釈、評価が出来るようになる。

◆授業方法

・オンデマンド

指定した作品解説と影響を与えたイギリス文学作品との比較を行い、同時に時代背景との関連を検討していきます。オンデマンド講義ではギリシャ・ローマ神話、アーサー王伝説、シェイクスピア作品、近代小説について詳細に解説します。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

課題とレポート提出により総合的に判断します。

◆教科書

オンデマンド講義ではPDFを使った動画配信を行います。

◆参考書

市販本 『イギリス名詩選』 平井正穂編 岩波文庫 1990

市販本 『イギリス文学史』 川崎寿彦著 成美堂 1986

◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	<p>課題とレポートについて。人物相関図とレポート作成をしてもらうので、その説明をします。</p> <p>アイスキュロス『縛られたプロメテウス』とシェリーの『鎖を解かれたプロメテウス』の比較をします。</p> <p>『カンタベリー物語』 イギリス文学の誕生ともいえるこの時代に登場した「宮廷風恋愛」を学びます。</p> <p>『アーサー王の死』 この作品は騎士道物語の集大成といえます。ランスロット卿と王妃グイネヴィアとの逢瀬の箇所から、典型的な宮廷風恋愛を学んでいきます。</p>
	事前学修	<p>シェイクスピア作品について調べておきましょう。</p> <p>プロメテウス神話を調べましょう。</p> <p>『カンタベリー物語』の挿話の一つを読んでおいてください。</p> <p>『ガウェイン卿と緑の騎士』（トールキン）について調べてきてください。</p>
	事後学修	<p>レポートのテーマを決めておきましょう。</p> <p>ギリシャ・ローマ神話とイギリス文学との関連をまとめましょう。</p> <p>宮廷風恋愛についてまとめておきましょう。</p> <p>アーサー王の人物関係図を理解してください。</p>
オンデマ ンド授業 1回目	授業内容	<p>『カンツォニエーレ』 宮廷風恋愛を下地に、独自の愛のソネットを生み出し中世ヨーロッパの規範となったペトラルカ風ソネットから数点を読みます。</p> <p>ルネサンスとは？ ダンテの登場に端を発すイタリアルネサンス同様、イングランドでもルネサンス運動がありました。その定義を学びます。</p>
	事前学修	<p>ボッカチオの『デカメロン』について調べてきてください。</p> <p>各自が考える「ルネサンス」とは何でしょうか。調べてみましょう。</p>
	事後学修	<p>イタリアルネサンスの文人について確認しておきましょう。</p> <p>エリザベス朝時代の文芸運動についてまとめましょう。</p>
オンデマ ンド授業 2回目	授業内容	<p>小説の誕生① 16世紀に入りこれまでの劇詩・韻文に加えて新たな文学ジャンルとして「小説」が誕生しました。今回は小説の定義について学びます。</p> <p>『ロミオとジュリエット』 扱うテーマは限りなくありますが、ここでは時代背景、中世の恋愛をテーマに作品解説をします。</p>
	事前学修	<p>『ガルガンチュアとパンタグリユエル』について調べておきましょう。</p> <p>『ロミオとジュリエット』を読んでおくようにしてください。</p>

	事後学修	小説の定義についてまとめ、内容を確認してください。 『ロミオとジュリエット』の悲劇性・喜劇性についてまとめておいてください。
オンデマ ンド授業 3回目	授業内容	『リシダス』 このジョン・ミルトンの牧歌的哀歌を精読して、牧歌の定義について学びます。 小説の誕生② 他の欧州諸国に遅れること百年、イングランドでも韻文に代わって散文文学（小説）が発展します。小説という「ジャンル」について学びます。
	事前学修	ミルトンの生涯について調べておきましょう。 18世紀のイングランド小説について調べておきましょう。
	事後学修	ヨーロッパ文学がいかにギリシャ・ローマの作品から影響を受けているかを理解してください。 小説とジャーナリズムの関係についてまとめてください。
オンデマ ンド授業 4回目	授業内容	『ロビンソン・クルーソー』 イングランド小説の祖と言われる本作品から、小説とジャーナリズムについて学びます。 『ペスト』 ルポルタージュに近い本作品から小説技法を学びます。
	事前学修	18世紀のイングランドの政治・経済状況を調べておきましょう。 1665年のロンドンペストを調べてみましょう。
	事後学修	散文と韻文の違いを理解してください。 非国教徒の思想を理解してください。
オンデマ ンド授業 5回目	授業内容	『不思議の国のアリス』 18世紀から19世紀には児童文学というジャンルが登場します。本作品を抜粋して精読しましょう。 『ノーザンガー・アビー』 イングランド小説の完成形と言われるジェーン・オースティンを読みます。
	事前学修	『不思議の国のアリス』を読んでおいてください。 オースティン作品について調べておきましょう。
	事後学修	『不思議の国のアリス』を児童文学とみるか、あるいは風刺かパロディかなどを各自がジャンル化してまとめてください。 『ノーザンガー・アビー』の作中の人物関係図を整理しましょう。
オンデマ ンド授業 6回目	授業内容	全体のまとめと試験
	事前学修	指定された箇所をまとめて試験対策とするように。
	事後学修	これまで扱った作品を出来るだけ多く読んでください。

◆授業概要

チャールズ・ディケンズの Great Expectations (『大いなる遺産』) を原文で講読します。ディケンズは 19 世紀を代表する小説家であるだけでなく、シェイクスピアと並んでイギリスの国民的作家と称されている作家ですので、英米文学を専攻する学生が読んでおくべき作家の一人と言えます。授業回数に限りがあるので、この授業では第一部を中心に読んでいきますが、授業終了後には各自で通読しておいてください。

◆学修到達目標

作品を原文で講読することにより、以下の目標達成を目指します。

- 1、これまで培った英語力を活用し、正確に英文の意味を捉えることができる。
- 2、英語で小説を読むのに必要な基本的事項を習得し、卒業論文等で各自が研究する作家の作品を原文で読むことができるようになる。
- 3、作品についての自分の意見をまとめ、発表できる。

◆授業方法**・オンデマンド**

テキスト pp. xxi - xxiv を参照しながら、ディケンズの生涯と作品について解説します。その後、Chapter1～Chapter4 を詳細に読んでいきます。

・対面授業

対面 4 日目の授業までは作品の精読をしていきます。自分のわかる範囲で訳せるようにしておく必要があります。1 回の授業で 1 章分を目安に読み進めていきますが、受講学生の理解度に応じて進度を調整しますので、授業計画通りに進まない可能性もあります。対面 5 日目と 6 日目の授業では、発表とディスカッションをします。あらかじめ担当箇所を割り当てて、その箇所の要約と分析を中心に発表をし、それをもとにディスカッションをします。受講学生は積極的に自分の意見を発言するよう心がけてください。

◆履修条件

令和 2 年度夜間スクリング (秋期) 「英米文学演習 I ～ III」 (水野隆之) とは積み重ね不可

◆成績評価基準

試験 (50%)、発表 (30%)、授業時の発言、予習、復習など授業への取り組み (20%)。毎回出席することを前提として評価します。

◆教科書

『Great Expectations』 Charles Dickens, Penguin, 2003 ISBN 987-0-141-43956-3

◆参考書

なし

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	Dickens の生涯と作品について理解を深める。 Chapter1～4 を精読する。 小説を読む際に留意すべき点などの解説も必要に応じて加えていく。
	事前学修	Chapter1～4 を熟読する。
	事後学修	授業で読んだ箇所の重要表現を確認する。
対面授業 1回目	授業内容	Chapter5～6 を精読する。
	事前学修	Chapter5～6 を熟読する。
	事後学修	授業で読んだ箇所の重要表現を確認する。
対面授業 2回目	授業内容	Chapter7～8 を精読する。
	事前学修	Chapter7～8 を熟読する。
	事後学修	授業で読んだ箇所の重要表現を確認する。
対面授業 3回目	授業内容	Chapter9～10 を精読する。
	事前学修	Chapter9～10 を熟読する。
	事後学修	授業で読んだ箇所の重要表現を確認する。
対面授業 4回目	授業内容	Chapter11～12 を精読する。
	事前学修	Chapter11～12 を熟読する。
	事後学修	授業で読んだ箇所の重要表現を確認する。
対面授業 5回目	授業内容	Chapter13～15 の発表とディスカッションをする。
	事前学修	Chapter13～15 を熟読する。
	事後学修	授業で読んだ箇所の重要表現を確認する。
対面授業 6回目	授業内容	Chapter16～19 の発表とディスカッション、および理解度の確認（試験）。
	事前学修	Chapter16～19 を熟読する。
	事後学修	授業で読んだ箇所の重要表現を確認する。

講座内容（シラバス）

〔日本史入門〕

鍋本 由徳

◆**授業概要** 本科目は、今後、主に史学専攻での研究方法を学ぶ専門性の高い科目です。①日本史学修の意義、②原始・古代～現代へのアプローチ、③資料による学修・研究方法を通じて、日本史を学修し、また研究するための方法を学びます。日本史に関わるさまざまなテーマについて、身近な生活からアプローチし、教科書内容の更なる理解へと導いていきます。史料専門調査員としての経験を活かし、史料の収集・整理、歴史学的考察の方法について指導します。なお、授業計画は「予定」であり、変更する場合があります。

◆**学修到達目標** 1. 日本史に関する広い知識を得るため、各時代の特徴を説明できるようにする。2. テーマ学修から幅広いジャンルへ展開できる能力を身につける。3. 史料調査・収集・整理の方法や、歴史学的考察の基礎を身につける。4. 将来卒業論文を書く、あるいは教壇に立つ者としての必要な知識と姿勢を身につける。

◆**授業方法**

・オンデマンド期間

原則として教科書を使います（事前に読んでいただくことが前提です）。授業動画については、開講時に公開予定日を告知しますので、必ず確認してください。学修期間中は公開済の動画を視聴できますが、できるだけ授業曜日の受講に努めてください。動画は内容に沿って分割配信します。適宜動画を一時停止してノートを取りながら学修してください。質問については小テストフォームにて受け付けます。授業回ごとに小テスト・自己評価をおこないます（回答期間については開講時に発表します。開講後すぐに確認すること）。小テスト・自己評価の回答期間を過ぎると回答できません（出欠評価にも影響します）。

・対面授業期間

原則としてオンデマンドと同じ形式・方法で授業を展開します。対面の場合の小テストと自己評価は各授業終了時に実施します。なお、オンデマンドなどに切り替わった場合は都度指示を出しますので、指示に従ってください。

◆**履修条件** 2020年度前期昼間スクーリング「日本史入門」、2021年度前期昼間スクーリングとの積み重ね不可

◆**教科書** 『方法 教養の日本史 Q20100』 通信教育教材（教材コード 000484）

◆**参考書** 授業中に適宜プリントを配布し、紹介します。

◆**成績評価基準** 最終課題レポート（70%）、授業内小テスト（出欠確認含 30%）、授業参画・リアクションなど（10%）の総合評価
※授業全てに出席していることを前提とした評価です。

◆**授業相談（連絡先）**：開講時に指示します。

◆**授業計画【各90分】**

・オンデマンド

授業内容	1. 日本史を学ぶための基礎道具 2. 村と租税（古代・中世・近世） 3. 期間限定の売買（古代・中世・近世） 4. 文学にみられる感性（中世） 5. 災害と「ユーモア」（中世・近世）	基本入門書（概説書）と基本辞書の読み方・使い方を学びます。 「領収書」の歴史の変遷から、日本の税制の特徴を学びます。 近代と前近代との「売買契約」の違いを学びます。 歴史小説と歴史書を比較して、科学としての日本史を学びます。 「彗星」「地震」などの天文・災害認識の変遷を学びます。
事前学修	各単元の内容に併せて教科書の該当章を事前に読んで内容を把握しておく（初回は教科書を使わない。以下、教科書の「Ⅲ-2」「Ⅲ-1」「Ⅰ-1」「Ⅳ-1」）。配布する事前学修シートに書かれている指示にしたがってシートを埋めておく。	
事後学修	各単元において学んだ内容を整理し、当該単元で理解できなかった点を動画やプリントなどで補う。特に自己評価を低く評価した箇所や、自己評価が高く小テストを誤った箇所は、理解が不十分な点になるので、重点的に復習する。教科書やプリント以外について、さらに調べて知識を増やしていく。	

・対面授業

1回目	授業内容	6. 職業と「伝統」の根拠（中世・近世） 7. 近世にみる祭と外国人（近世）	建築の歴史から、由緒や技術の伝播について学びます。 「祭礼」の持つ意味を国内外の視点から学びます。
	事前学修	各単元の内容に併せて教科書の該当章を事前に読んで内容を把握しておく（「Ⅲ-3」「Ⅱ-1」）。配布する事前学修シートに書かれている指示にしたがってシートを埋めておく。	
	事後学修	学んだ内容を整理し、理解できなかった点を動画やプリントなどで補う。特に自己評価を低く評価した箇所、自己評価が高く小テストを誤った箇所は、重点的に復習する。	
2回目	授業内容	8. 勤善懲悪の時代劇（幕末維新） 9. 盛り場と都市論（幕末維新）	「水戸黄門」「大岡越前」から、史実と虚構の関係を学びます。 浅草・新京極・新宿の成立を比較して都市の成立を学びます。
	事前学修	各単元の内容に併せて教科書の該当章を事前に読んで内容を把握しておく（「Ⅰ-3」「Ⅱ-2」）。配布する事前学修シートに書かれている指示にしたがってシートを埋めておく。	
	事後学修	学んだ内容を整理し、理解できなかった点を動画やプリントなどで補う。特に自己評価を低く評価した箇所、自己評価が高く小テストを誤った箇所は、重点的に復習する。	

3回目	授業内容	10. 都市開発と鉄道（近代） 鉄道の発展と都市開発との関係を学びます。 11. 近代教育と音楽（近世・近代） 唱歌教育の展開から、近代日本の国策（教育）について学びます。
	事前学修	各単元の内容に併せて教科書の該当章を事前に読んで内容を把握しておく（「II-3」「IV-2」）。配布する事前学修シートに書かれている指示にしたがってシートを埋めておく。
	事後学修	学んだ内容を整理し、理解できなかった点を動画やプリントなどで補う。特に自己評価を低く評価した箇所、自己評価が高く小テストを誤った箇所は、重点的に復習する。
4回目	授業内容	12. 歴史映画による刷込（近代） 映像による刷込みから来る歴史学修の危険性を学びます。 13. 生活空間からみた日本史（中世～近代） 中世～現代の住宅から、男女認識の変化を学びます。
	事前学修	各単元の内容に併せて教科書の該当章を事前に読んで内容を把握しておく（「I-2」「III-4」）。配布する事前学修シートに書かれている指示にしたがってシートを埋めておく。
	事後学修	学んだ内容を整理し、理解できなかった点を動画やプリントなどで補う。特に自己評価を低く評価した箇所、自己評価が高く小テストを誤った箇所は、重点的に復習する。
5回目	授業内容	14. 人生儀礼（民俗） 「通過儀礼」を通して、誕生と死去の歴史の変遷を学びます。 15. 講義総括 第1回～第15回の全体の内容を振り返りながら、日本史学修での着眼点をまとめます。
	事前学修	各単元の内容に併せて教科書の該当章を事前に読んで内容を把握しておく（「V-1・2・3」）。配布する事前学修シートに書かれている指示にしたがってシートを埋めておく。講義全体の学修シートを見直しておく。
	事後学修	学んだ内容を整理し、理解できなかった点を動画やプリントなどで補う。特に自己評価を低く評価した箇所、自己評価が高く小テストを誤った箇所は、重点的に復習する。
6回目	授業内容	全体のフィードバック 自己評価と小テストの結果を踏まえて、クラス全体の理解度を確認する。
	事前学修	各回の小テストの結果と自己評価（Googleフォームからの通知）をみて、配布プリント一覧表に自身の回答を記入しておく。
	事後学修	自身の弱点を把握し、その弱点を克服する方法を考えて、今後の学修計画を立てる。

◆授業概要

この授業は、会計学の入門編として財務会計の基礎を学修します。財務会計とは、企業外部の利害関係者（株主・債権者等）を報告対象とする会計領域であり、その報告内容は、主に貸借対照表や損益計算書といった財務諸表です。この財務諸表の作成過程が複式簿記です。そのため、会計学の理論的な側面だけでなく、複式簿記における実際の仕訳例なども示しながら、計算的な側面でも理解できるように授業を進めていきます。簿記論Ⅰを履修済みまたは履修中であることが望ましい。

◆学修到達目標

1. 財務会計に関する基本的な考え方が理解できるとともに、それを説明できるようになる。
2. 財務会計の理論的な側面と計算的な側面を相互に連繋させて説明できるようになる。
3. 財務諸表の種類およびその内容について説明できるようになる。

◆授業方法

まずテキストおよび当日配布資料をもとに、財務会計の基本的な考え方を具体的な仕訳例などを用いながら解説します。次に、各単元終了後、出欠の確認のため、当日の講義内容に基づく確認テストを行います。また、この確認テストとは別にレポート課題を全体で3回実施します。講義最終日に試験を実施します。

◆履修条件

簿記論Ⅰを履修済みまたは履修中であることが望ましい。

◆成績評価基準

毎回出席することを前提に試験（70%）、レポート（30%）により総合的に評価します。

◆教科書

市販本 『基礎財務会計（最新版）』 五十嵐邦正 森山書店

資料配布（Classroom） 授業で使用するレジュメを用意します。

◆参考書

市販本 『演習財務会計（最新版）』 五十嵐邦正 森山書店

市販本 『会計法規集（最新版）』 中央経済社

◆授業相談先（連絡先）

担当教員の研究室のメールアドレス aoki.takashi36@nihon-u.ac.jp

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマ ンド	授業内容	ガイダンス 財務会計の概要と基礎的前提 財務諸表の種類とその概要 複式簿記の基礎 貸借対照表の様式と分類基準 貸借対照表の能力と評価 流動資産の会計 有形固定資産の会計
	事前学修	(テキスト) 3~84ページを通読
	事後学修	テキストおよびレジュメの内容を整理し、確認テストの内容を復習
対面授業 1回目	授業内容	(無形固定資産・投資その他の資産と繰延資産の会計) 貸借対照表の資産のうちで使用や投資に用いる固定資産の中で、具体的な存在形態を有しない無形固定資産や投資その他の資産、さらに資産の中では異質な特徴を有する繰延資産の会計について説明します。
	事前学修	(テキスト) 84~96ページを通読
	事後学修	テキストおよびレジュメの内容を整理し、確認テストの内容を復習
対面授業 2回目	授業内容	(流動負債と固定負債の会計) 貸借対照表の負債のうち、引当金を除く流動負債および固定負債の会計について説明します。(引当金の会計) 引当金の要件や根拠、各種引当金の概要について説明します。
	事前学修	(テキスト) 96~115ページを通読
	事後学修	テキストおよびレジュメの内容を整理し、確認テストの内容を復習
対面授業 3回目	授業内容	(純資産の会計(1) —資本金と資本剰余金の会計) 貸借対照表の純資産の中で、株主に帰属する株主資本のうち、株主が払い込んだ部分を構成する資本金および資本剰余金の会計について説明します。(純資産の会計(2) —利益剰余金等の会計) 貸借対照表の純資産の中で、株主に帰属する株主資本のうち、過去の利益の蓄積額である利益剰余金、また株主資本以外の純資産を構成する評価・換算差額等、新株予約権の会計について説明します。
	事前学修	(テキスト) 115~152ページを通読
	事後学修	テキストおよびレジュメの内容を整理し、確認テストの内容を復習
対面授業 4回目	授業内容	(損益計算書の分類と営業損益の計算) 損益計算書の分類を概観したうえで、主たる営業活動から生じる損益である営業損益の計算について説明します。(営業外損益・特別損益・当期純損益の計算) 主たる営業活動以外の活動から生じる損益である営業外損益、特別損益および当期純利益の計算について説明します。
	事前学修	(テキスト) 153~183ページを通読
	事後学修	テキストおよびレジュメの内容を整理し、確認テストの内容を復習

対面授業 5回目	授業内容	(損益計算に対する基本思考) 損益計算に対する基本的考え方について説明します。(企業会計原則における一般原則) 財務諸表の作成指針となる一般原則としての立場を有する、企業会計原則における一般原則について説明します。
	事前学修	(テキスト) 183~207ページを通読
	事後学修	テキストおよびレジュメの内容を整理し、確認テストの内容を復習
対面授業 6回目	授業内容	(授業のまとめおよび試験) これまでの講義の総括を行った後に試験を行います。
	事前学修	(テキスト) 203~207ページを通読するとともに、これまでの講義内容を整理しておいてください。
	事後学修	試験の内容を整理しておいてください。

◆授業概要

経済地理学は、地表面上のあらゆる経済現象の地理的な広がりを対象とする学問である。本授業では、地理学の基本的な考え方を概観した上で、経済地理学の課題と方法について理解を深める。また、特定の産業や地域を事例に、経済現象の地理的な差異が生じる要因について解説する。

◆学修到達目標

経済地理学の研究領域について理解を深め、経済現象の地域差の要因について説明することができる。

地理学的観点に立ち、地域の特徴を説明することができるようになる。

◆授業方法

オンデマンド授業動画により実施する。動画は、いくつかのファイルに分割するので、視聴の合間にノートを整理したり、不明点を調べたりすること。質問等は、Google Classroomにて受け付け、適宜回答する。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

試験の結果（50%）、授業内レポートおよび小テスト（30%）、授業への参画度（20%）

◆教科書 なし

◆参考書 資料配布(Classroom) 必要に応じて、適宜配布する。

◆授業相談先（連絡先）

Classroom上にて行う

◆授業計画

オンデマ ンド1回 目	授業内容	ガイダンスとして、授業方法や課題について説明した上で、地理学の基本的な考え方を説明する。そして経済地理学に関わる諸分野について紹介し、経済地理学がどのような学問分野なのかを解説する。
	事前学修	・シラバスをよく読み、授業の概要や目的などを理解しておく。 ・「地理学」、「人文地理学」、「経済地理学」について、それぞれの意味を調べておくこと。
	事後学修	・授業中に説明した内容を理解できるようにまとめておくこと。 ・不明点について、その意味を十分に調べておくこと。
オンデマ ンド授業 2回目	授業内容	経済地理学の課題と方法を説明する。その上で、経済地理学が対象とする事象を紹介する。
	事前学修	第1～3次産業について、その意味と特徴を理解しておくこと。

	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に説明した内容を理解できるようにまとめておくこと。 ・不明点について、その意味を十分に調べておくこと。
オンデマ ンド授業 3回目	授業内容	産業と立地の関係について説明する。
	事前学修	「農業立地論」について、その意味を調べておくこと。
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に説明した内容を理解できるようにまとめておくこと。 ・不明点について、その意味を十分に調べておくこと。
オンデマ ンド授業 4回目	授業内容	産業と地域社会の関係について説明する。
	事前学修	「工業立地論」について、その意味を調べておくこと。
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に説明した内容を理解できるようにまとめておくこと。 ・不明点について、その意味を十分に調べておくこと。
オンデマ ンド授業 5回目	授業内容	グローバル化と観光について解説する。
	事前学修	・「サステイナブルツーリズム」の意味を調べておくこと。
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に説明した内容を理解できるようにまとめておくこと。 ・不明点について、その意味を十分に調べておくこと。
オンデマ ンド授業 6回目	授業内容	観光政策と地域振興について解説する。
	事前学修	「地方創生」、「地域振興」、「地域活性化」について、それぞれの意味を調べておくこと。
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に説明した内容を理解できるようにまとめておくこと。 ・不明点について、その意味を十分に調べておくこと。
オンデマ ンド授業 7回目	授業内容	地域の活性化について、具体的な事例を紹介する。
	事前学修	地域の活性化に必要な条件を考えておくこと。
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に説明した内容を理解できるようにまとめておくこと。 ・不明点について、その意味を十分に調べておくこと。
オンデマ ンド授業 8回目	授業内容	授業の振り返りと理解度の確認を行う。
	事前学修	これまでの授業内容を見返し、不明な部分を調べておくこと。
	事後学修	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に説明した内容を理解できるようにまとめておくこと。 ・不明点について、その意味を十分に調べておくこと。

◆授業概要

現在の日本の社会背景や学校を取り巻く状況をふまえ、生徒指導、進路指導、キャリア教育の意義を理解し、ガイダンス、カウンセリングの充実、学校内外の組織的体制等に必要な基礎的な知識を十分に理解できるようになる。配慮を必要とする生徒（いじめ、不登校、日本語の指導を必要とする生徒等）に関する生徒指導、進路指導について、理解できるようになる。

◆学修到達目標

- ①生徒指導の意義・原理を理解できる。
- ② 教育課程における生徒指導、進路指導、キャリア教育の位置づけと学習指導要領の生徒指導について理解できる。
- ③集団指導（ガイダンス等）、個別指導（カウンセリング）等の方法の原理を理解できる。
- ④生徒指導上の課題について理解できる。
- ⑤専門家や校内外との連携の対応のあり方を理解できる。
- ⑥生徒指導に関する法令の内容、配慮を必要とする生徒（いじめ、不登校等）の対応、進路指導のあり方を理解できる。
- ⑦進路指導、キャリア教育の意義・原理を理解できる。
- ⑧キャリア形成の視点を持つことが理解できる。

◆授業方法

オンデマンド授業で実施する。授業動画は1授業分おおよそ30分であり、必ずすべて視聴すること。一度の視聴でわからない内容の場合は繰り返して視聴すること。それでも不明な点についての質問は随時受け付ける。Google Classroom上の課題に取り組むこと。設題については動画の中で説明を行う。動画内で教科書以外の参考文献を適宜紹介するので、各自、必要に応じて参照してください。課題は成績評価の対象となるので必ず提出すること。

◆履修条件

なし

◆成績評価基準

この授業の評価は、Google Classroom上の課題（50%）、最終レポート（50%）の総合的評価となる。オンデマンド授業において課題がない場合はすべて動画を視聴していることを前提として評価する。オンデマンド授業の場合、課題の提出が出席を兼ねる。Google Classroom上の課題は提出締切日を厳守すること。課題未手出の場合は評価を行わない。

◆教科書

市販本『生徒指導・進路指導—理論と方法』林尚示・伊藤秀樹編著書 第2版 学文社 2018年

通材『生徒指導・進路指導論 T30500』 通信教育教材（教材コード 000581）※文部科学省のホームページからダウンロードできます。

通材『生徒指導・進路指導論 T30500』 通信教育教材（教材コード 000582）※文部科学省のホームページからダウンロードできます。

通材『生徒指導・進路指導論 T30500』 通信教育教材（教材コード 000583）※文部科学省のホームページからダウンロードできます。

◆参考書

文部科学省（平成 29 年告示）『中学校学習指導要領』※文部科学省のホームページからダウンロードできます。

文部科学省（平成 30 年告示）『高等学校学習指導要領』※文部科学省のホームページからダウンロードできます。

文部科学省（平成 29 年告示）『中学校学習指導要領解説』※文部科学省のホームページからダウンロードできます。

文部科学省（平成 30 年告示）『高等学校学習指導要領解説』※文部科学省のホームページからダウンロードできます。

◆授業相談先（連絡先）

Classroom 上にて行う。

◆授業計画※対面授業部分は参考となります。

オンデマンド1回目	授業内容	1 ガイダンス（授業のテーマや到達目標、成績評価について） 2 生徒指導の意義と原理 3 教育課程と生徒指導、学習指導要領の関係
	事前学修	教科書（第1章・第2章）を読み、疑問点を書き出しておく。
	事後学修	授業を振り返り、①生徒指導の意義・原理、②教育課程と生徒指導、学習指導要領との関係についてまとめておく。
オンデマンド2回目	授業内容	1 児童生徒理解 2 学校における生徒指導体制
	事前学修	教科書（第3章・第4章）を読み、疑問点を書き出しておく。
	事後学修	授業を振り返り、①児童生徒理解、②学校における生徒指導体制についてまとめておく。
オンデマンド3回目	授業内容	1 児童生徒全体への生徒指導 2 配慮を必要とする生徒への指導①（いじめ）
	事前学修	教科書（第5章・第6章）を読み、疑問点を書き出しておく。
	事後学修	授業を振り返り、①児童生徒全体への生徒指導、②いじめにつ

		いてまとめておく。
オンデマンド4回目	授業内容	1 配慮を必要とする生徒への指導②（不登校） 2 配慮を必要とする生徒への指導③（日本語の指導を必要とする生徒）
	事前学修	教科書（第7章）・補助資料を読み、疑問点を書き出しておく。
	事後学修	授業を振り返り、①不登校、②日本語の指導を必要とする生徒についてまとめておく。
オンデマンド5回目	授業内容	1 配慮を必要とする生徒への指導④（発達障害） 2 配慮を必要とする生徒への指導⑤（ケータイ・スマホ・ネット問題）
	事前学修	補助資料を読み、疑問点を書き出しておく。
	事後学修	授業を振り返り、①発達障害のある生徒、②ケータイ・スマホ・ネット問題についてまとめておく。
オンデマンド6回目	授業内容	1 校則・体罰・出席停止 2 進路指導・キャリア教育の意義・原理
	事前学修	教科書（第8章・第9章）を読み、疑問点を書き出しておく。
	事後学修	授業を振り返り、①校則・体罰・出席停止、②進路指導・キャリア教育の意義・原理についてまとめておく。
オンデマンド7回目	授業内容	1 進路指導の変容・あり方 2 キャリア教育の現状
	事前学修	教科書（第10章・第11章）を読み、疑問点を書き出しておく。
	事後学修	授業を振り返り、①進路指導の変容・あり方、②キャリア教育の現状についてまとめておく。
オンデマンド8回目	授業内容	1 現代の労働問題 2 まとめ（これまでの学習の振り返り）
	事前学修	教科書（第12章）を読み、疑問点を書き出しておく。
	事後学修	授業を振り返り、①現代の労働問題、②これまでの学習についてまとめておく。